INSTRUCTION MANUAL



GAT-X105 STRIKE GUNDAM

M.S. Machinery [機体解説]

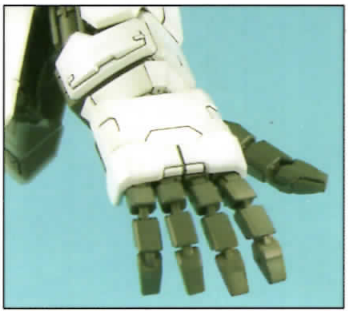
CHARACTERISTIC

GAT-X105ストライクガンダムは機体の外観のみならず、内部メカニズムも可能な限り再現。完成後もメンテナンスハッチ等の開閉が可能で、可動式シリンダー等が露出。外装や内部メカニズムも単なるディテールの再現だけでなく、パーツごとの連動した動きにより従来にはなかった、ねじれや筋肉の隆起をイメージした、より人間的なポーズ表現が可能となった。



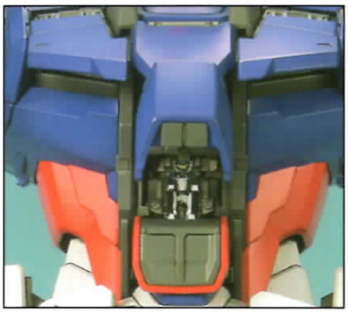
HEAD UNIT
[頭部]

頭部カメラアイ（目）は、発光ダイオードとボタン電池により点灯可能。（電池別売り）



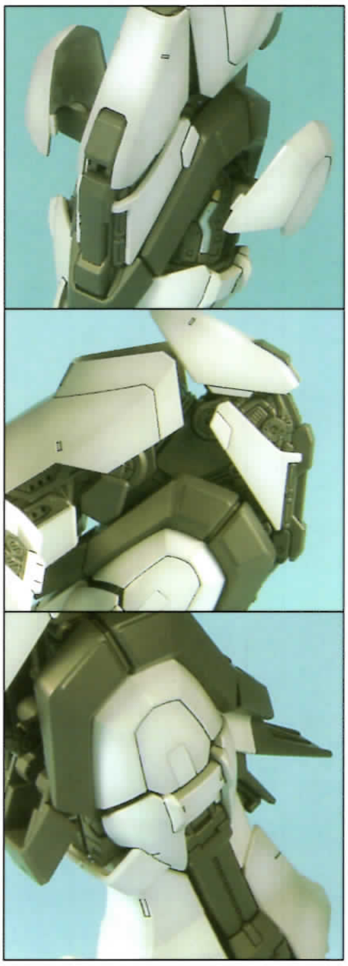
HAND UNIT
[手部]

多色一体成形の指パーツにより、各関節部分が可動。これにより表情豊かなポーズや武器のホールドが可能。



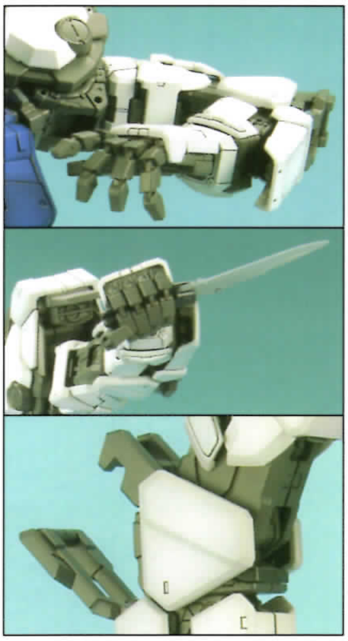
COCKPIT
[コクピット]

開閉式のコクピットハッチをはじめ、コクピット内部、パイロット（キラ・ヤマト）まで精密再現。



LEG UNIT
[脚部]

脚サイドアーマーは左右に大きく展開し、内部メカを露出させることが可能。シリンダー機構、外装、フレームの連動スライドギミックにより、人体のねじれに近い表現を伴った可動を再現。足首は爪先が独立して可動し、スネ左右フレームのスライドギミックと相まって高い接地性を実現。各部シリンダーのロッド部分はメッキで再現。



ARM UNIT
[腕部]

フレーム各部の可動は筋肉の隆起を彷彿とさせる可動ギミックで再現。外装のスライドギミックによる密度の高い可動で、より人体に近い可動範囲を実現。シールドのマウントラッチは、ロック式による高い保持力を実現。

FU
全身各









GRAND SLAM
[グランドスラム]

ガンダムSEEDキャラクターデザインの平井久司氏によるPGオリジナルデザインの巨大な武器「グランドスラム」はブレード部分をメッキで再現。グリップ、及びブレードは可動式。

ARMOR-SCHNEIDER
[アーマーシュナイダー]

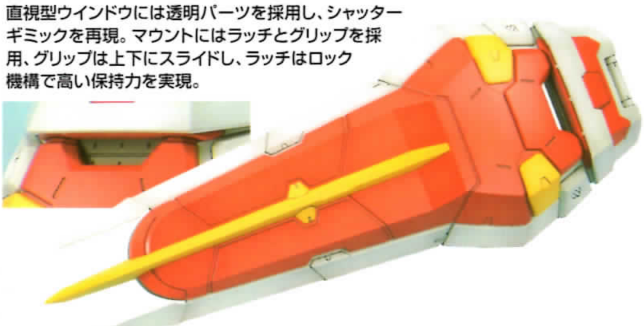
設定同様、ブレード部分は折りたたみ式。多色一体成形で再現。左右腰部アーマー内に収納可能。





SHIELD
[シールド]

直視型ウインドウには透明パーツを採用し、シャッターギミックを再現。マウントにはラッチとグリップを採用、グリップは上下にスライドし、ラッチはロック機構で高い保持力を実現。

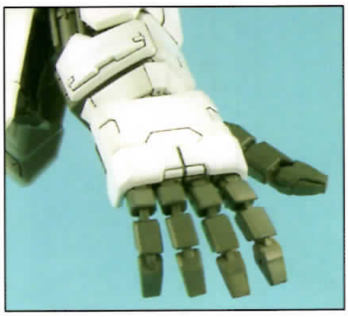


nery [機体解説]

す、内部メカニズムも可能な限り再現。完成後もメンテナンスハッチ
内部メカニズムも単なるディテールの再現だけでなく、パーツごと
の隆起をイメージした、より人間的なポーズ表現が可能となった。

UNIT

ラアイ（目）
ダイオードと
池により点灯
池別売り）

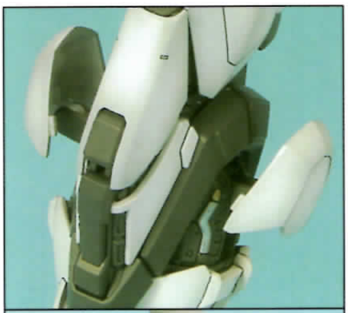


HAND UNIT
[手部]

多色一体成形の指パーツにより、各関節部分が可動。これにより表情豊かなポーズや武器のホールドが可能。

PIT
ト]

コクピット
はじめ、コク
部、パイロッ
ヤマト）まで

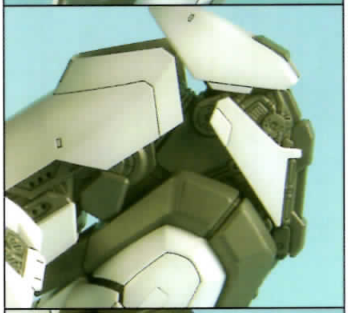


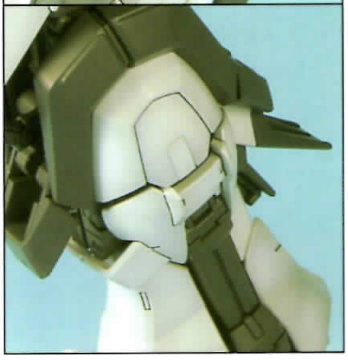
LEG UNIT
[脚部]

脚サイドアーマーは左右に大きく展開し、内部メカを露出させることが可能。シリンダー機構、外装、フレームの連動スライドギミックにより、人体のねじれに近い表現を伴った可動を再現。足首は爪先が独立して可動し、スネ左右フレームのスライドギミックと相まって高い接地性を実現。各部シリンダーのロッド部分はメッキで再現。

UNIT

各部の可動
隆起を彷彿
可動ギミック
外装のスライ
による密度
動で、より人
可動範囲を
ールドのマウ
チは、ロック
高い保持力





FULL HATCH OPEN [フルハッチオープン]

全身各所のメンテナンスハッチ及びマウントラッチを開閉可能。

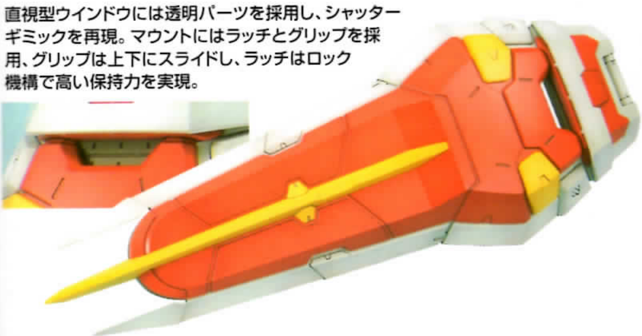






SHIELD
[シールド]

直視型ウインドウには透明パーツを採用し、シャッターギミックを再現。マウントにはラッチとグリップを採用、グリップは上下にスライドし、ラッチはロック機構で高い保持力を実現。



BEAM RIFLE
[ビームライフル]

フォアグリップ及びトリガーは可動式。ライフル各部のジャケットを外す事で内部メカディテールが露出。





STRIKE GUNDAM

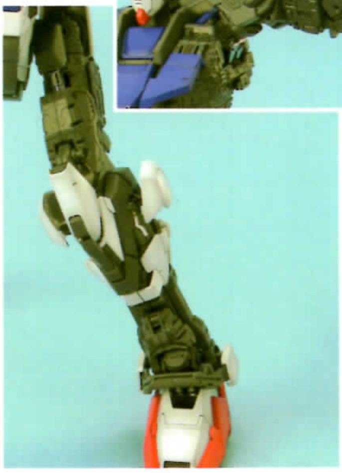
[ストライクガンダム]

従来の"可動モデル"という枠を超え、人体の動きに可能な限り追従する事を目指した究極の"アクションモデル"が「ストライクガンダム」パーフェクトグレードモデルです。ダイカストパーツ等、プラスチック以外の素材も使用し、プレイバリュー豊富な本編さながらのダイナミックなアクションポーズをお楽しみいただけます。



本体ホワイトの装甲は、装甲材質の差をイメージし巨大感の演出として2色の成形色で再現しています。







MOUNT LATCH [マウントラッチ]

腰部の収納式マウントラッチに、ビームライフルを装着する事が可能。

FRAME [フレーム]

GAT-X105ストライクガンダムの特徴であるX100系フレームを再現。スライドギミックを採用して高密度の可動クオリティを実現。ヒザの二重連動やふくらはぎのねじれ、スネの可動により高い接地性を実現。さらに股関節はロック式の可動機構を採用し、より柔軟なポージングが可能。股間及び膝にダイカストパーツを採用し、高い強度とバランス良い安定性を実現。装甲の取り外しが可能で、腕部、脚部はそれぞれの動きにシンクロして各部装甲、シリンダーが連動。

COLOR GUIDE

■カラーガイド

※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(「エールストライクガンダム」用、その他カラーセット)をお使いください。

本体等ホワイト部(濃い所)の塗装色
ホワイト(95%)
+ネービーブルー(5%)

本体等ホワイト部の塗装色
ホワイト(100%)
+ミディアムブルー少量
またはガンダムカラー ホワイト5

胸等ブルー部の塗装色。
コバルトブルー(60%)
+インディブルー(40%)
またはガンダムカラー ブルー11

足等レッド部の塗装色。
モンザレッド(100%)
またはガンダムカラー レッド1

アンテナ等イエロー部の塗装色。
イエロー(90%)
+オレンジイエロー(10%)

フレーム等グレー部の塗装色。
ニュートラルグレー(90%)
+ブラック(10%)+ブルー少量

ビームライフル等グレー部の塗装色。
ミディアムブルー(40%)+ホワイト(30%)
+ブラック(30%)+レッド少量

ナイフ ブレード部ライトグレー部の塗装色。
ホワイト(70%)
+ミディアムブルー(30%)+レッド少量

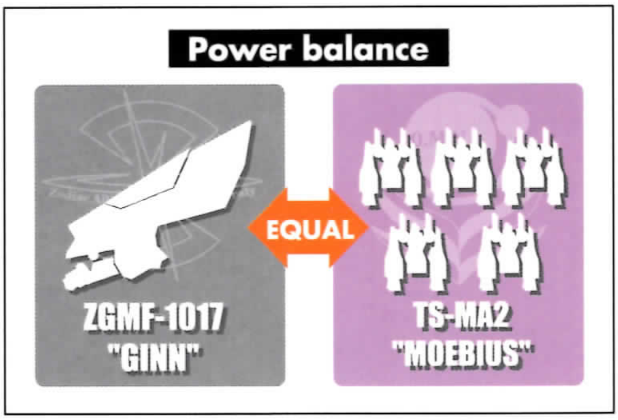
ナイフ グリップ部ダークグレー部の塗装色。
ミッドナイトブルー(100%)

※写真の完成品は、塗装してあります。

GAT (Gressorial Armament Tactical)

GAT-X105 ストライクガンダムは、地球連合軍※1がザフト※2のMS(モビルスーツ※3)に対抗するために開発した機体である。ナチュラル※4とコーディネイター※5間の対立は、「血のバレンタイン」を契機として大規模な武力衝突へと発展した。幾度かの戦闘を経た後、地球連合軍は、MA(モビルアーマー※6)を主軸とする自軍の保有兵器と、ザフトが使用するMSとの単機当たりの戦力差を痛感した。数度にわたる戦闘結果から得られたデータによれば、MAとMSの戦力比は1:5という圧倒的なものであった。連合軍首脳陣は、根本的な戦略の見直しを迫られたのである。MSの必要性をようやく認識した連合軍首脳は、遅ればせながらMSの開発に着手する。連合軍によるMS開発は、鹵獲したザフト製MS ジンを解析することから始まった。機械的に機能や構造を模倣することはさほど困難ではなかったが、当時、すでにジンの後継機の存在も確認されていたことから、ただ単にジンのデッドコピーを作るだけでは意味がないことは火を見るよりも明らかだった。更なるアドバンテージが必要だったのである。かくして、PS(フェーズシフト)装甲※7の採用が決定し、並行して小型高出力のビーム兵器※8が開発されることとなった。そして、当初から「試作機を含めて短期間で量産が可能である」ことと「実験兵装を装備する」ことが基本設計に盛り込まれた。





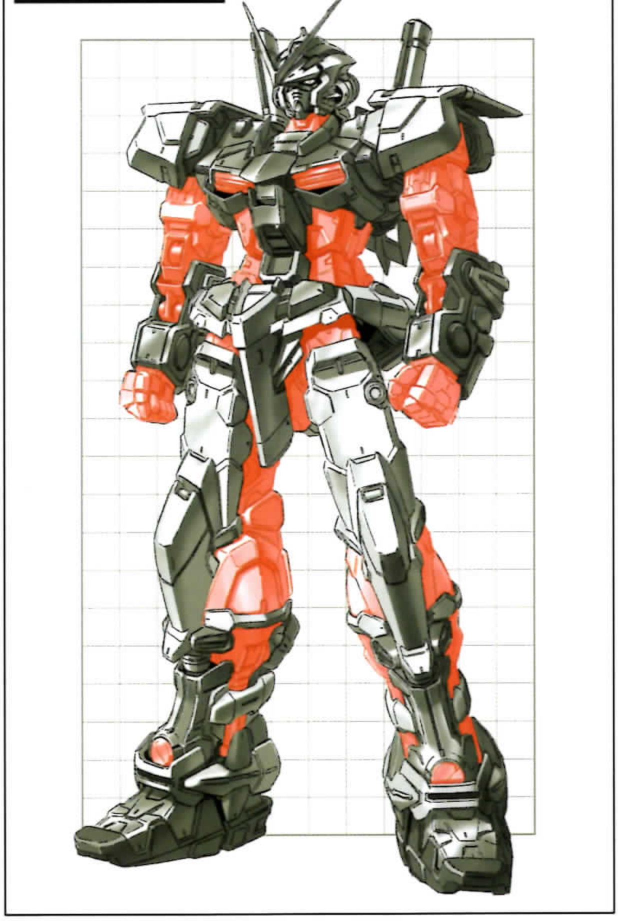
この条件を満たすべく考案された方策が、機体のベースを統一し、外装を替えることで武装や運用の差別化を可能とする「フレーム構造」の採用であった。もっとも、提案されたコンセプトそのものが多岐にわたったため、結局は3種類の基本フレームが開発されることとなった。標準的な機能以外は持たないX100系のノーマルフレームとX100系に特殊な機構を加えたX200系の特殊フレーム、そして根本的に設計概念が異なるX300系の可変フレームである。これらのフレームをゲージとし、高精細なシミュレーション※9も含めて開発が進められた。

そして数カ月後、5機の試作機「GAT-Xシリーズ」の機体設計が完成するものの、ここで致命的な問題が発覚した。「MS」という兵器自体がコーディネイターの身体能力を基準として開発されていたため、ジンの機体制御OSをベースに開発されていたGAT-Xシリーズはナチュラルのパイロットに扱えるものではなくなってしまっていたのである。調整するにしても、連合には専門の技術者が存在しないため、データのコンバートもデチューンも事実上不可能であった。OSの開発は暗礁に乗り上げた。苦肉の策として、潜在的にコーディネイターを多数擁する「オーブ連合首長国」に協力を打診するものの、自主中立を堅持するオーブはそれを拒否。連合軍によるMS開発計画はこの時点で事実上頓挫してしまったのである。

ところがその直後、連合諸国に支社を持つオーブの半国営企業「モルゲンレーテ」を介して協力の申し入れがあった。かねてより自主防衛用のMS開発を推進していたオーブの5大部族首長のひとりが、連合製MSの技術の入手を目論んでいたことから、連合軍との利害が一致したためである。

連合軍によるMS開発の拠点は、資源衛星「ヘリオポリス」のモルゲンレーテ支社へと移設され、5機のGAT-Xはトライアルに向けた調整が行われることとなったのである。

MBF-P02 Astray



用語解説

※1 地球連合軍(O.M.N.I.Enforcer)
Oppose Militancy&Neutralize Invention Enforcer(アポーズ・ミラタンシィー・ニュートラライズ・インベンション・エンフォーサー)の略称。C.E.71年当時、反プラント国およびプラント宗主国によって構成された連合国家群。実体は各国家が保有する軍組織の寄せ集めであり、参加国であっても互いに仮想敵国として認識している側面もある。中でもMS開発を積極的に推進したのは、大西洋連邦であった。

※2 ザフト
ザフト=Z.A.F.T.=Zodiac Alliance of Freedom Treaty(ゾディアック・アライアンス・オブ・フリーダム・トリーティ)=自由条約黄道同盟の略称。プラント連合、事実上プラント軍の名称となっている。陸海空の3軍をすべて統合しており、一般的な軍事組織と異なり、いわゆる階級は存在していない。

※3 MS=モビルスーツ
ザフトが開発した2脚、または4脚の歩行肢を持つ兵器群のこと。Nジャマー発動環境下で使用されることを前提として開発されたため、核動力や核反応に依存して兵器体系を構築していた連合軍に対して圧倒的な優位にある。ただし、単機では長時間の運用が困難であるため、母艦などのバックアップシステムの確保が運用の絶対条件となる。

※4 ナチュラル
コーディネイターに対して、遺伝子操作をしていない人々を区別するために敢えてナチュラルと呼ぶ。C.E.において出現したコーディネイターの存在により、その対語として生まれた概念。生まれながらに優れた資質を持つコーディネイターに対する劣等感や羨望、あるいは優越感などがないまぜになった呼称でもある。

※5 コーディネイター
先天的な障害などを解消するための遺伝子操作技術が発達し、C.E.においては積極的な遺伝子操作が可能となった。これにより生み出された人々をコーディネイターと呼ぶ。人類初のコーディネイターであるジョージ・グレンが、そのカミングアウトと共に、自分達は「地球と宇宙を調停するもの(コーディネイター)で有るべき」と語ったためにこの呼称が定着した。個体としては肉体的・知的能力ともに既存の人類を凌駕するものの、世代を重ねるほど生殖能力が低くなるなど、種として見た場合には問題を抱えている。

/// Version sys - N099 ////

General
Unilateral
Neuro - Link
Dispersive
Autonomic
Maneuver

Synthesis System

O.M.N.I. Enfarcer

極秘裡に開発された5体のG…それは連合軍にとって、反撃の狼煙であった。

GAT



GAT-X105 STRIKE GUNDAM

用語解説

※6 MA=モビルアーマー
MSの出現以前に主力兵器として使用されていたひとり乗りの汎用重戦闘機。人型ではない航空/航宙戦闘兵器の総称としても使われる。コストパフォーマンスとパイロットのサバイバビリティはかなり高い。ただし、よほど優秀なパイロットでなければ対MS戦闘で勝つことは難しい。メビウスやメビウスゼロなどがこのカテゴリーに含まれる。

※7 PS装甲
P.S.(Phase Shift=フェーズシフト=相転移)装甲の意。5機のGAT-Xシリーズが装備する特殊な装甲のこと。これによって5機のガンダムは物理的な打突や実体弾などによる衝撃に対して圧倒的な耐性を備えることとなった。作動すると鮮明な色彩が浮かび上がるとともに、実体弾や実剣による攻撃をほぼ無力化できる。その反面、莫大なパワーを消費するため、機体の稼働時間は極端に短くなってしまう。また、装甲の色彩によって外部からパワー切れ(フェーズシフトダウン)が察知されてしまうという欠点もある。

※8 ビーム兵器
高エネルギーによって励起された粒子を斬撃や砲撃に転用する兵器の総称。荷電粒子やプラズマなどを制御、あるいは成形し、その熱やエネルギーによって対象を溶断、焼灼、または破壊することを目的とする。ビームサーベルやビーム実装複合型刀剣、ビームライフルなどがこれにあたる。

※9 高精細なシミュレーション
GAT-Xシリーズの開発において、作業の効率化のために導入された手法で、一定の成果が認められたシミュレーションデータには、実際の建造の有無に関わらずシリアルナンバーが設けられている。つまり、GAT-X101やX104に相当する実機は存在しない。

X100系フレーム

GAT-X105 ストライクガンダムに採用されている“フレーム構造”は、連合軍が開発したMSに特徴的な構造である。無論、ザフトが開発したMSにも“骨格”に相当する構造はあるが、作業用のパワーローダー※10からほぼ直接的に進化を遂げたザフト製のMSは、比較的初期の段階で戦術や運用目的によって四脚歩行型や水陸両用型、または環境に応じて歩行脚と車輪を使い分けるなど、移動効率を優先した変形機構を採用していたため、GAT-Xシリーズのようなフレーム構造は持たなかったのである。しかし連合軍は、まず“MS”を巨大な人型機動機器として検証することから始めた。人体の“動作”の再現をMSに求めたのである。つまり、当初からザフト製MSのように兵器として確立されたものを単純にコピーするのではなく、まずはMSを「戦術的に必要な兵装を歩行脚によって運搬する」という機能に純化させることにしたのである。

このことにより、本来であれば同時に開発されていなければならなかったはずの素体と兵装を分離することを可能とした。まずは、巨大な人型機器として必要な躯体と、移動に必要な歩行脚やスラスターなどの機動装備、そして最終装甲などが別々に開発されることとなったのである。これによって、それぞれの技術的進展に多少のズレがあっても、それぞれの部材の開発状況に応じて順次実用化していくことが可能となった。このことが連合製MSの画期的な点であり、GAT構想※11の基本でもあった。そしてこれは、開発を極秘裡に進めるために有効な措置でもあったのである。つまり、部品ごとに開発することで、MSとしての完成形を可能な限り秘匿することも可能となったのである。ただし、その根幹技術であるOSの開発が最も遅れたという事実は動かし難いものであった。

GAT-Xシリーズは、まず基本となるフレーム構造が建造され、MSそのものの検証が行われた。それが「X100系フレーム」を持つGAT-X102 デュエルガンダム※12である。同じコンセプトのフレームをベースとして、長距離用の固定武装を



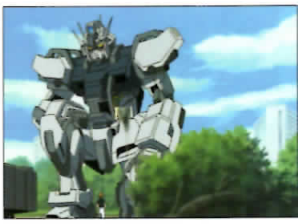
用語解説

※10 パワーローダー
荷役や運搬、土木、建築などの現場で使用される作業用の動力式強化外骨格。人間が装着することで作業をこなす、いわば着るフォークリフトのようなもの。マニピュレーターなどの操作にはフィードバック機能が付いている場合が多く、発揮するトルクに比して精密な作業をこなすこともできる。一足飛びではないにせよ、MSが開発される技術のもっとも基礎とされる。

※11 GAT構想
G.A.T.=Gressorial Armament Tactical=戦術歩行兵器の意。地球連合のなかでも大西洋連邦が主導していたMS開発に際し、その開発意図の指針として掲げられた構想も意味する。ストライク、イージス、デュエル、バスター、ブリッツのXナンバー5機をはじめとし、その後継機や量産型も視野に入れた連合製MS計画の根幹を成すプロジェクトである。地球連合軍第8艦隊司令のハルバートン准将が立案した計画であり、最終アッセンブルやトライアルはオーブのモルゲンレーテにおいて行われた。

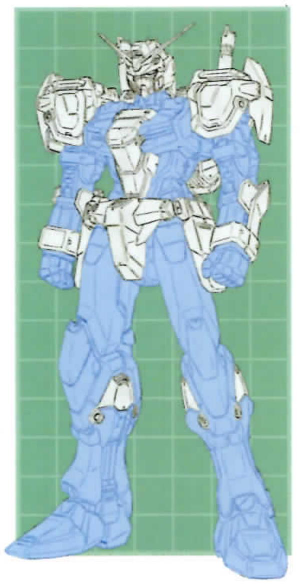
※12 デュエルガンダム
型式番号はGAT-X102。連合が開発し、ザフトに奪われたGAT-Xシリーズのうちの一機で、もっともスタンダードで汎用性の高い機体。後にザフトによって追加された装備のアサルトシュラウドを装着し、宇宙空間における機動性や火力が強化された。パイロットはイザーク・ジュール。

※13 バスターガンダム
形式番号はGAT-X103。連合が開発し、ザフトに奪われたGAT-Xシリーズのうちの一機で、中～遠距離からの攻撃に特化した砲撃支援用の機体であるため、近接戦闘用の武装は装備していない。パイロットはディアッカ・エルスマン。

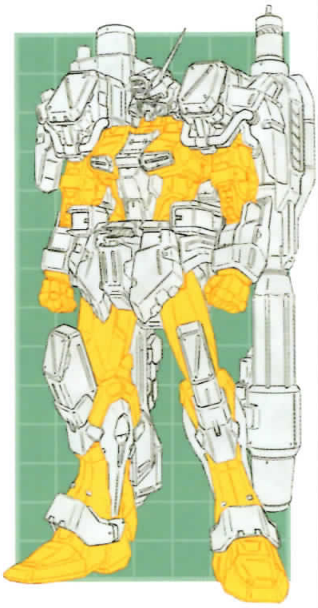


X100 FRAME

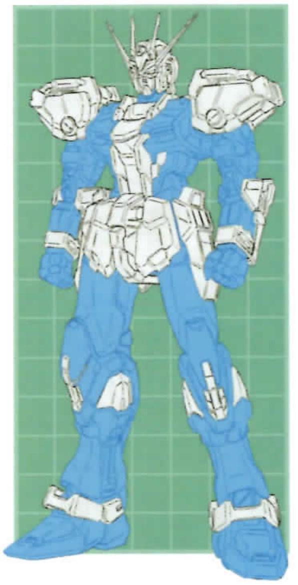
GAT-X102 DUEL GUNDAM



GAT-X103 BUSTER GUNDAM



GAT-X105 STRIKE GUNDAM



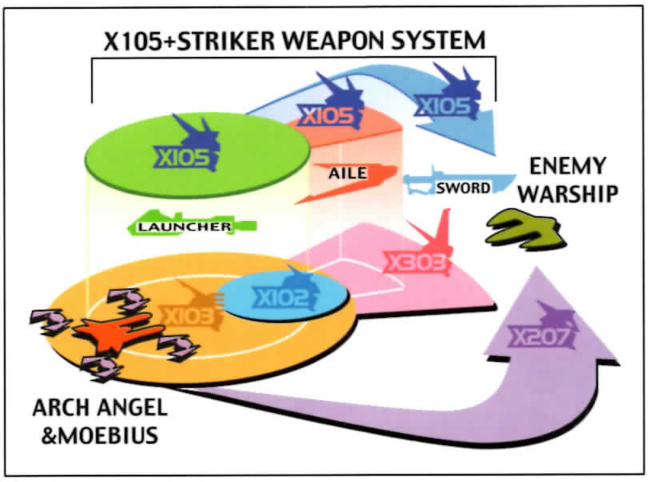
施した機体がGAT-X103 バスターガンダム※13で、X100系のフレームに特殊装備を施した機体が、「X200系フレーム」を持つGAT-X207 ブリッツガンダム※14である。GAT-X303 イージスガンダム※15は、フレームそのものを特殊化した「X300系フレーム」を持つ機体で、"人型"であることの制約を回避するために開発された。そしてGAT-X105 ストライクガンダムは、X100系フレームのコンセプトを継承しながら、多種多様な戦術に対応できるように進化した機体であった。

デュエルガンダムは、連合の「G計画」によって完成した5機のMSの内、もっとも初期に作られた機体であり、性能面においても標準的な値を示している。それでも、PS装甲や携帯型ビーム兵器の実装など、その基本性能はジンなどを始めとする従来機を圧倒する。ただし、フレームと内装機器および外装などのマッチングがあまり練り込まれておらず、そのポテンシャルを存分に発揮しているとは言い難い。

バスターガンダムは、ビーム撹乱幕などが展開された環境下における長距離砲撃戦、あるいは対艦戦闘などを主眼において開発された。つまり、中、長距離の兵装を運用するための機体であり、近接格闘に対応する能力はさほど勘案されていない。ただし、装備する長距離兵器の運用に関して、実体弾砲とビーム砲を砲身の組み替えによって即座に使い分けるなど、"人型"であることによる優位性は充分に確保されている。また、機体各所にミサイル/ロケット弾兼用のポッドを装備しているため、中距離戦闘においても破格の火力を発揮する。

X100系のコンセプトに基づくフレームを持つ3番目の機体となったストライクガンダムの特徴は、"あらゆる状況下で運用可能な汎用性を持つ"機体であることで、戦術や戦況に応じて兵装を交換することが可能である。それぞれの兵装はストライカーパックとして規格化されており、前線での運用変更を可能とする支援戦闘機※16も並行して開発されている。

その一方でストライクガンダムに採用されたフレームは、デュエル、バスターを経たX100系フレームの進化型としての側面を持っており、非常に優れた"身体能力"を備えている。特に四肢の可動範囲や躯体の柔軟性は先行する2機を圧倒しており、あたかも人間そのもののような運動性を獲得している。すなわちストライクガンダムは、"人型機動機器"としてのMSのひとつの到達点であると言うことができるのである。



用語解説

※14 ブリッツガンダム
型式番号はGAT-X2C7。連合が開発し、ザフトに奪われたGAT-Xシリーズのうちの一機で、特殊機能のミラージュコロイドを装備しており、PS装甲の併用はできないものの、各種センサーはおろか肉眼でも不可視となるため、奇襲や電撃作戦に最適の機体である。パイロットはニコル・アマルフィ。

※15 イージスガンダム
型式番号はGAT-X303。連合が開発し、ザフトに奪われたGAT-Xシリーズのうちの一機で、他の3機とはまったく異なるフレームを持ち、MA形態へと変形することができる。司令機としての運用が想定されていたため、通信機能も充実している。パイロットはアスラン・ザラ。

※16 支援戦闘機
アークエンジェルに配備された支援戦闘機スカイグラスパーは、単独でも充分な戦闘能力をもっているが、さらにストライクガンダムとストライカーパックを共用することができる。しかも、ただ単に各種ストライカーパックを前線まで運搬するだけでなく、スカイグラスパー自体がそれらの装備を運用することが可能なのである。

PERFECT GRADE



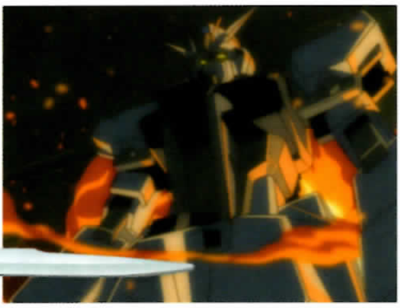
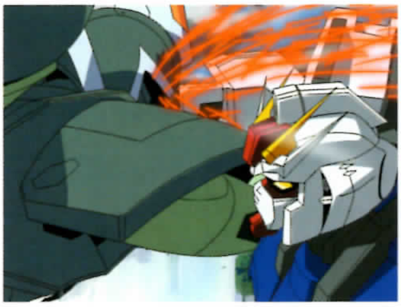
GAT-

STRIKE G

O.M.N.I.ENFORCER M

MODEL NUMB
PILOT : KIR
HEIGHT
WEIGHT
ARMAMENTS : 75mm
CIWS (close-in weapon s
Assault knife "Arm
BEAM R
GRAND S








-X105

GUNDAM

IOBILE SUIT GAT-X105

BER : GAT-X105
RA YAMATO
T : 17.72m
HT : 64.8t
n Automatic multi-barrel
system) "Igelstelung" ×2
mor-Schneider" ×2
RIFLE ×1
SLAM ×1

武器

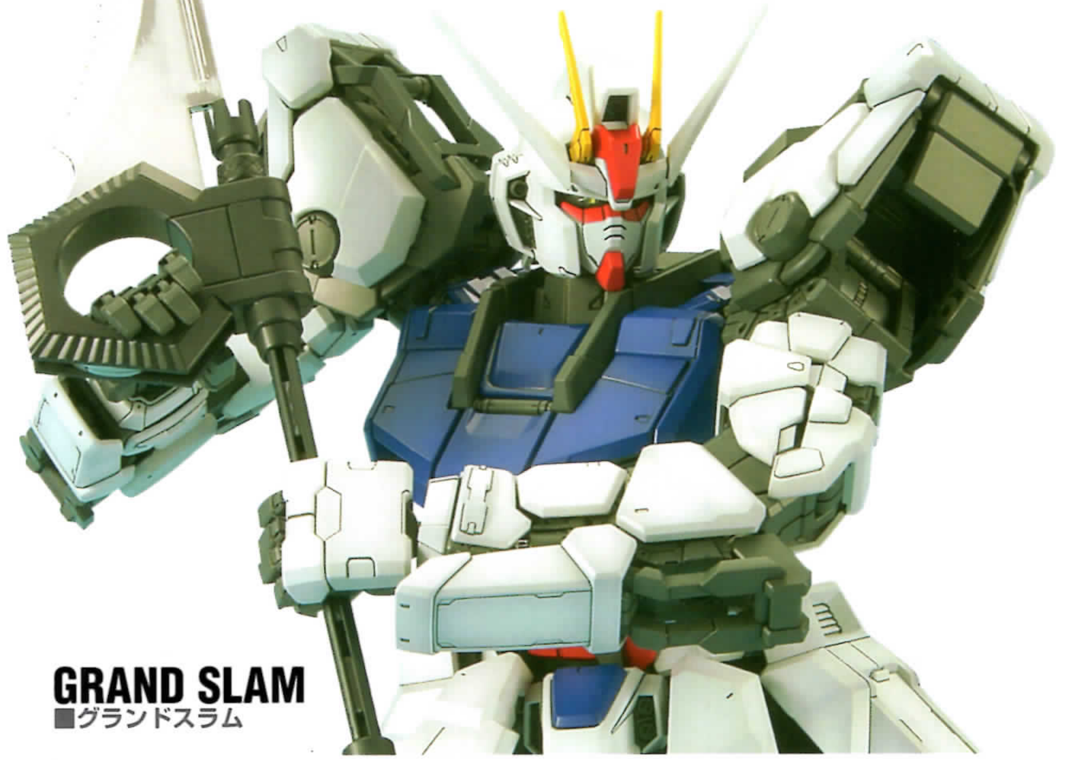
X100系フレームには広範な汎用性が求められた。その中には、「人間が使用する"武器"は、すべて使いこなす」という命題も含まれていた。近接格闘用のアーマーシュナイダーを最大限有効に使いこなすためにも、MSの"身体能力の高さ"が求められたからである。GAT-Xシリーズと同時期にヘリオポリス※17のモルゲンレーテ支社で開発されていたMBF系の機体(アストレイ※18シリーズ)の設計思想も、特に汎用性を重視した点でストライクガンダムと非常に似通っている。その中のレッドフレーム※19と呼ばれる機体は、とあるジャンク業者の手に渡り、本来の開発計画とは一切関係なく運用された。その際、レッドフレームは「ガーベラストレート※20」という名の実体剣を"使いこなして"いた。ザフトが使用するMS ジンも、当初より実体剣を常用しており、戦争当初より連合が投入するMAに対する優位性を証明し続けていた。MSが"人型機動兵器"であるならば「腕の延長としての武器」である剣を使うことそのものは実に自然な発想であり、連合もその教訓を活かす形でMS用の"刀剣"を開発していた。

ただし、連合は、より強力な"ビーム"兵器としての"剣"を開発していた。しかし、その威力は実戦で証明されたわけではなく、信頼性もまた同様であった。そこで連合は刃全体をビームのみによって形成する「ビームサーベル」、そして「実体剣」と、「実体剣とビーム」を組み合わせるという、三種の"剣"を並行して開発したのである。

ストライクガンダムが「刃物」を装備するのは、その武装のほとんどを"後付け"することが決定していたためである。出撃時には各種ストライカーパックのいずれかを装備することが前提であり、それらを装備しない状態での戦闘は想定外であった。ただし、その逆の場合、戦闘などによる損耗に備え、緊急避難的な武装として、頭部イーゲルシュテルンとアーマーシュナイダーが装備されたのである。ことにアーマーシュナイダーは、携行可能なサイズに折りたたむ形で腰部の専用ホルダーに収まっており、しかも、PS装甲やビーム兵器などのように膨大なエネルギーを消費しない。この時期のMSはバッテリーで稼働していたため、パワーダウンの限界まで戦闘能力を喪失しないための武装なのである。

ストライクガンダムが「刃物」を装備するのにはもうひとつ理由がある。MSが刀剣を人間のように「使いこなす」ための「技能を修得」できるかどうかを評価するトライアルを行うためである。ことに、実体剣はビーム剣とは違い、ただ振り回せば良いという武器では決してない。単純に物理的な"硬度"を越えた「切れ味」が厳然として存在する。対象に当たればそれなりのダメージは与えるだろうが、単純にOSでは補えない何らかの"スキル"が必要なのである。それがパイロットの技能によるものなのか、あるいはMSの機能によるものなのかは判然としないが、ストライクガンダムは現時点で"人間の挙動を再現する"ことに最も秀でたMSであったということができるだろう。

「XM404 グランドスラム」は、ストライクのオプション武装として開発されていた巨大な実体刀剣で、打突、斬撃系のあらゆる戦闘に対応することを目的としており、その運用試験結果は上々だったといわれている。ただし、同機にはすでにアーマーシュナイダーの装備が決定していたため、この武装は近接戦闘用の武装を持たないバスター用にスペックを圧縮したうえで装備することとなっていた。その矢先、バスターを含む4機のMSがザフトに強奪されてしまった。その後ヘリオポリス自体が崩壊してしまったため、実際の運用試験の結果はおろか、試作品の所在なども一切不明となってしまった。「グランドスラム」は、その後、開発計画自体が宙に浮いてしまっているという。



GRAND SLAM
■グランドスラム

用語解説

※17 ヘリオポリス
L5に存在するオーブの資源衛星兼コロニーで、キラ達が通う工業カレッジがあった。アークエンジェルやG兵器が建造されていた。また、そのデータを盗用してオーブはアストレイの3機のプロトタイプを建造していた。ザフトのクルーゼ隊によるG兵器強奪を目的とした襲撃のため崩壊している。

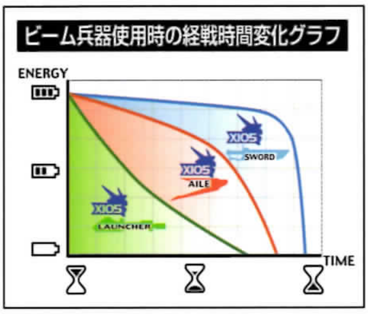
※18 アストレイ
中立であるはずのヘリオポリスにおいてオーブが極秘に開発していたMS。その開発には地球連合の技術が盗用されている。ちなみに「ASTRAY」とは「邪道」または「決して王道ではない」といった意味がある。後にM1アストレイとして量産されるが、プロトタイプのMBF-P01～P03の3機は数奇な運命をたどり、ヘリオポリスの崩壊から免れている。



WEAPON

BEAM RIFLE
■57mm高エネルギービームライフル





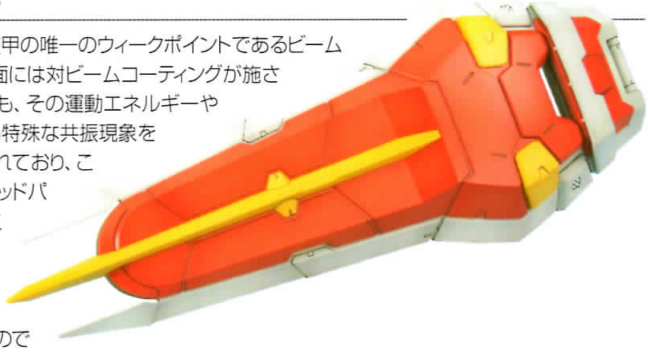
連合製のMSは、基本スペックでザフト製のMSを凌ぐ必要があった。そのため、小型軽量で強力な武装は必須条件とされた。GAT-Xシリーズの5機は、PS装甲とビーム兵器の採用によってそれを実現している。このビームライフルはX100系フレームの基本武装であり、デュエルが使用するものとほぼ同じ機能を持つ。実体弾による同サイズの銃器を遥かに上回る威力を持つが、実際には、パワーの消耗が激しいため、容量に余裕があるエールストライクの状態での使用が望ましいとされている。



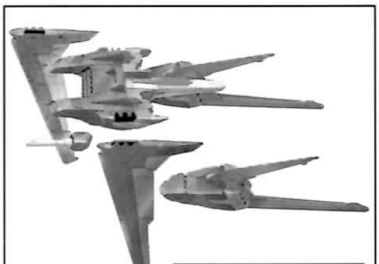
ARMOR-SCHNEIDER
■アーマーシュナイダー

ストライクの基本装備である高硬度金属製の折り畳みナイフ。両サイドの腰アーマーに内蔵されており、通常の装甲を持つジンクラスの機体であれば容易に切断、貫通が可能である。順手でも逆手でも使うことができる取り回しの良さも特筆される。ある意味最後の武器ではあるが、実際の戦闘においてもその有効性は実証されている。使用時には刀身が高周波震動ブレードとして機能するため、PS装甲でもない限り、原理的に傷つけられない装甲材は存在しない。このブレードの製造技術の出所に関しては詳細が不明の部分が多く、謎の技術者集団の関与も取りざたされている。

SHIELD
■シールド



物理的な攻撃を相殺するPS装甲の唯一のウィークポイントであるビーム兵器を防御するための装備。表面には対ビームコーティングが施されており、ビームの直撃を受けても、その運動エネルギーや熱量を拡散吸収することができる。構造材自体にも特殊な共振現象を起こす固有振動数を持つ部材が数種類組み合わされており、これらの合金がミクロ単位で制御された独自のトレッドパターンを形成し、微細な震動を恒常的に繰り返すことでビームを偏向、屈折させる。一見、MSの最終装甲としても有望であるかの様に思えるが、その特性上、金属疲労が激しい上にPS素材との相性も悪く、MS本体の装甲としては実用に耐え得るものではない。GAT-Xシリーズの基本装備であり、デュエルガンダムが使用しているのは同等品のカラーバリエーションである。



AILE STRIKER

ストライクガンダムの機動力を向上させるための装備。大出力のスラスターとして機能するほか、大気圏内においては"飛翔"も可能とする。特に重力下での戦闘において「エールストライクガンダム」は圧倒的な機動性を発揮する。新規に開発されたパワーパックを内蔵しているため、ストライク本体の稼働時間も大幅に延長されるほか、複数の同装備を順次換装すれば、母艦に帰投しなくとも機体に電力を供給し続けることも不可能ではない。



SWORD STRIKER

敵艦隊やMS部隊のただ中に突貫し、乱戦の中で血路を開くような戦い方が可能となる。「15.78メートル対艦刀〈シュベルトゲベール〉」は、刃をレーザーで形成するビーム/実体ソードで、戦艦をも両断できると言われている。「ビームブーメラン〈マイダスメッサー〉」は左肩に装備する投擲武装で、投げると弧を描く軌道を飛び、敵機を損壊させたあと自機まで戻ってくる。「ロケットアンカー〈パンツァーアイゼン〉」は、左腕に装備されるシールドとアンカーを兼ねた装備で、防御のほか、敵機の捕獲や牽引などにも使用できる。



LAUNCHER STRIKER

ストライクをバスターに近い性格のMSへと変貌させる装備。右肩に装着される複合装備「120mm対艦バルカン砲/2連装350mmガンランチャーコンボユニット」は、接近する敵に対して使用する補助的な武装である。「320mm超高インパルス砲〈アグニ〉」は、対要塞戦でも運用可能な大出力砲だが、コロニーそのものを破壊するほどの威力を持つため、逆に使い方が難しい装備でもある。

用語解説

※19　レッドフレーム
MBF-P02のナンバーを持つプロトタイプアストレイの2台目。ジャンク屋のロウ・ギュールが乗機としている。後に「ガーベラストレート(菊一文字)」と呼ばれる実剣を入手し、以降は主武装としている。特殊なインターフェイス「8」により、ナチュラルのロウでも充分以上に扱うことができる。

※20　ガーベラストレート
レッドフレームの専用武装であり、紛れもなくMSサイズの「日本刀」である。パイロットのロウが某所で入手した際には使用不能なほど傷んでいたが、その由来を知る住人とともに修復を成し遂げ、以来、手放すことなく愛用し続けている。

強奪

C.E.70年2月11日。地球連合は、かねてよりプラント理事国の方針に従わないプラント※21に対し宣戦を布告。月面基地よりプラントへの侵攻を開始した。数日にわたる戦闘の末、同月14日、連合はユニウスセブン※22プラントに対して核攻撃を敢行。24万3721人にのぼる一般市民が犠牲となった。これが後に『血のバレンタイン』と呼ばれる惨劇である。

その後、プラントの独立宣言に呼応したオーブ連合首長国代表による中立宣言や、連合による南アメリカ合衆国の併合、大洋州連合による「親プラント宣言」などがあって、地球上の勢力図は一変する。

数次にわたる戦闘の後、ザフトは「ニュートロンジャマー※23」散布を含む「オペレーションウロボロス」を発動。深刻なエネルギー危機に陥った地球連合国家の混乱に乗じ、大洋州連合オーストラリア地区のカーペンタリア港に基地の設営を敢行する。そして、第一次ヤキン・ドゥーエ※24攻防戦を経て、両陣営は月のグリマルディ・クレーターを境界として「グリマルディ戦線」を形成。カーペンタリア基地の完成に伴うザフト軍の地上攻略が本格化する一方、グリマルディ戦線においてはエンデュミオン・クレーターをめぐる攻防戦が展開され、連合軍の第3艦隊は壊滅するものの、鉱床および施設の破壊のため「サイクロプス※25」を暴走させた連合軍は、事故か故意かは不明だが自軍を巻き込みながらもザフト軍の撃破に成功する。この敗退により、グリマルディ戦線の放棄を決定したザフト軍は、月よりの一時撤退を決定する。この時期以降、大規模な軍事行動は減少し、地上・宇宙を問わず小競り合いが繰り返され、戦局は膠着状態に陥る。

ここに至り連合は、状況打開策の一環として、かねてより第8艦隊司令ハルバートン准将によって提案されていた連合製MS開発プロジェクト「G計画」を発動。中立国オーブの半国営企業「モルゲンレーテ※26」を巻き込む形で、運用艦となる「アークエンジェル※27」共々、本格的な開発計画を実施する。

連合によるMSの開発が始まったのは、一般にこのC.E.70年の7月以降のこととされているが、実際には、C.E.69年にザフト製MSのジンが実戦投入された時点で、宇宙戦闘におけるMSの有用性を見抜いた大西洋連邦宇宙軍第4艦隊のハルバートン大佐(階級および所属は当時のもの)により、コードネーム「Gシリーズ」の開発が軍司令部に上申されていたのである。

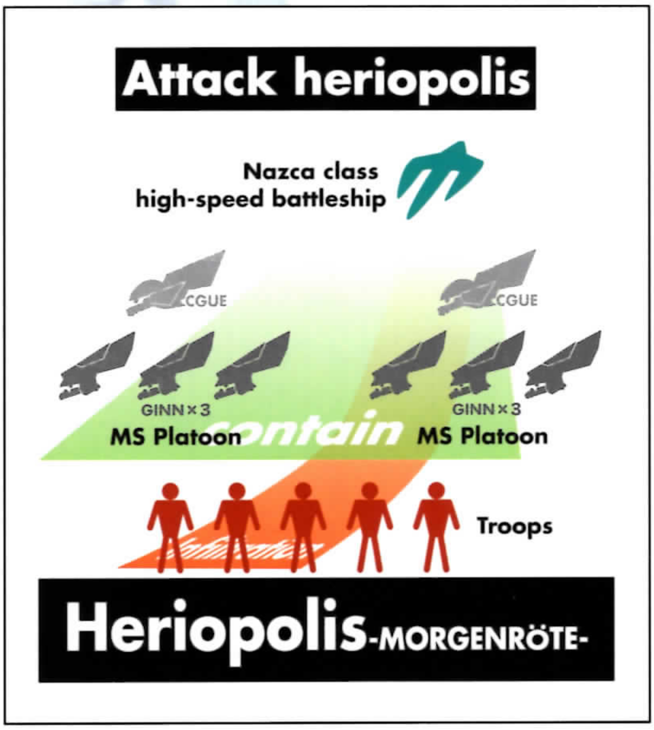
ことあるごとに首脳部の決定に異議を申し立てるハルバートンを快く思っていなかった一部の人間が積極的に黙殺したため、この時点で彼の提案は却下されるが、一部議員の援助などを得て計画は極秘裏に進行していた。だからこそ、連合がMS開発に乗り出して後、不自然に思えるほど驚異的なペースで計画が進捗したのである。このプロジェクトは連合内でも最高ランクの機密であり、内外の諜報機関から秘匿され続けた。実にC.E.71年初頭に至るまで噂にすら上ることはなく、ヘリオポリスが襲撃されるまで、その信憑性は疑われていたのであった。

C.E.71年1月20日。「血のバレンタイン」に端を発する開戦から11カ月余りが経過していた。その間、連合はザフトへの反抗計画を着々と進行させていた。そして中立国オーブのコロニー「ヘリオポリス」において、5機のGAT-Xシリーズと新型戦艦「アークエンジェル」がロールアウトしようとしていた。

同月24日、L3宙域に連合軍の新型極秘軍事衛星が建造中であるという情報を得て、戦艦ヴェサリウスで出撃したクルーゼ隊は、その情報が誤りであったため帰途に就いていた。ところが、ヘリオポリスに潜入していたスパイから、連合がそこでMSを開発しているという情報を入手する。

翌25日、折しもGAT-Xシリーズとアークエンジェル受領のため、偽装した連合軍のクルーが入港して間もなく、連合製のMSを奪取すべくクルーゼ隊がヘリオポリスに潜入。陽動のためのMS部隊がコロニー内に侵入した混乱に乗じ、クルーゼ隊のパイロットらはモルゲンレーテの工場からデュエル、バスター、イージス、ブリッツの4機のGAT-Xシリーズを強奪する。そして、その場に偶然居合わせた少年キラ・ヤマトは、はからずも友人たちを護るためストライクガンダム※28を操縦することになる。そして、調整が終了していなかった未完成のOSを瞬く間に書き換え、本来の"強さ"を取り戻したストライクガンダムを駆って、クルーゼ隊を退ける。しかし、この戦闘によって構造基部に甚大な損傷を被ったヘリオポリスは数時間後に崩壊してしまい、キラとその友人たちは、ともにアークエンジェルへと身を寄せることとなった……。

かくして、コズミック・イラ※29の終わらない明日が始まった。



用語解説

※21 プラント
「プラント」とは、宇宙空間に人類が居住するための人工天体施設の名称。旧世代のものが「スペースコロニー」と呼ばれていたのに対して、新世代の施設としてのニュアンスが盛り込まれている。P.L.A.N.T.……Productive Location Ally on Nexus Technology「プロダクティブ・ロケーション・アレイ・オン・ネクサス・テクノロジー」
「プラント」とは、上の言葉の頭文字をつなげた語。意味としては、「結合的テクノロジーによる生産的配列集合体」。宇宙空間における、先進的なテクノロジーの集約によって実現した、生産拠点であり、その要員もまた先進的なテクノロジーの所産であることを意味に含めている。また「アレイ」という言葉を含めることで、「プラント」は最初からその語の中に複数の施設が集合して活動しているという意味がこめられている。

※22 ユニウスセブン
開戦と同時に連合軍の核攻撃を受けて20万を越える住民が虐殺されたプラント。「血のバレンタイン」の舞台となった施設であり、コーディネイターとナチュラルの対立の象徴となっている。残骸はL5軌道からはずれ、デブリベルトを漂流している。

※23 ニュートロンジャマー
ザフトによって開発された核分裂反応抑制装置のこと。また、その作用や効果のことも指す。いわゆる「血のバレンタイン」の報復としてザフトが宇宙空間へ散布し、地球にもそのデバイスを地中深く撃ち込んだ。そのデバイスの影響下では、自由中性子の動きが阻害され、核物質は連鎖反応を起こすことができなくなるほか、通信も阻害される。このため、原子力発電に依存していた地球連合各国は深刻なエネルギー危機に陥った。Nジャマーとも表記する。

※24 ヤキン・ドゥーエ
資源採掘用の小惑星を軍事要塞としたもので、ザフトはここに多数の兵力を配置し、プラントの最終防衛ラインとして運用している。また、ザフト軍の秘密兵器であるジェネシスの制御基地としても使われる。ちなみに「ヤキン」とは、ソロモン神殿の青銅製の2本の円柱に由来する。右側の柱は「ヤキン(確立)」を、左側の柱は「ボアズ(力)」を意味する。このふたつが結合することで「安定」が生じるとされている。「ドゥーエ(Due)」は伊語で「2」の意。



用語解説

※25　サイクロプス
地球連合軍アラスカ基地の地下に設置されていた兵器で、ザフトによる大規模な侵攻作戦「オペレーションスピットブレイク」に対抗すべく使用され、防衛任務についていた友軍ごとザフトの侵攻部隊を殲滅した。その原理はマイクロ波で生体内の水分を急速に加熱するというもので、有効範囲内にいる生物をすべて破壊する。もとは月面においてレアメタルの混入した氷を融解させる採掘用の設備であったが、月面のグリマルディ戦線でも使用されたことがある。

※26　モルゲンレーテ
オーブ連合首長国の国営企業だが、必ずしもオーブ政府の意向にのみ従っているわけではなく、連合各国からの投資実績も多い。連合による「G計画」に参画したのは、独自にMSを開発しようとの思惑もあったためであった。本社はオノゴロ島にあり、GAT-Xシリーズとは浅からぬ因縁を持つ。

※27　アークエンジェル
ヘリオポリスで建造された強襲機動特装艦の一番艦。本来はMSの運用や陽電子破城砲の運用試験や新規の戦術を策定するための実験艦であった。ザフトによるGシリーズ強奪の混乱のさなか、成り行きで実戦投入され、以降各地を転戦することになる。

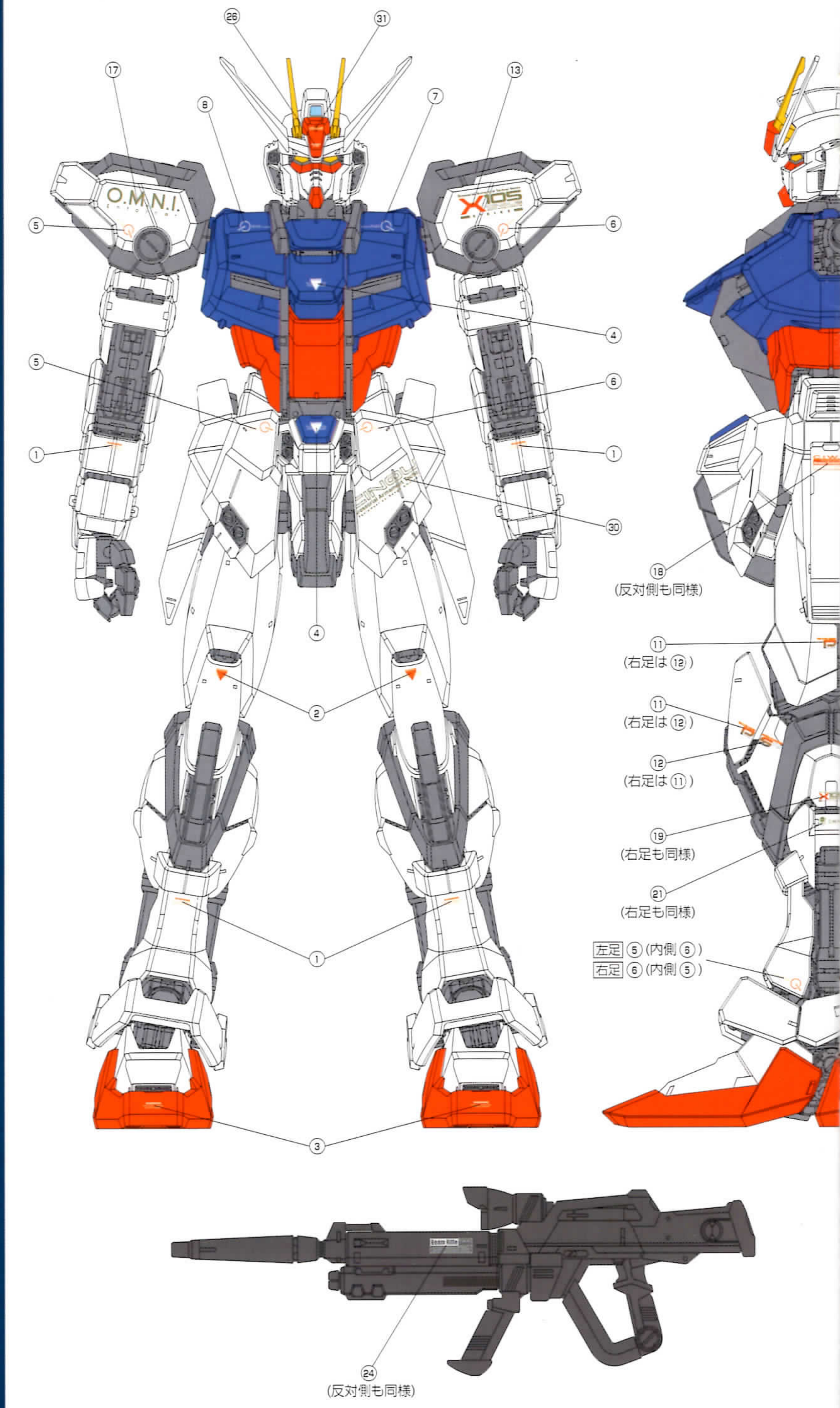
※28　ガンダム
G.U.N.D.A.M.=General Unilateral Neuro-Link Dispersive Autonomic Maneuver Synthesis System=単方向の分散型神経接続によって自律機動をおこなう汎用統合性システムという名称のMS用OSのこと。ヘリオポリスで建造されていたGAT-Xシリーズに共通のもので、キラ・ヤマトはこの頭文字からストライクのことを「ガンダム」と呼んでいるが、GAT-Xシリーズの総称は「G兵器」または「Xナンバー」であり、固有の名称はそれぞれストライク、イージス、ブリッツ、バスター、デュエルである。

※29　コズミック・イラ
旧世紀末に勃発した世界規模の戦争のさなか、中央アジア戦線（カシミール地方）において核兵器が使用された。これを機に、世界中で戦争終結の気運が高まり、核の使用からおよそ9年後に戦争は終結。大西洋連邦、ユーラシア連邦、アジア共和国などが成立したのに伴い、国連主導のもと、統一暦が採用されることとなり制定された。元年は「最後の核」が使用された年に設定されている。表記は「C.E.」。

マーク指定位置

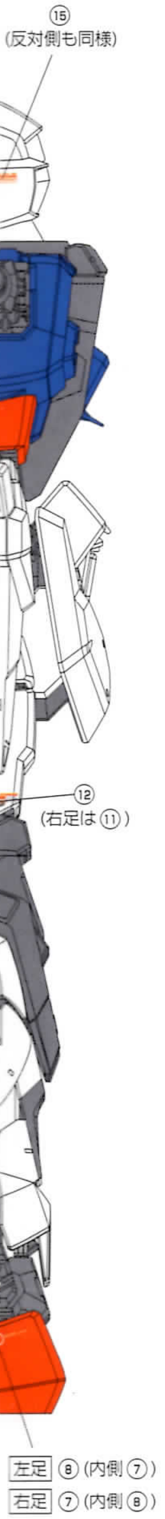
GAT-X105 STRIKE GUNDAM

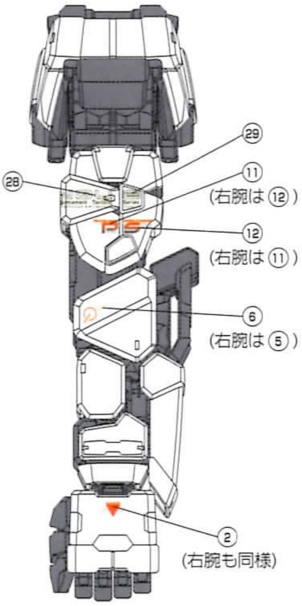
※下のイラストに指示の無いシールは好みの場所に貼ってください。
※○数字は、シールの番号です。

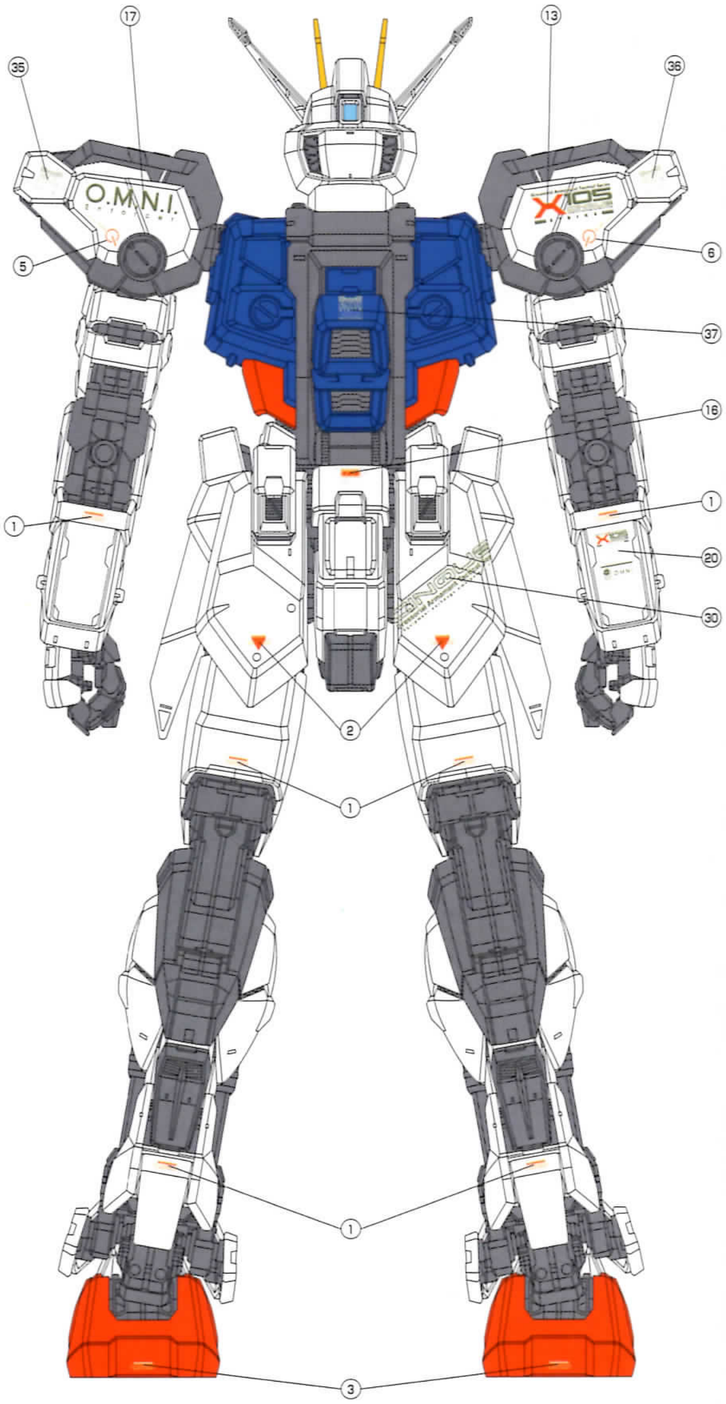


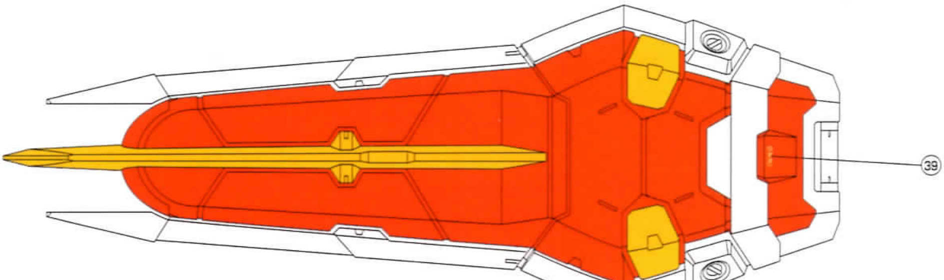
※マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、透明な余白をあらかじめ切り取ってお貼り下さい。
曲面等へ貼りこむ場合には、切り込みを入れる等をするとよいでしょう。

このマーキングシール指示は一例です。イメージに合わせてお貼りください。



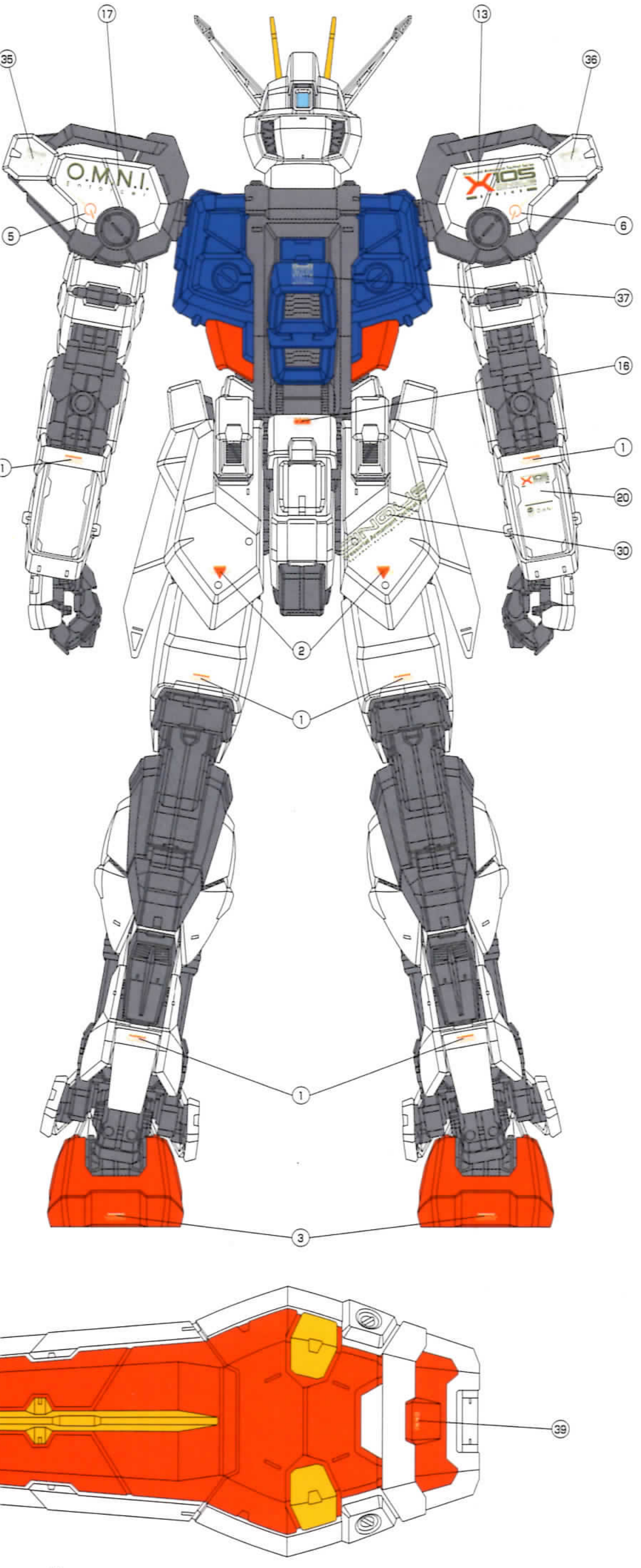






をあらかじめ切り取ってお貼り下さい。
ょう。
ください。

MARK LOCATION





©創通エージェンシー・サンライズ・毎日放送



PERFECT GRADE

GAT-X105 STRIKE GUNDAM

Ver.1.0

BANDAI

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

CONSTRUCTION MANUAL

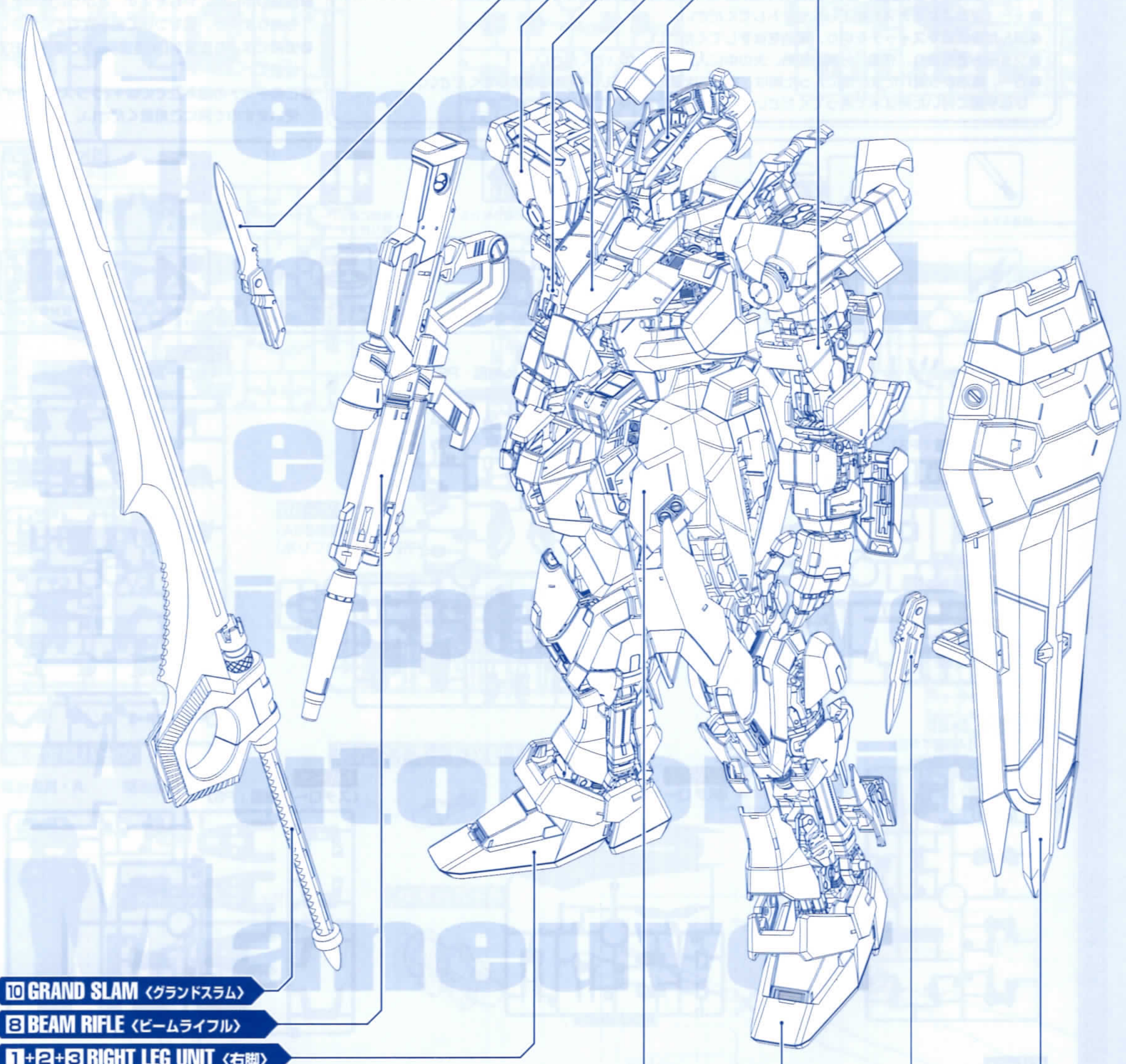


GAT-X105 STRIKE GUNDAM

STRIKE GUNDAM

O.M.N.I. ENFORCER MOBILE SUIT GAT-X105

ASSEMBLE INDEX



⚠ 注　意

必ずお読みください

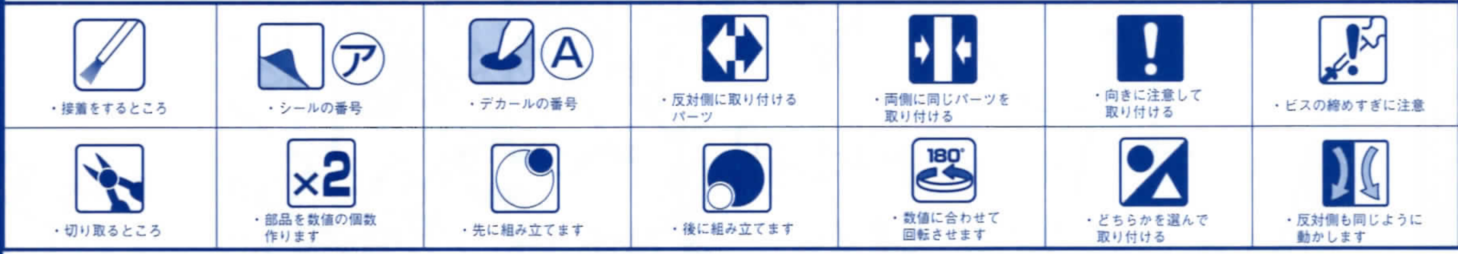
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品、電池(別売り)を口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところに保管し、お子様には絶対に与えないでください。

《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

- +−（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- 遊んだ後は必ずスイッチを切り、電池をはずしてください。
- ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入った時は、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひふや服に付いた時は水で洗ってください。

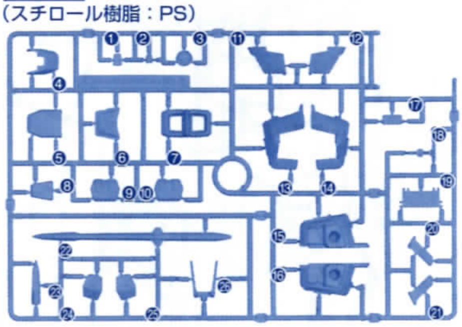
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に必ずお読みください。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取ってください。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- このキットの組み立てには+(プラス) ドライバーを使いますので別にご用意ください。

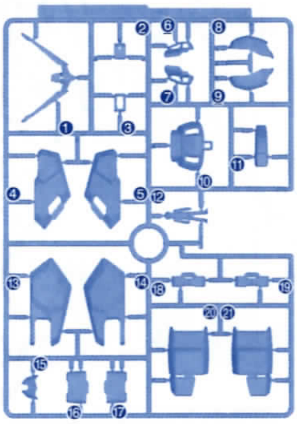


パーツリスト

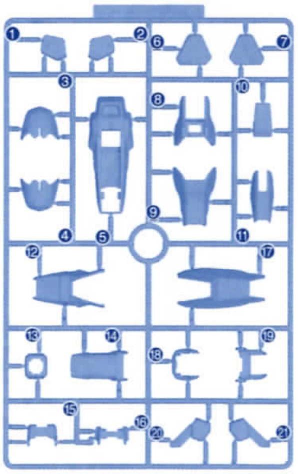
Aパーツ
(スチロール樹脂：PS)



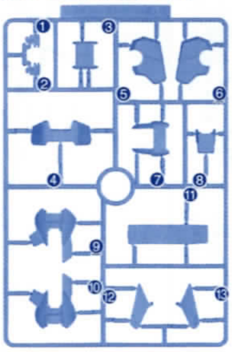
Bパーツ
(スチロール樹脂：PS)



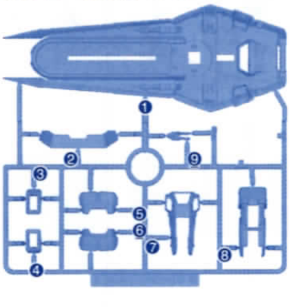
Cパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)



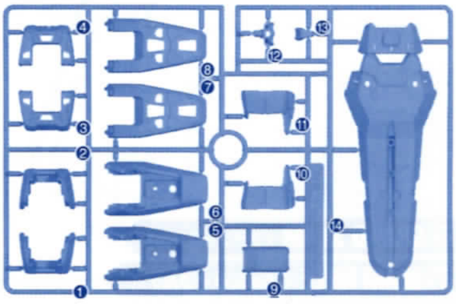
Dパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)



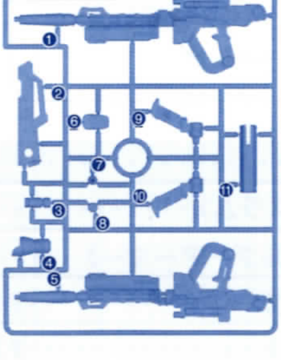
Eパーツ
(スチロール樹脂：PS)



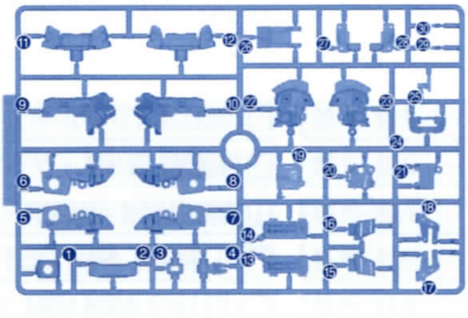
Fパーツ
(スチロール樹脂：PS)



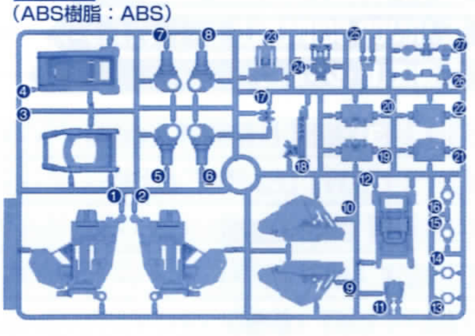
Gパーツ
(スチロール樹脂：PS)



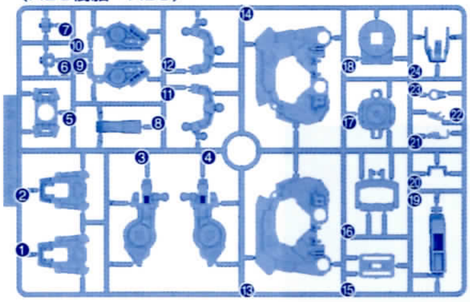
Hパーツ
(ABS樹脂：ABS)



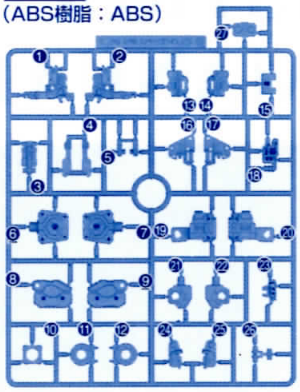
Iパーツ
(ABS樹脂：ABS)



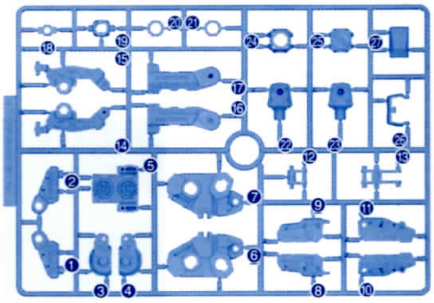
Jパーツ
(ABS樹脂：ABS)



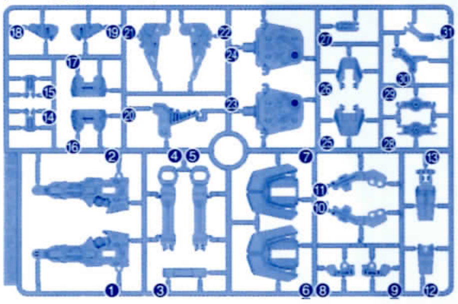
Kパーツ (×2)
(ABS樹脂：ABS)



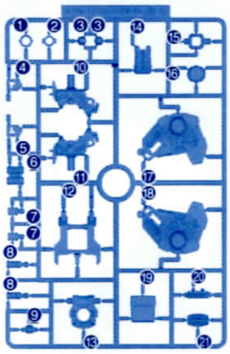
Lパーツ (×2)
(ABS樹脂：ABS)



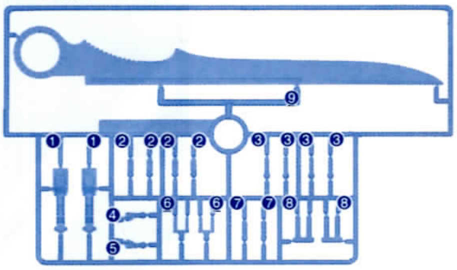
Mパーツ (×2)
(ABS樹脂：ABS)



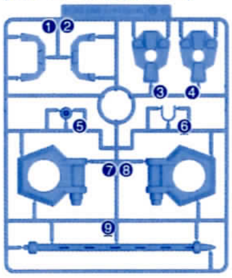
Nパーツ (×2)
(ABS樹脂：ABS)



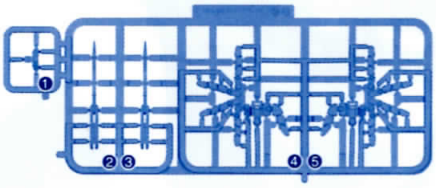
Oパーツ
(ABS樹脂：ABS)



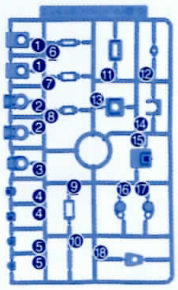
Pパーツ
(スチロール樹脂：PS)



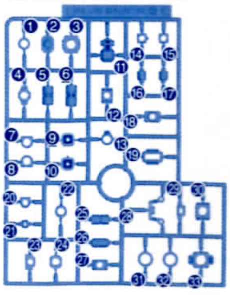
Rパーツ
(ABS樹脂：ABS)
(ポリプロピレン：PP)



Sパーツ
(ポリエチレン：PE)



Tパーツ (×2)
(ポリエチレン：PE)



電池金具パーツ

電池金具・A



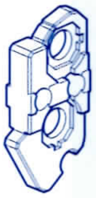
電池金具・B



発光ダイオード(YELLOW)



ダイカストA (×2)

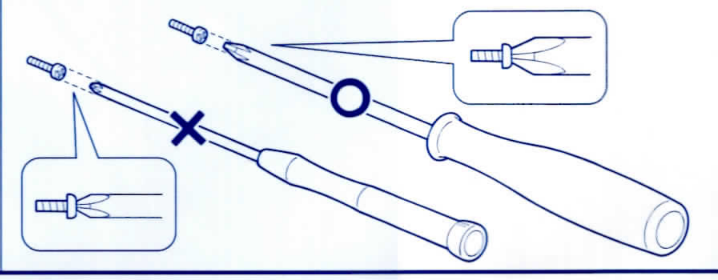


ダイカストB



- ●ビスTP2×6…1
- ●マーキングシール…1

※発光ダイオード(YELLOW)を点灯させたい方はボタン電池(CR1220 (1個)・別売り)をご使用ください。



《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書**(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)**にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く)10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

■申し込み先　〒424-8735 静岡県静岡市清水西久保305
(株)バンダイ静岡相談センター　TEL0543-65-5315

《料金表》●部品代は1個の料金です。

部品番号	組立説明書	解説書	E❶	F⓮	O❾	R❹・❺	電池金具・AB	発光ダイオード	ダイカストAB	マーキングシール	ビス	その他の部品
部品代	200円	300円	100円	100円	150円	各100円	各40円	300円	各100円	40円	10円	各40円
郵送料	200円	200円	140円	140円	140円	120円	120円	120円	120円	80円	80円	120円

For Japanese use only.

(部品注文カード)　'04.11/0131413-14000

1/60 SCALE　パーフェクトグレード
GAT-X105 ストライクガンダム

必要な部品の記号・番号・数量を書く

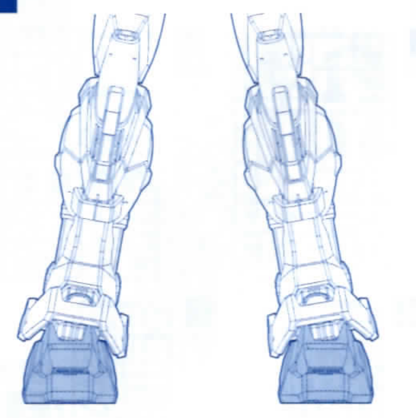
●注文された理由(○でかこむ)(こわした・なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号　・**年齢**
(　　-　　-　　)(　　才)

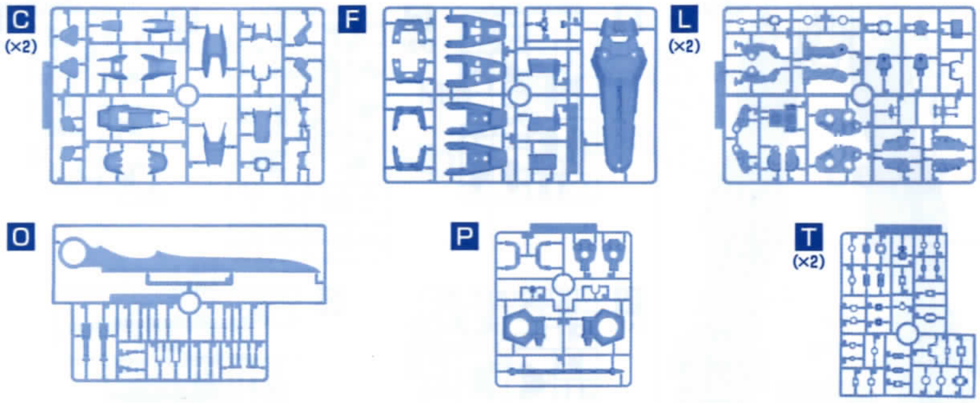
※コピー使用可

2004.11/T・ON

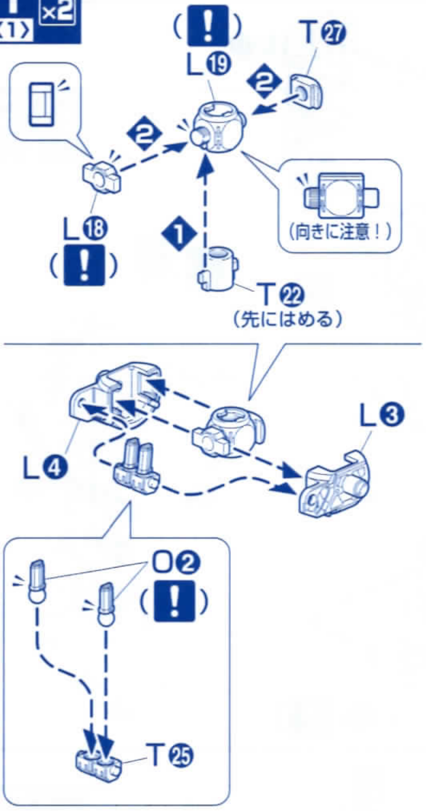
1



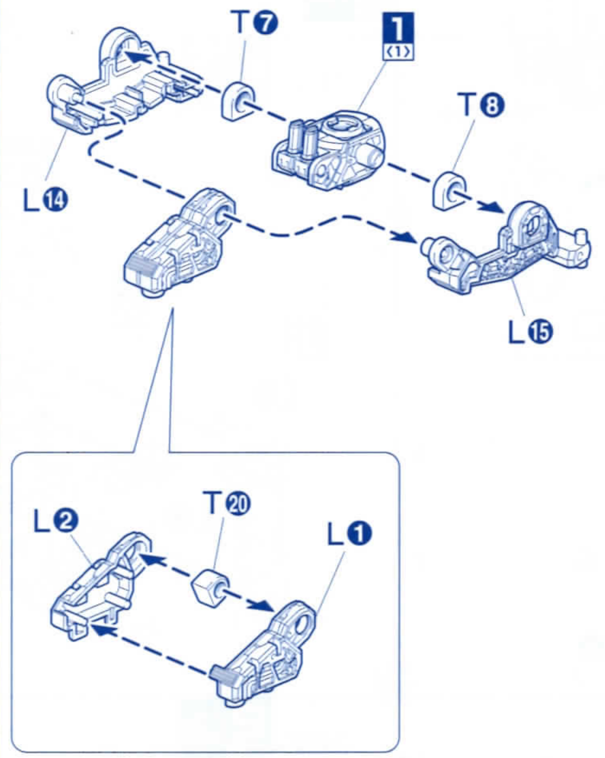
・組立 1 で使用するパーツ



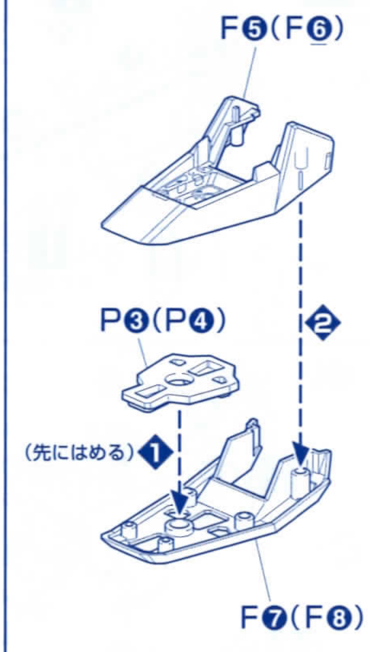
1 〈1〉 ×2



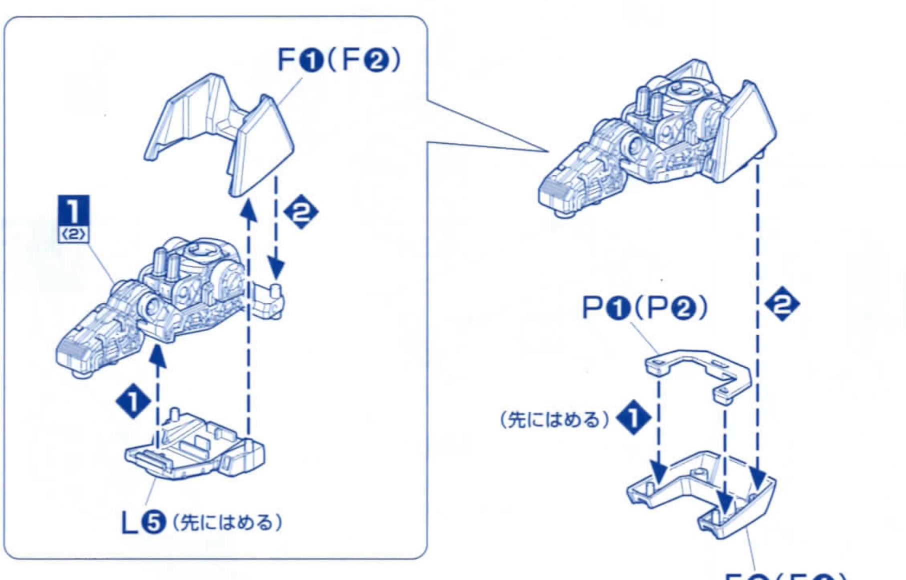
1 〈2〉 ×2



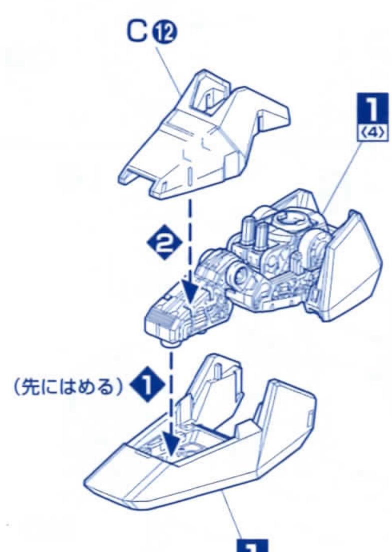
1 〈3〉 ×2



1 〈4〉 ×2

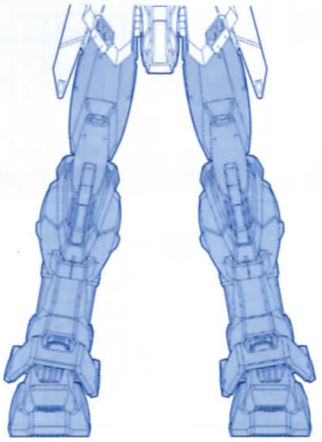


1 〈5〉 ×2

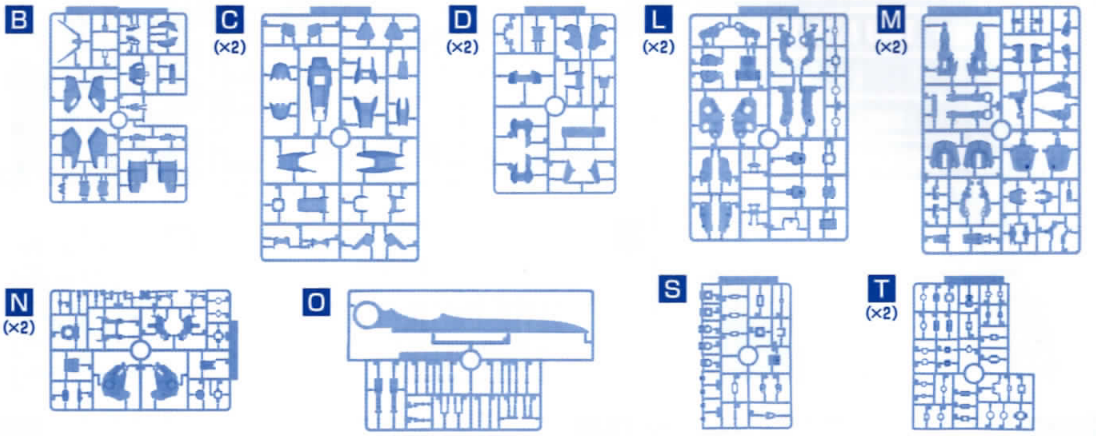


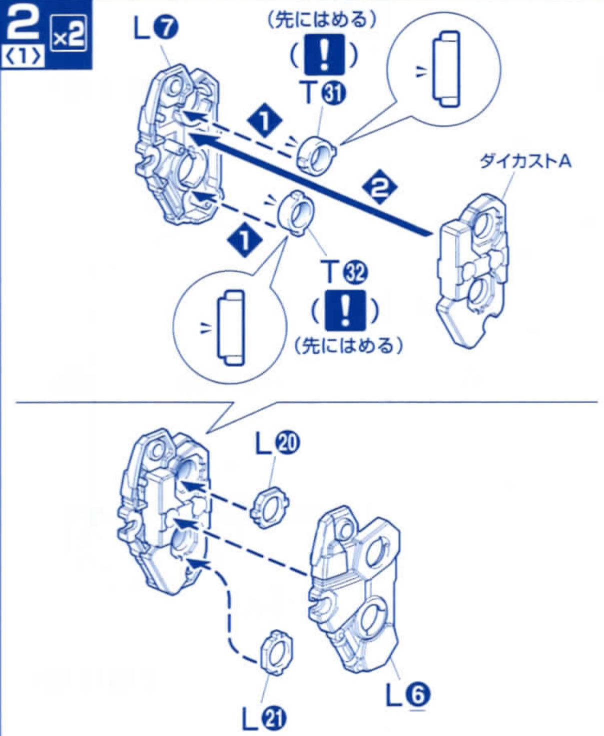
LEG UNIT ASSEMBLE

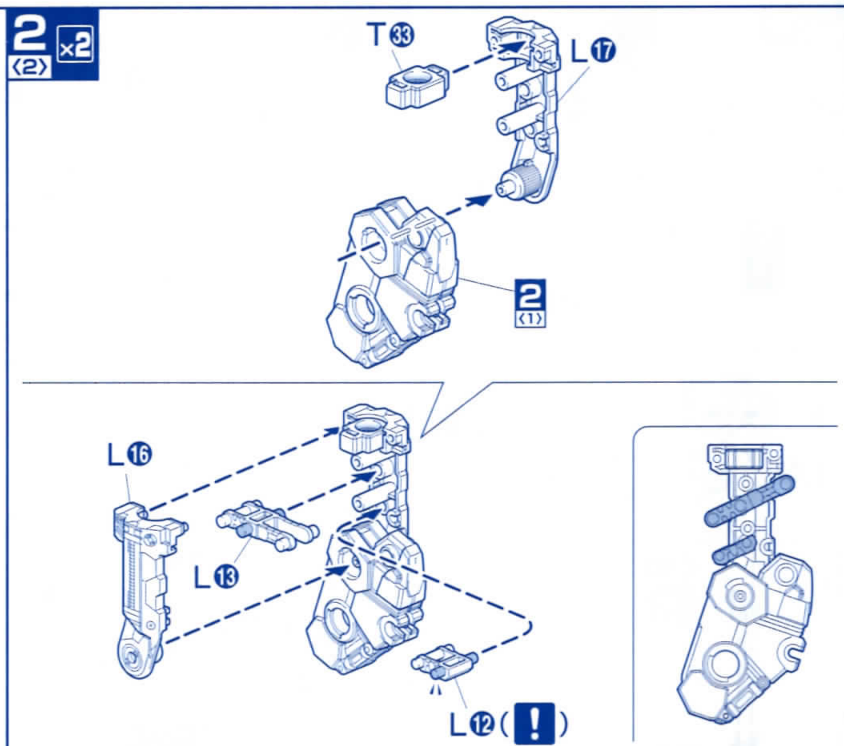
2～4

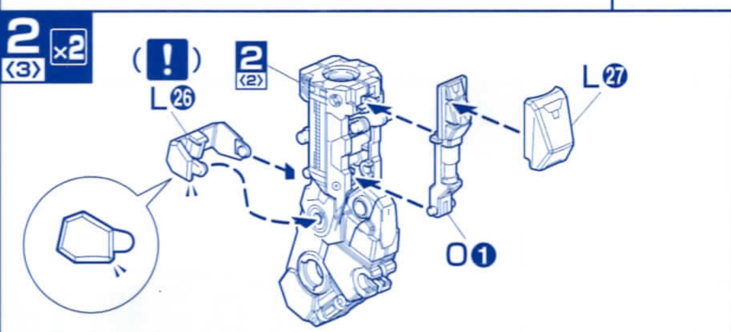


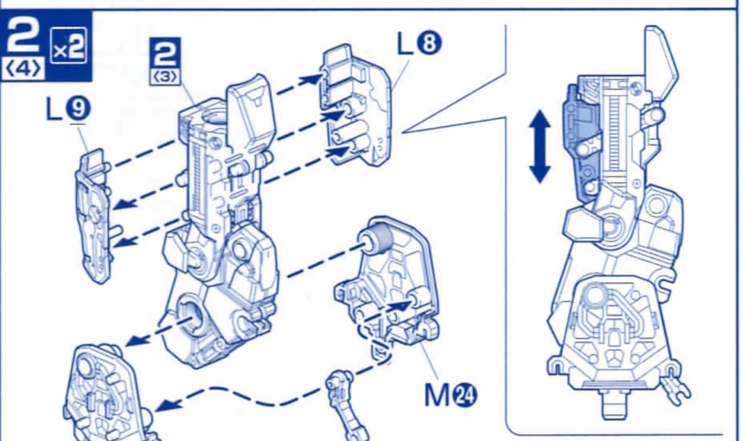
・組立2～4で使用するパーツ

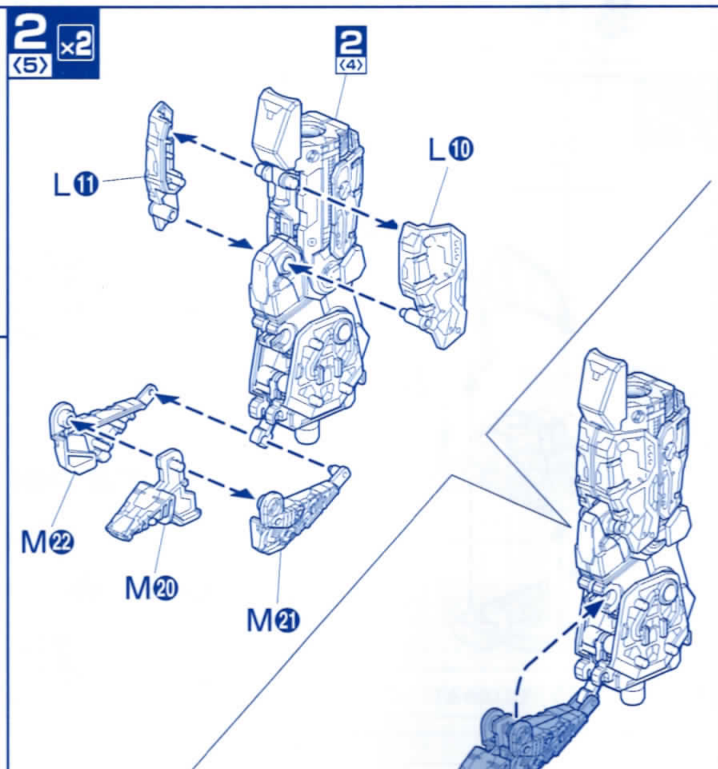




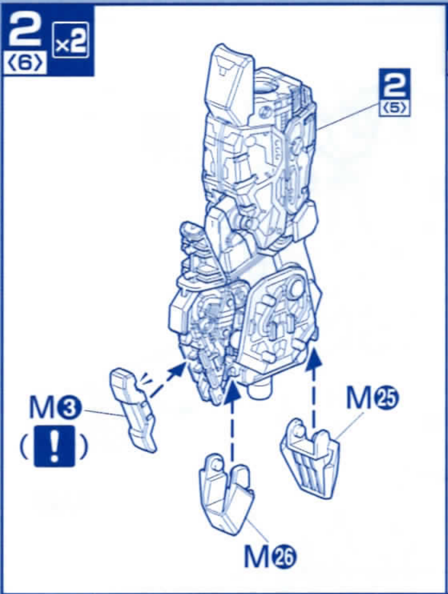


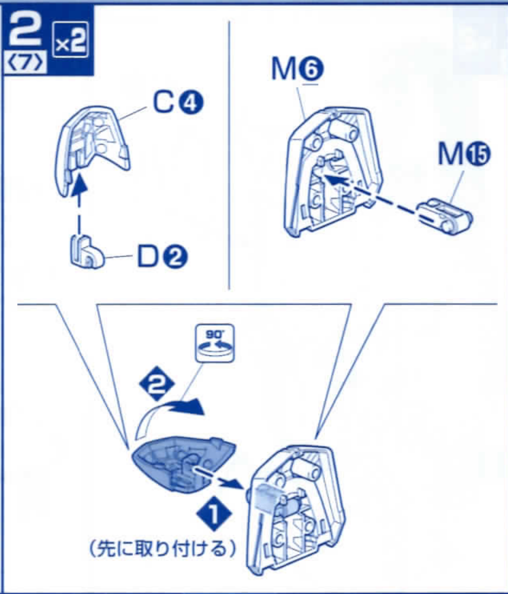


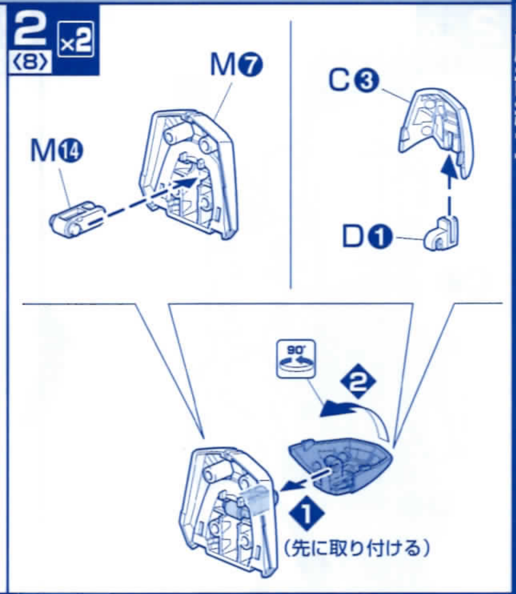


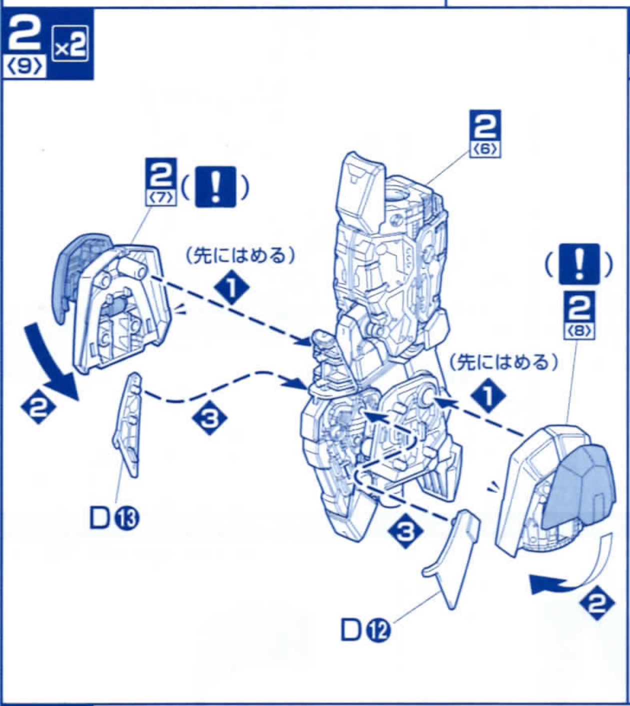


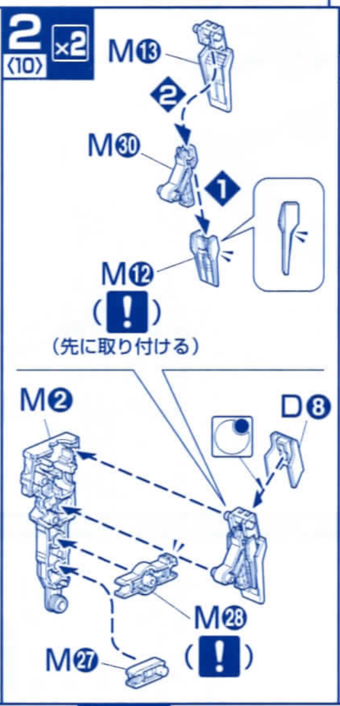
LEG UNIT ASSEMBLE

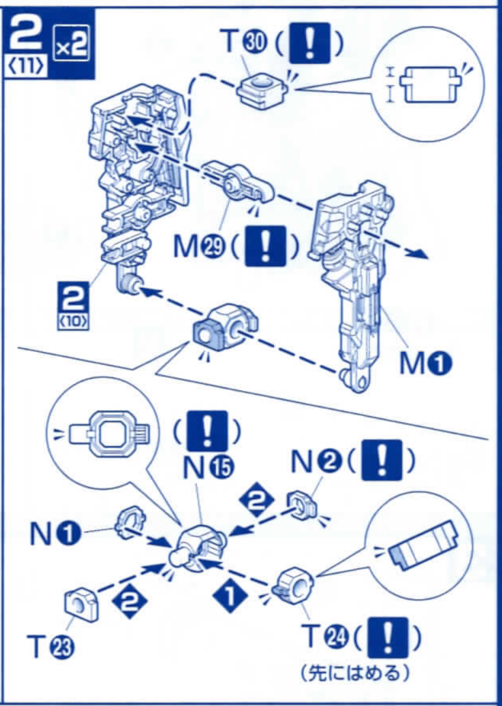


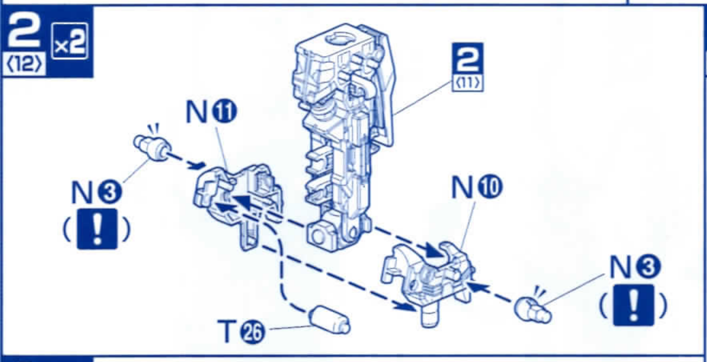


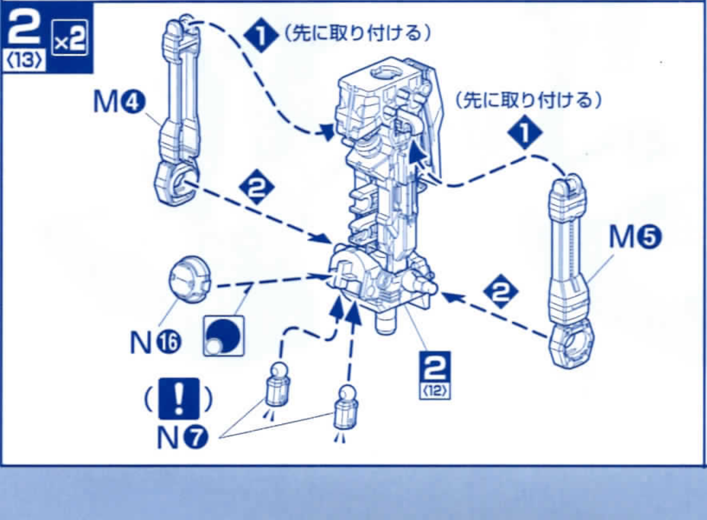


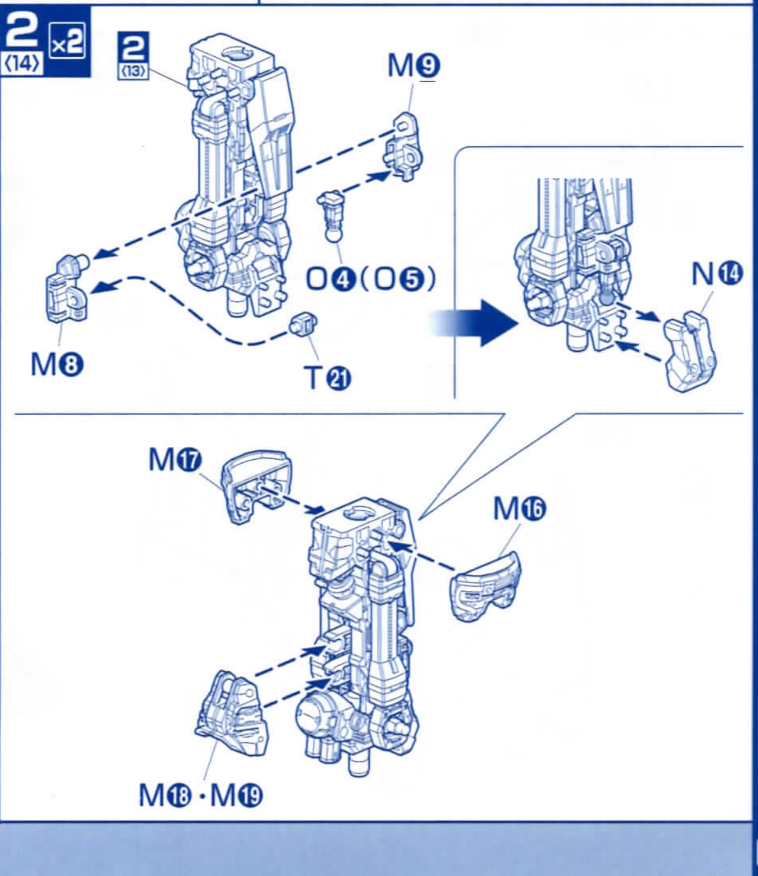








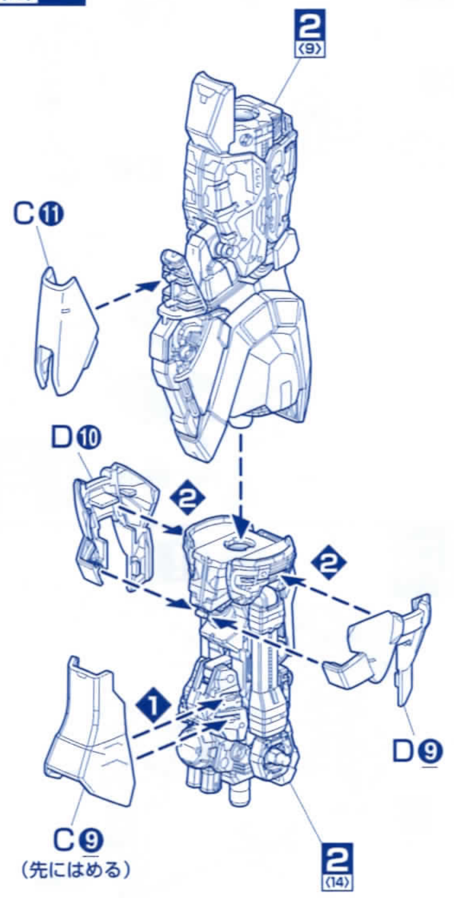




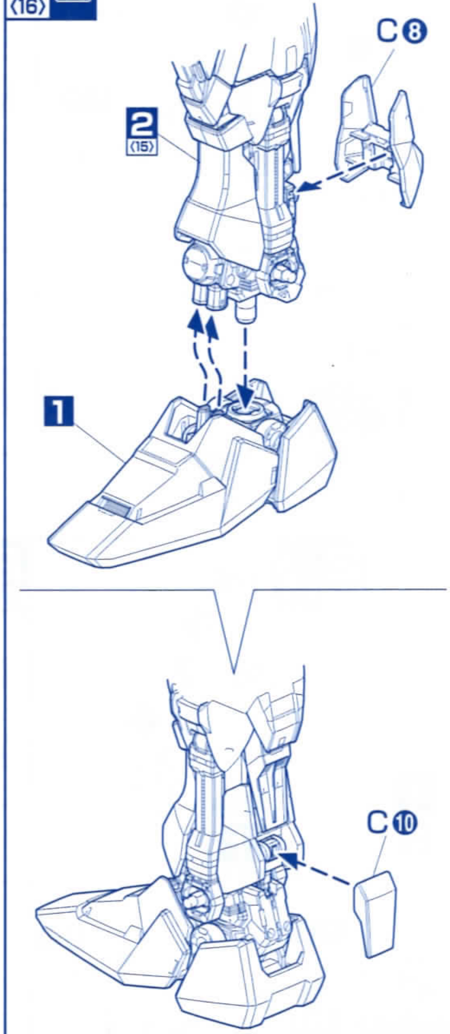
LEG UNIT ASSEMBLE

■脚部組立

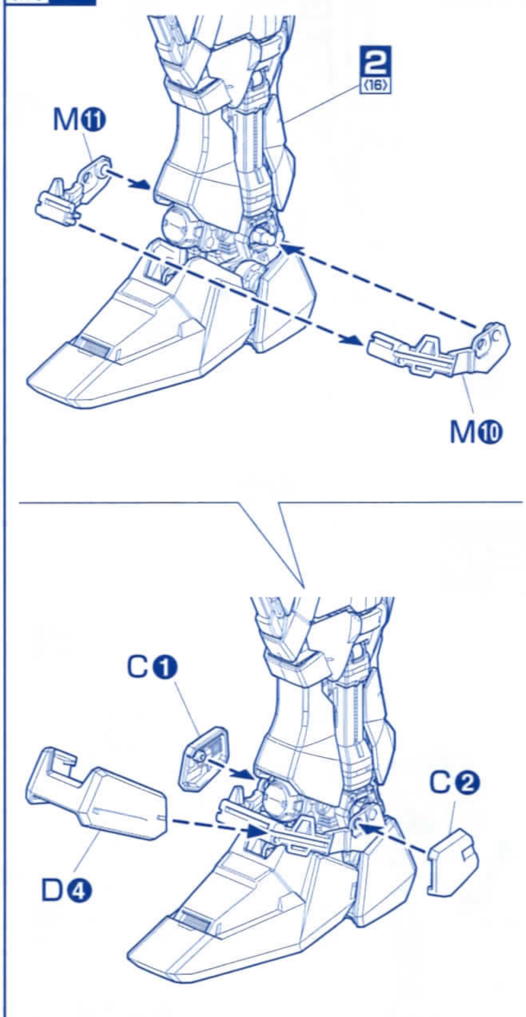
2 〈15〉 ×2



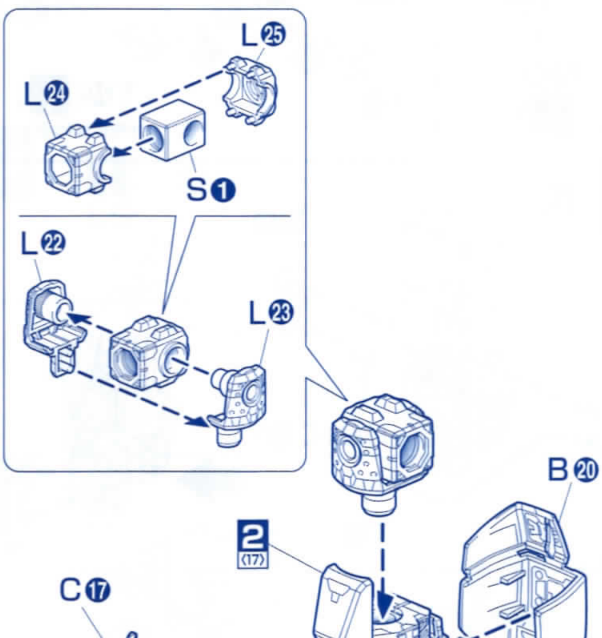
2 〈16〉 ×2

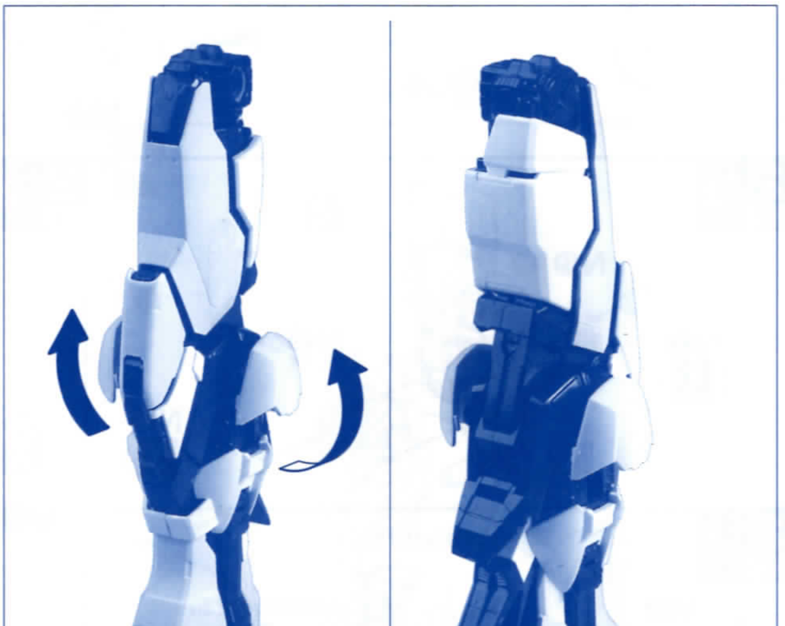


2 〈17〉 ×2



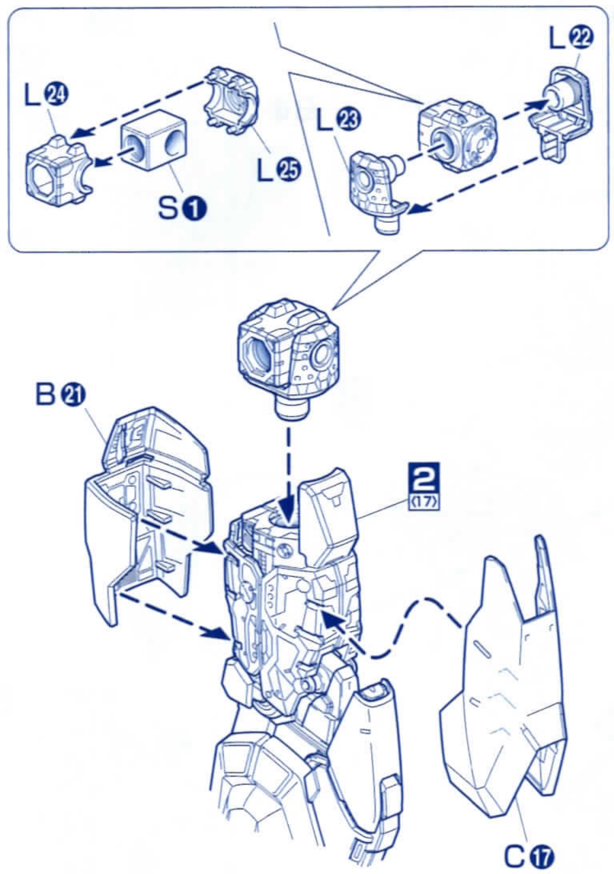
3

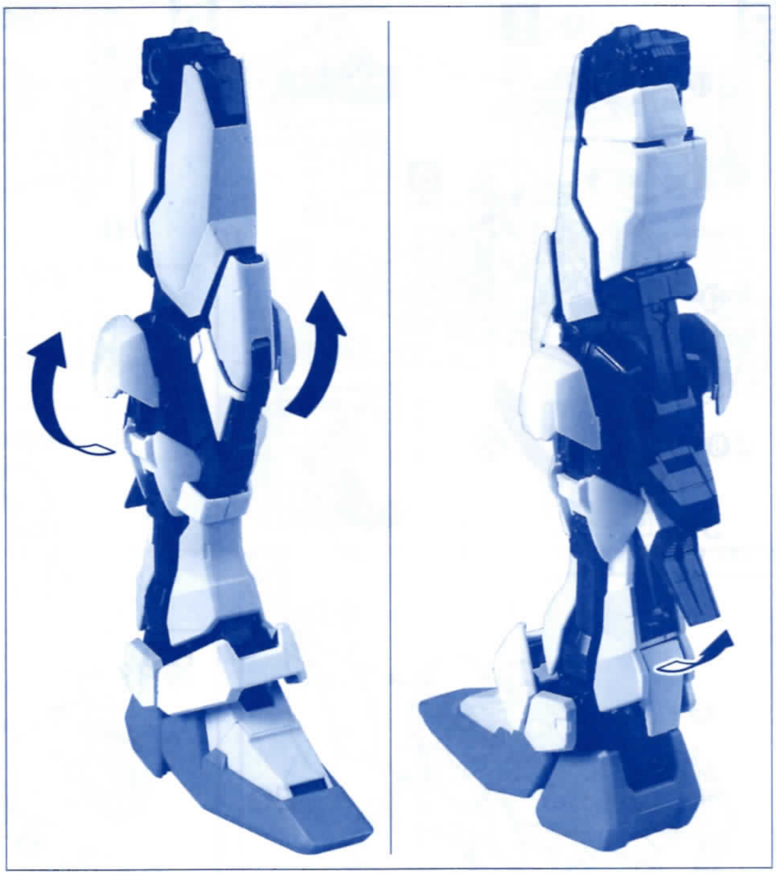




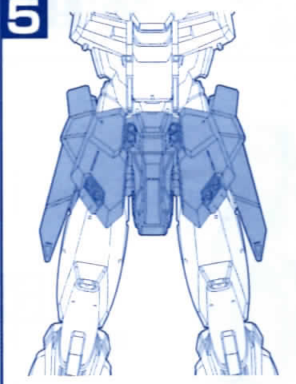
LEG UNIT ASSEMBLE

4

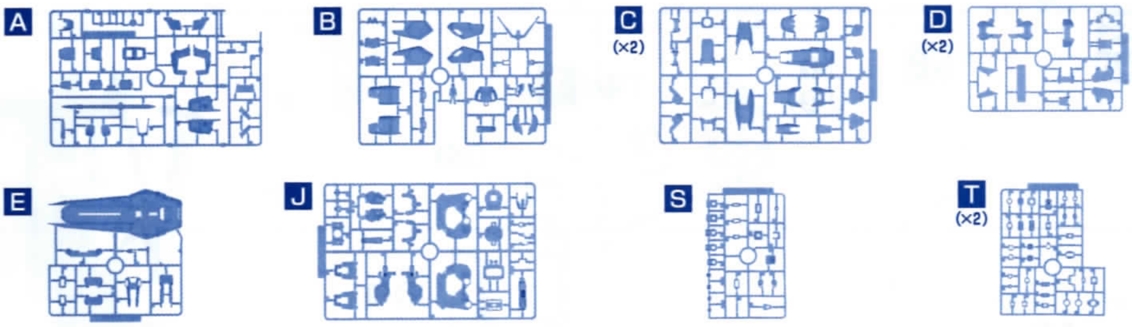




5



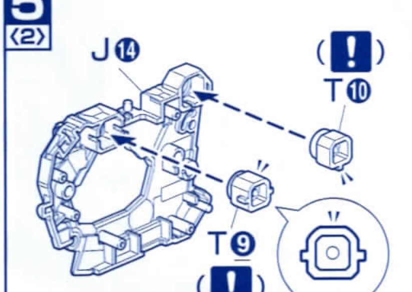
・組立5で使用するパーツ



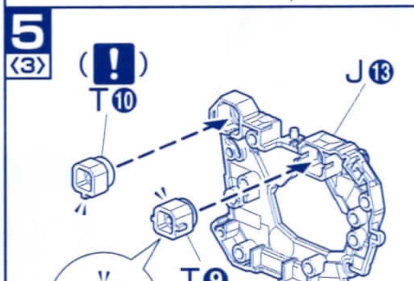
5〈1〉



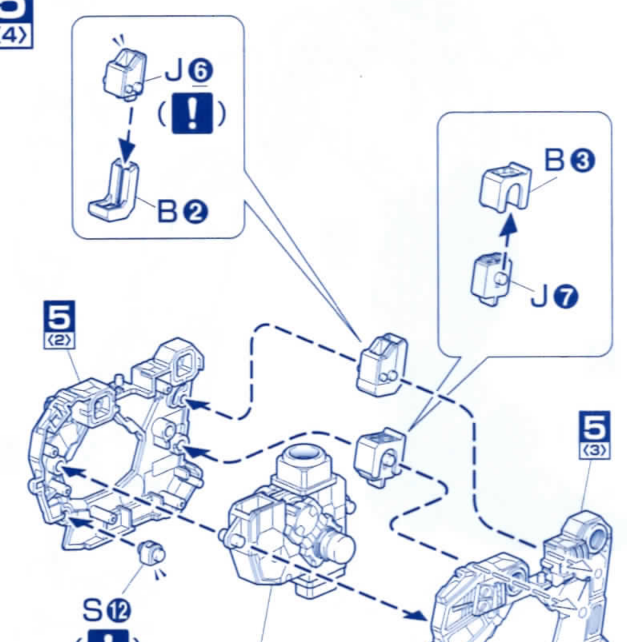
5〈2〉

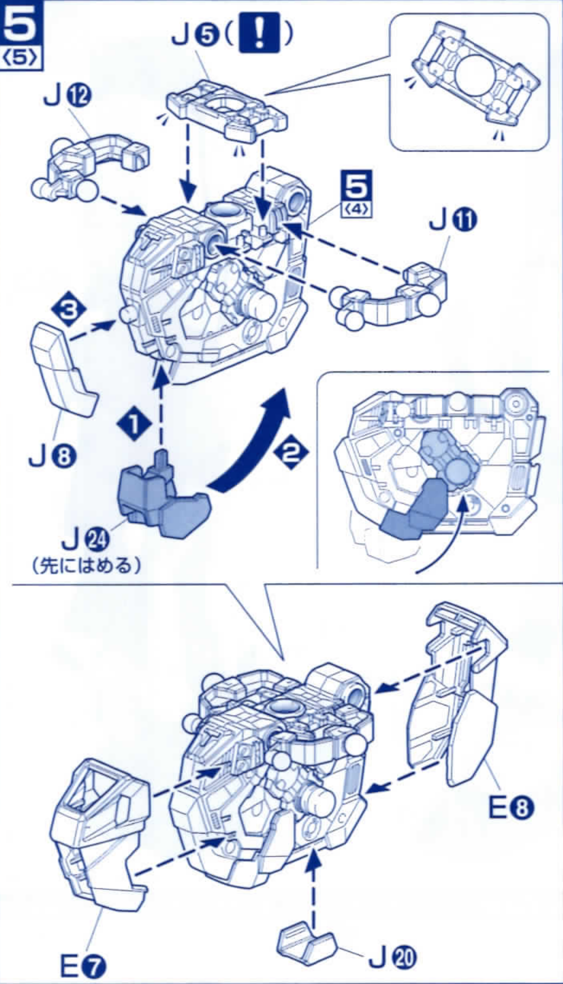


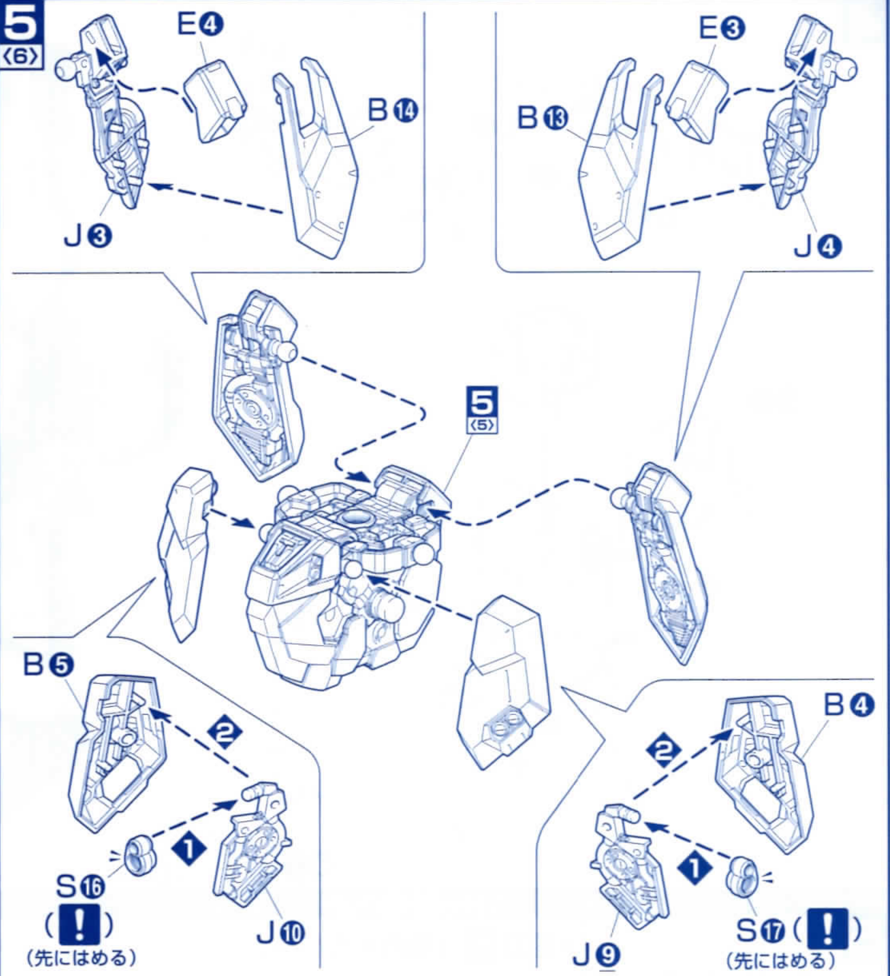
5〈3〉

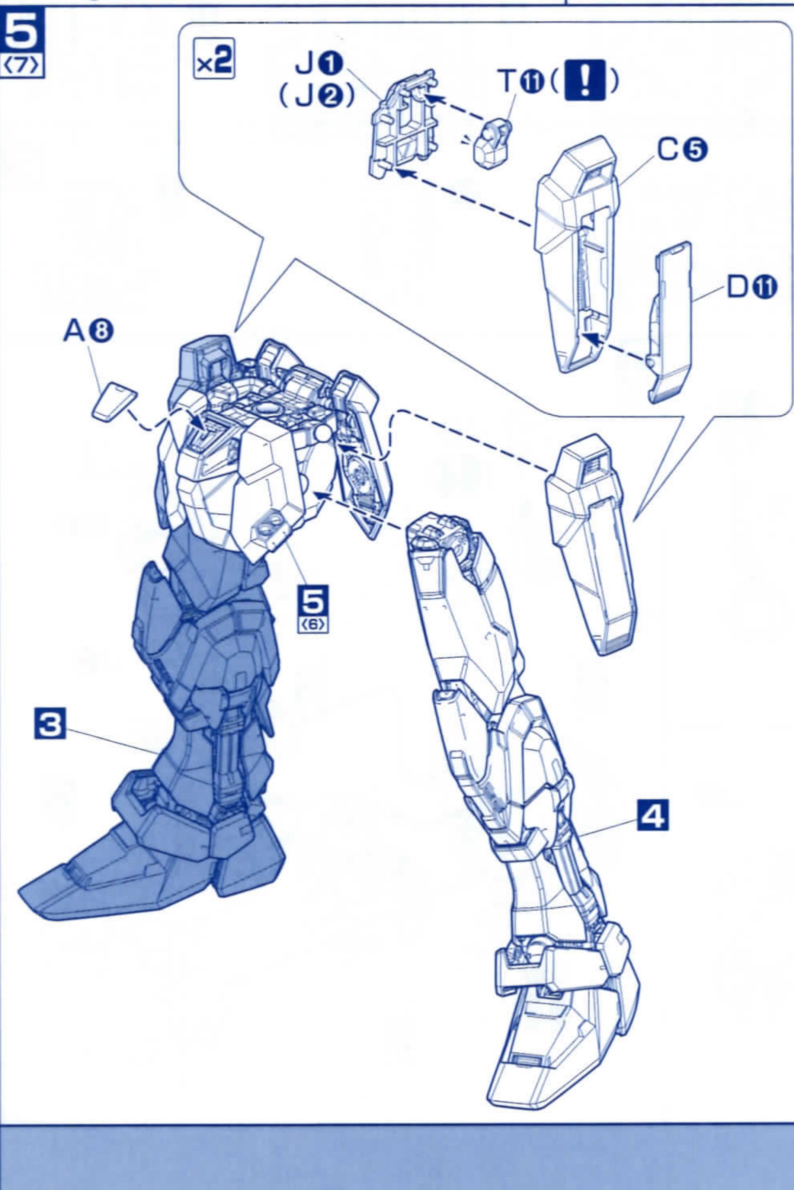


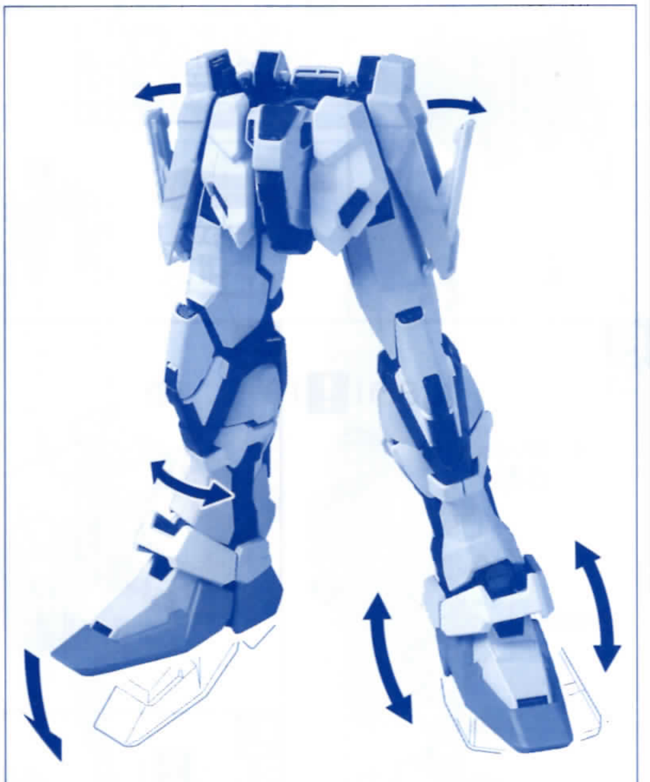
5〈4〉

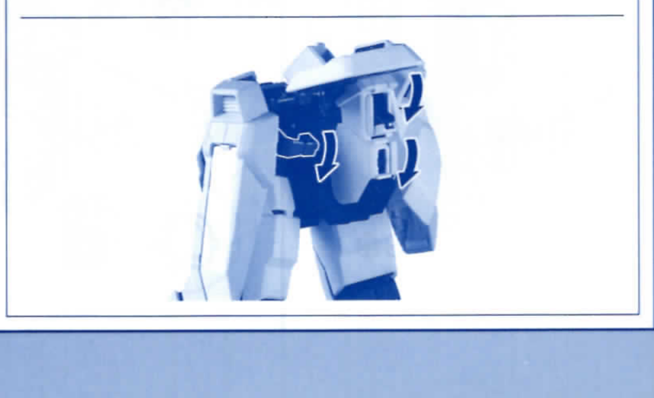






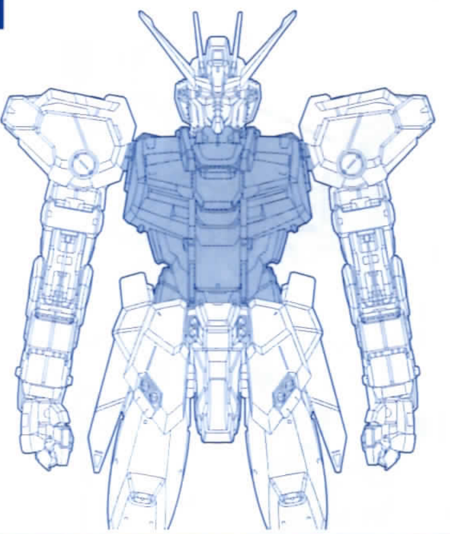




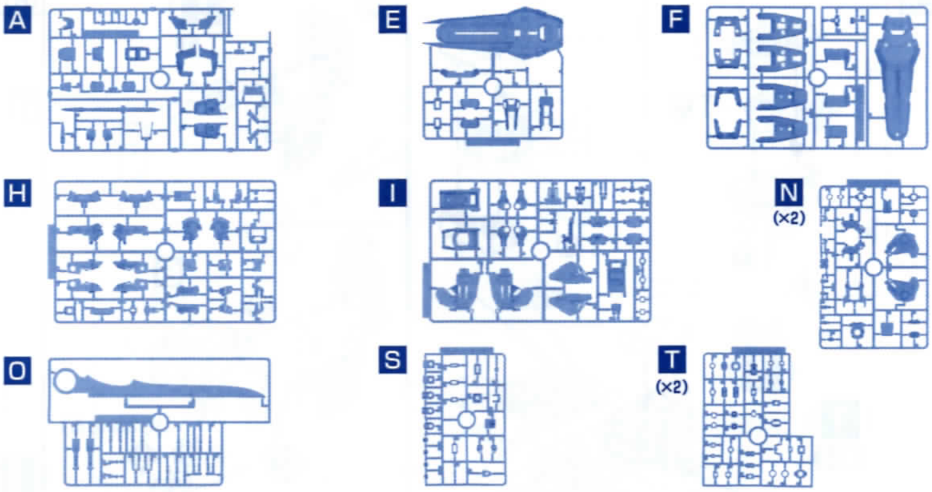


WAIST UNIT ASSEMBLE

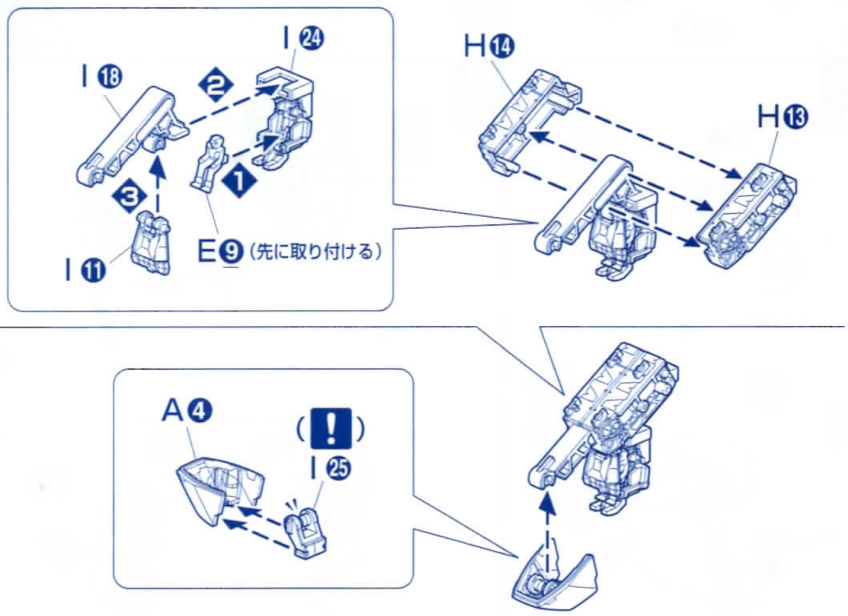
6



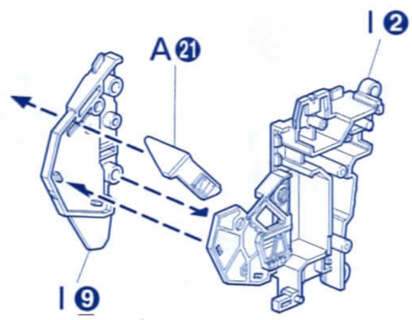
・組立6で使用するパーツ



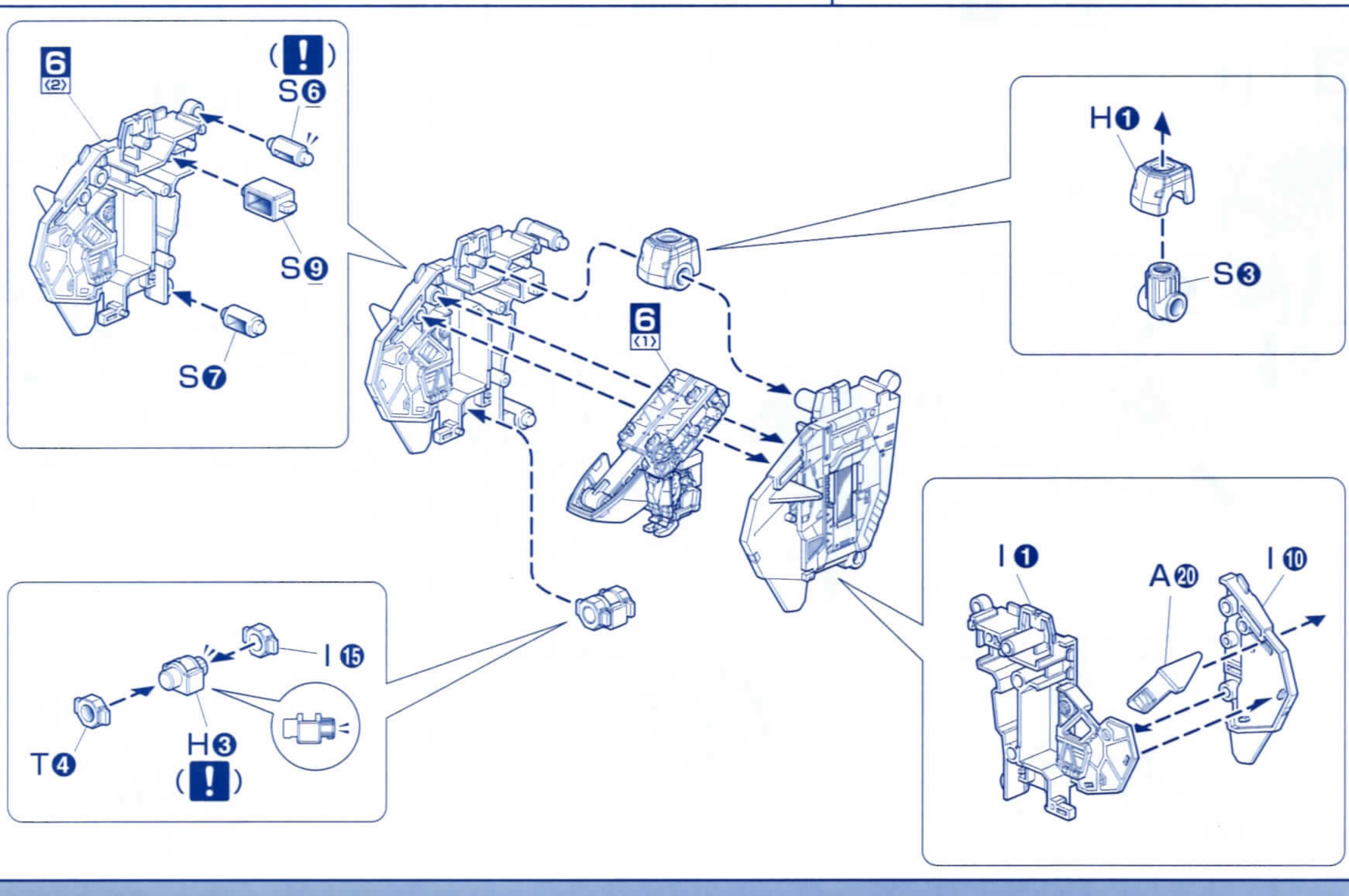
6 〈1〉



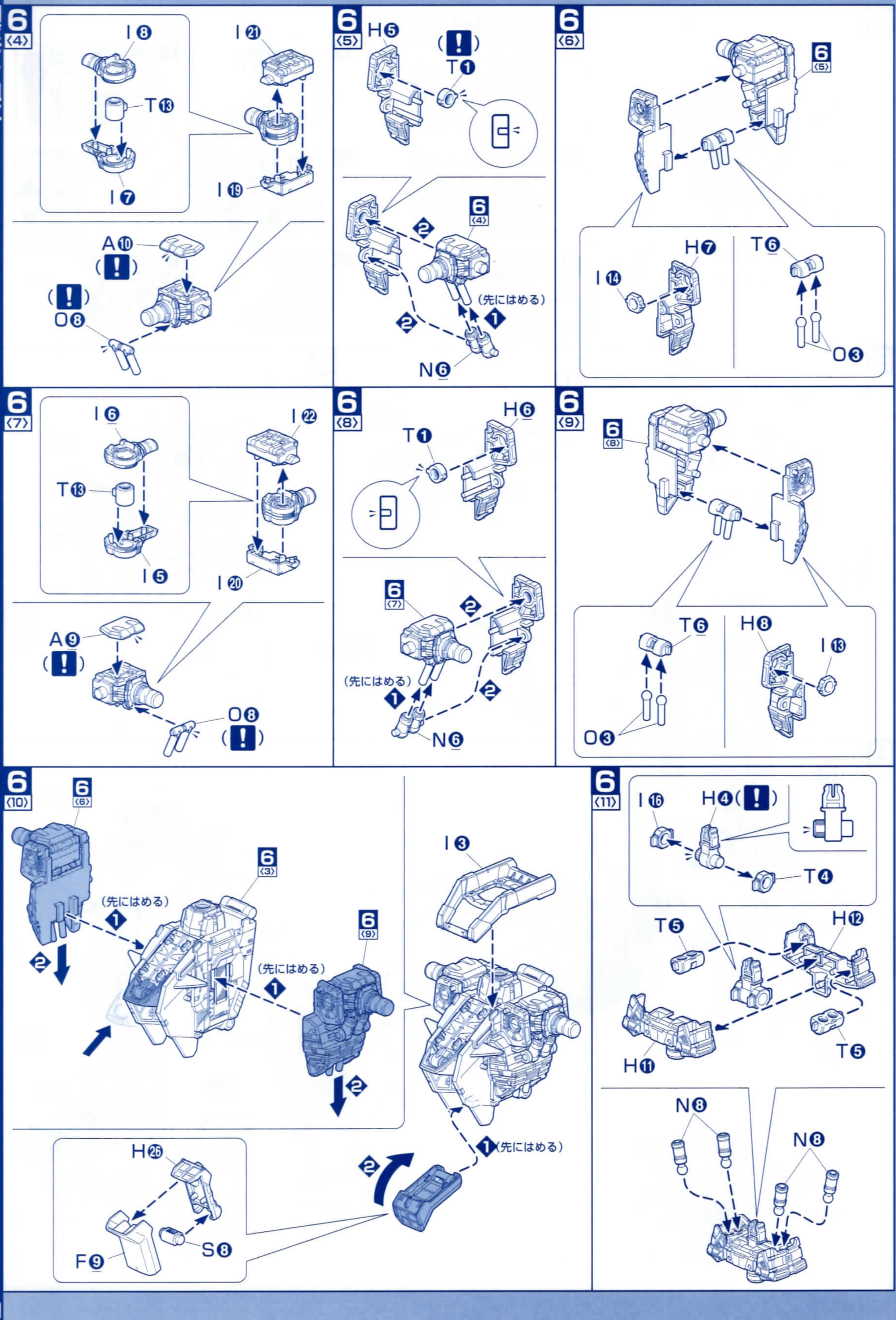
6 〈2〉



6 〈3〉

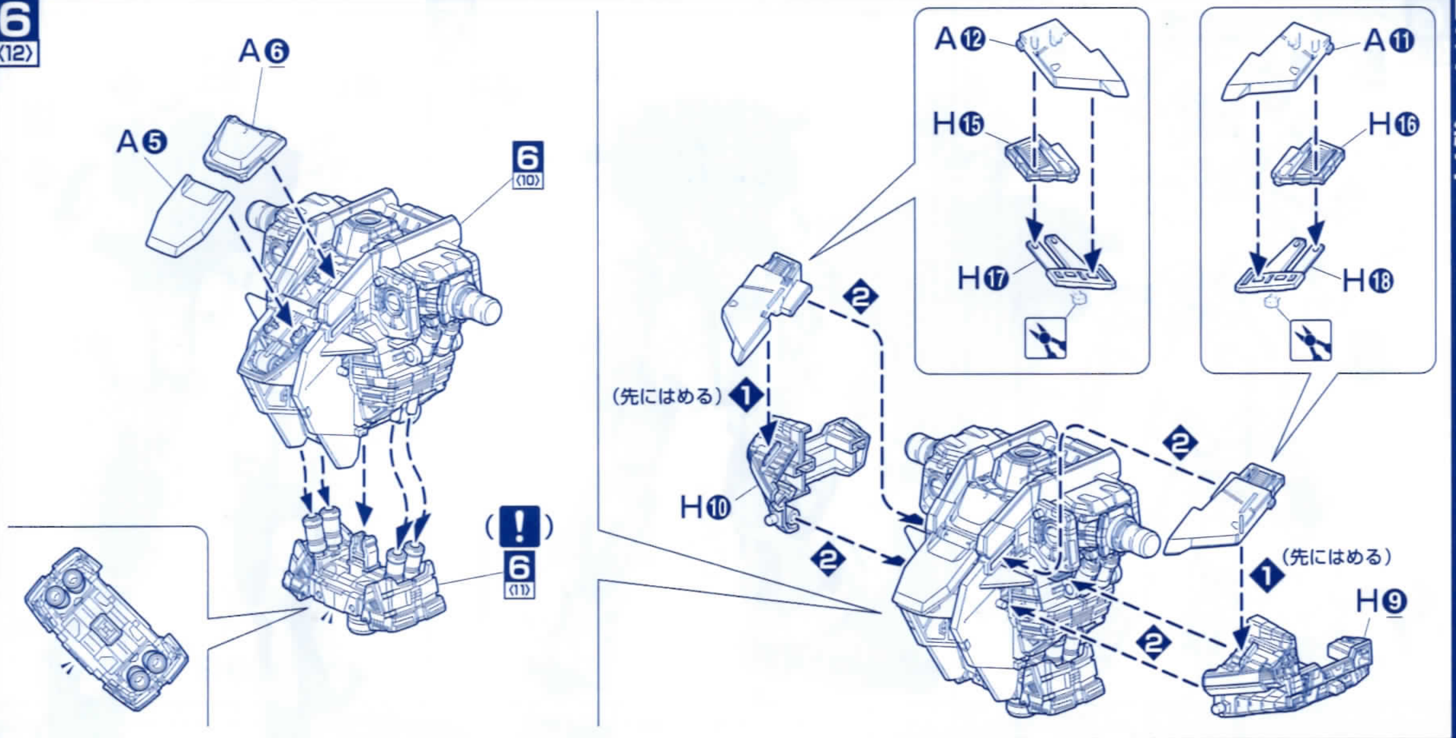


■ボディ組立

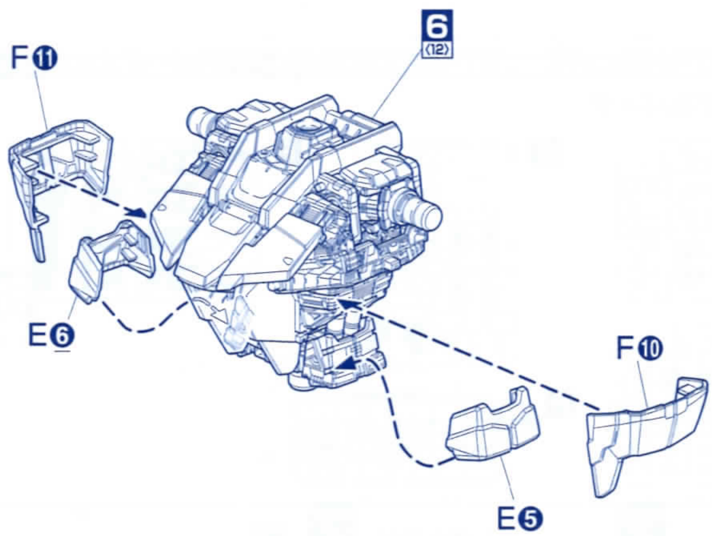


BODY ASSEMBLE

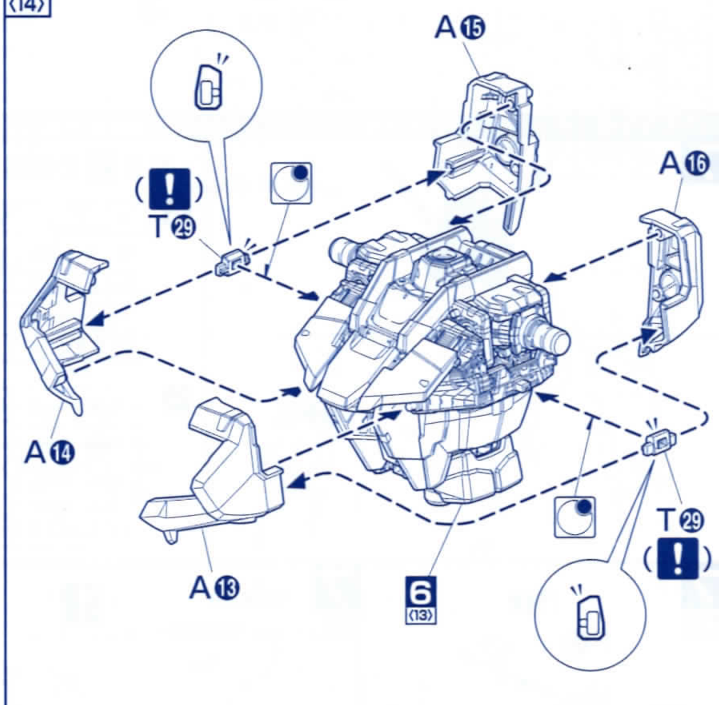
6 ⟨12⟩



6 ⟨13⟩



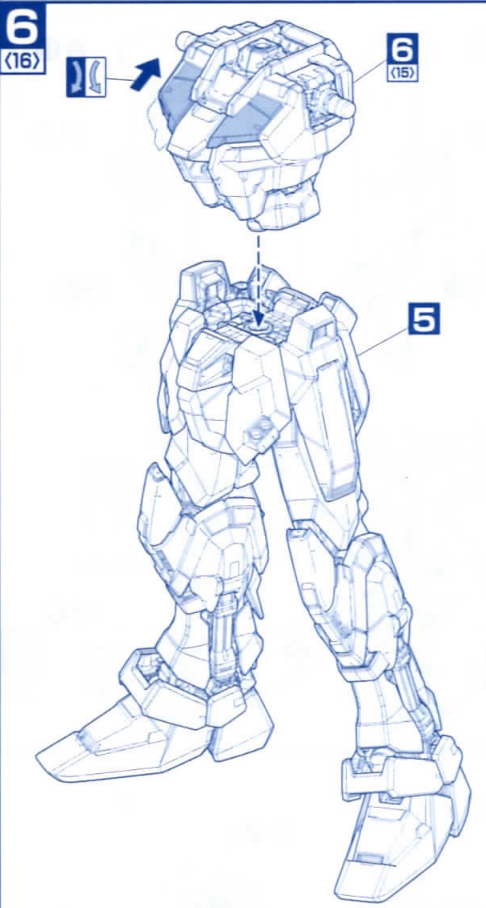
6 ⟨14⟩



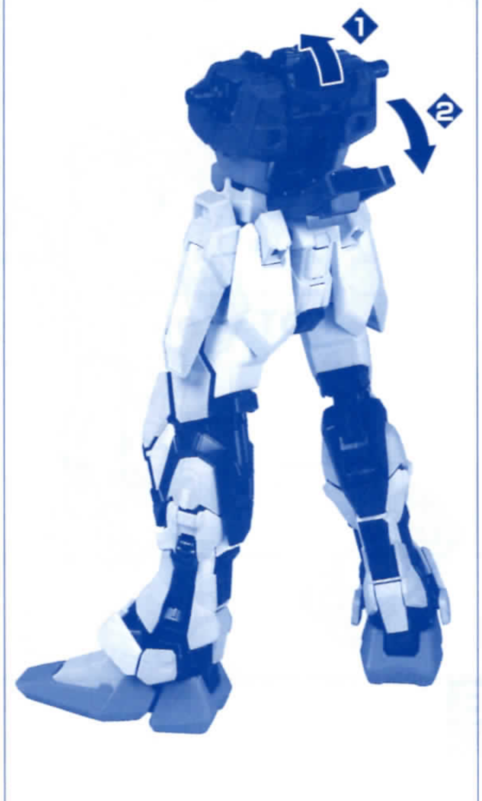
6 ⟨15⟩



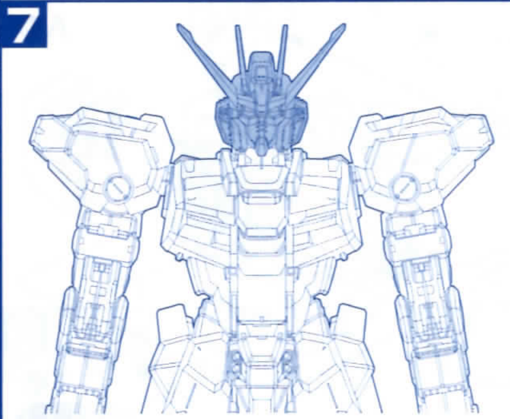
■ボディ組立
BODY ASSEMBLE



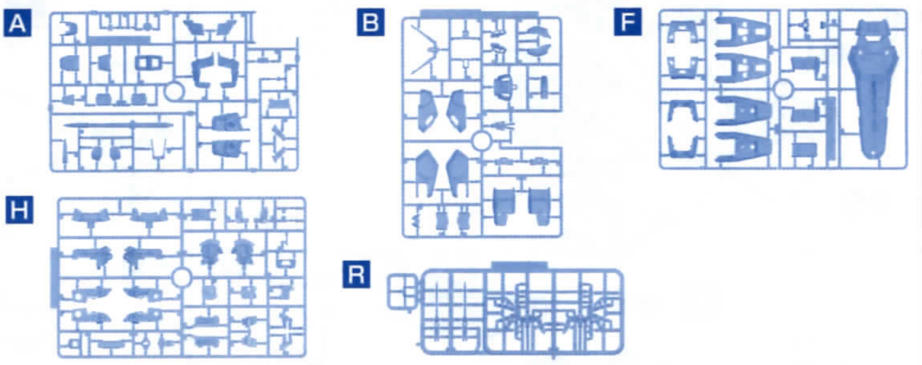


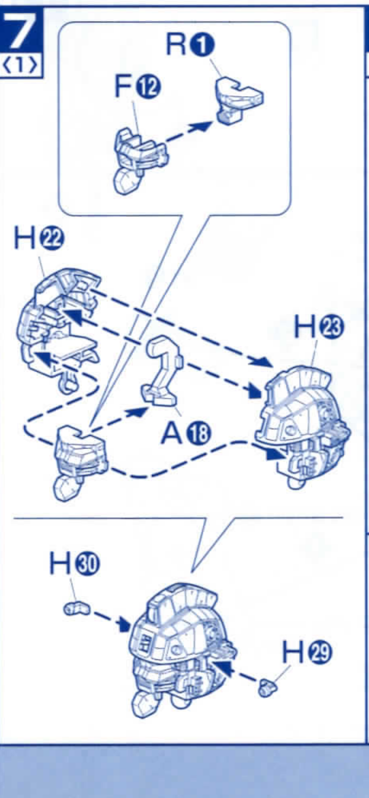


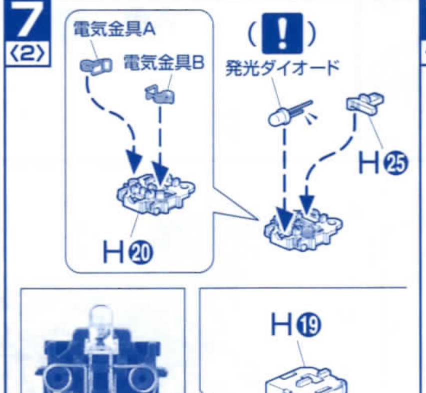
■頭部組立
HEAD UNIT ASSEMBLE



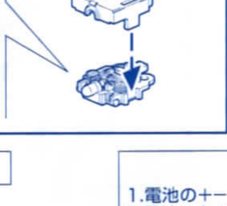
・組立7で使用するパーツ

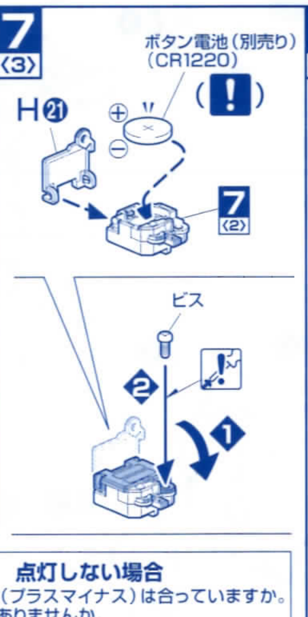


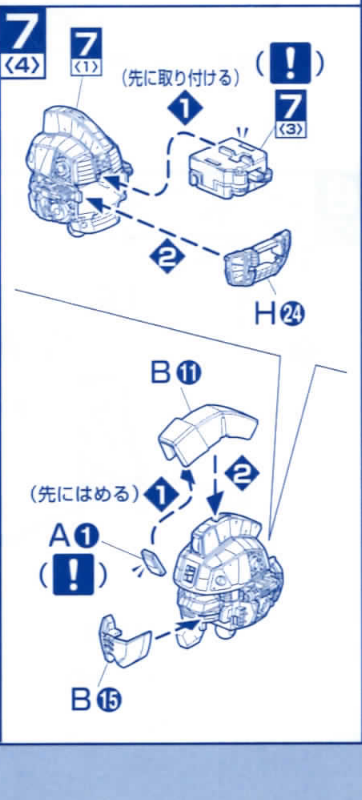




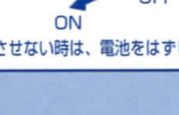








点灯テスト

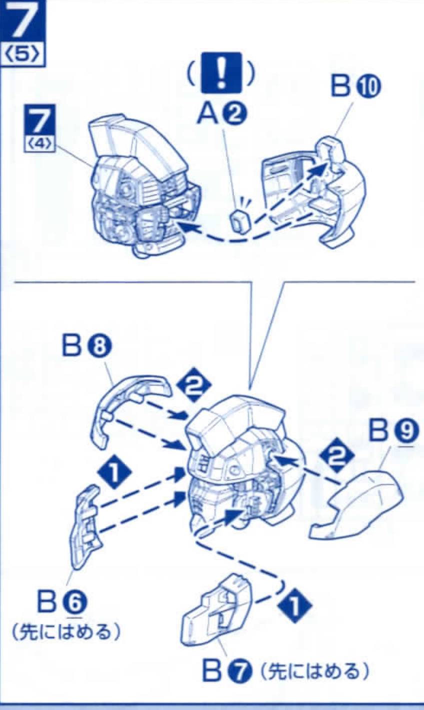


※点灯させない時は、電池をはずします。

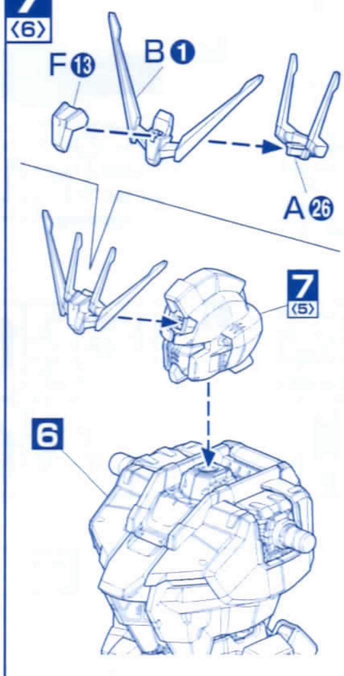
点灯しない場合

1.電池の+−（プラスマイナス）は合っていますか。
2.電池は古くありませんか。
3.発光ダイオードの向きは合っていますか。
4.接点が離れていませんか。
接点が離れている場合、接点がつくように、発光ダイオードの足や電池金具を微調整して点灯するようにします。

7 〈5〉

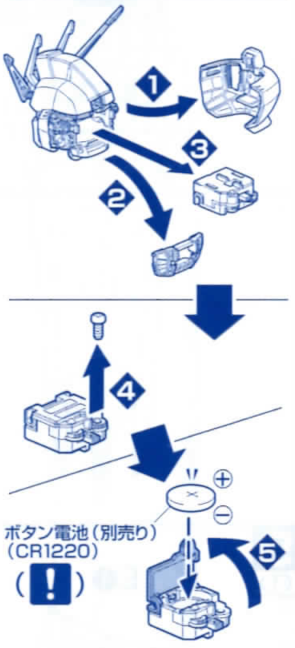


7 〈6〉

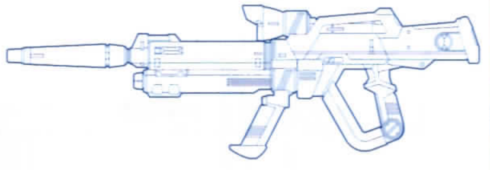




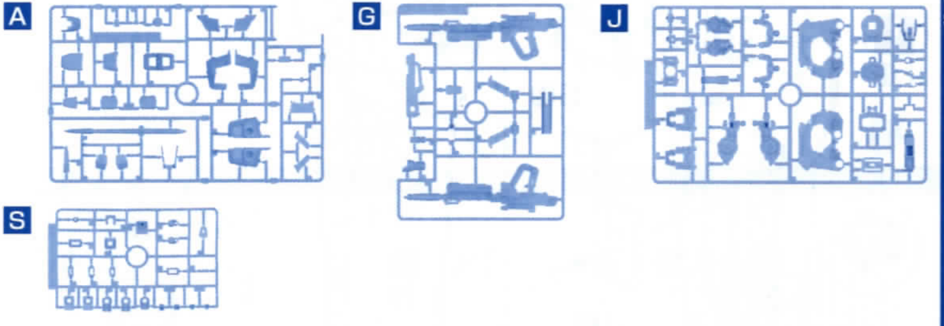
ボタン電池の交換方法



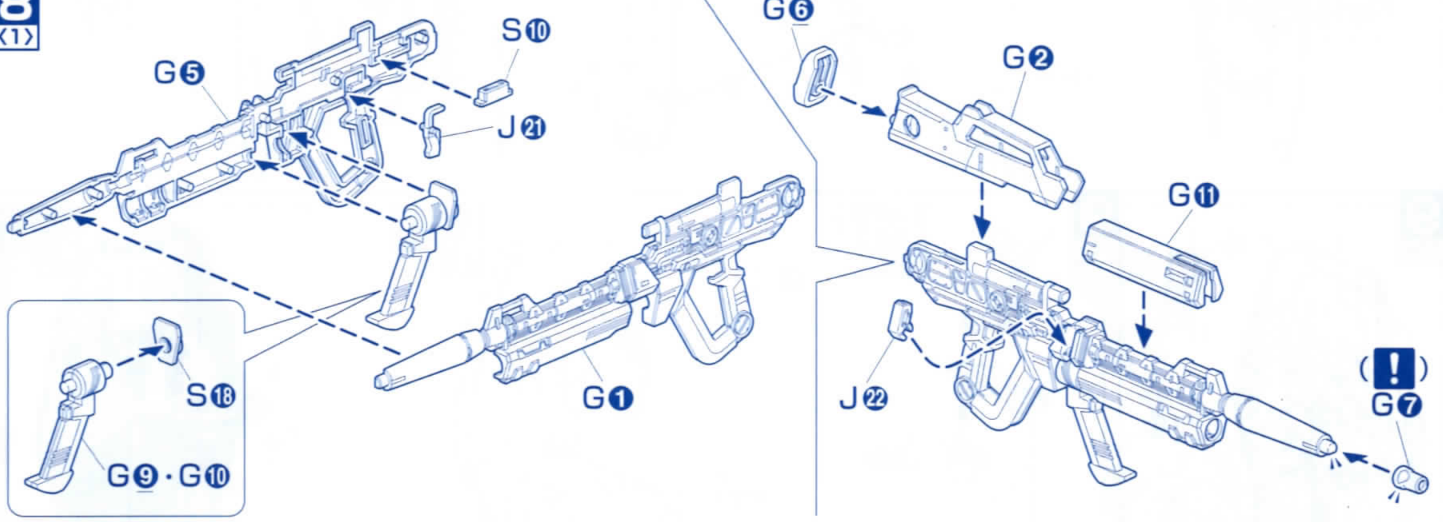
8



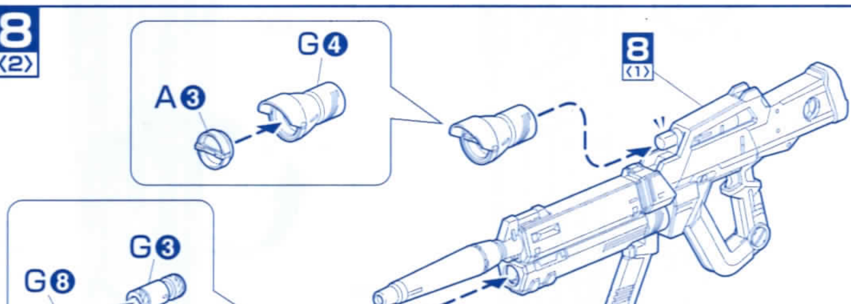
・組立 8 で使用するパーツ



8 〈1〉



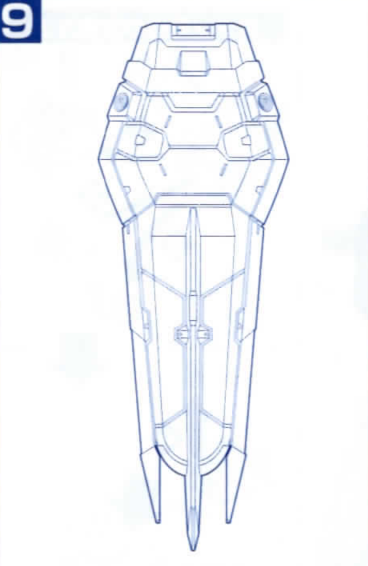
8 〈2〉



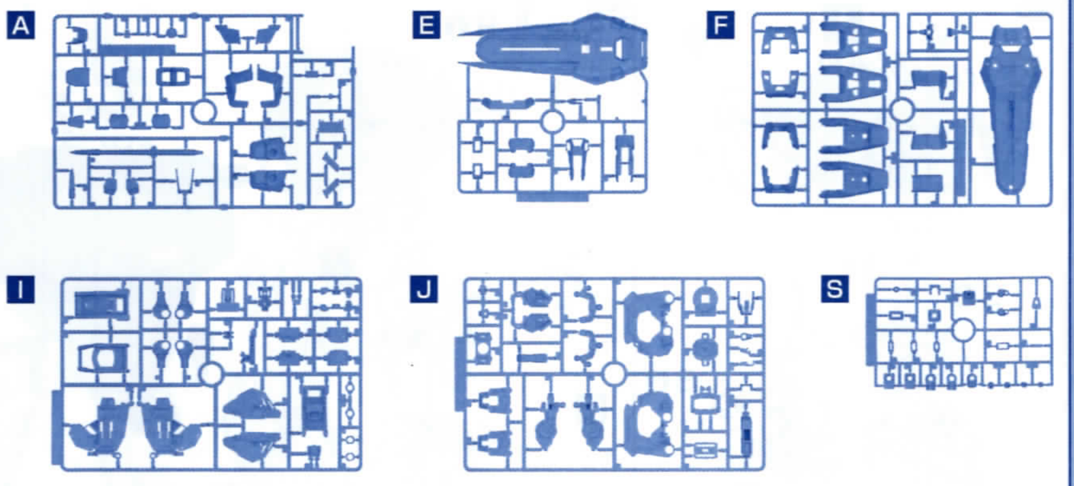


■武器

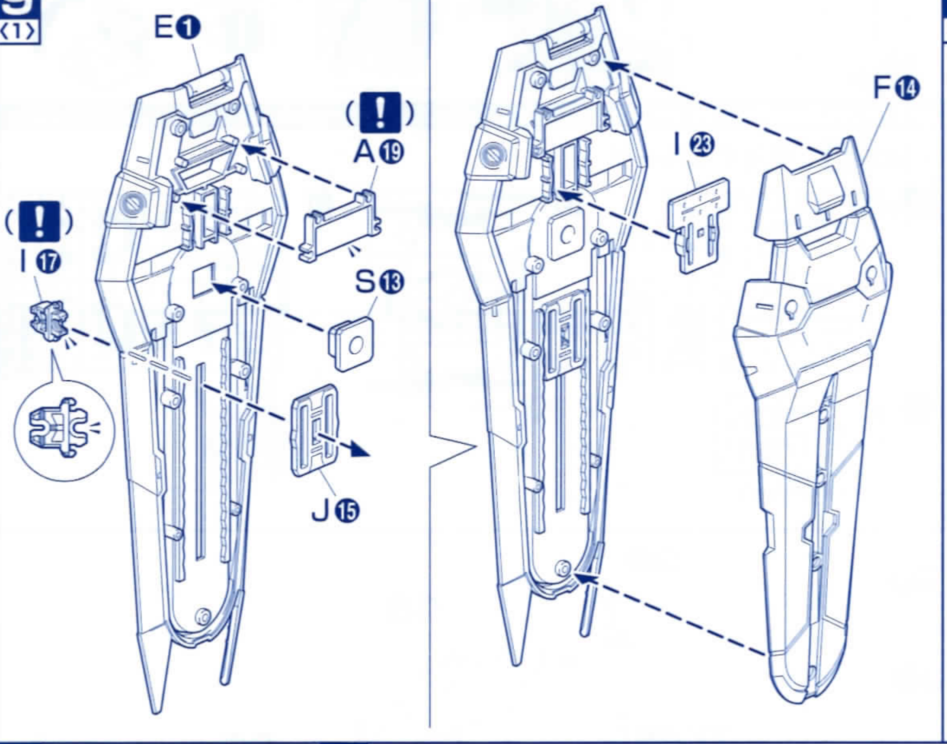
9



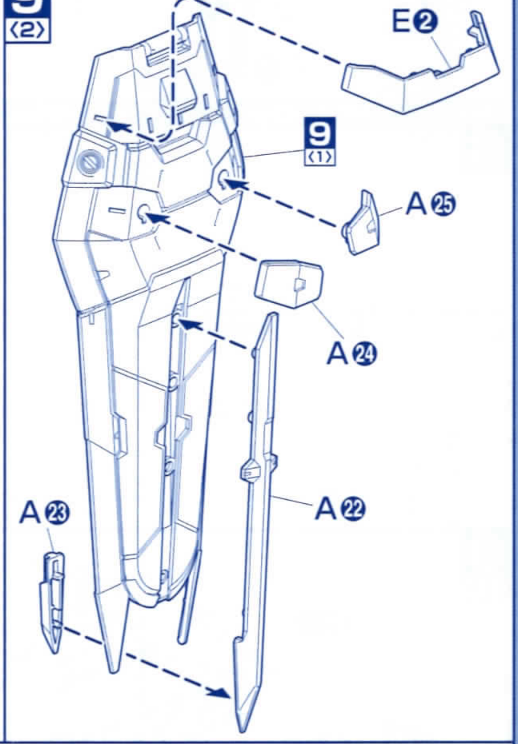
・組立9で使用するパーツ



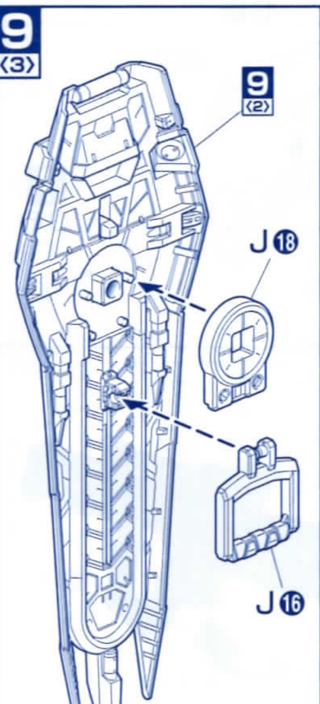
9 〈1〉



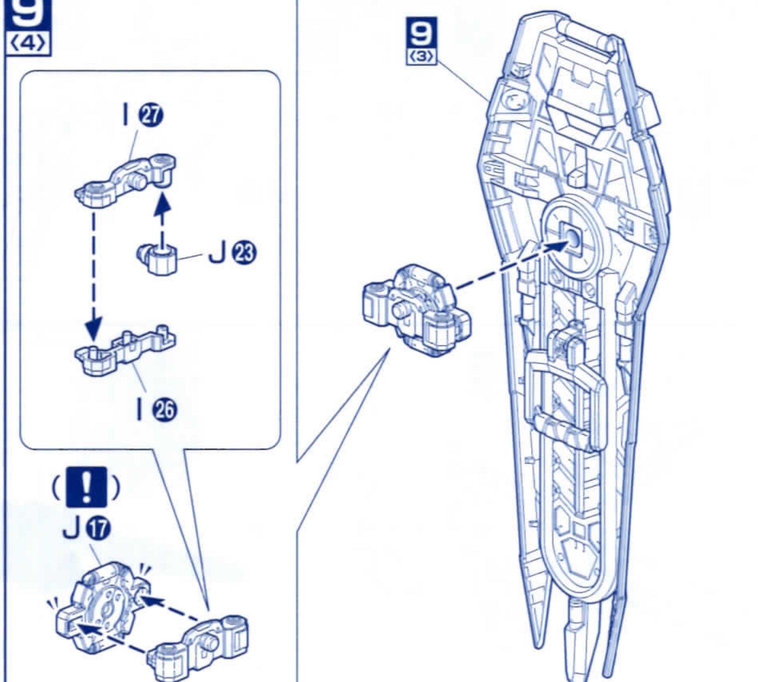
9 〈2〉

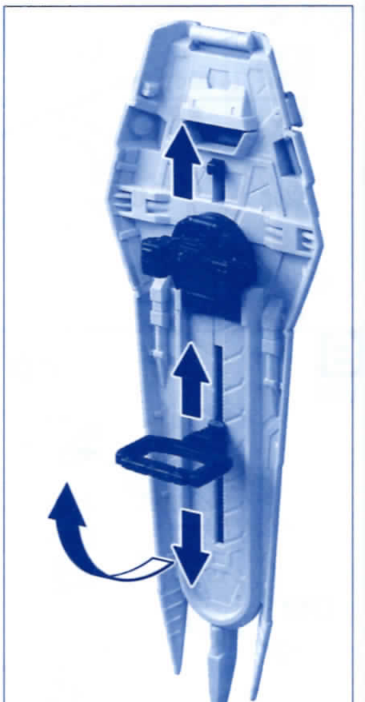


9 〈3〉



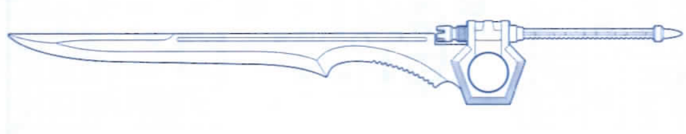
9 〈4〉



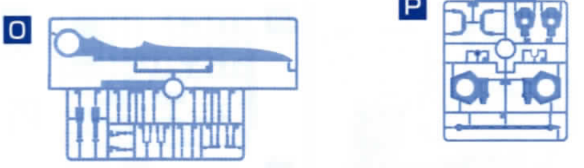


WEAPONS

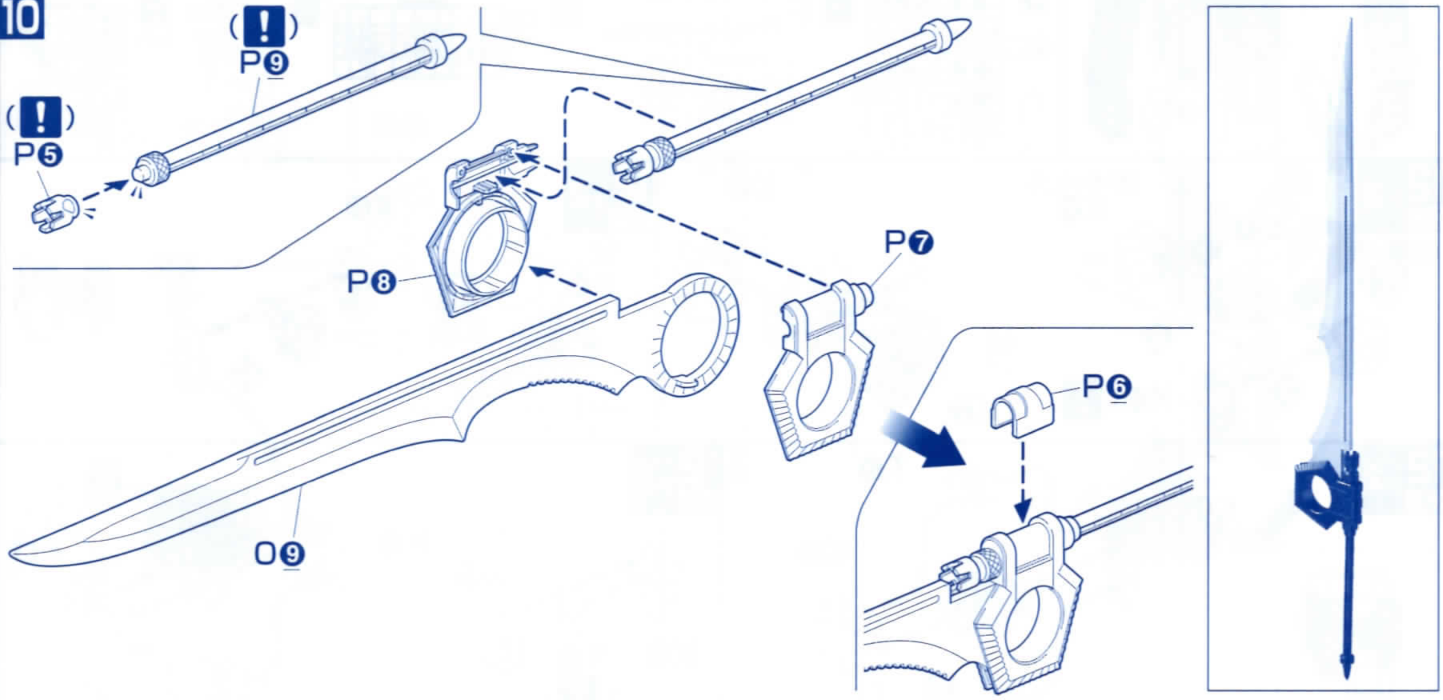
10



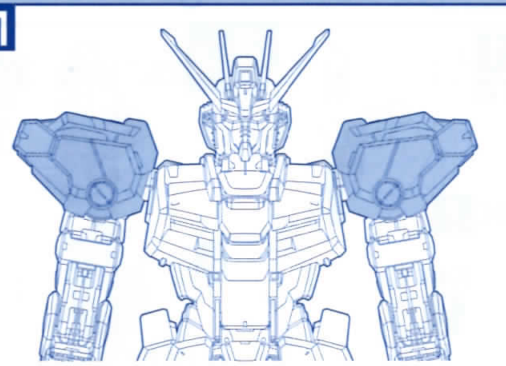
・組立10で使用するパーツ



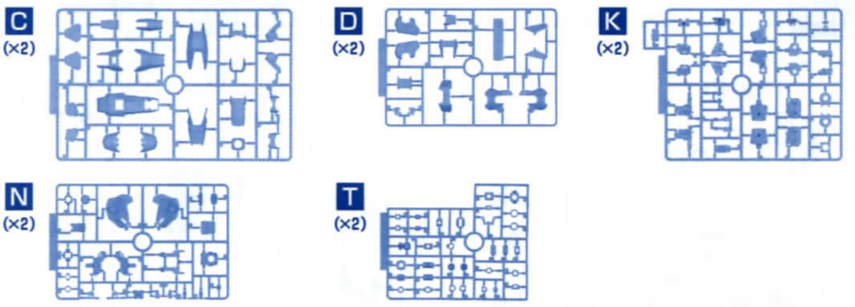
10



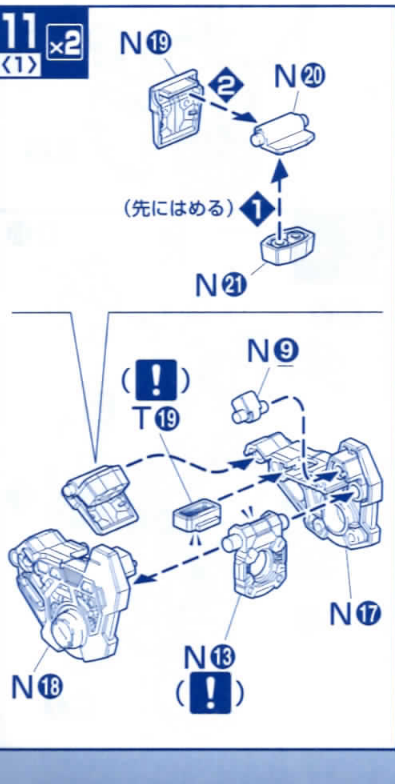
11



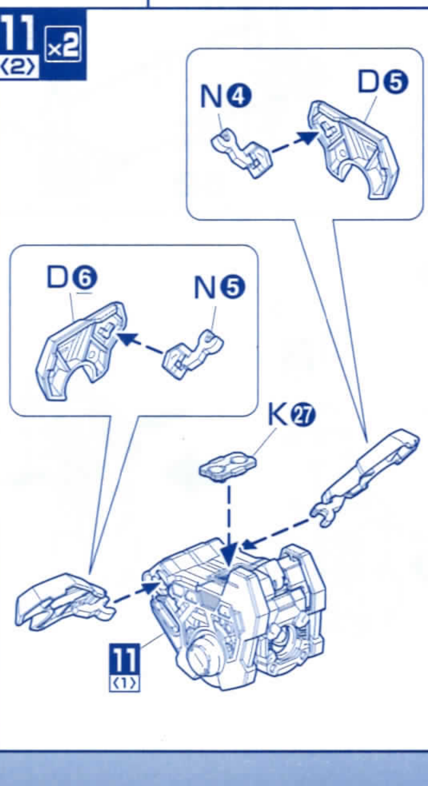
・組立11で使用するパーツ



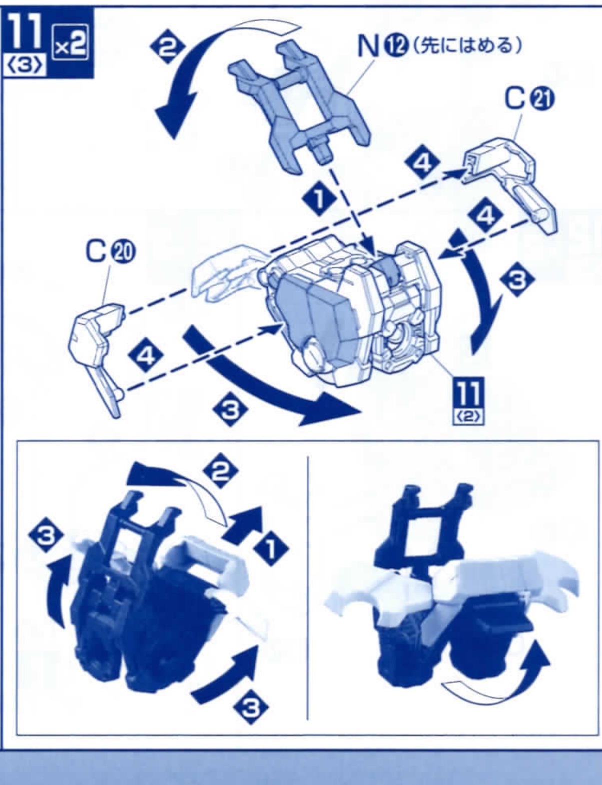
11 〈1〉 ×2



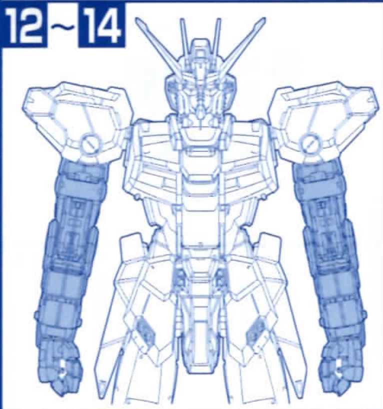
11 〈2〉 ×2



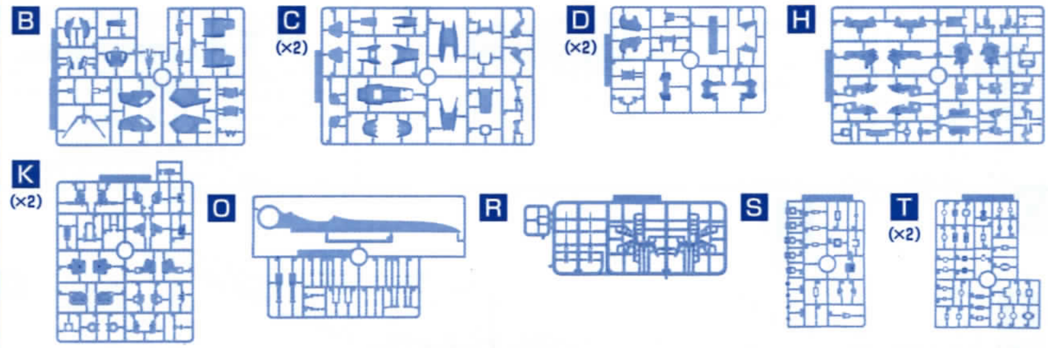
11 〈3〉 ×2

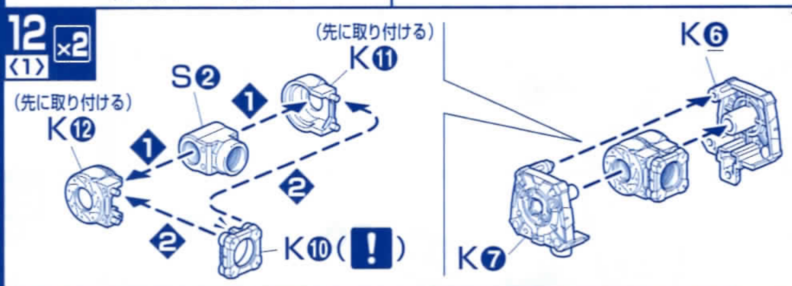


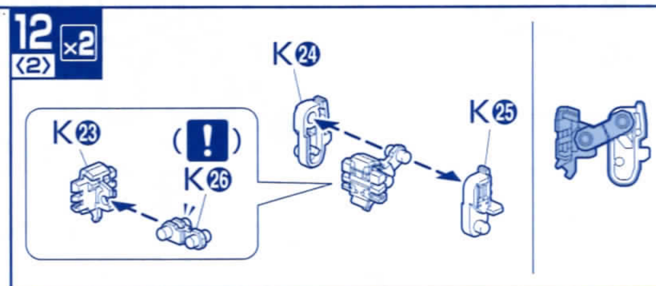
■腕部組立

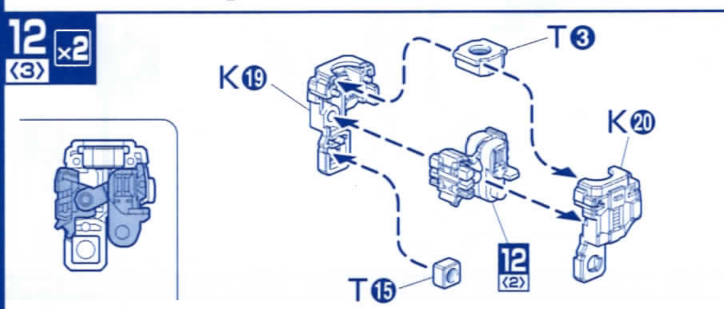


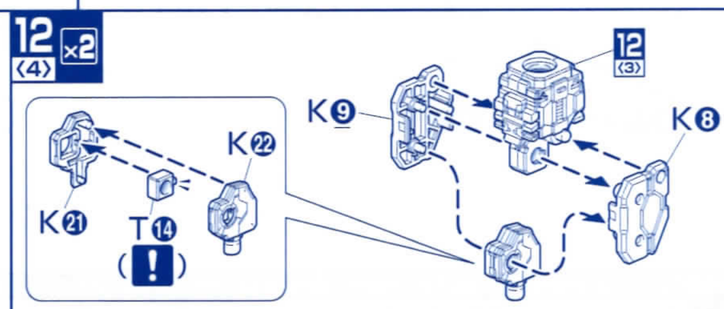
・組立12～14で使用するパーツ

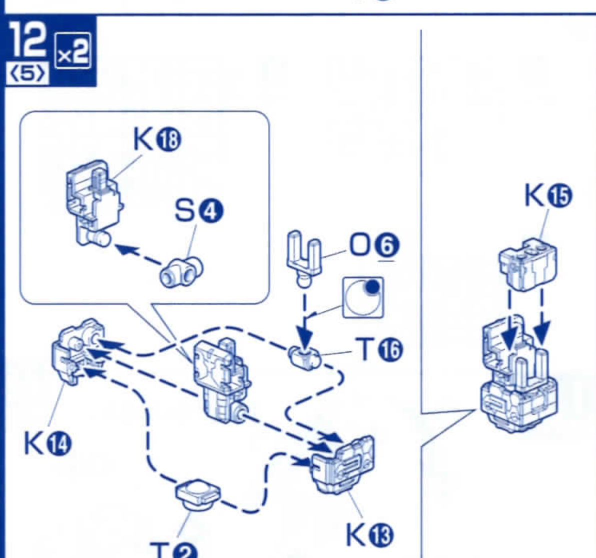


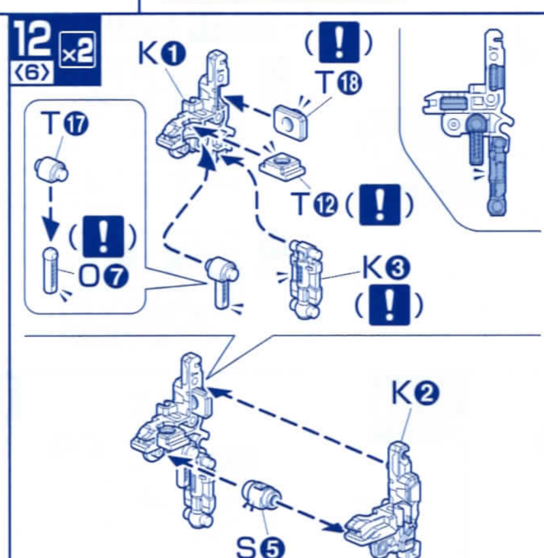


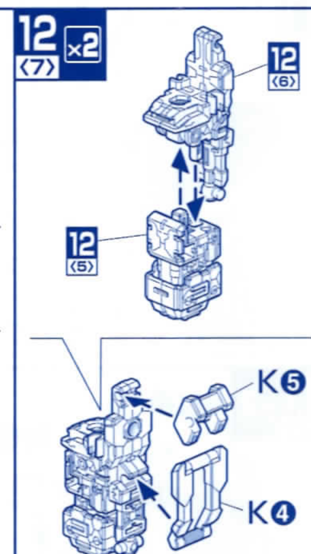


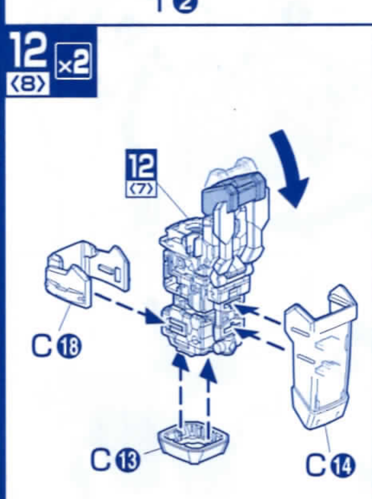


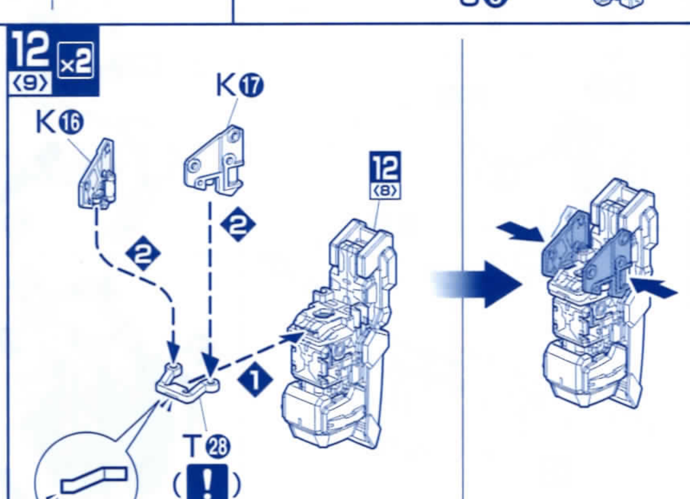


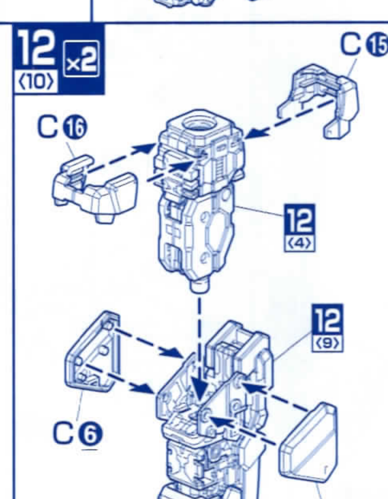






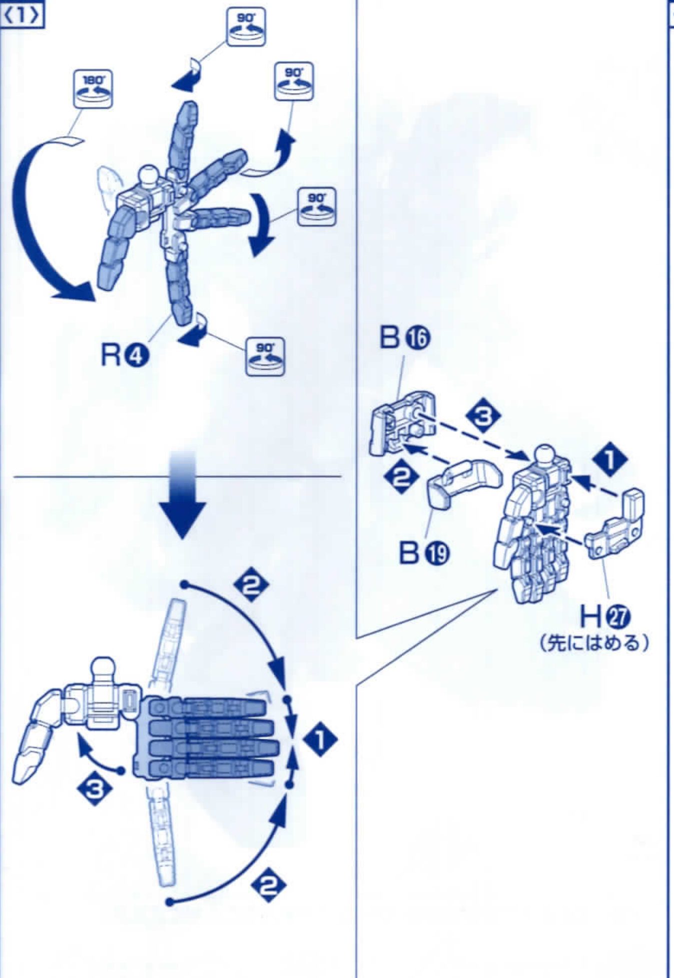




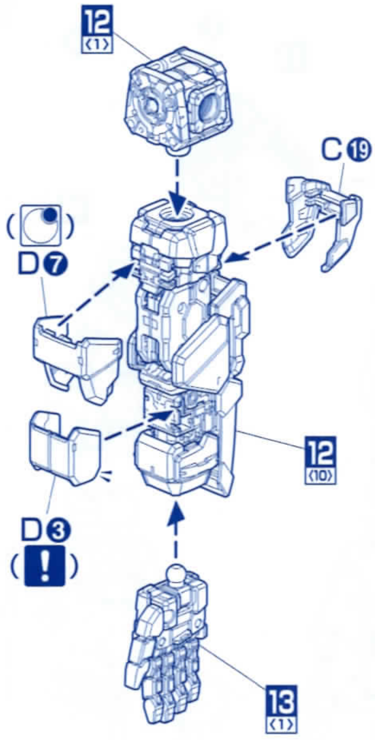


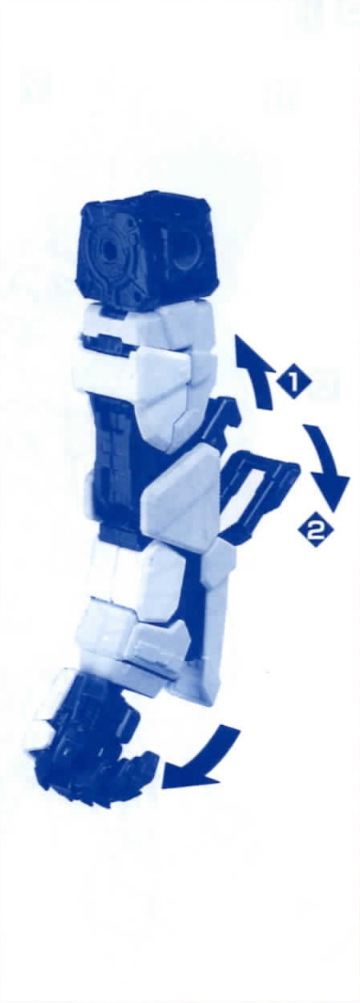
ARM UNIT ASSEMBLE

13 〈1〉

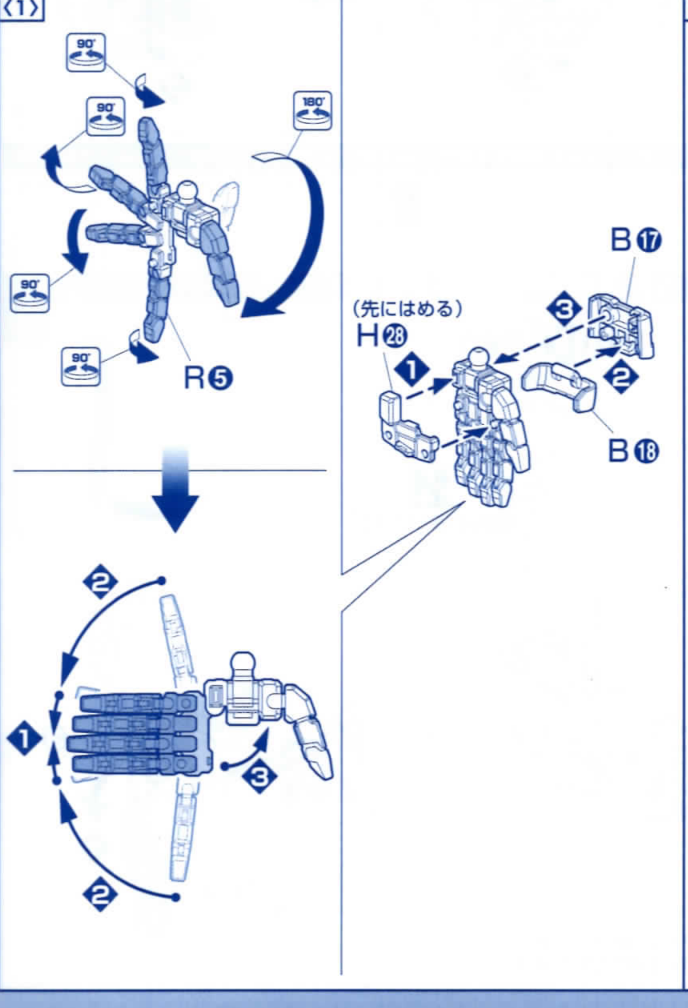


13 〈2〉

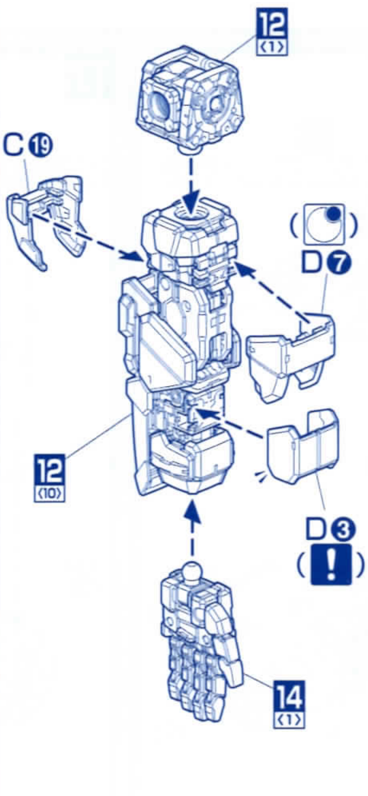


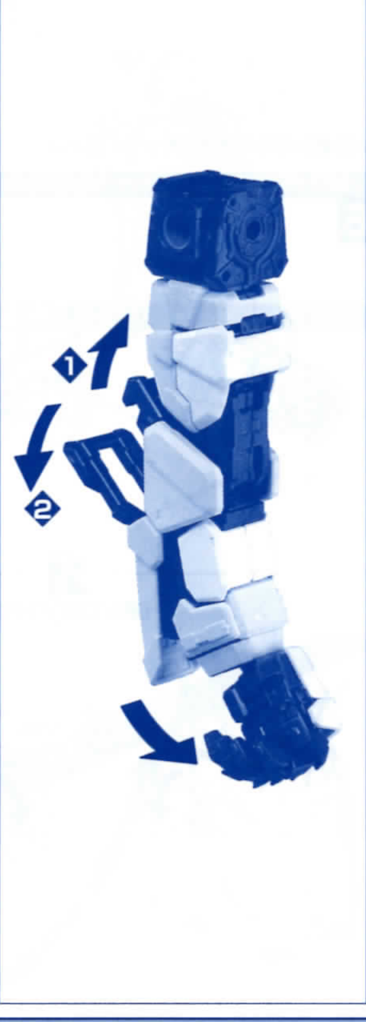


14 〈1〉

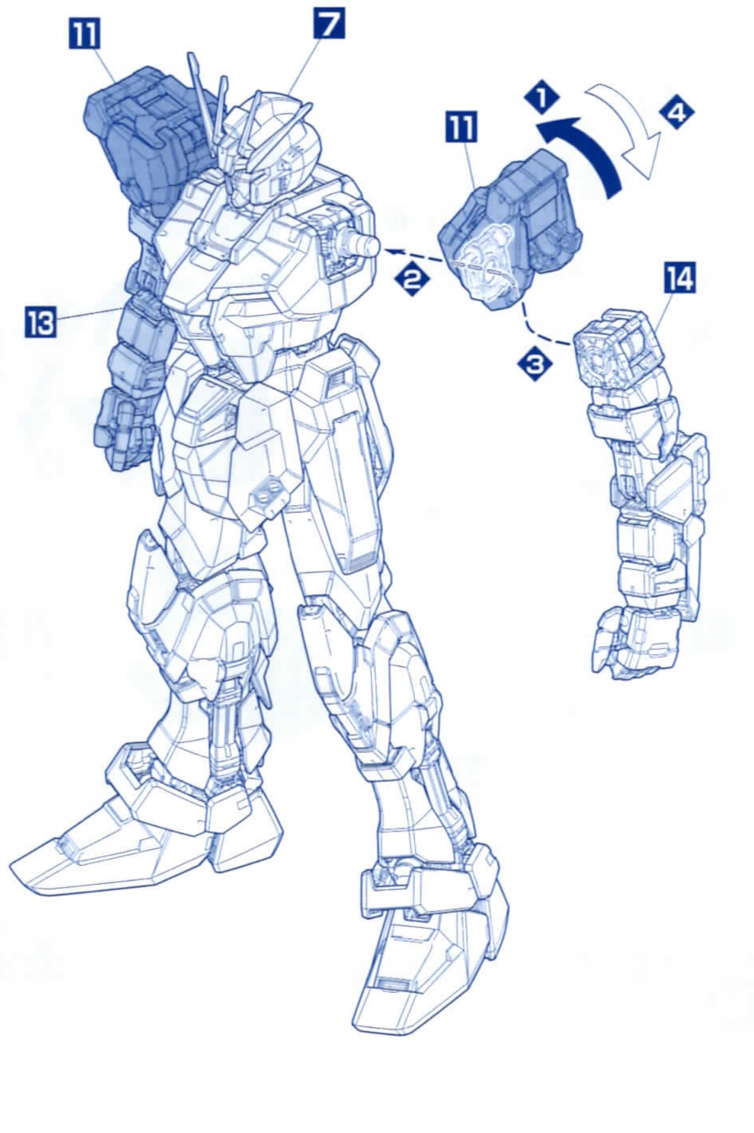


14 〈2〉





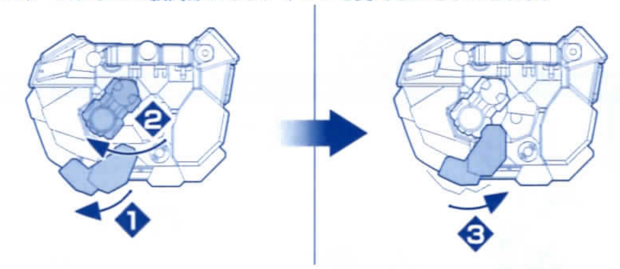
15



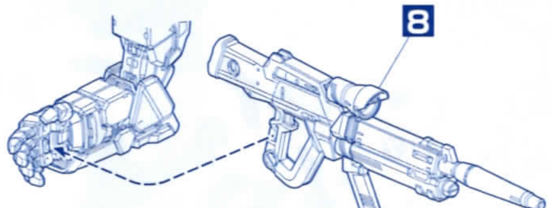
※B ⓬は好みの場所に飾ってください。



※ポーズによって股関節のセッティングを変えることができます。



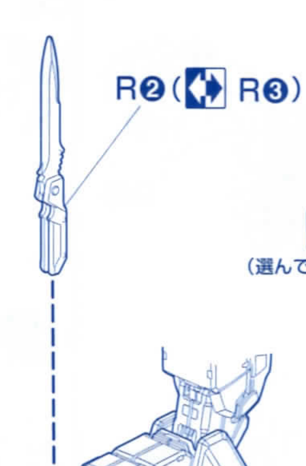
16



（選んで取り付ける）

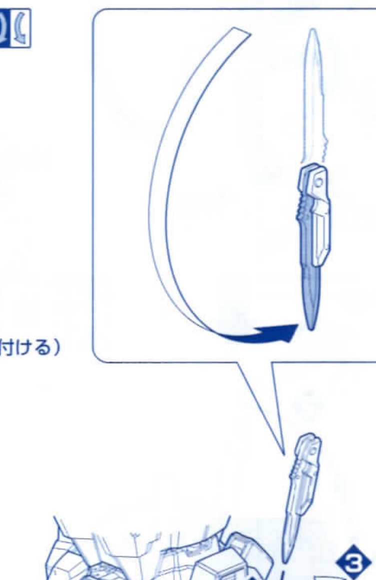


17

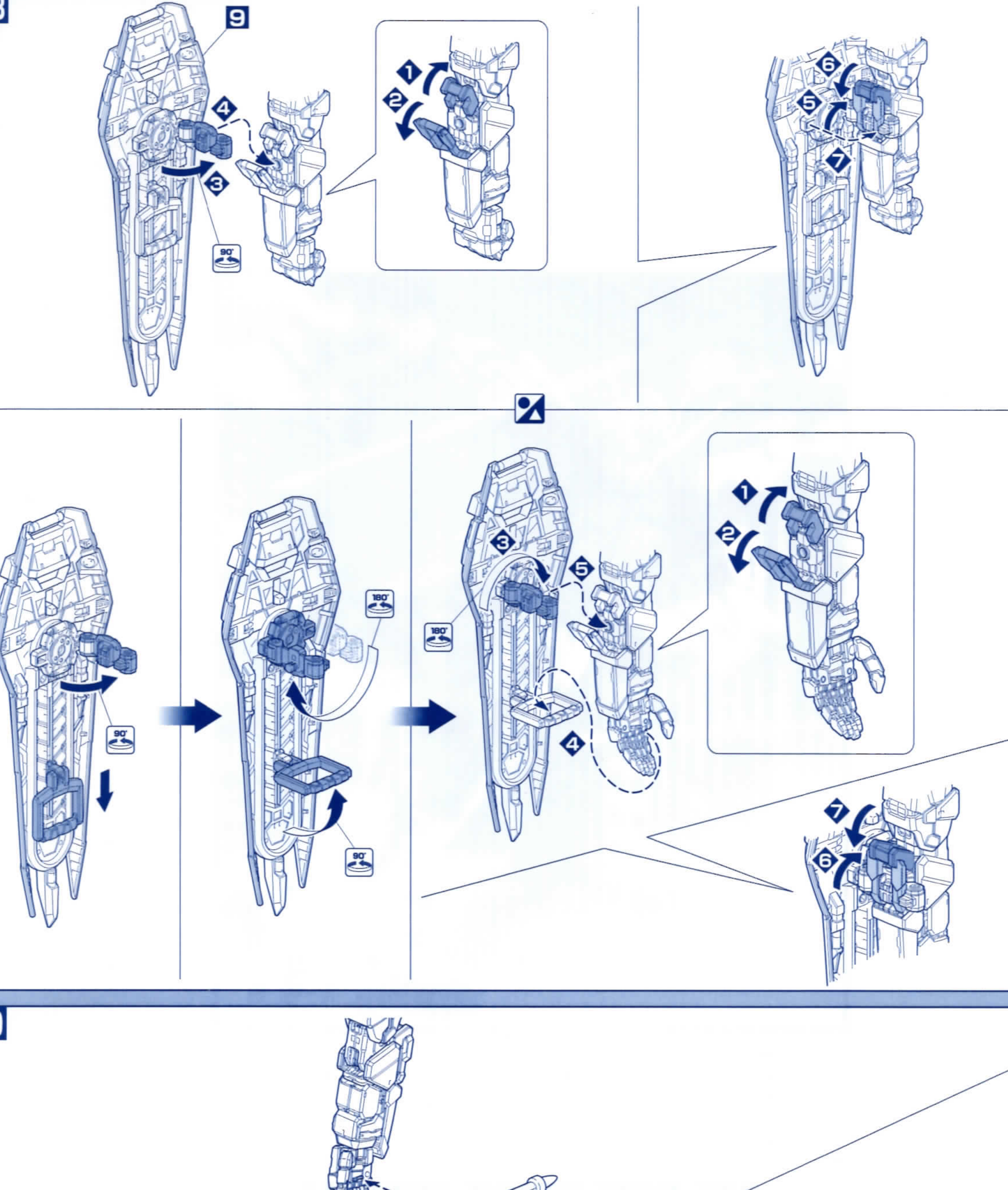


※アーマーシュナイダーは、
どちらにも持たせられます。

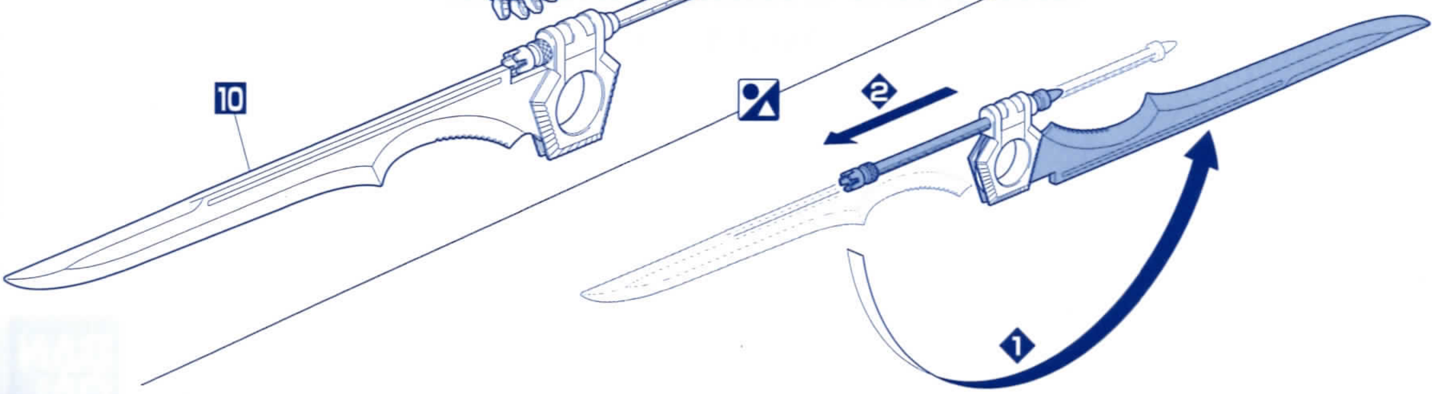
（選んで取り付ける）



18



19



Ⓒ創通エージェンシー・サンライズ・毎日放送



PERFECT GRADE

GAT-X105 STRIKE GUNDAM

Ver.1.0

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN

© 創通エージェンシー・サンライズ・毎日放送



FX-550 **PERFECT GRADE** AQM/E-X01

SKYGRASPER + AILE STRIKER

BANDAI

地球連合軍大気圏内用複座戦闘機 FX-550「スカイグラスパー」＋AQM/E-X01「エールストライカー」 1/60スケール パーフェクトグレードモデル

0134101

BANDAI 2005 MADE IN JAPAN ※写真の完成品は、塗装してあります。

⚠ 注　意

必ずお読みください

- ●この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- ●小さな部品を口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ●ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところに保管し、お子様には絶対に与えないでください。

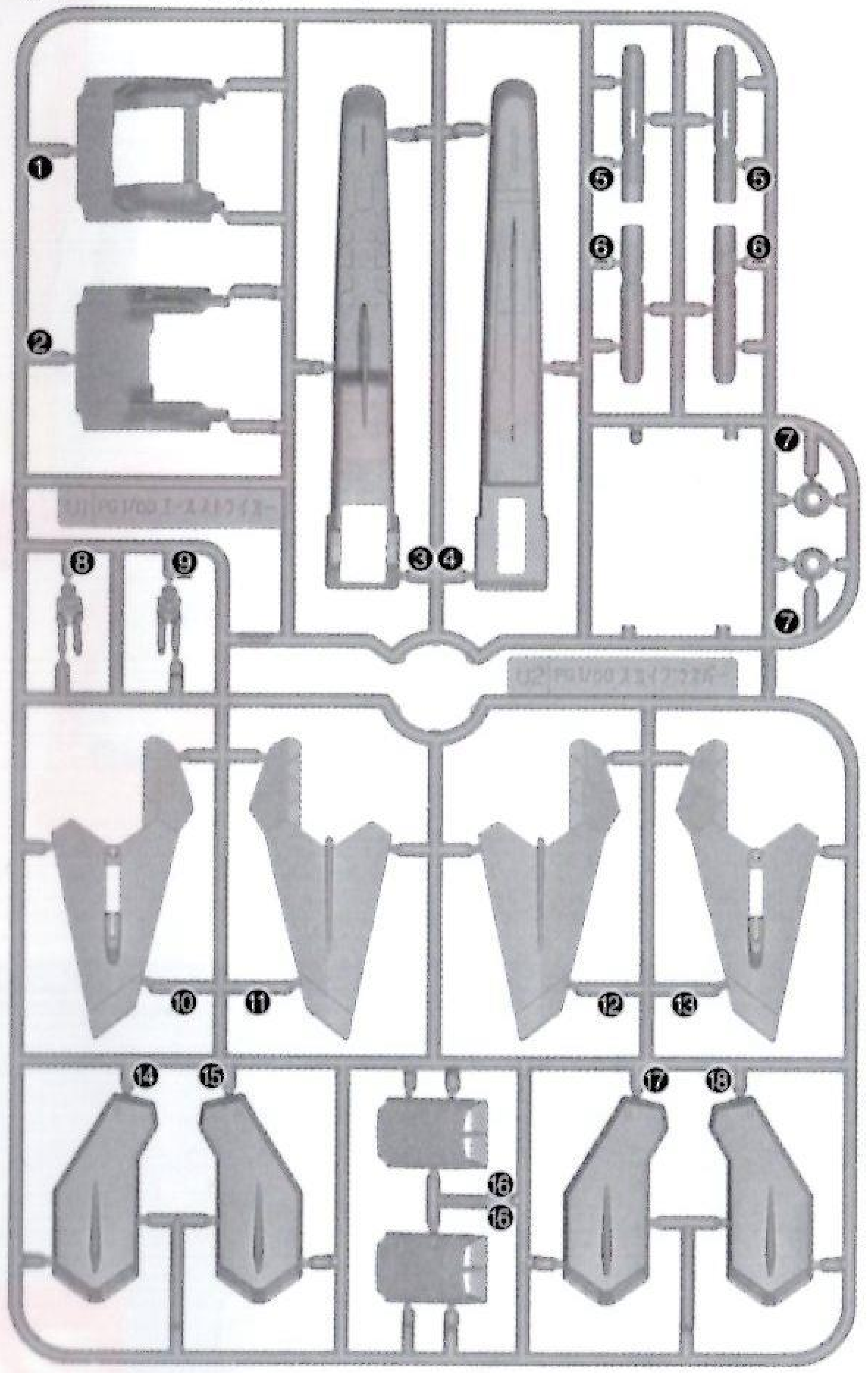
《組み立てる時の注意》

- ●組み立てる前に必ずお読みください。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取ってください。切り取った後のクズは捨ててください。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- ●部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- ●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

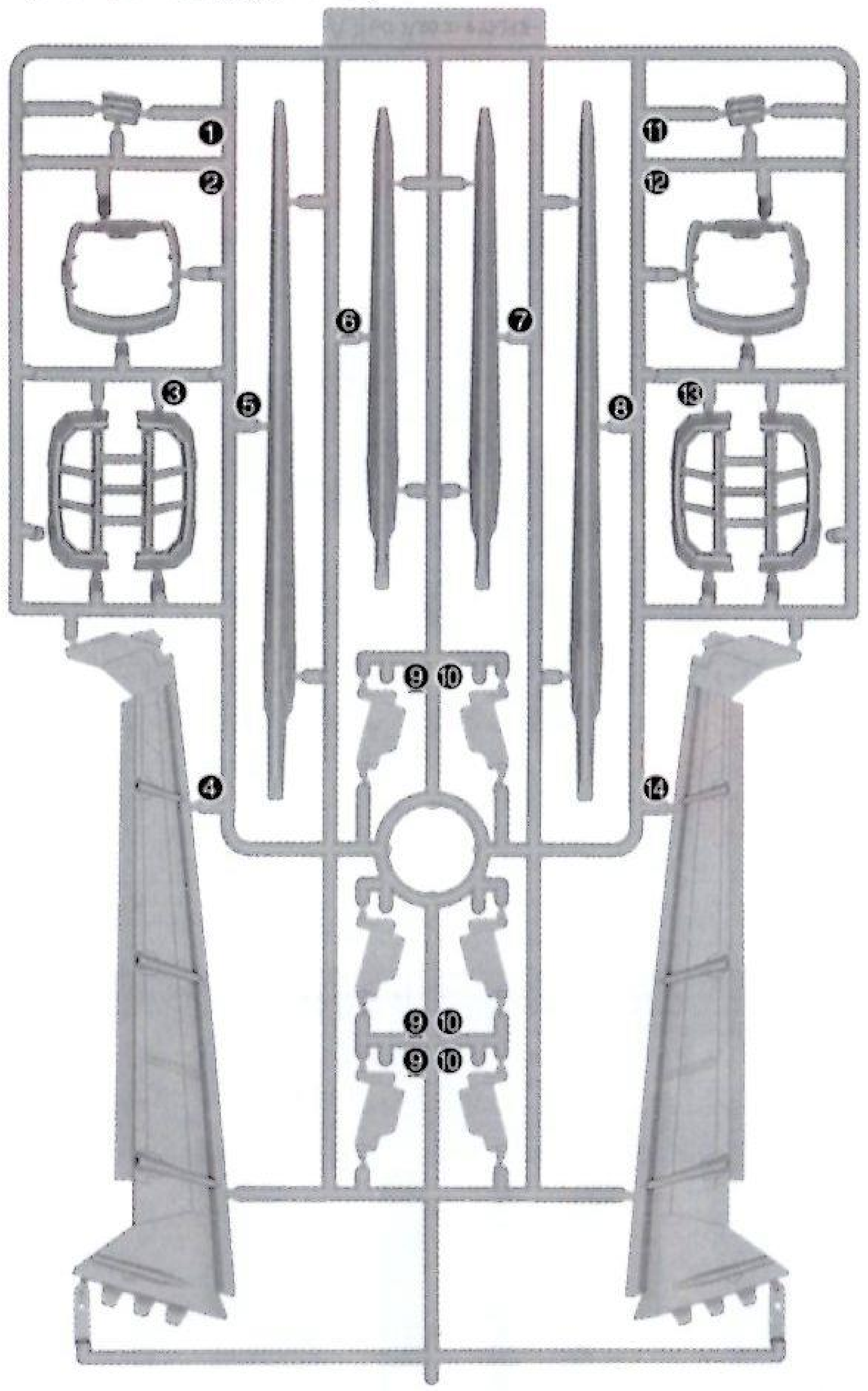
・接着をするところ	ア ・シールの番号	A ・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意	・切り取るところ	×2 ・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	180° ・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

パーツリスト

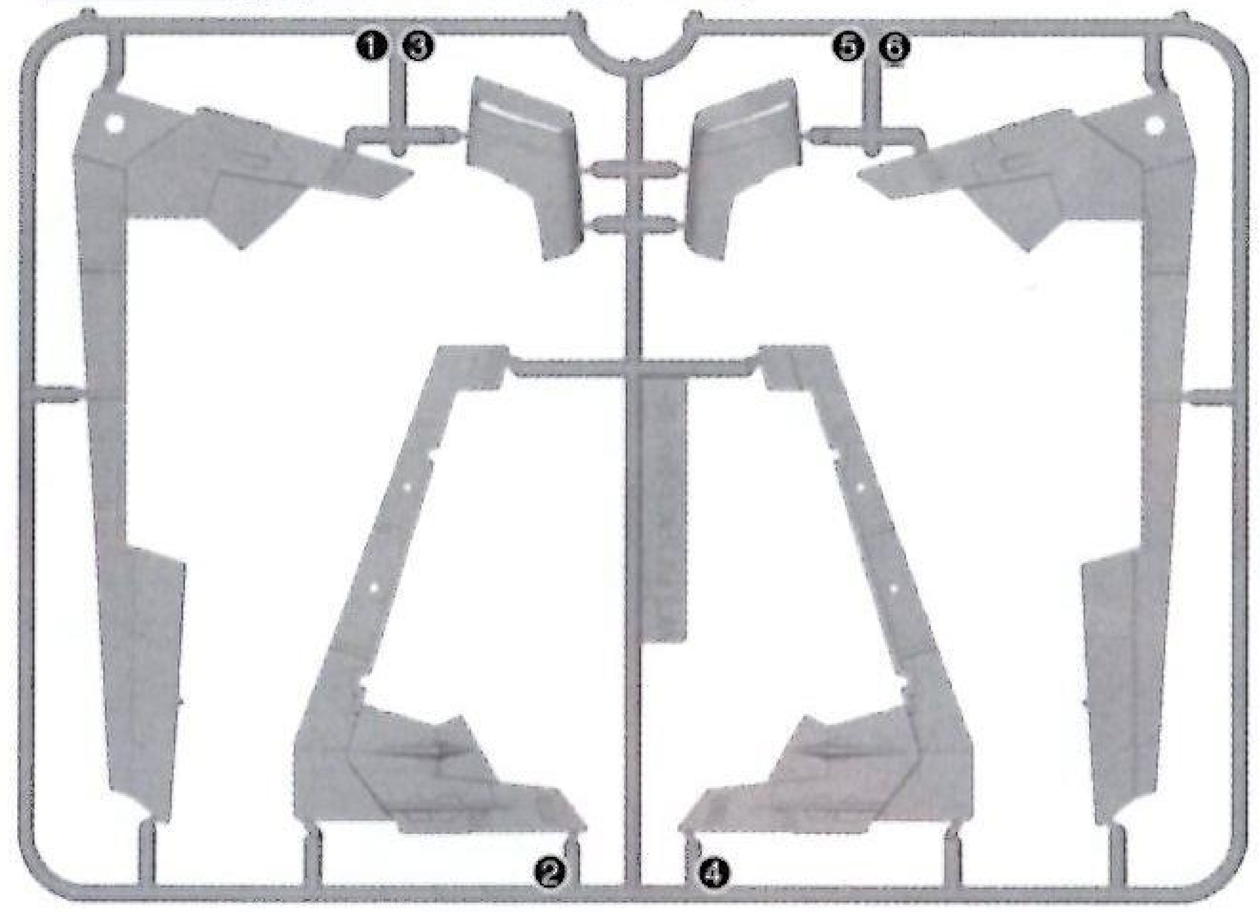
Uパーツ
(スチロール樹脂：PS)



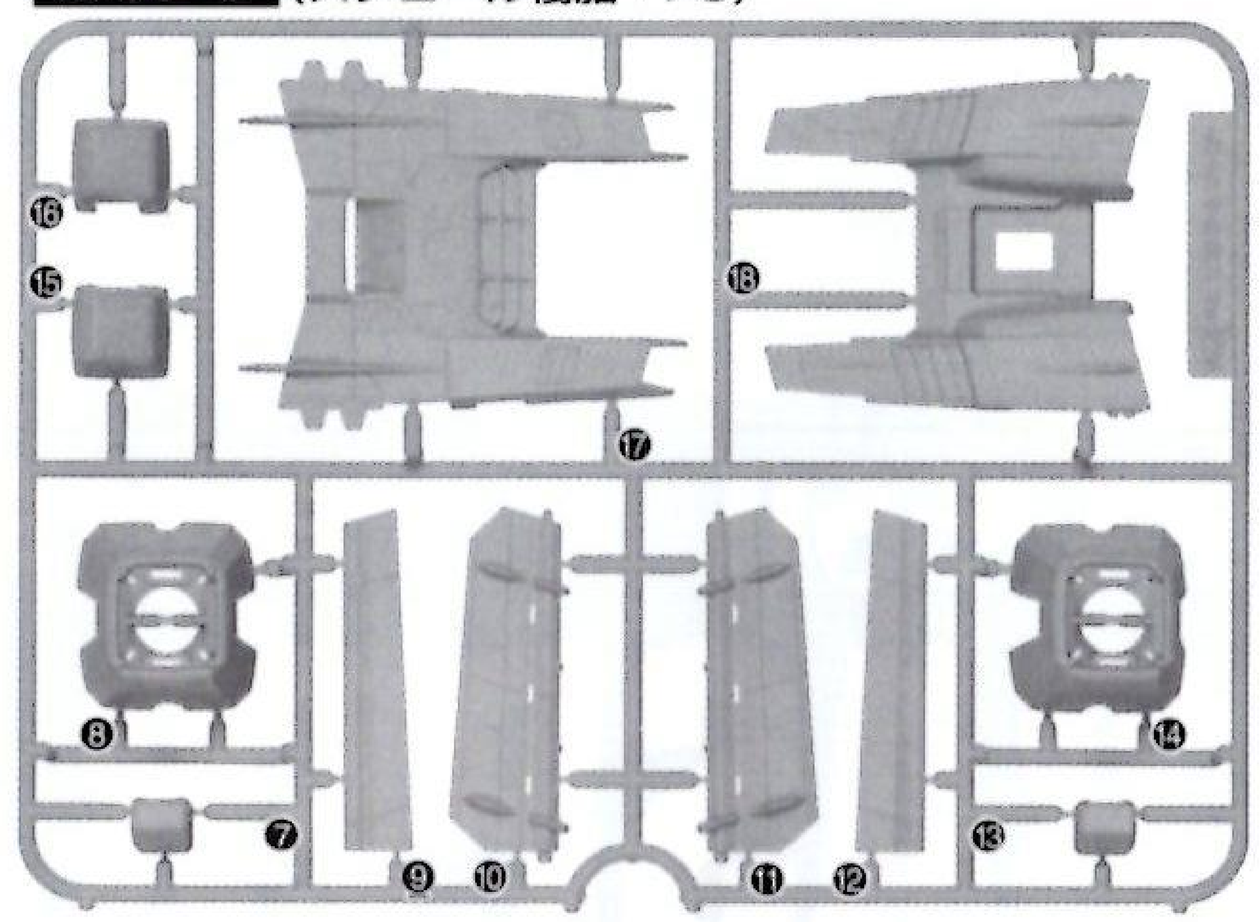
Vパーツ
(スチロール樹脂：PS)



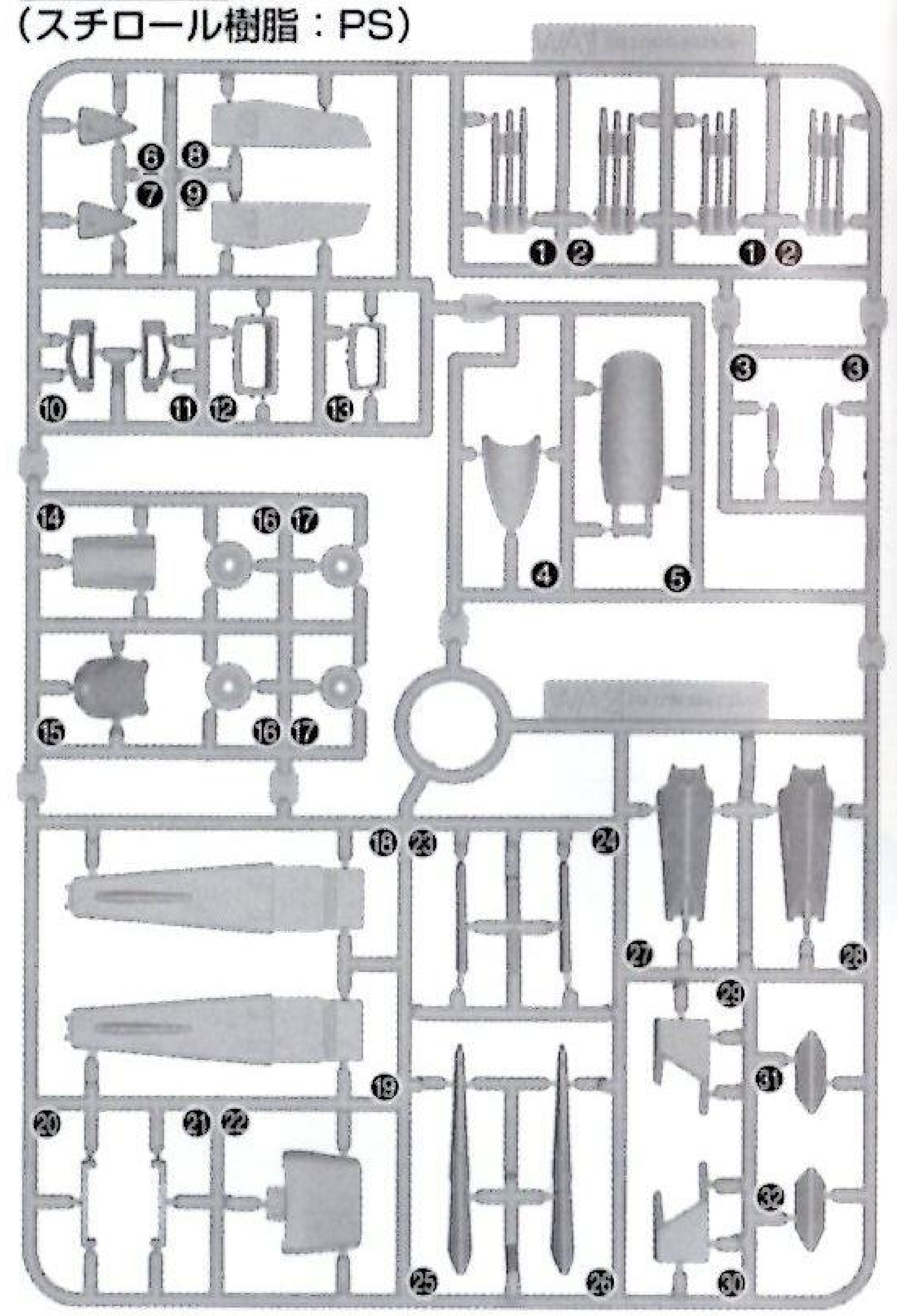
W1パーツ (スチロール樹脂：PS)



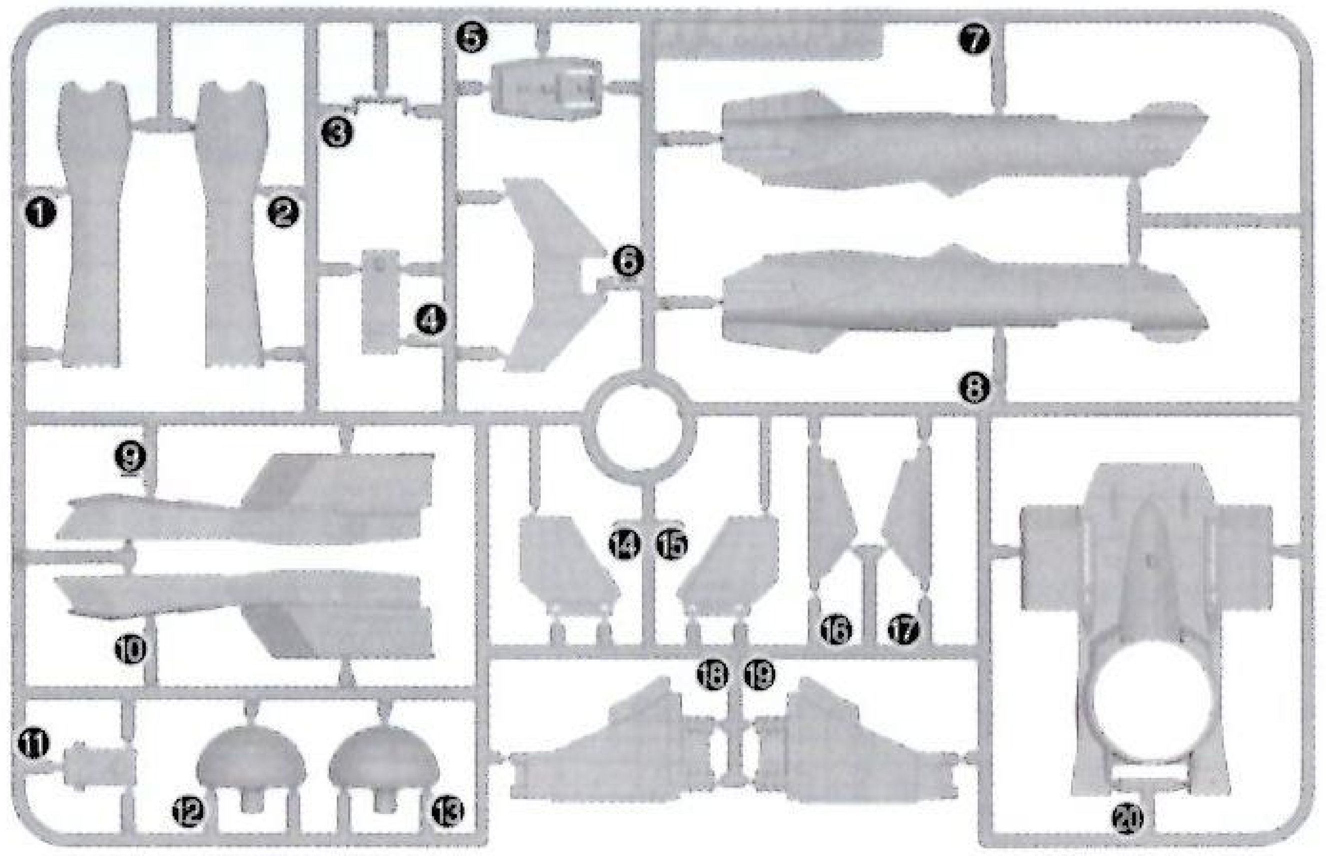
W2パーツ (スチロール樹脂：PS)



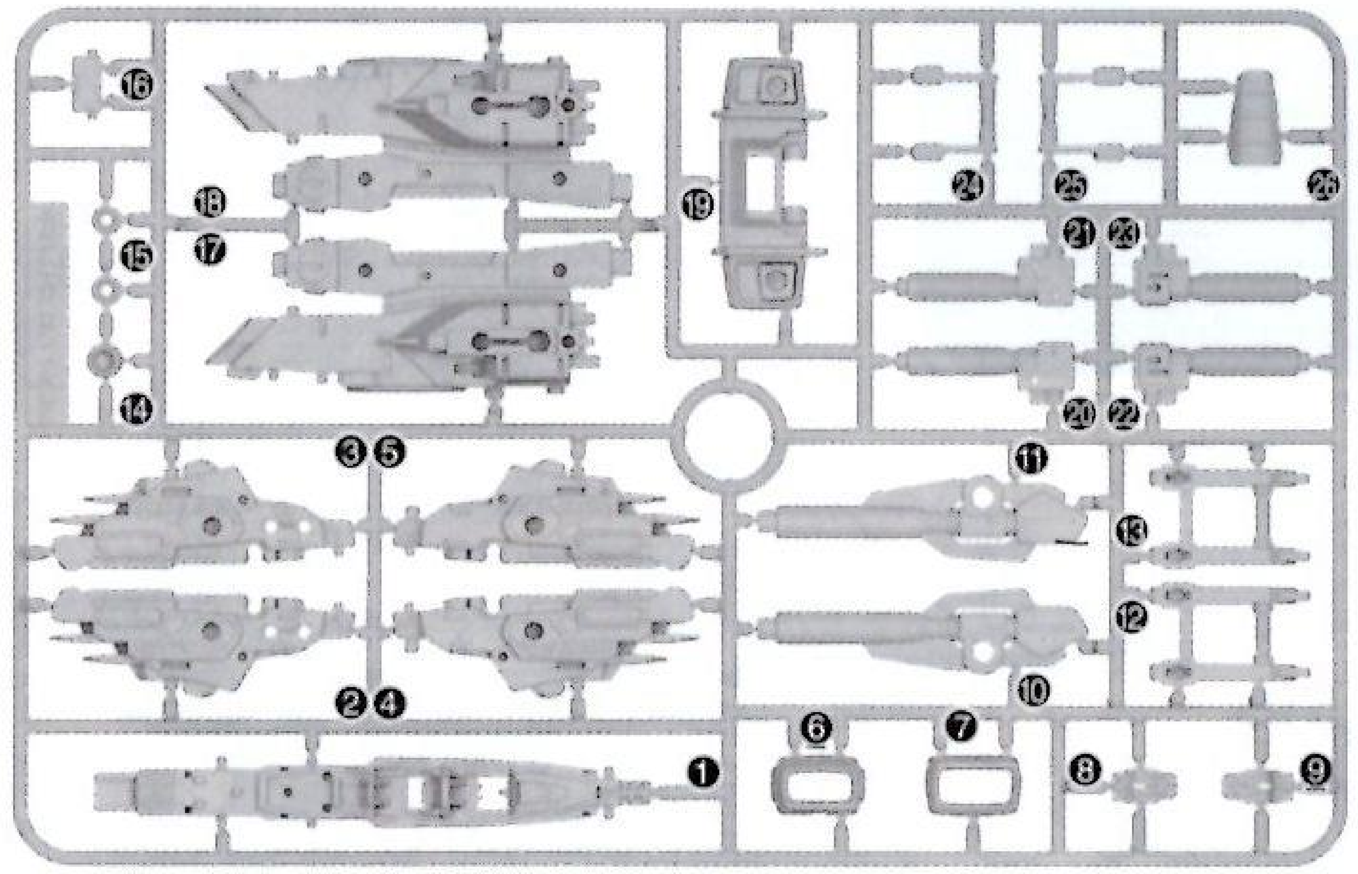
WAパーツ
(スチロール樹脂：PS)



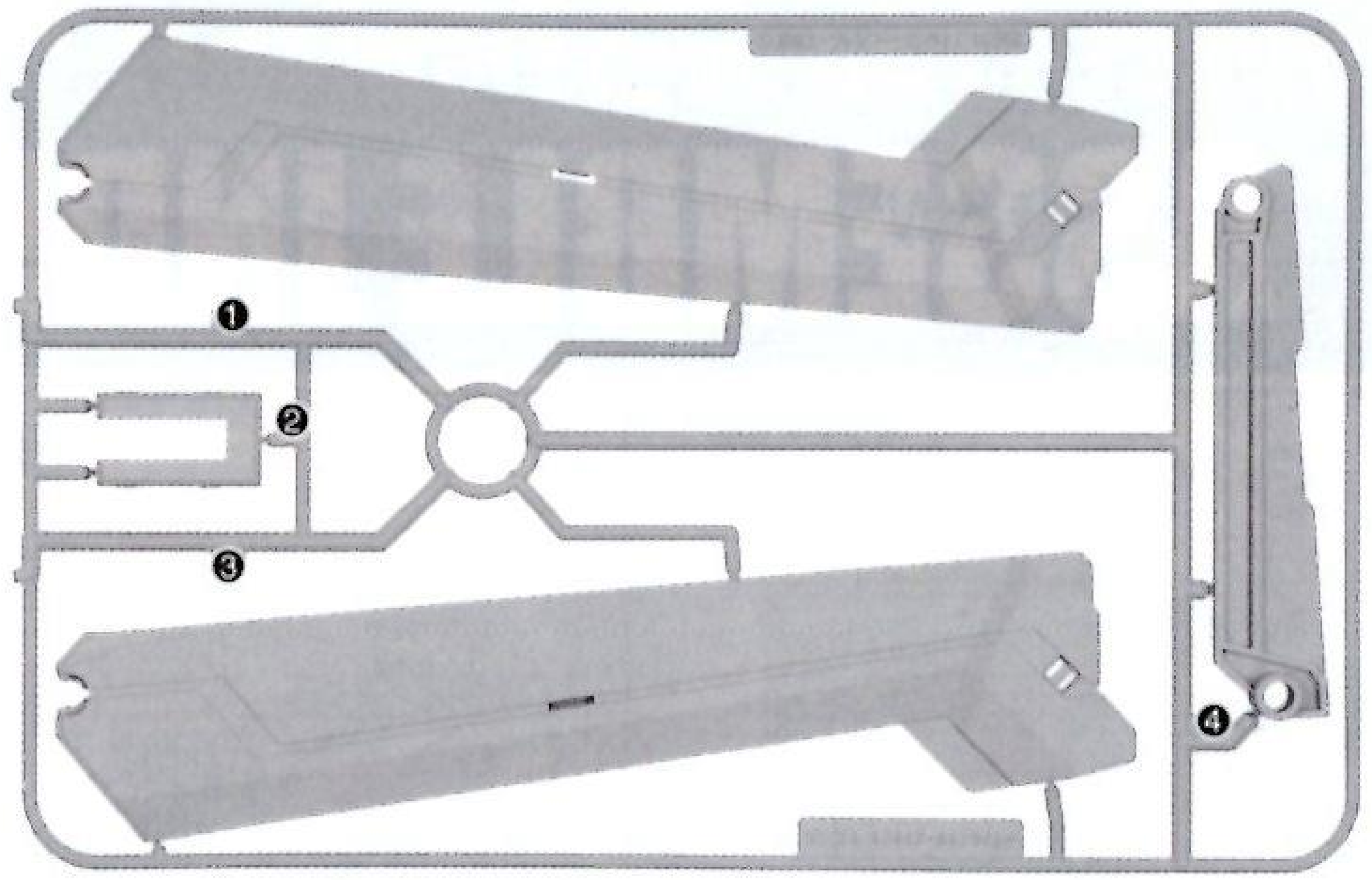
WBパーツ
（スチロール樹脂：PS）



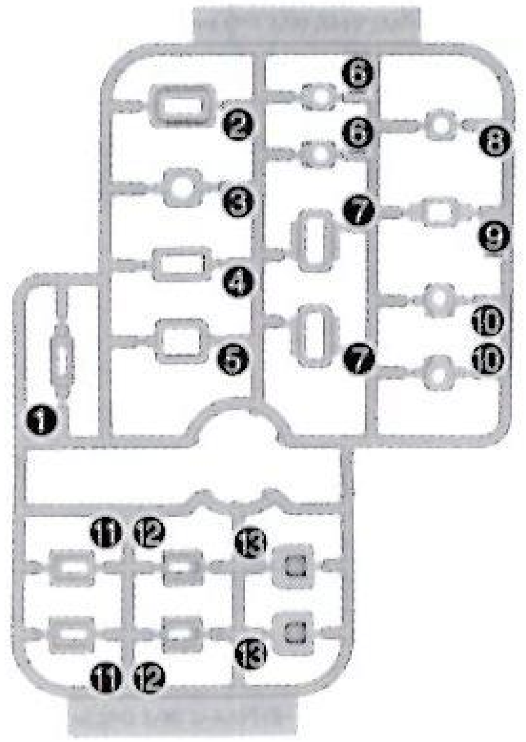
WCパーツ
（スチロール樹脂：PS）



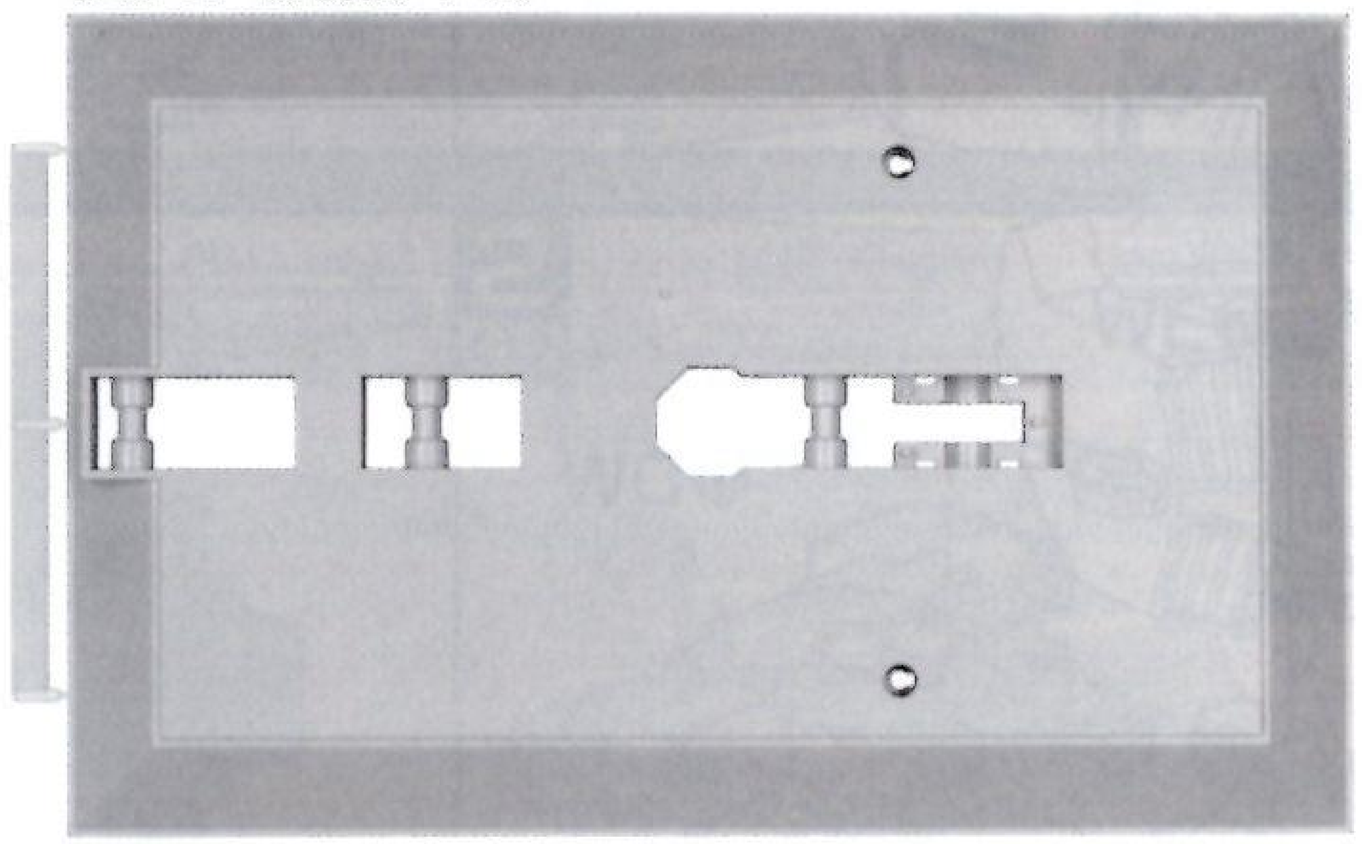
WDパーツ
（スチロール樹脂：PS）



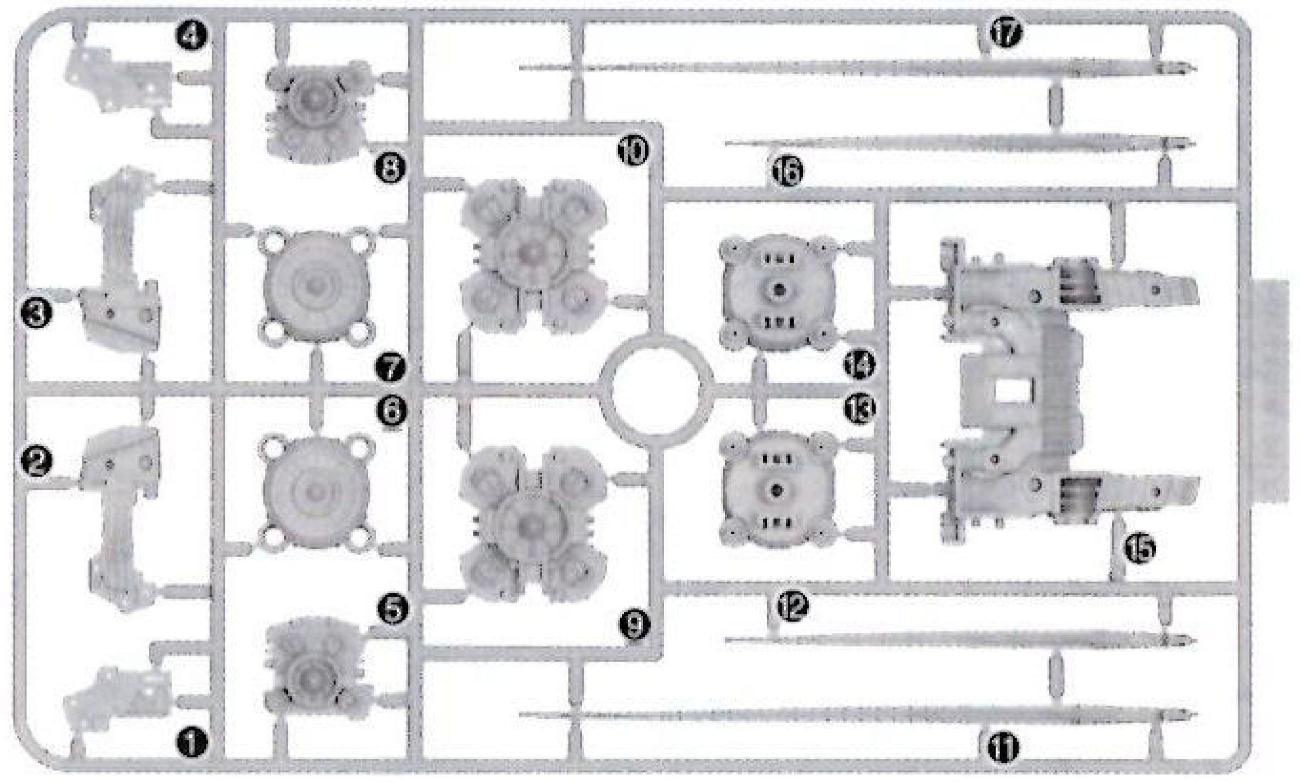
WEパーツ
（ポリエチレン：PE）



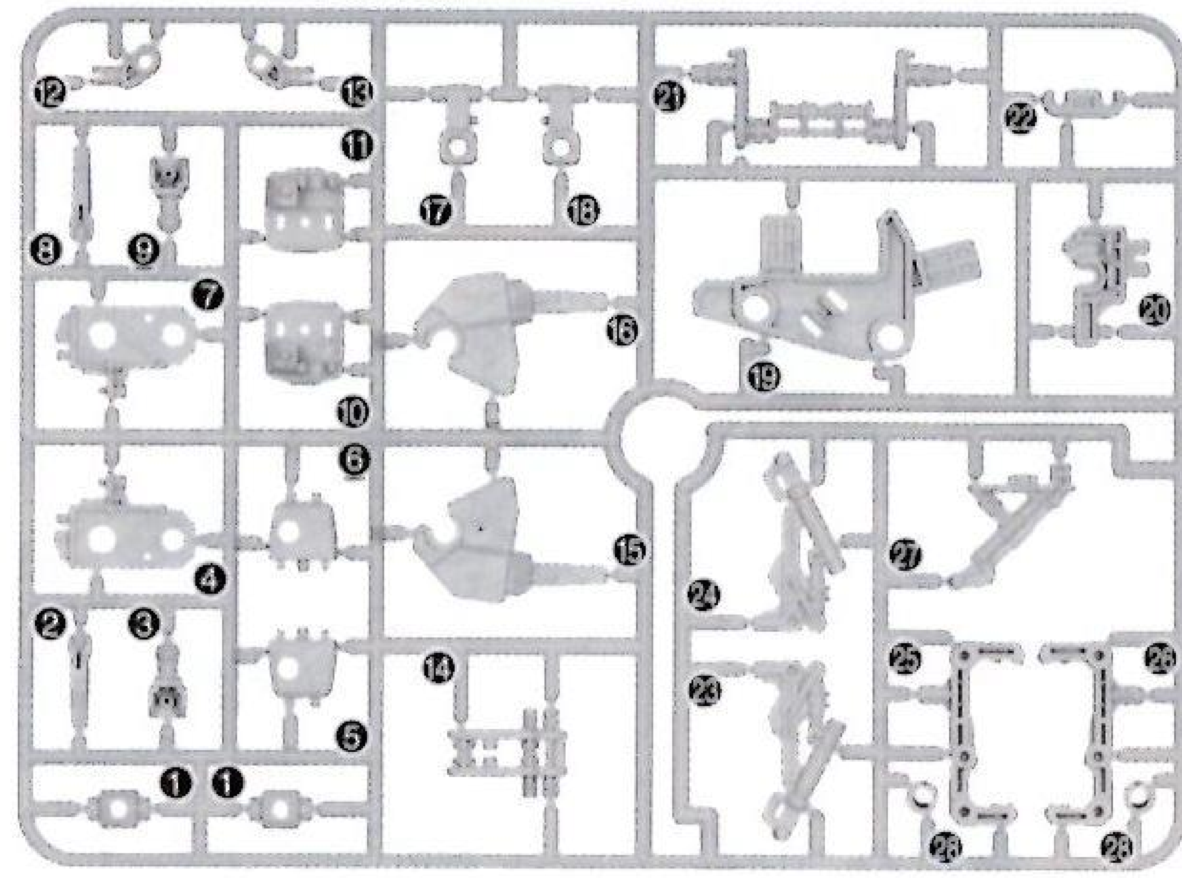
WFパーツ
（スチロール樹脂：PS）



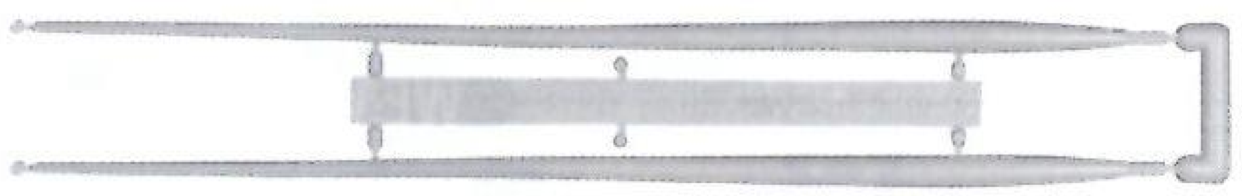
Xパーツ
（スチロール樹脂：PS）



Yパーツ
（ABS樹脂：ABS）



Zパーツ（スチロール樹脂：PS）



●マーキングシール…1

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（**裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。**）にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂いた個人情報は、商品・部品の発送業務以外には使用いたしません。

■申し込み先　〒424-8735 静岡県静岡市清水区西久保305　(株)バンダイ静岡相談センター　TEL0543-65-5315

《料金表》●部品代は切り取った1個の料金です。

部品番号	組立説明書	WFパーツ	WD❶・❸	Zパーツ	マーキングシール	その他の部品
部品代	200円	500円	各100円	1本100円	40円	各40円
郵送料	200円	390円	200円	140円	80円	120円

・電話受付時間 月～金曜日（祝日を除く）10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないように
ご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード　'05.06/0134101-5000

パーフェクトグレード
1/60 SCALE「スカイグラスパー」＋「エールストライカー」

必要な部品の記号・番号・数量を書く

●注文された理由（○でかこむ）（こわした・なくした）

・日中ご連絡可能な電話番号　・年齢
（　-　-　）（　才）

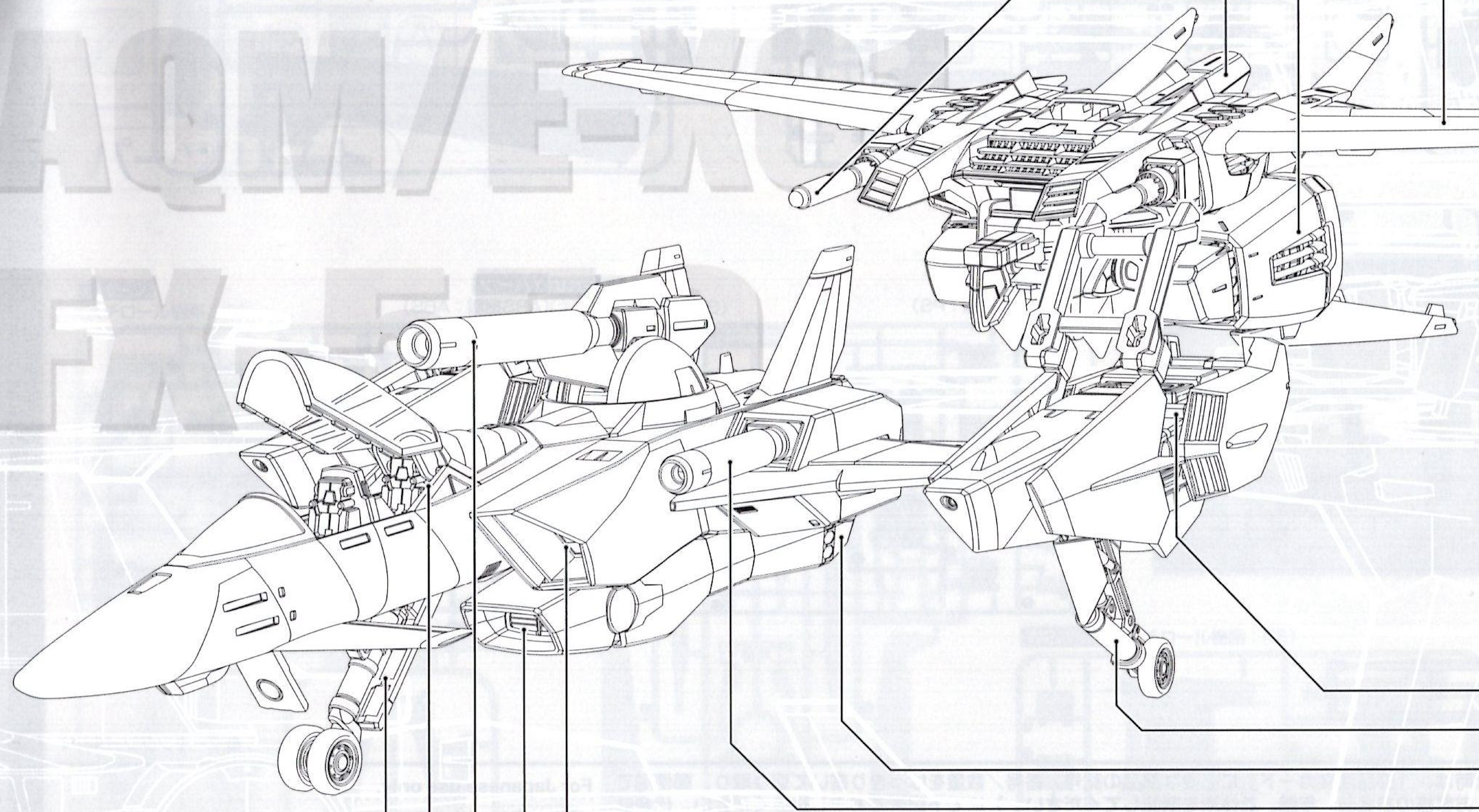
※コピー使用可

2005.06/T・ON

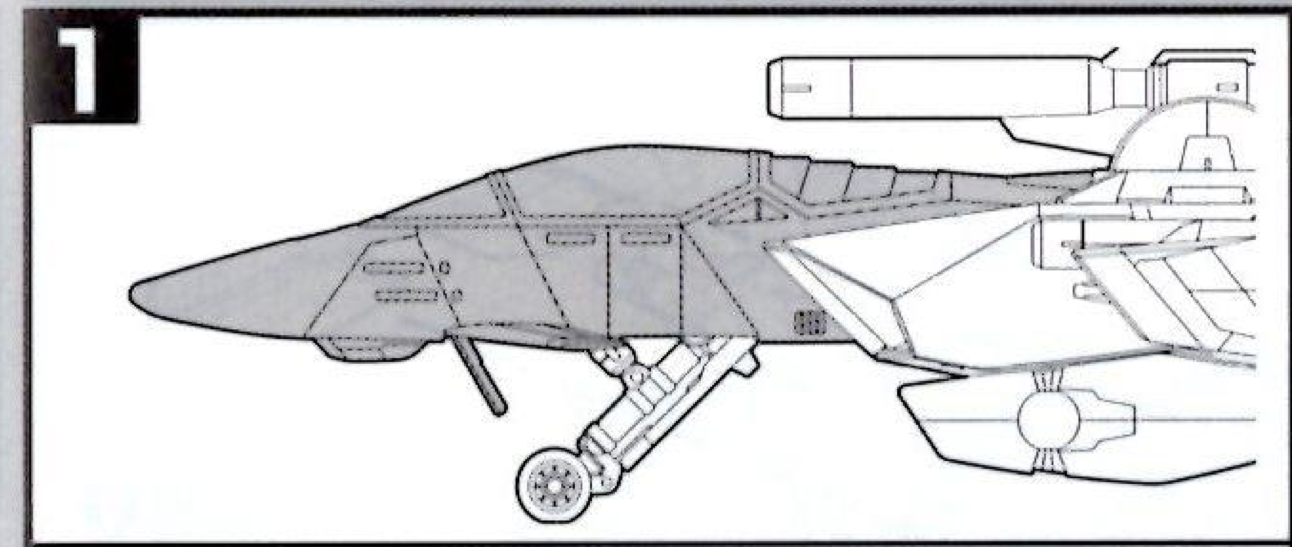
SKYGRASPER + AILE STRIKER

O.M.N.I. ENFORCER Two-seat FIGHTER FX-550+AQM/E-X01

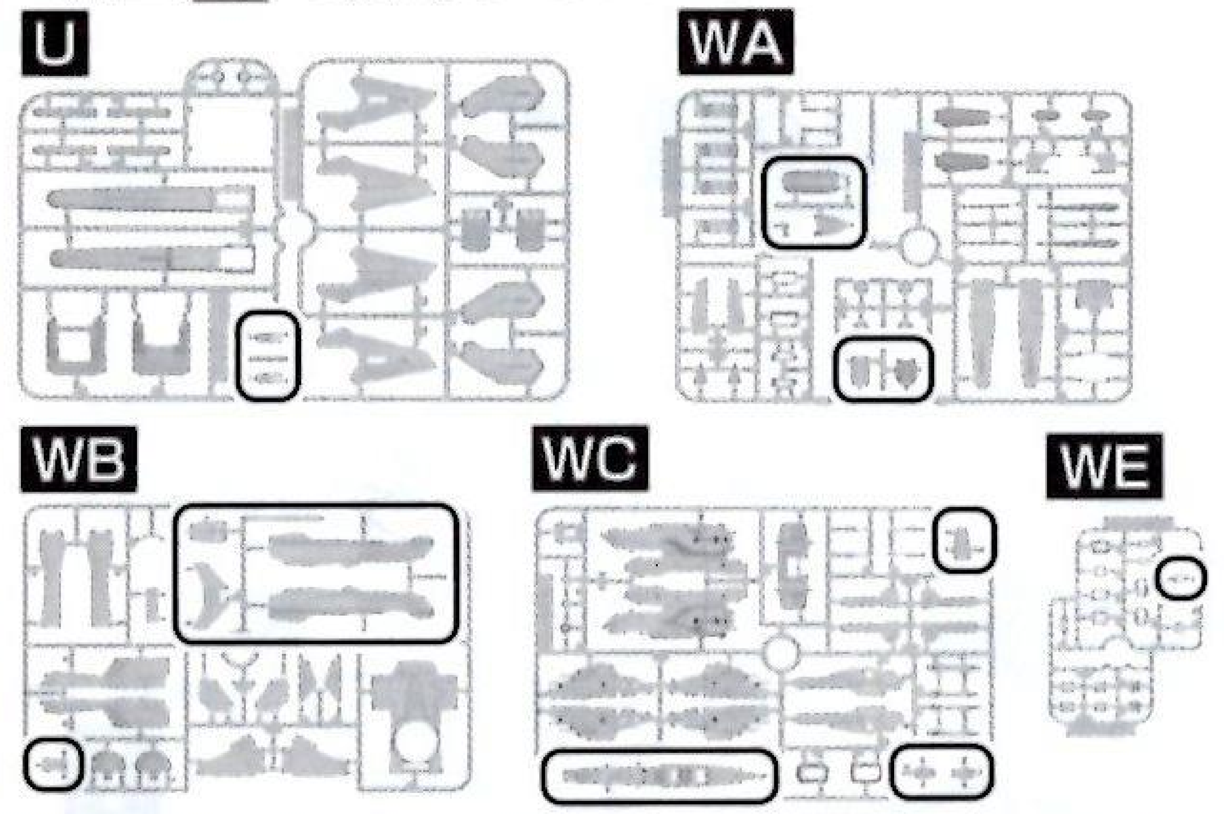
ASSEMBLE INDEX

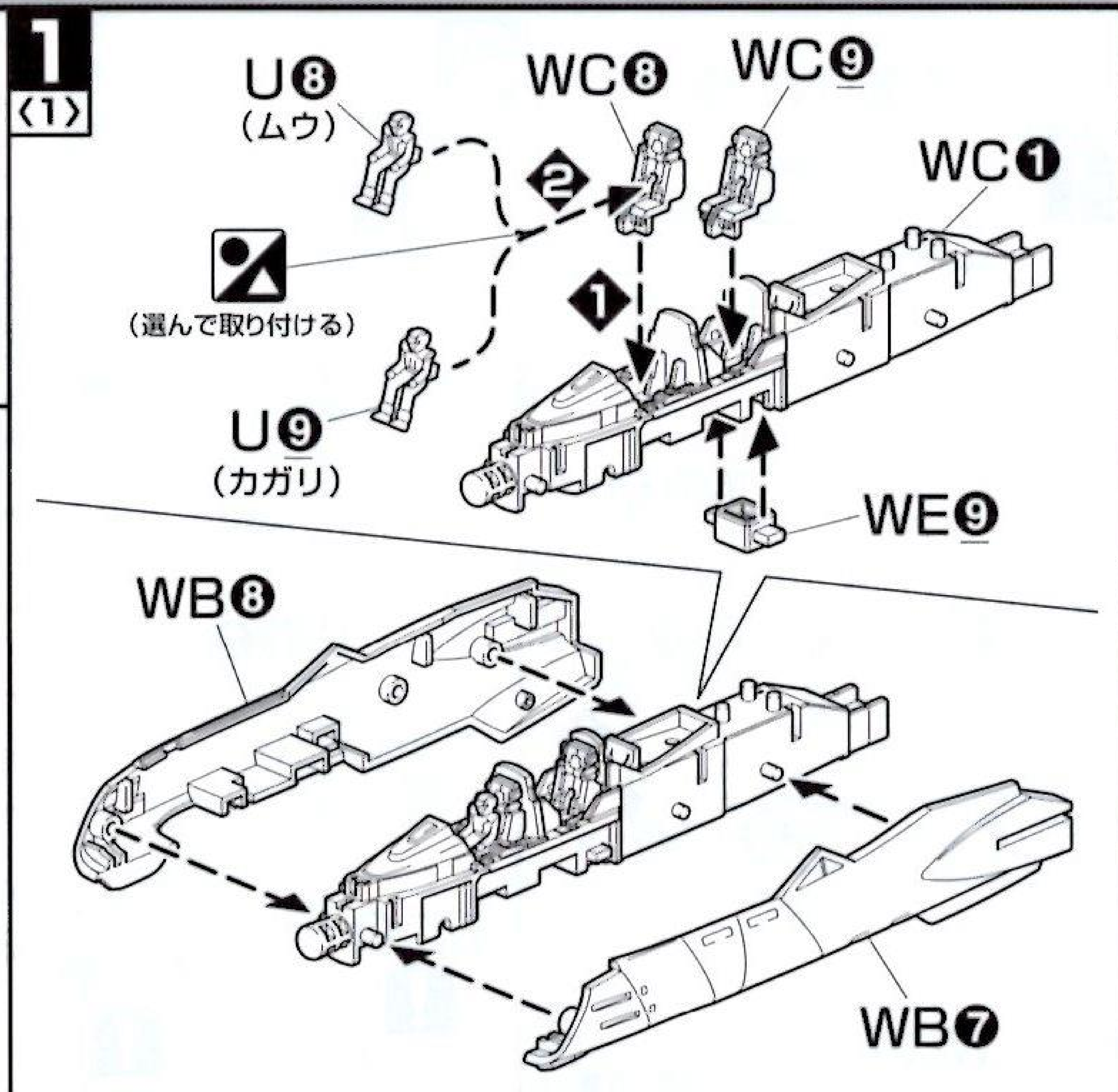


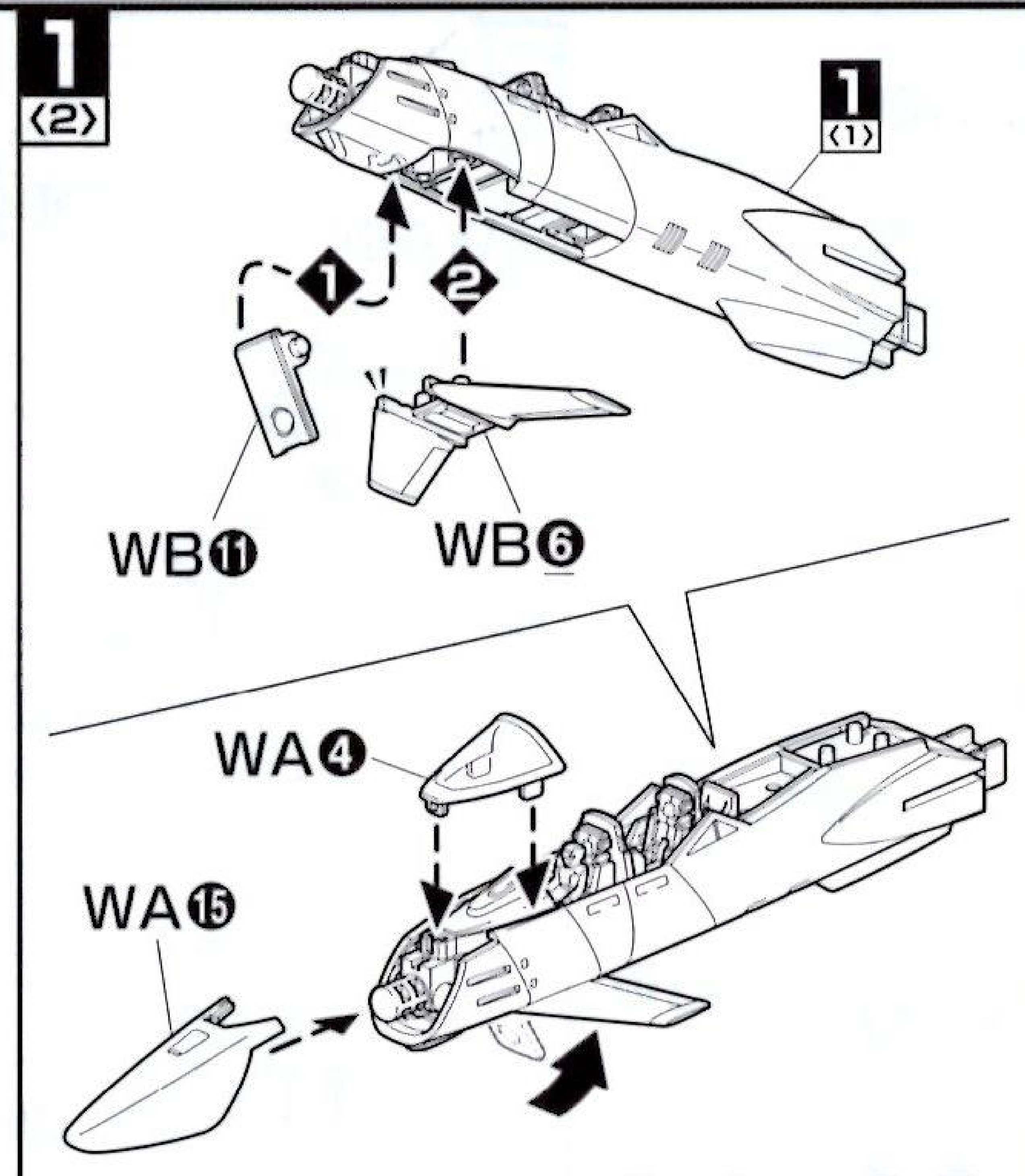
1

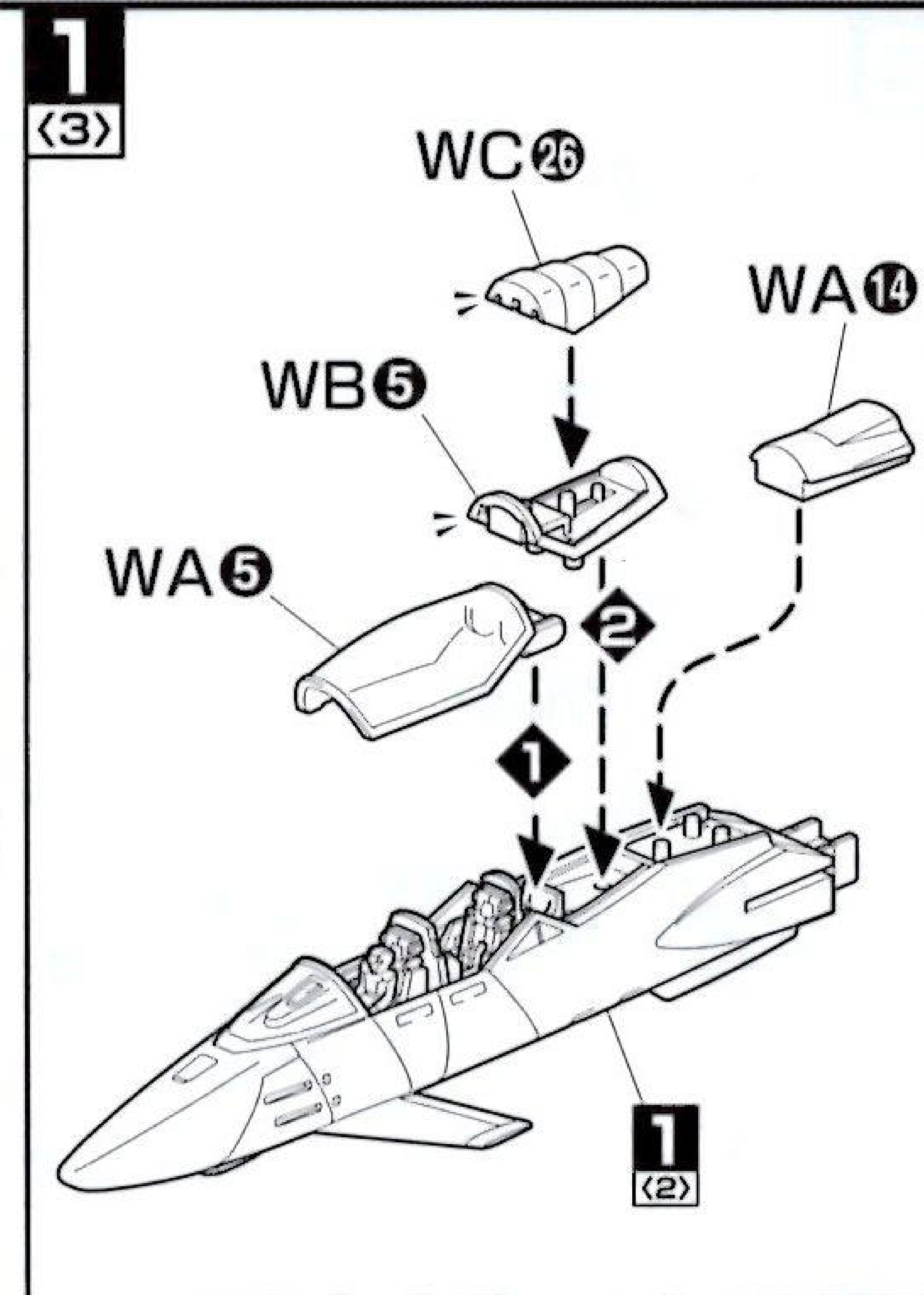


・組立1で使用するパーツ

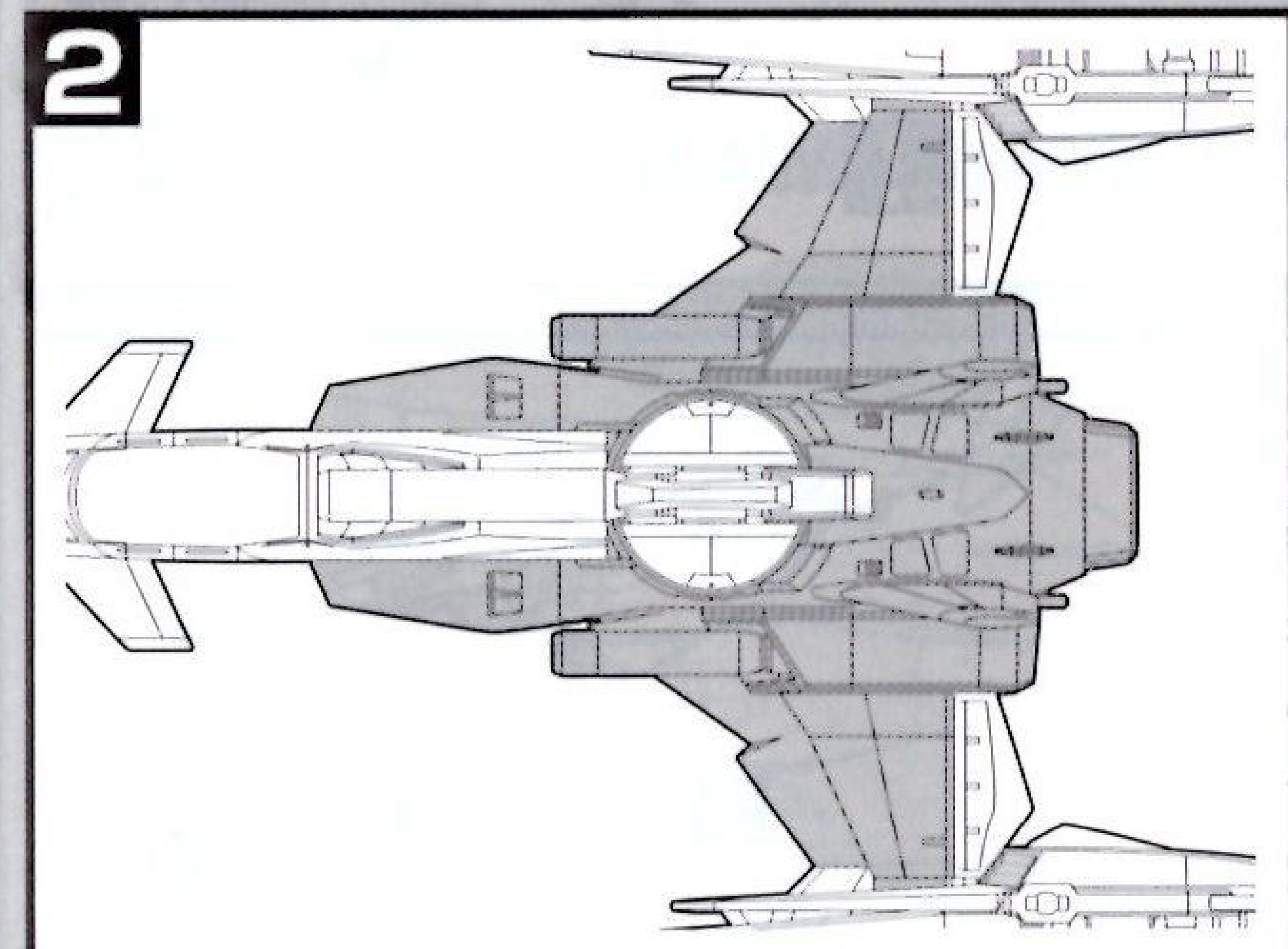


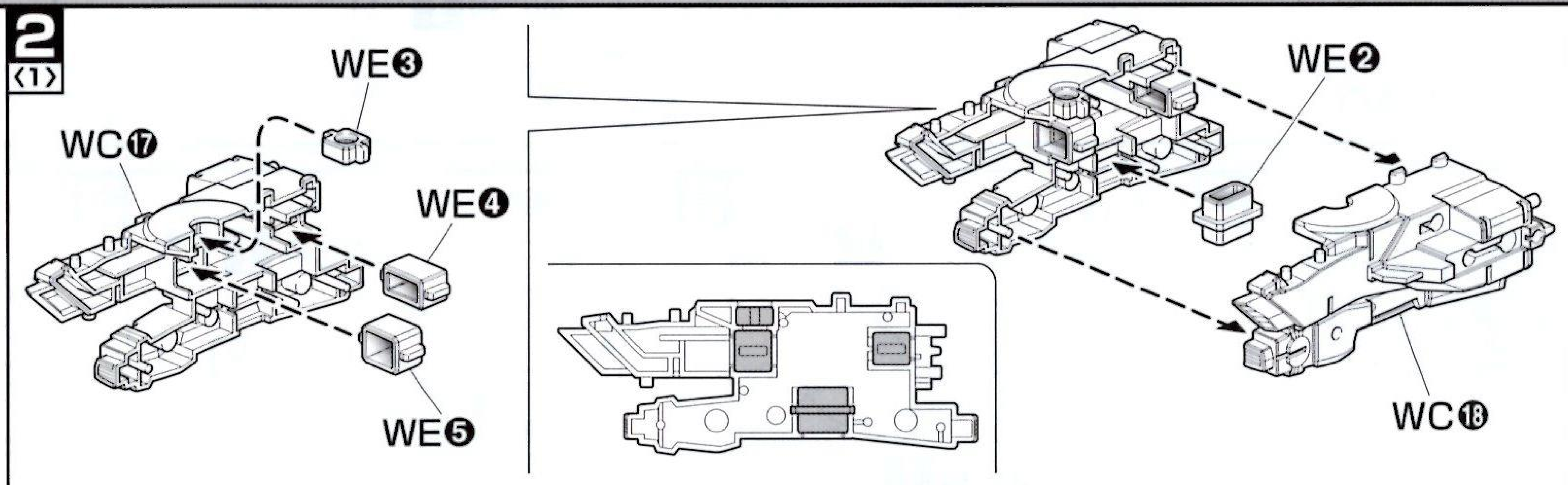


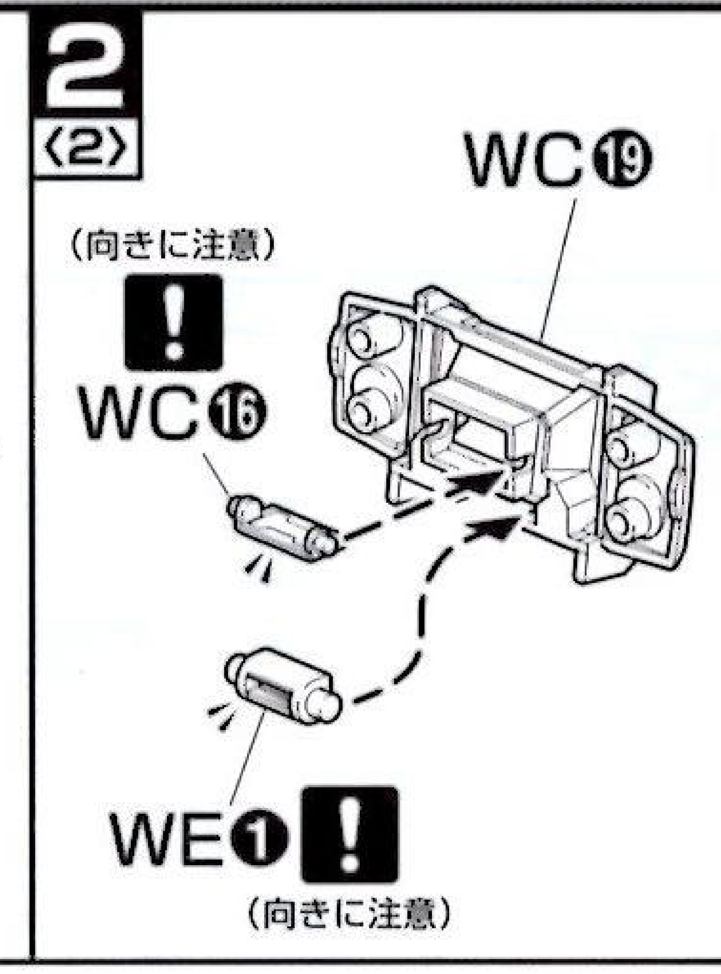




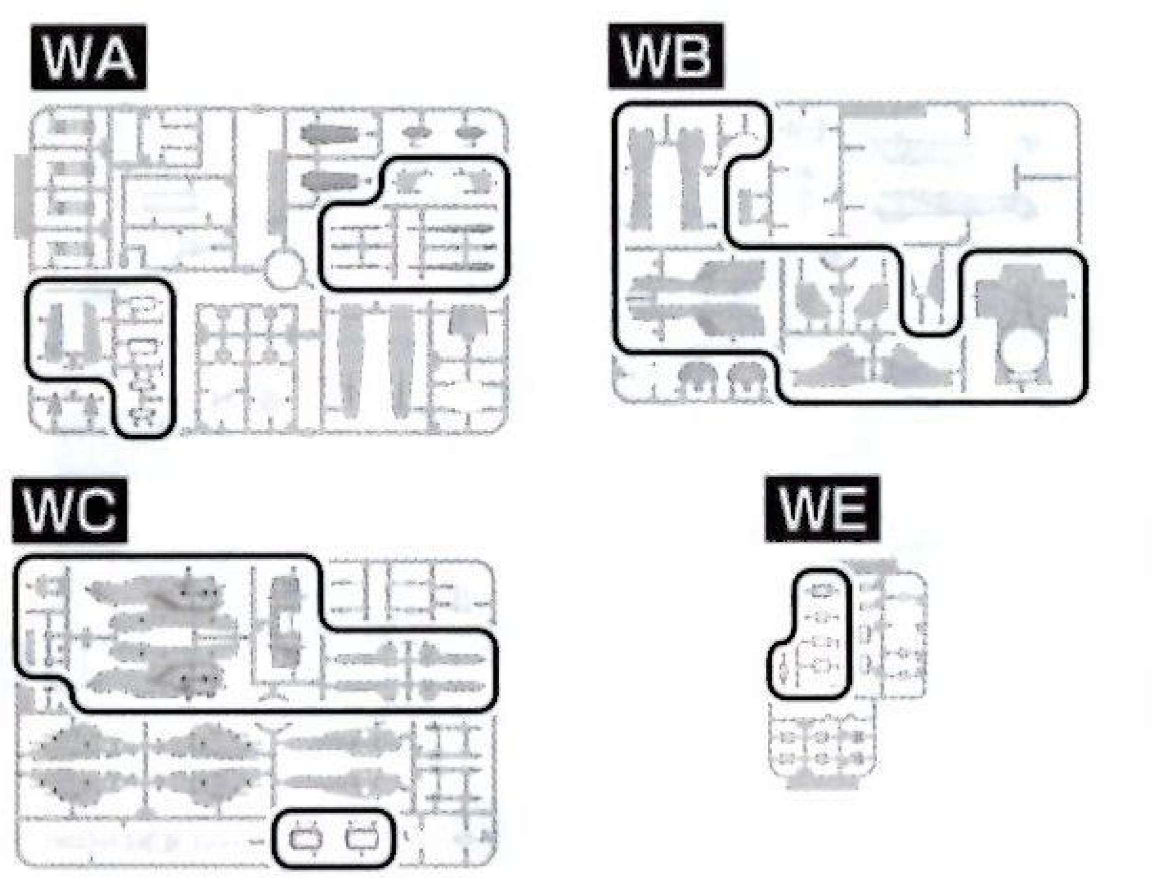
2

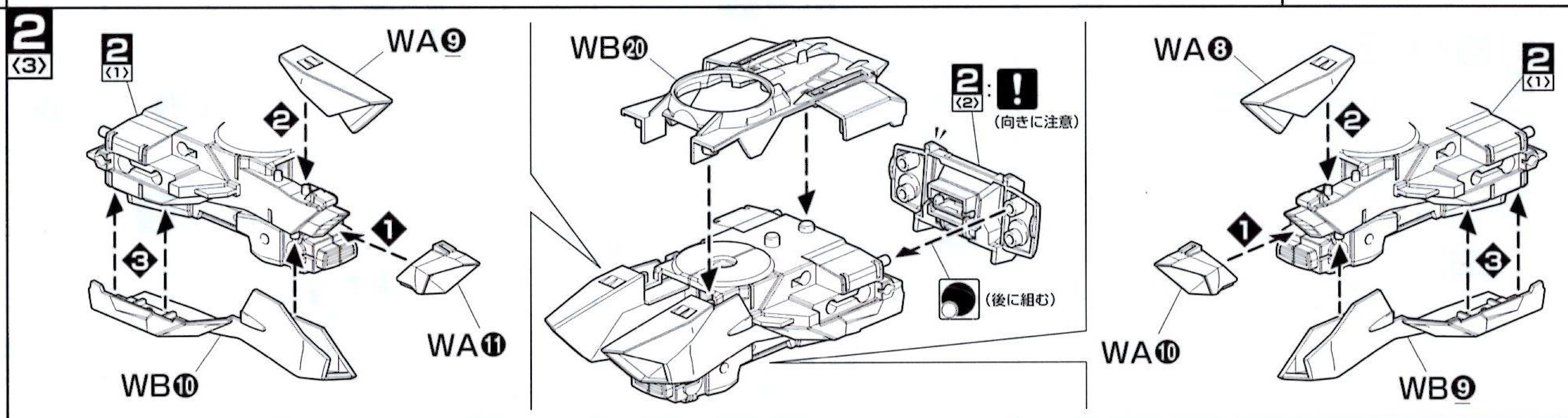


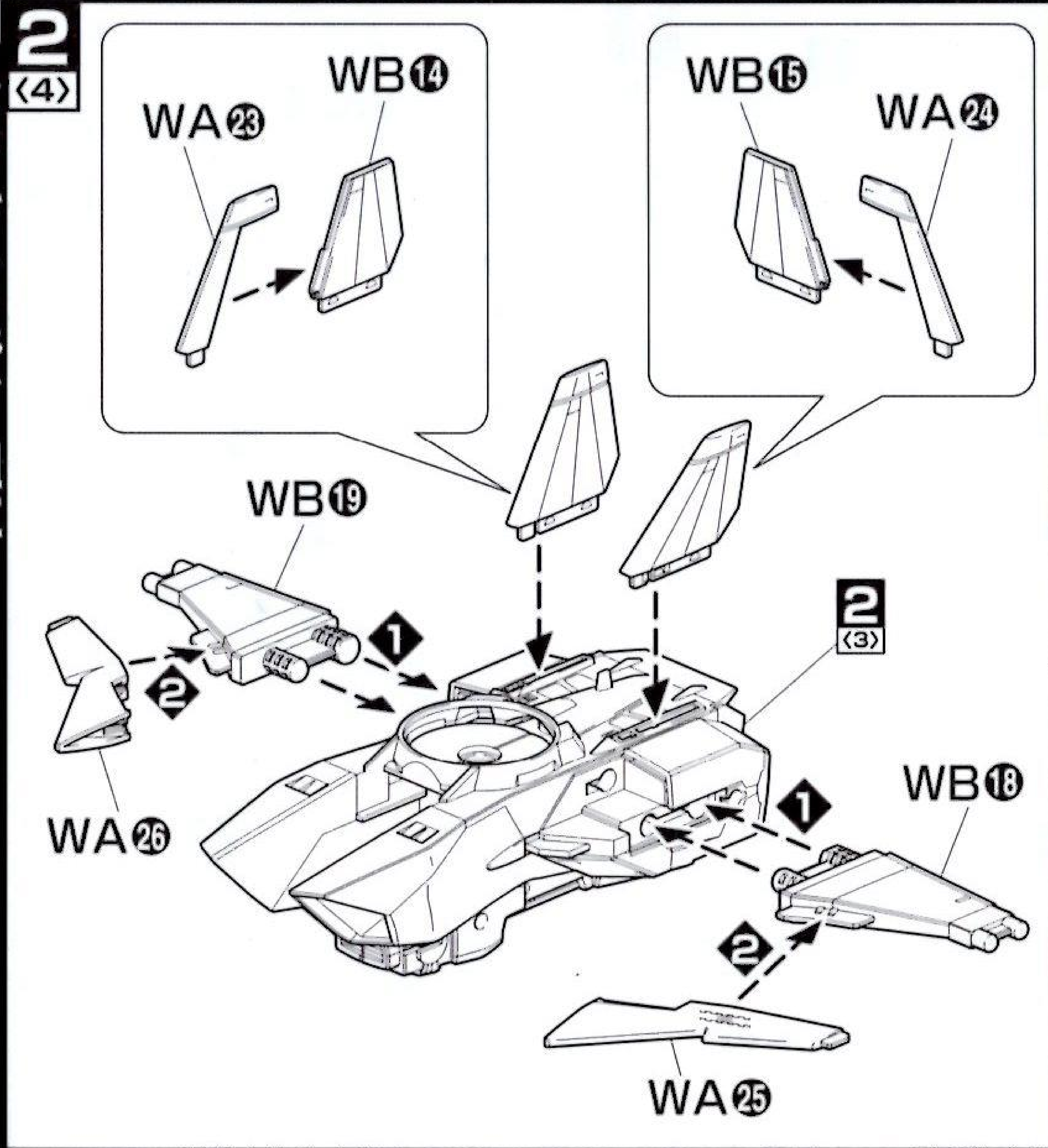


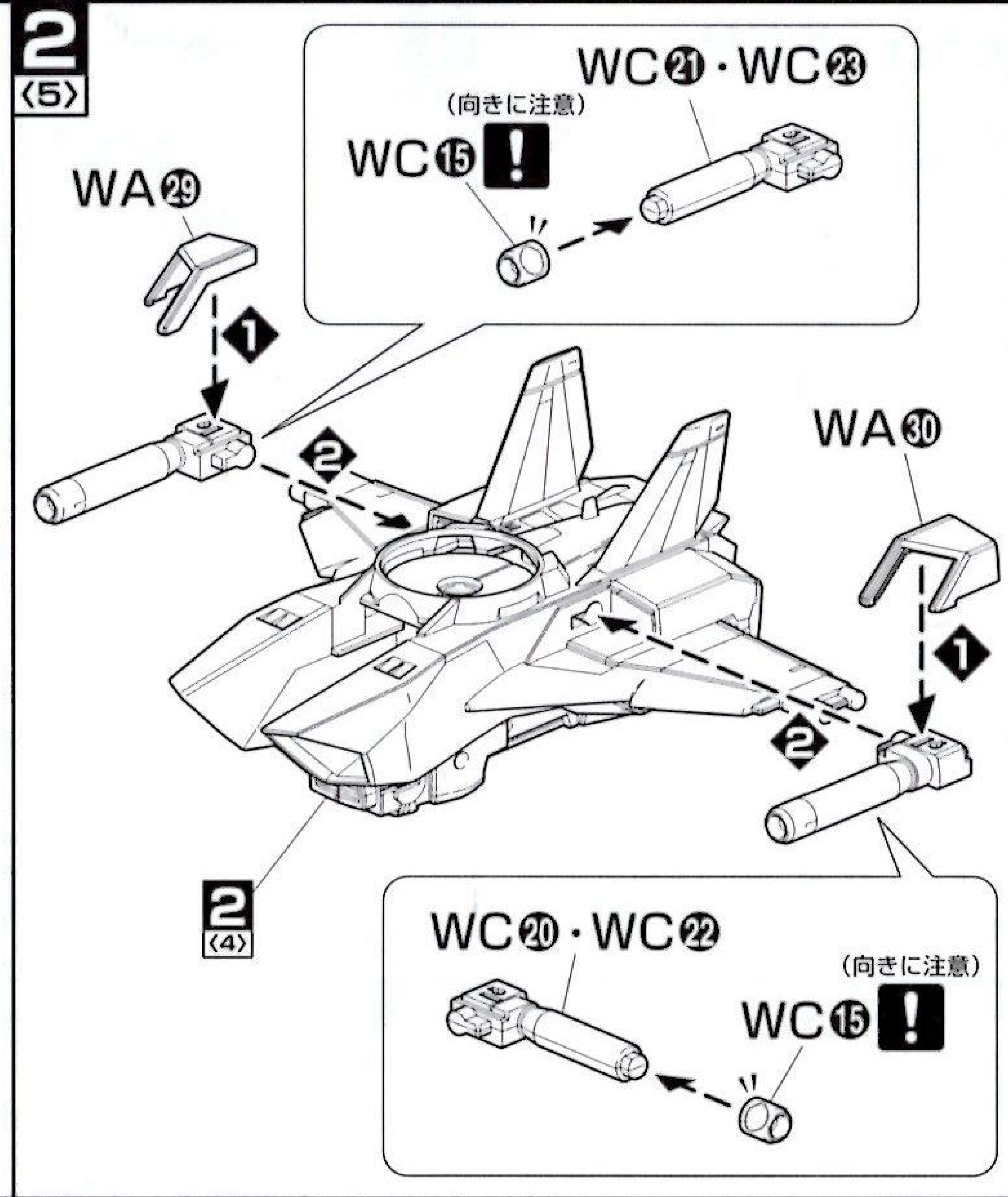


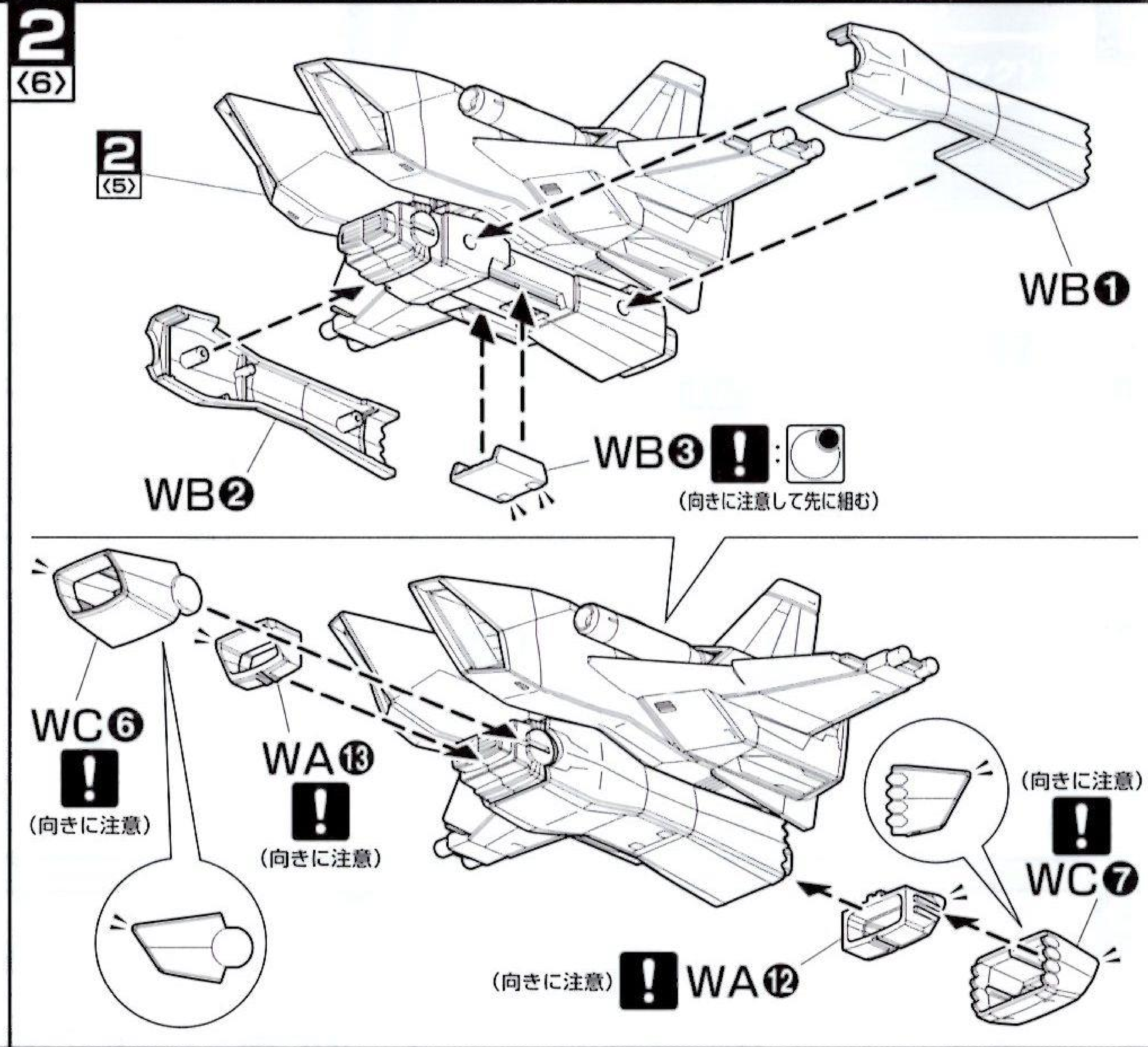
・組立2で使用するパーツ

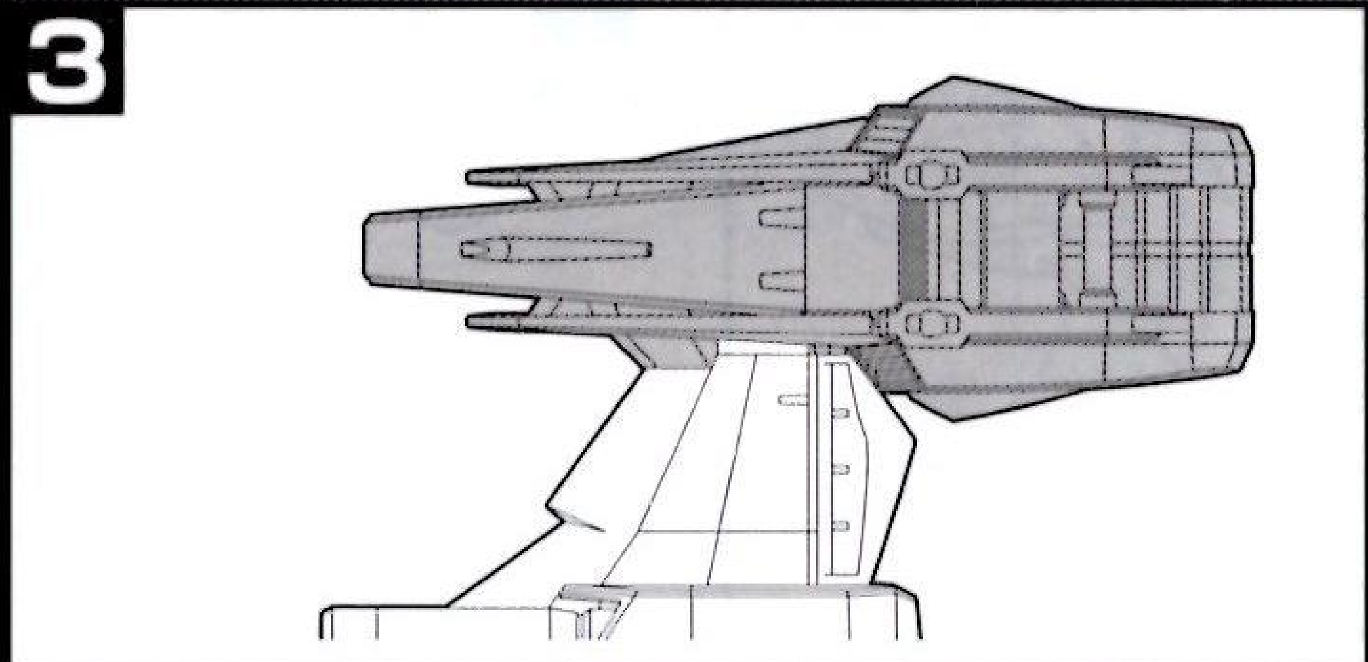




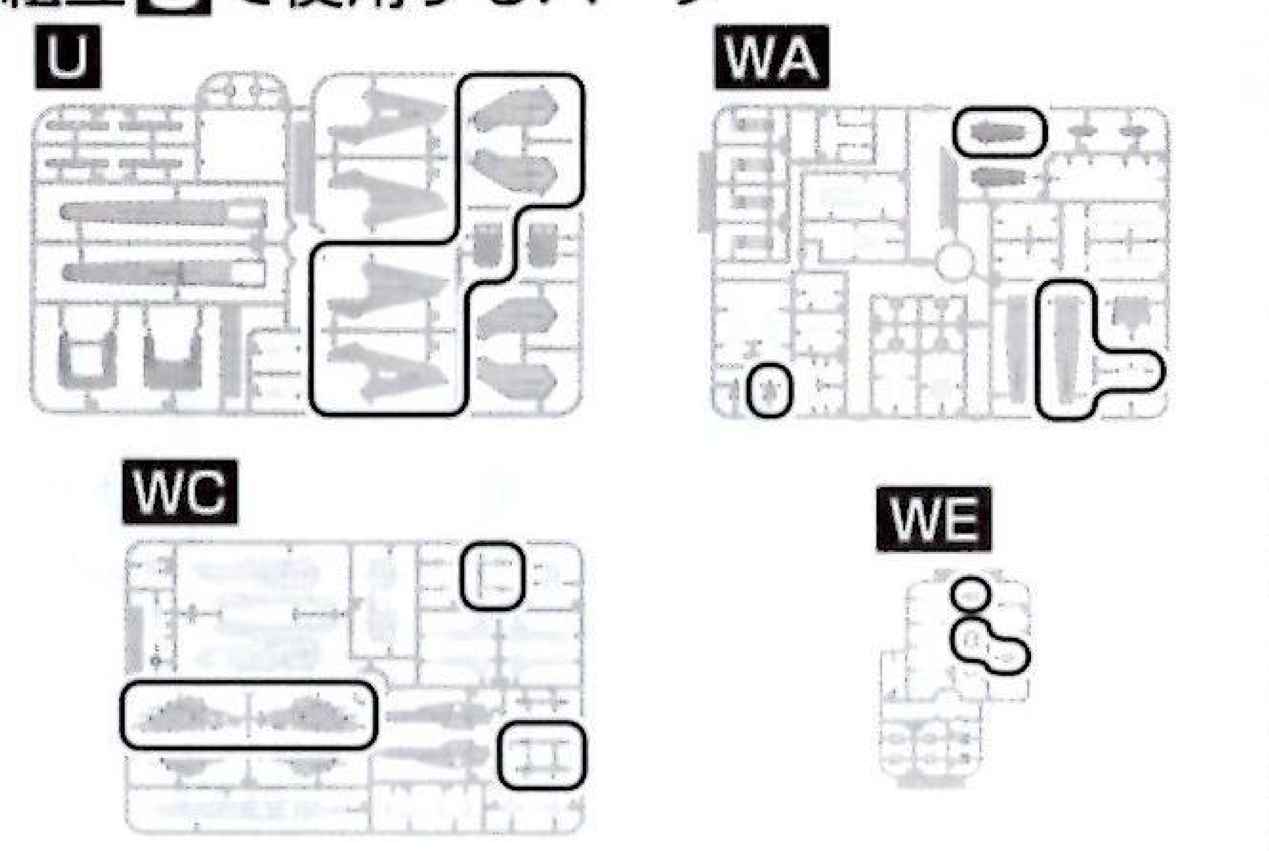


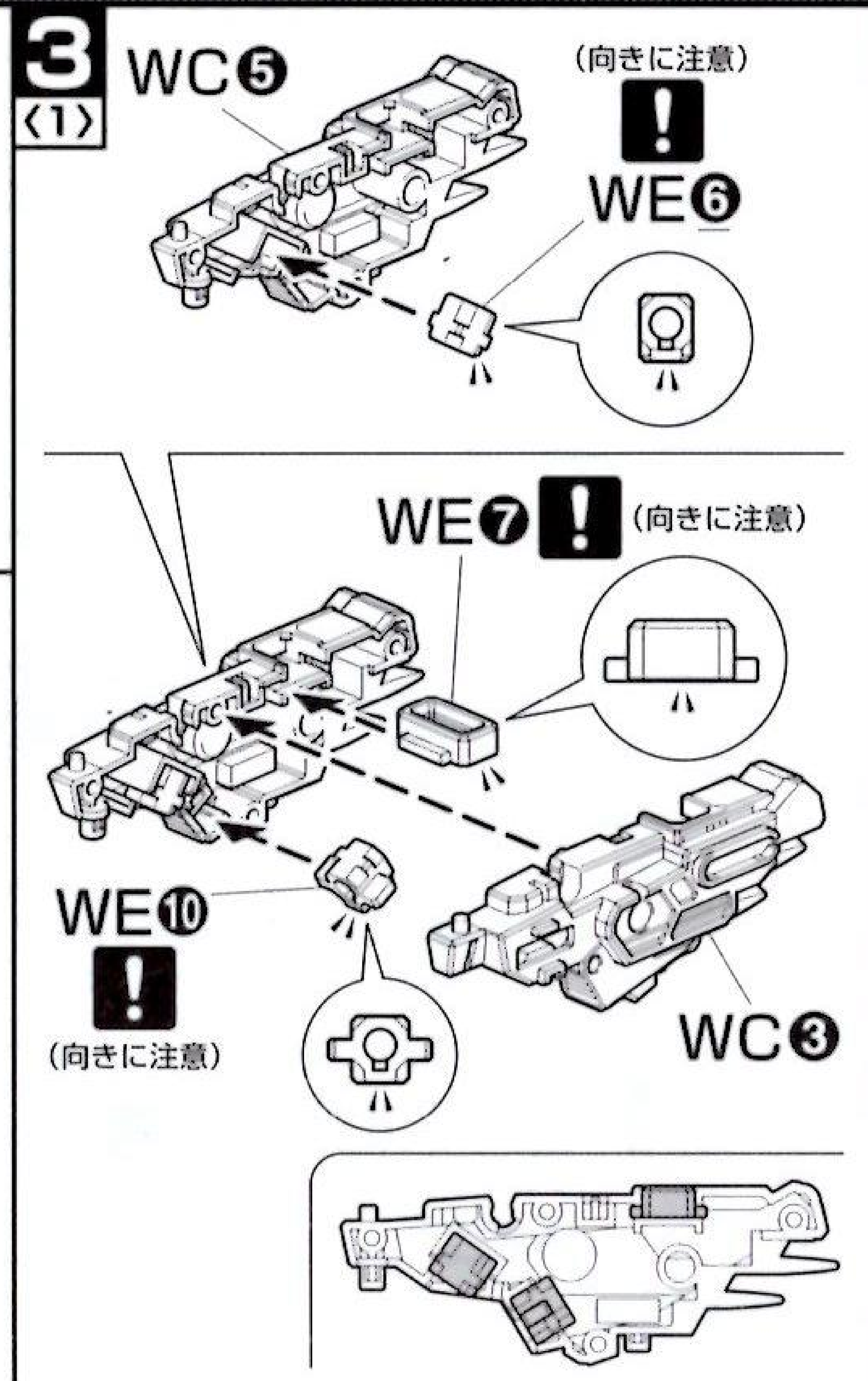


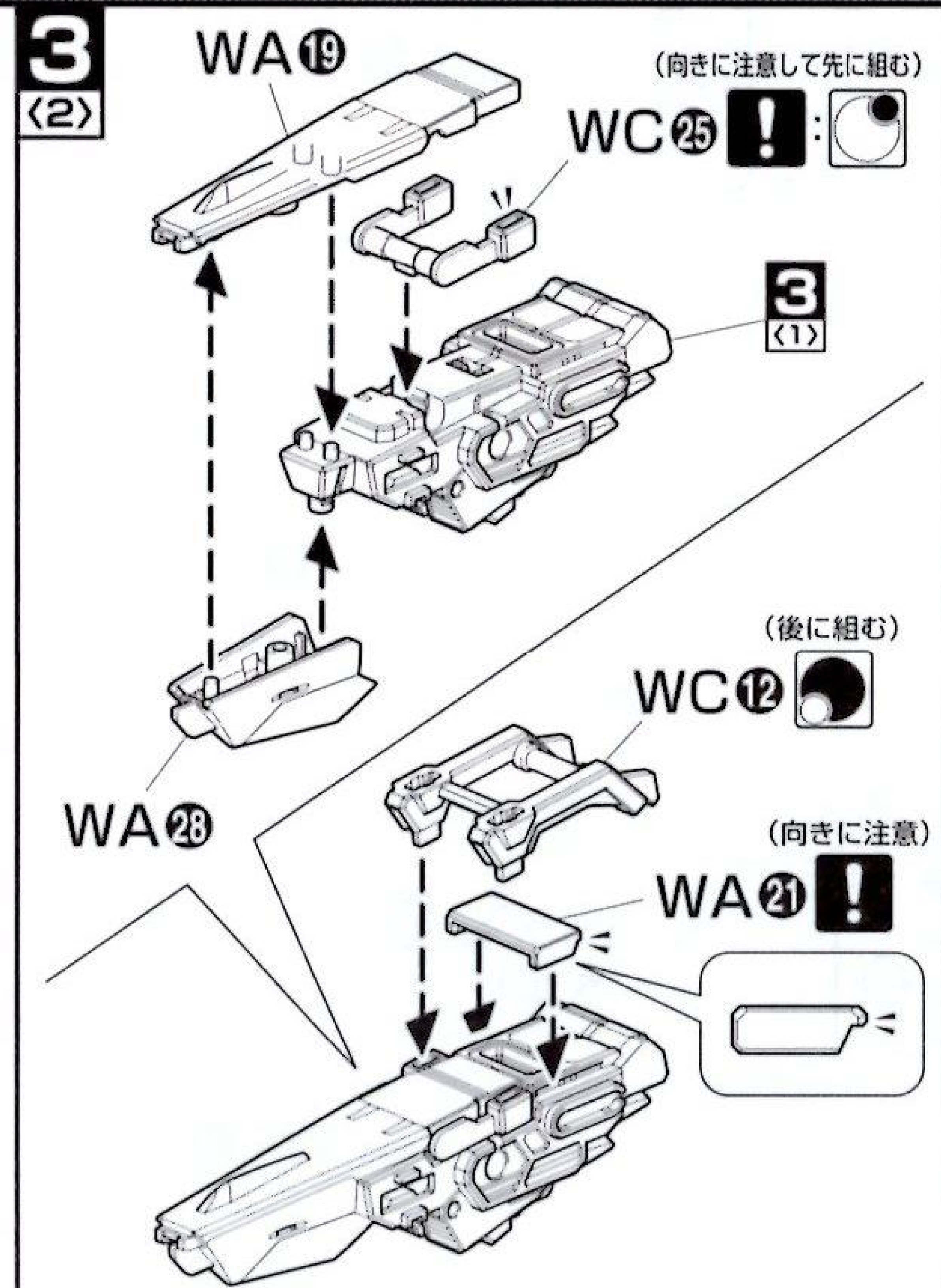


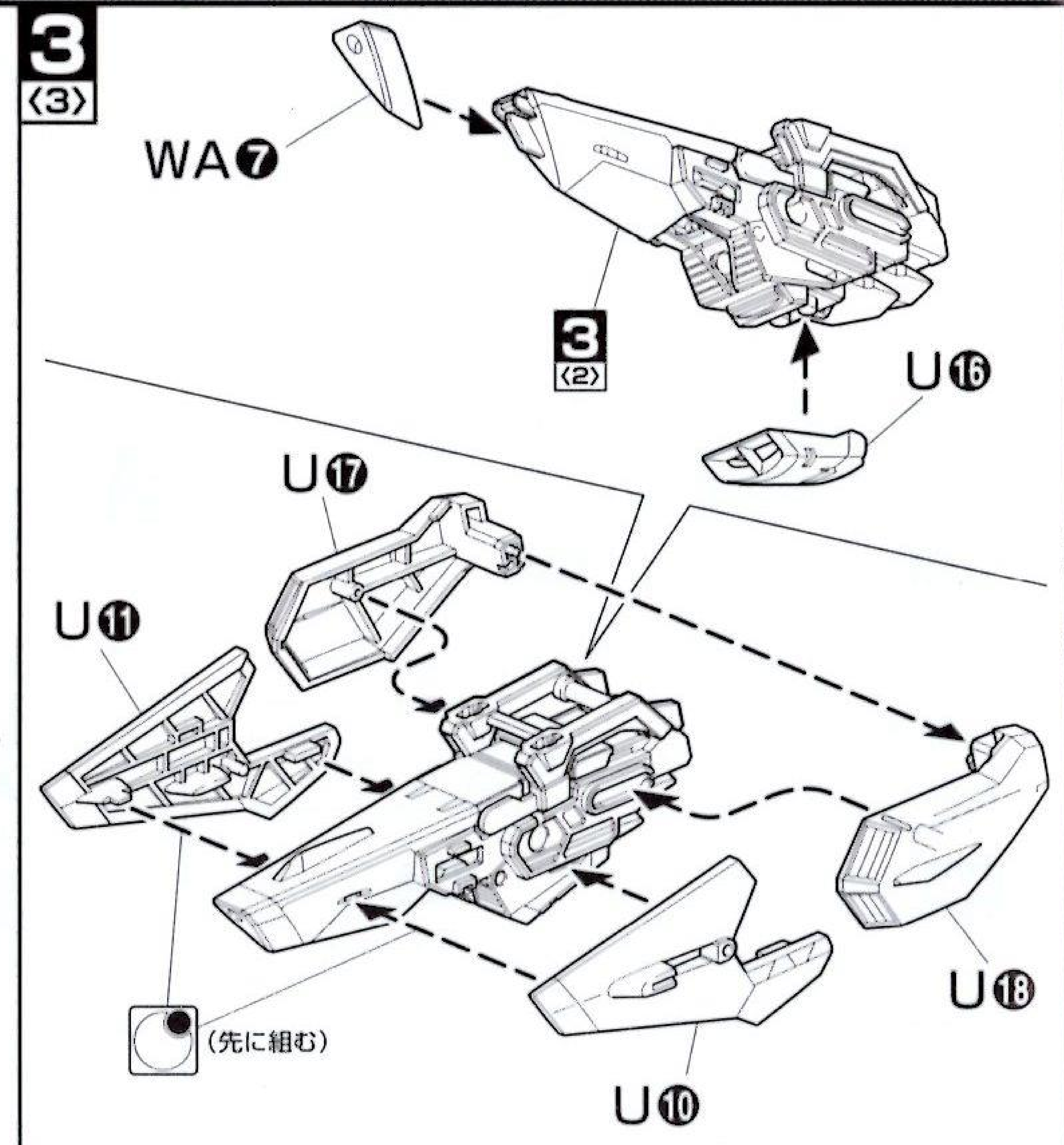


・組立3で使用するパーツ

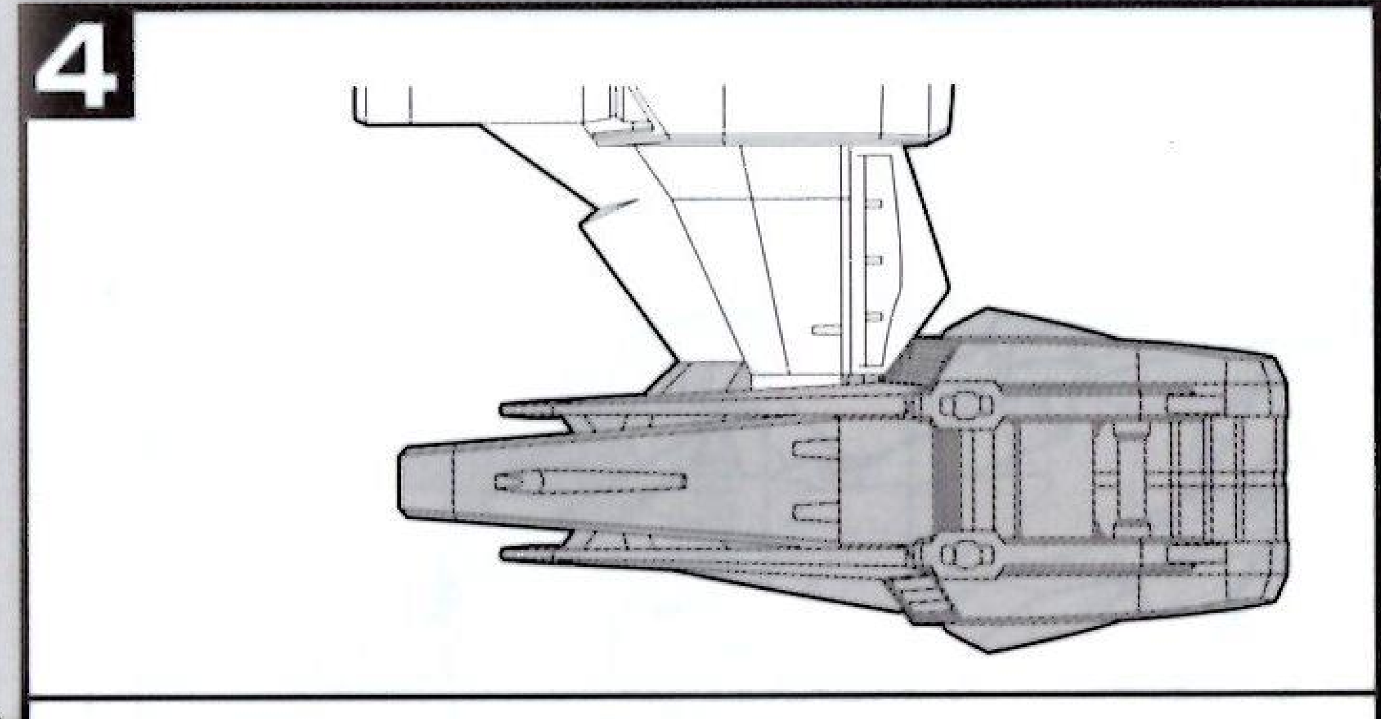




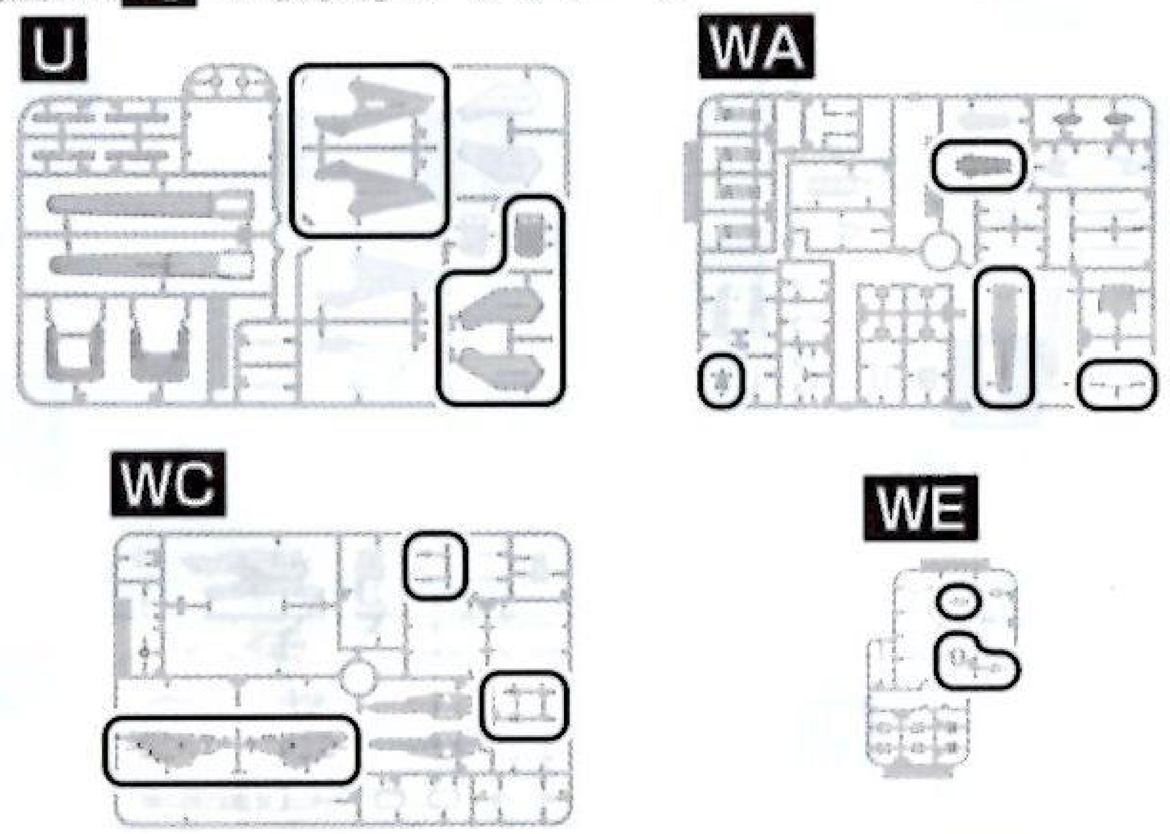


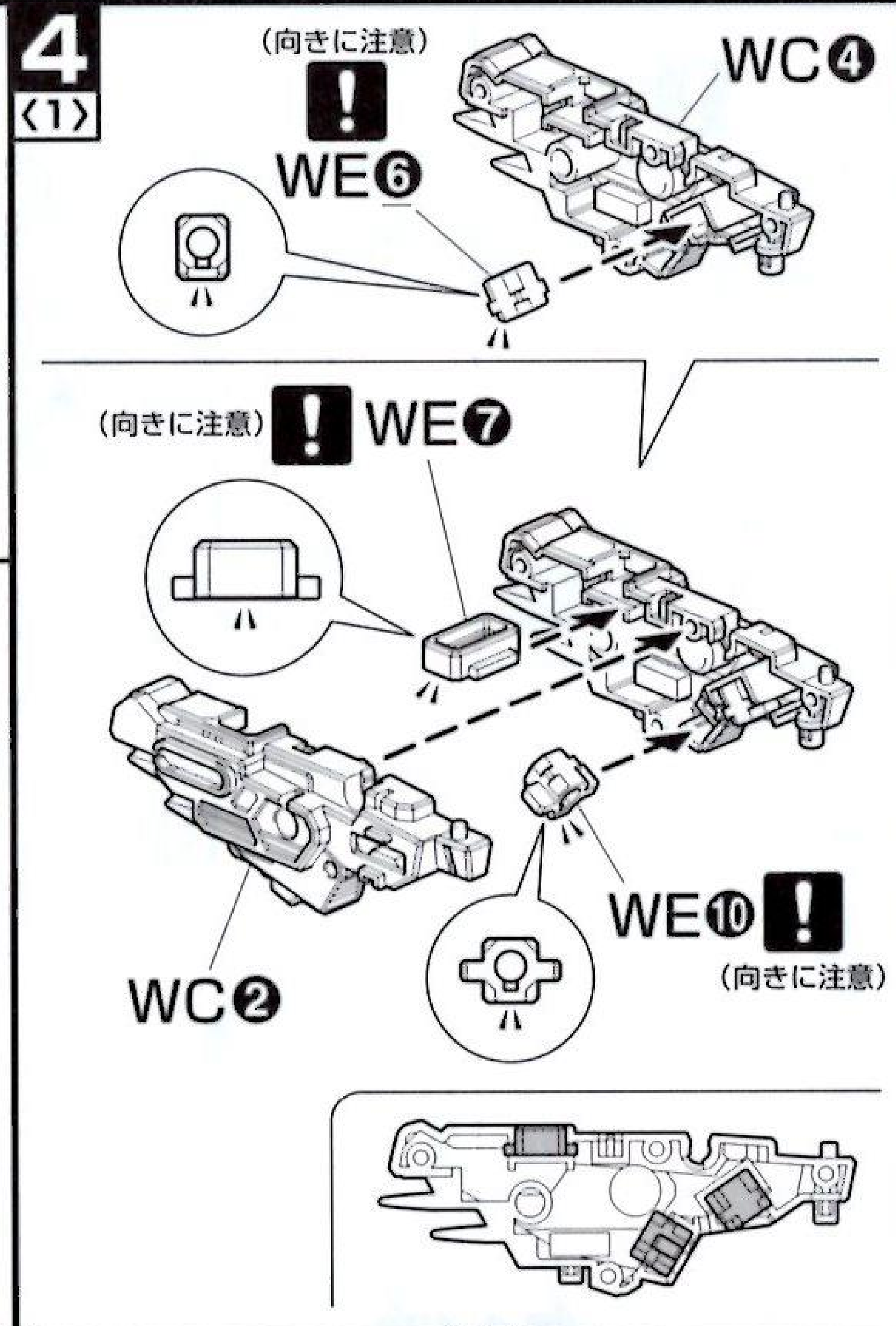


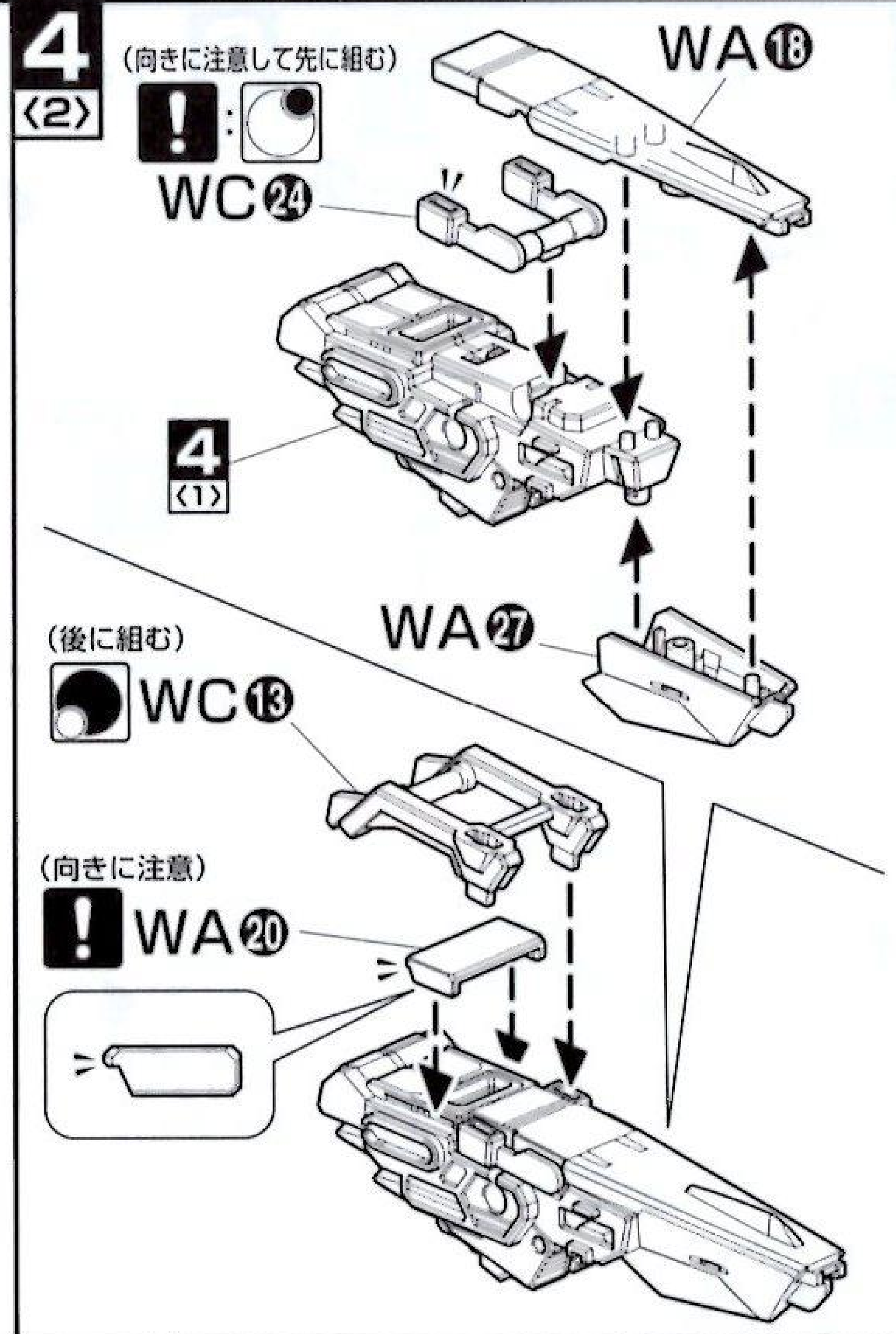
4

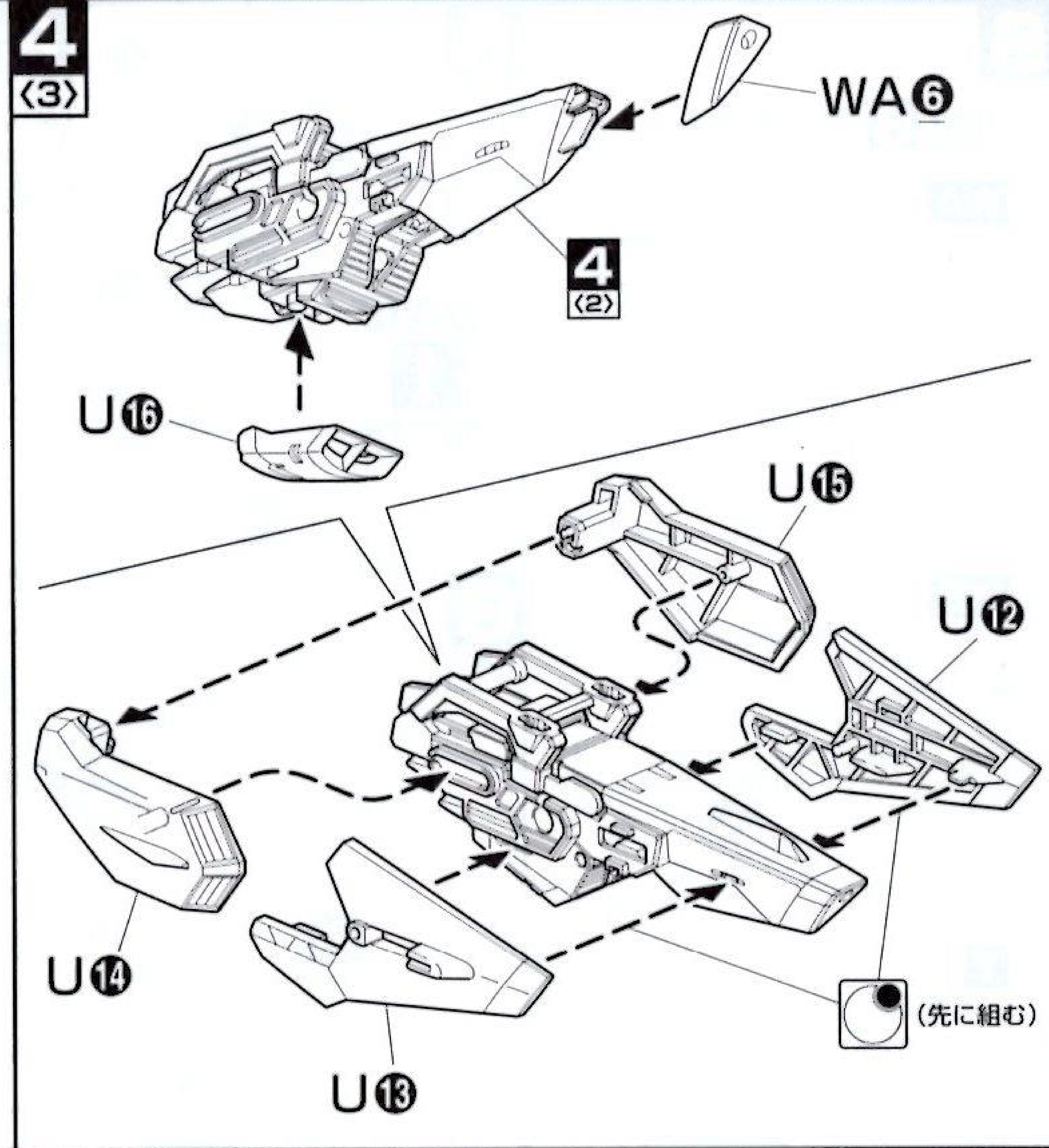


・組立4で使用するパーツ

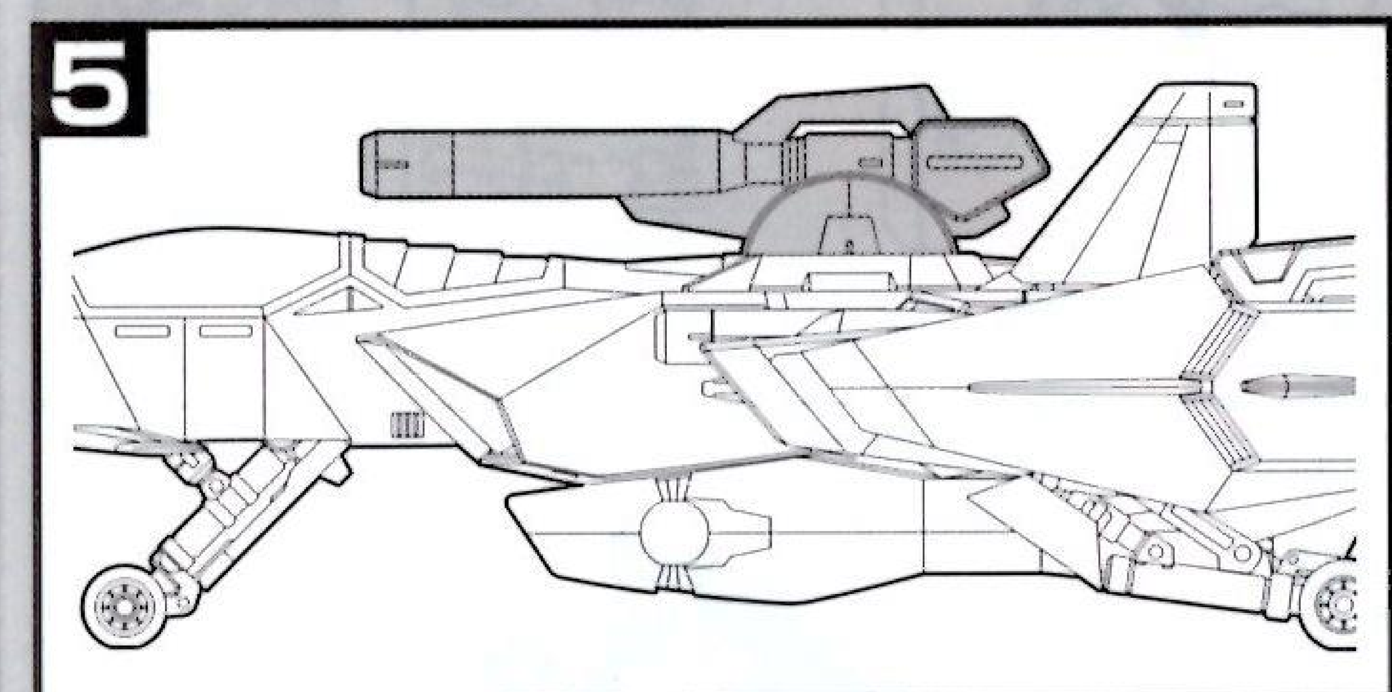






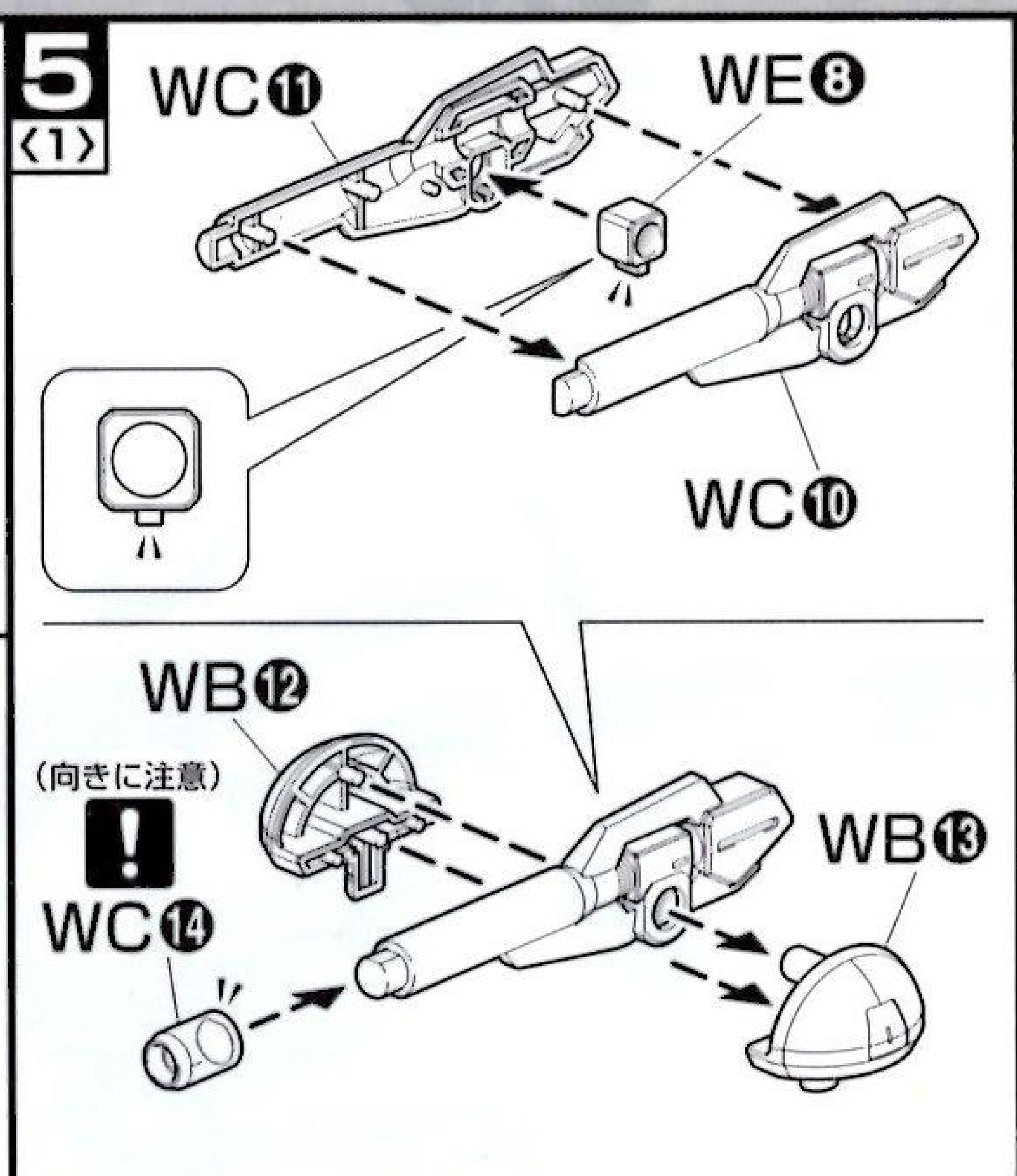


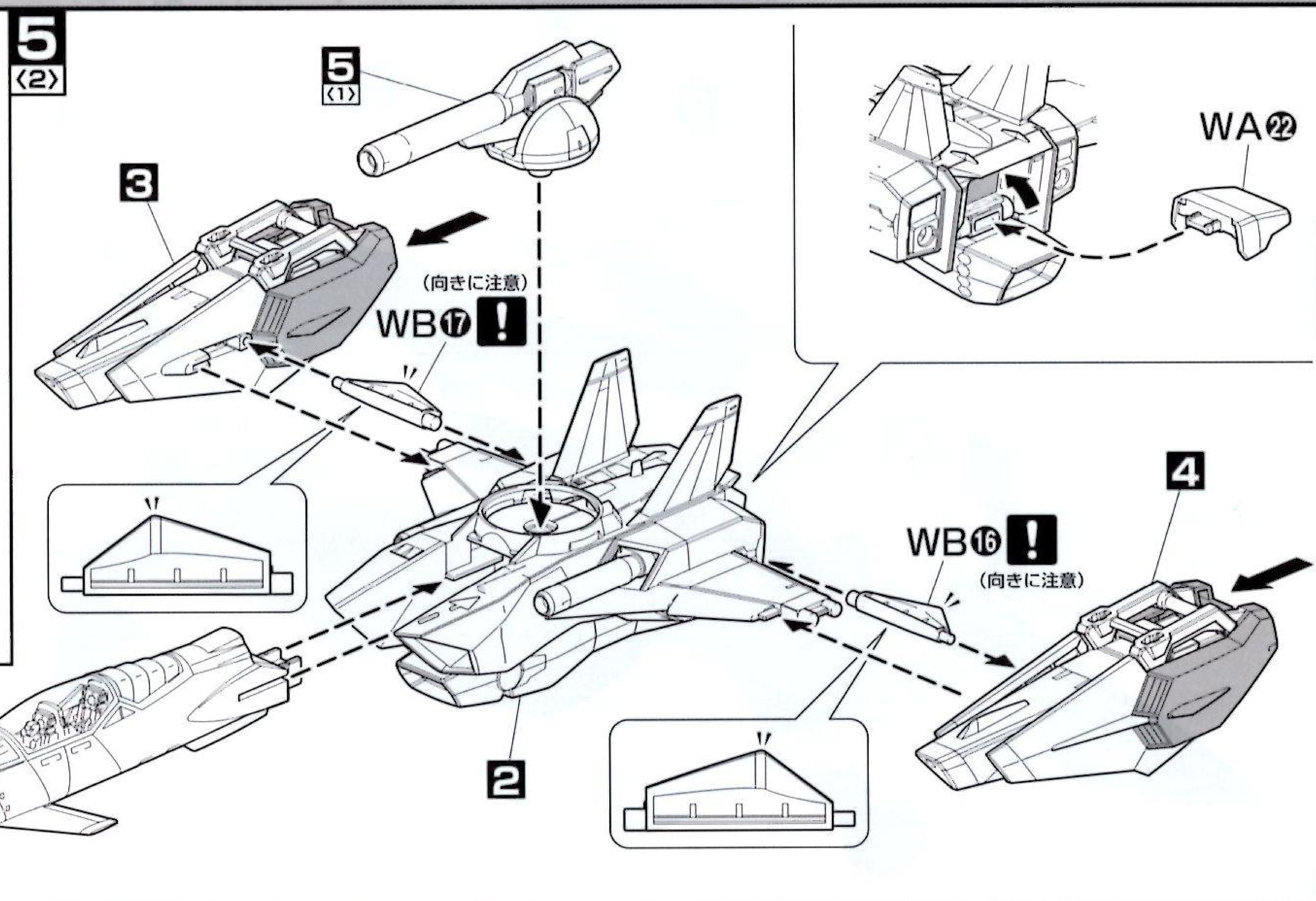
5



・組立5で使用するパーツ



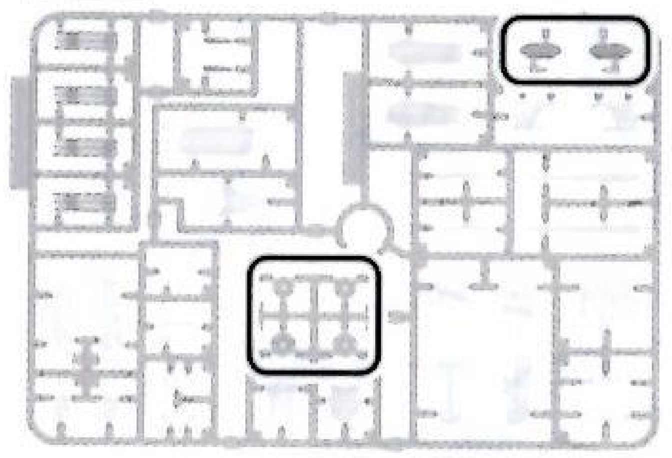




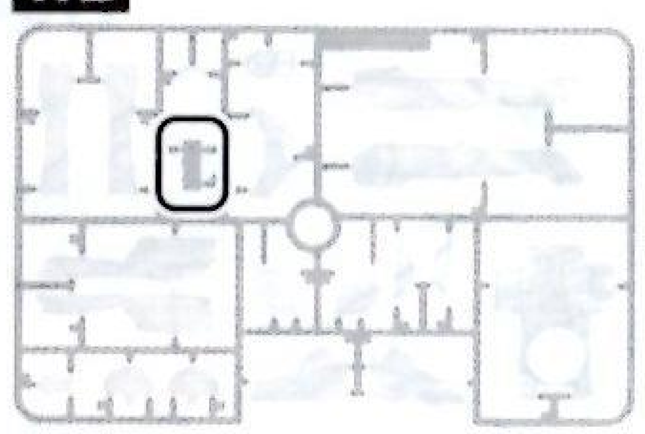
6

・組立6で使用するパーツ

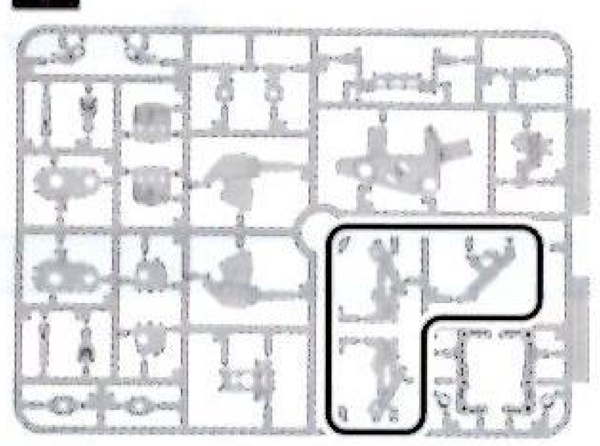
WA

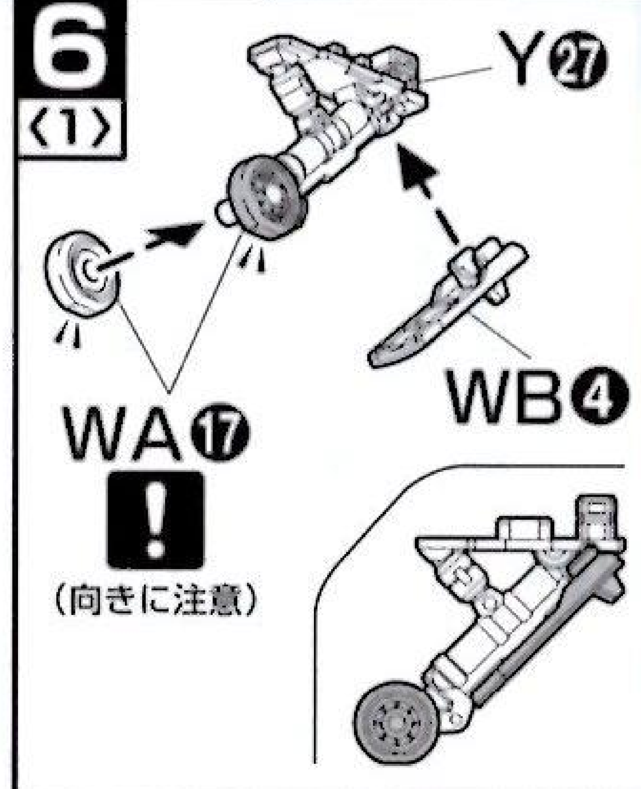


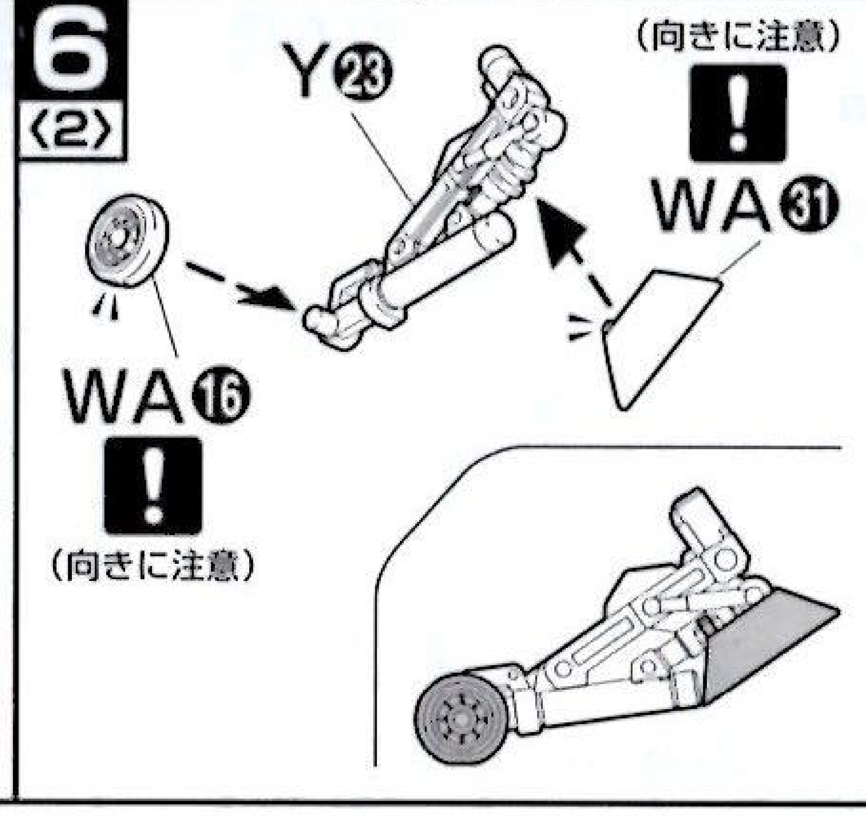
WB

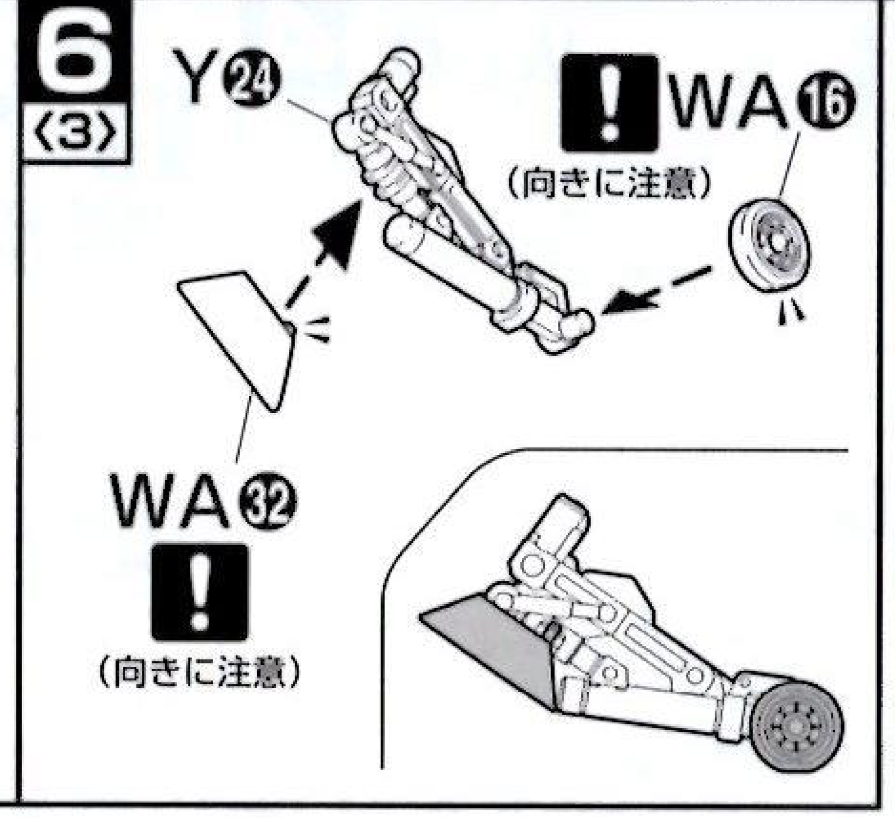


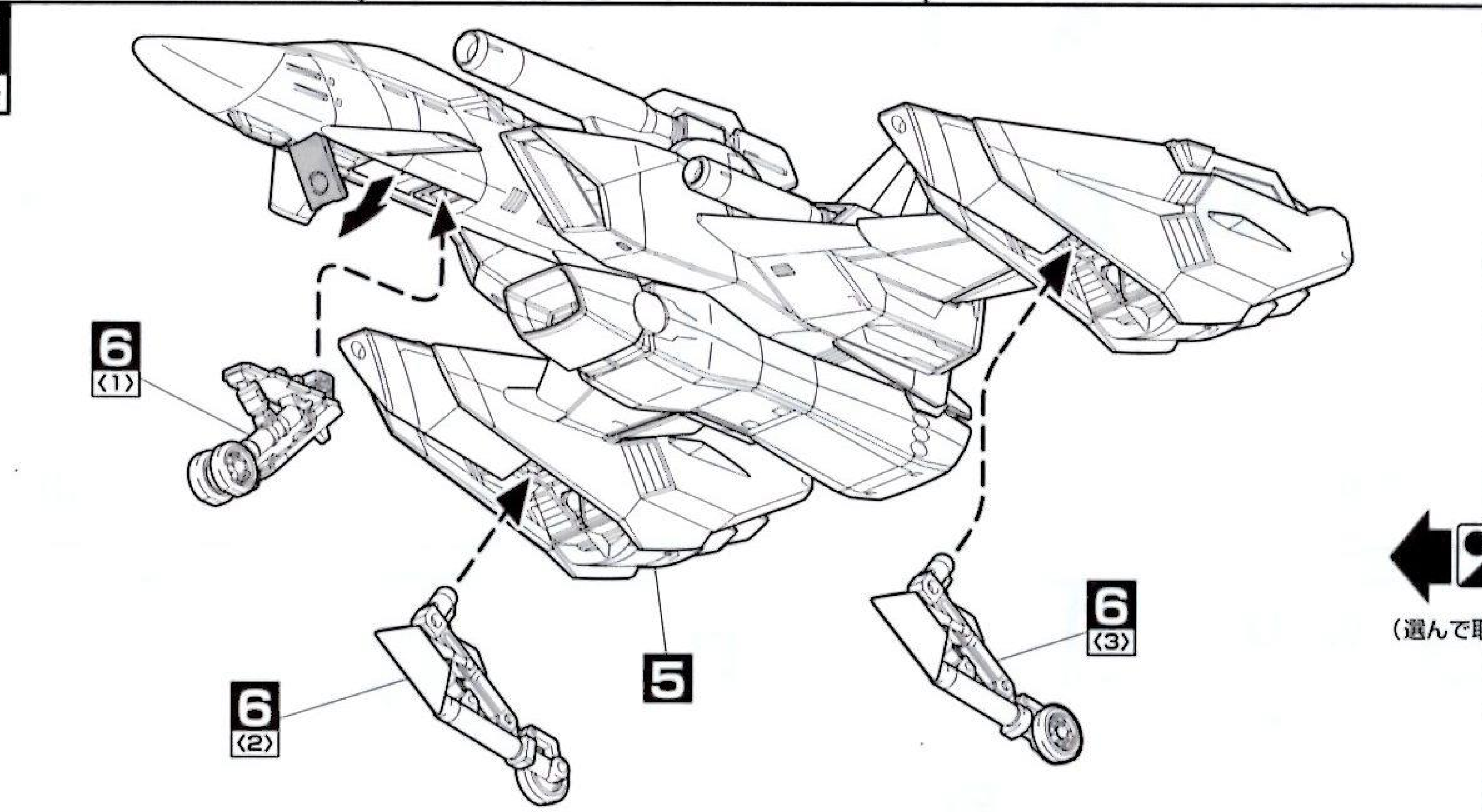
Y

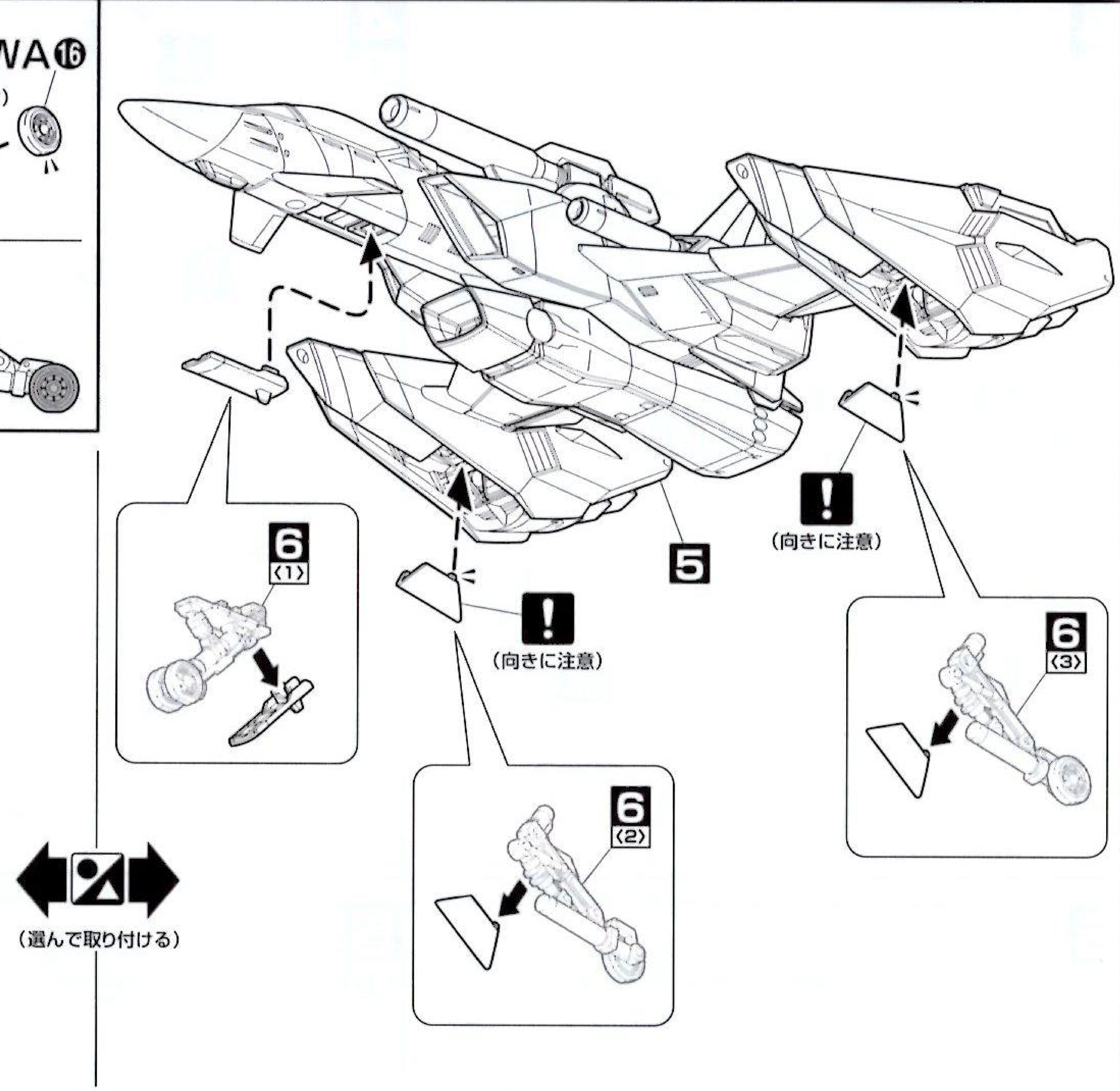


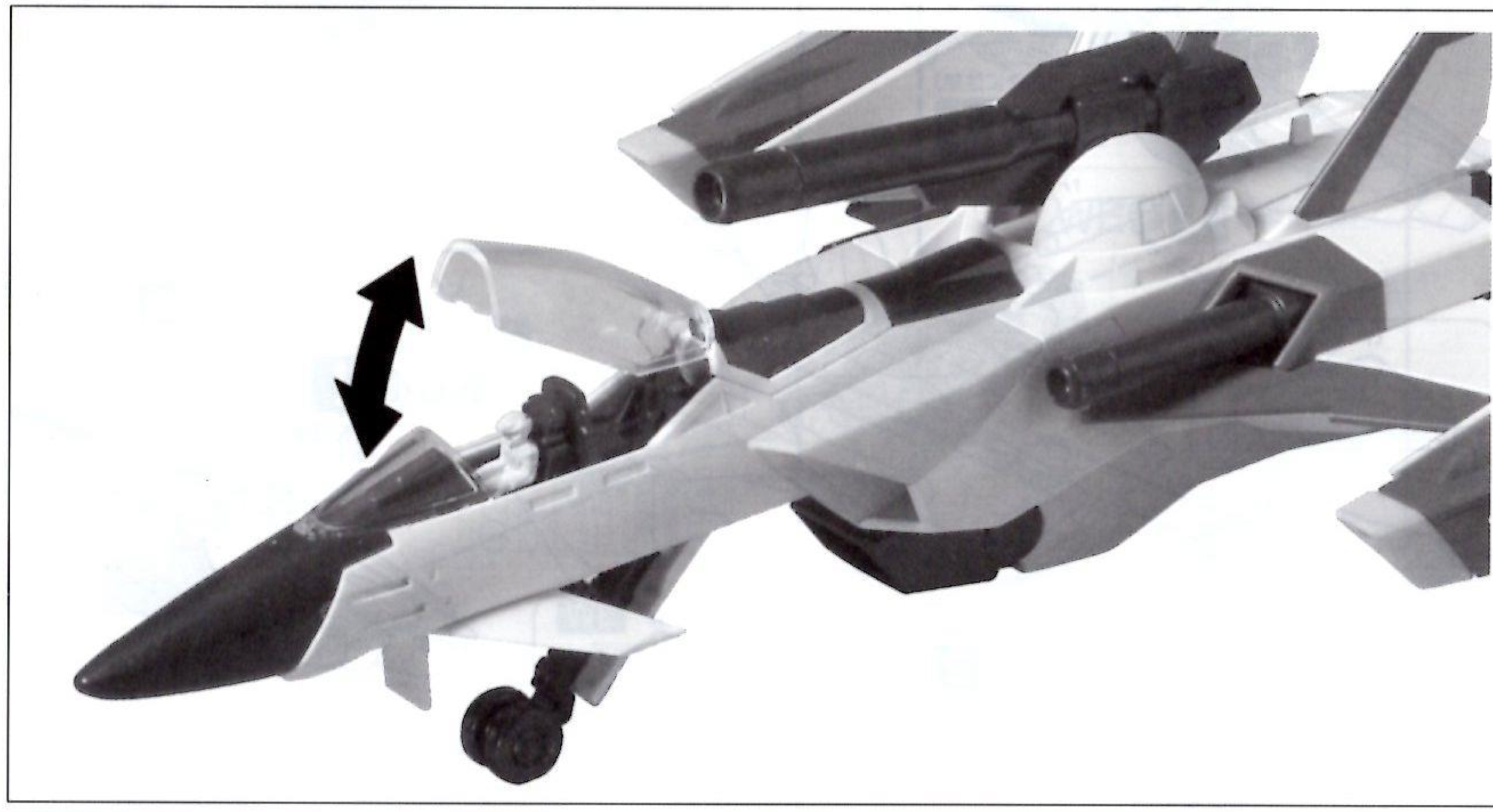


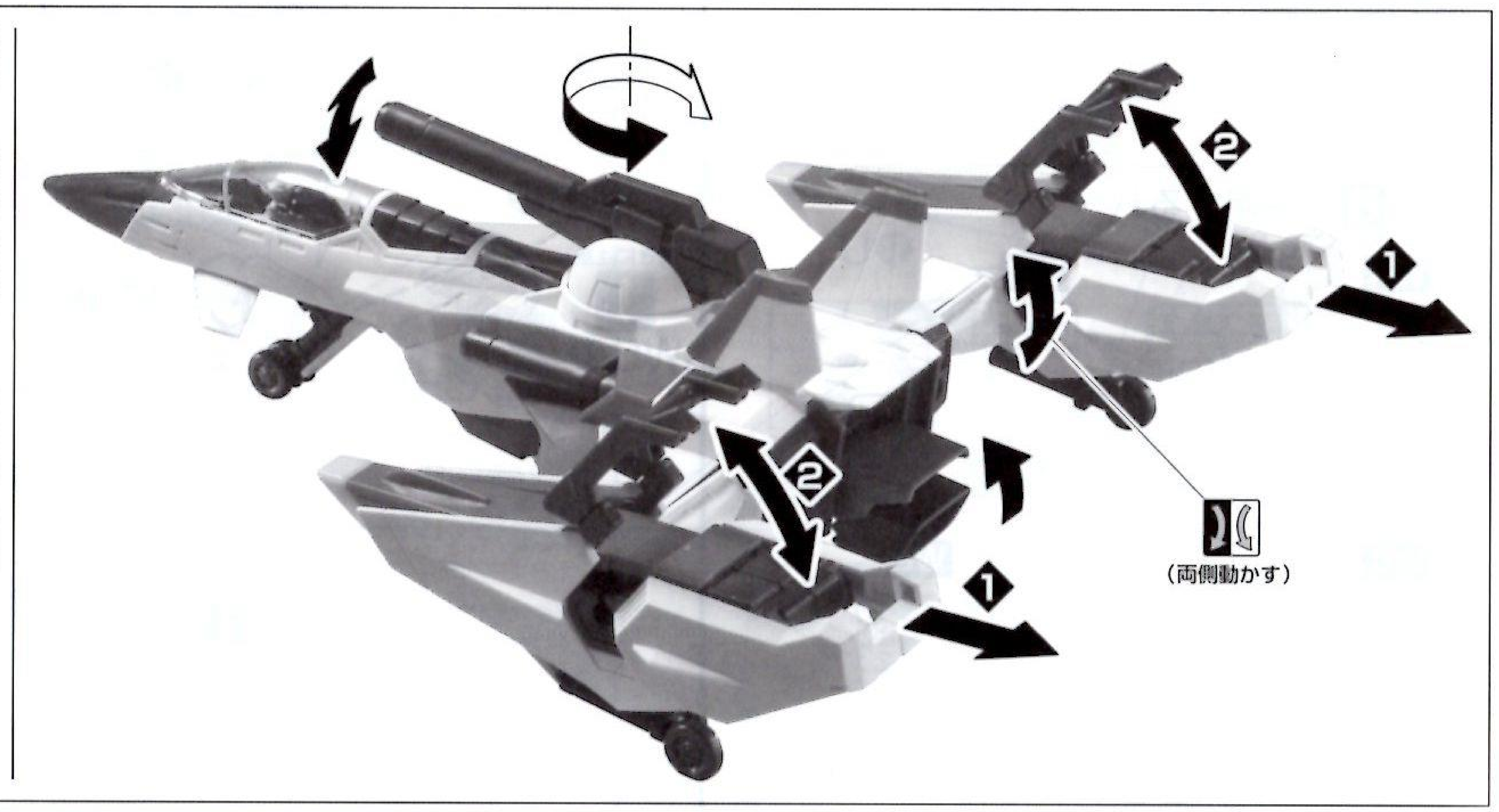






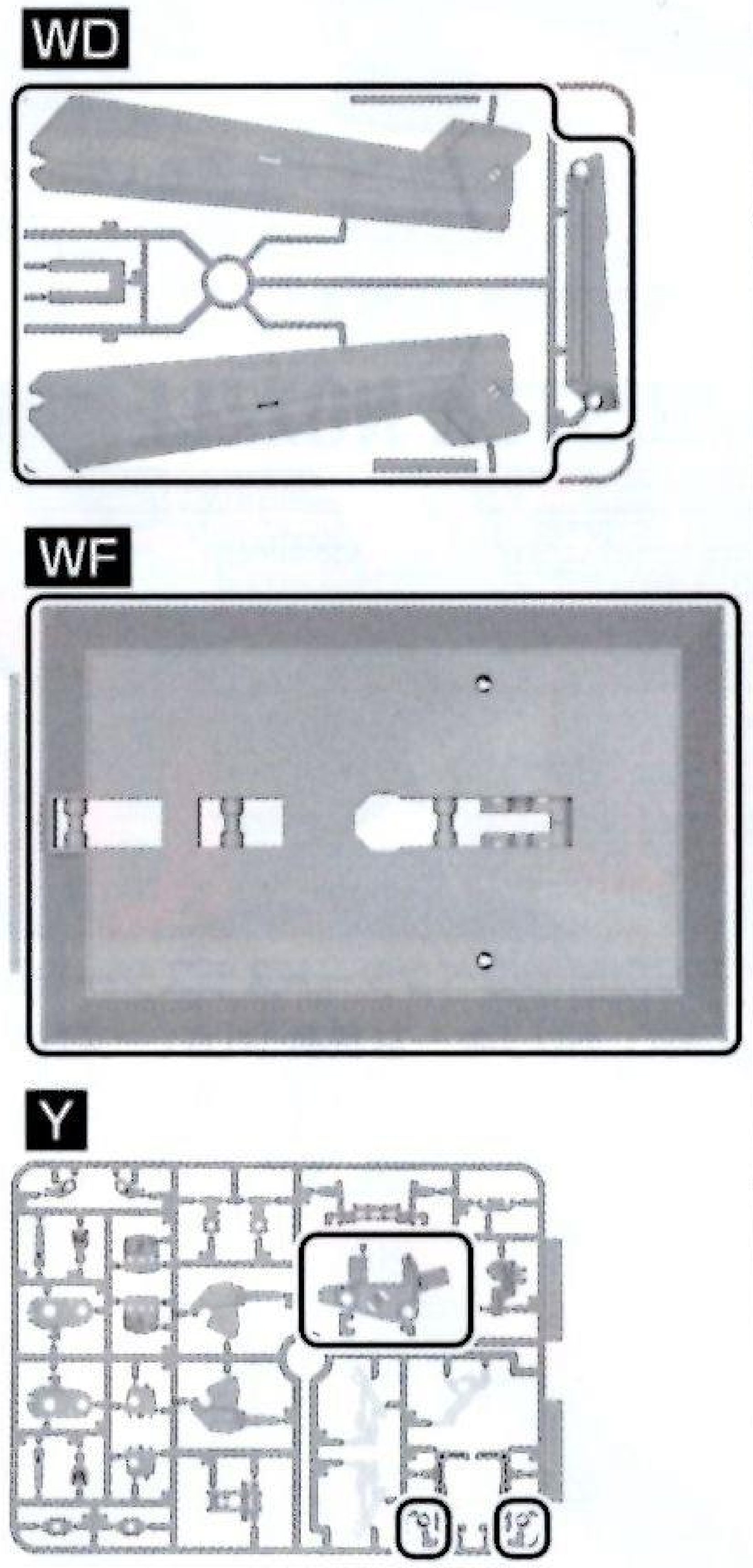




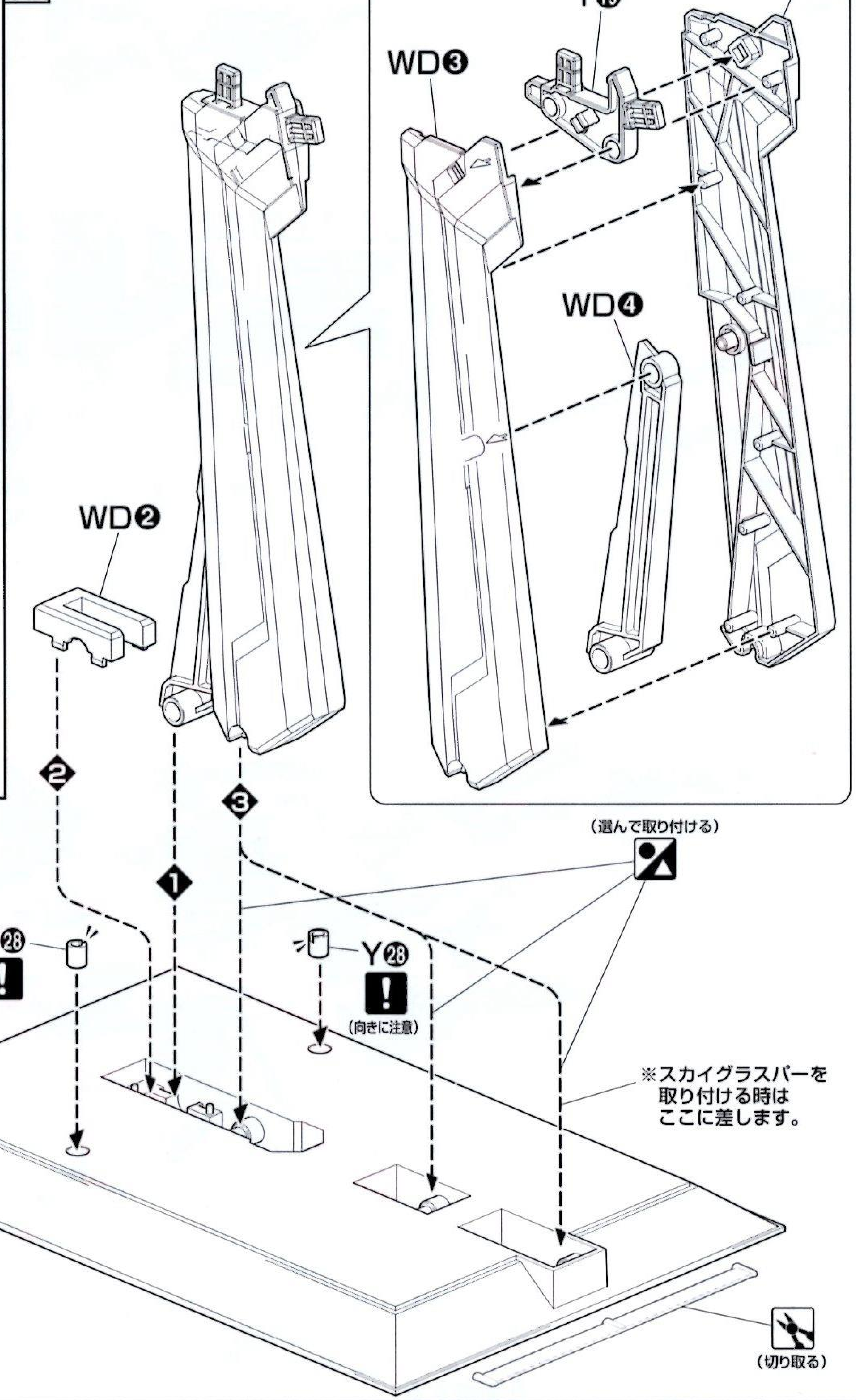


7

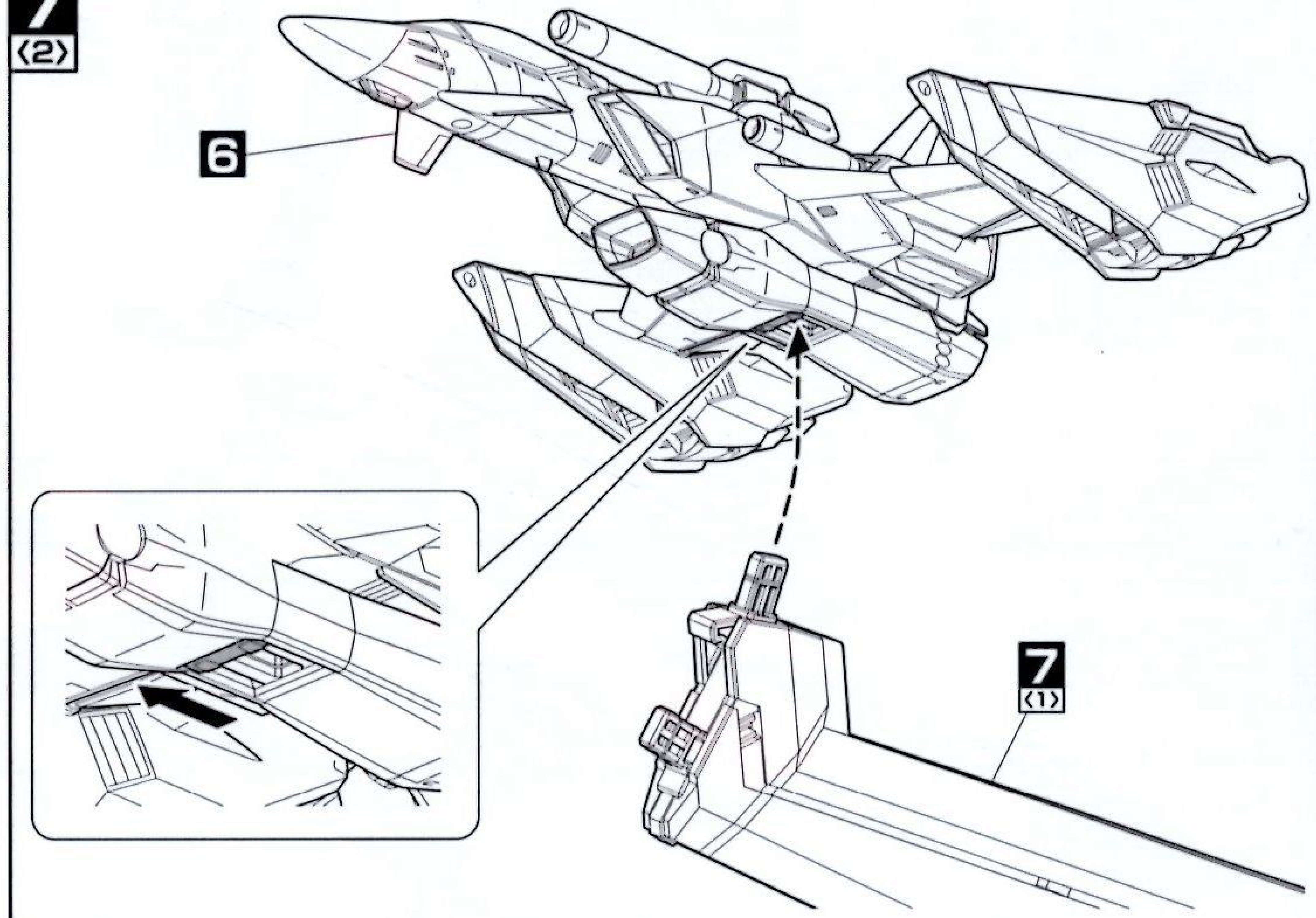
・組立7で使用するパーツ



7 〈1〉



7 〈2〉





O.M.N.I. ENFORCER
Two-seat FIGHTER FX-550+AQM/E-X01 SKYGRASPER+AILE STRIKER

SKYGRASPER
+AILE STRIKER



本機は典型的な“本質的に安定でない航空機”である。MA（モビルアーマー）に匹敵する機動性を獲得できたのはそのためなのだ。

COCKPIT



コクピットは、本来ならナビゲーター／ガンナーが搭乗できる複座式であるが、単独での操縦も可能になっている。

BEAM CANNON



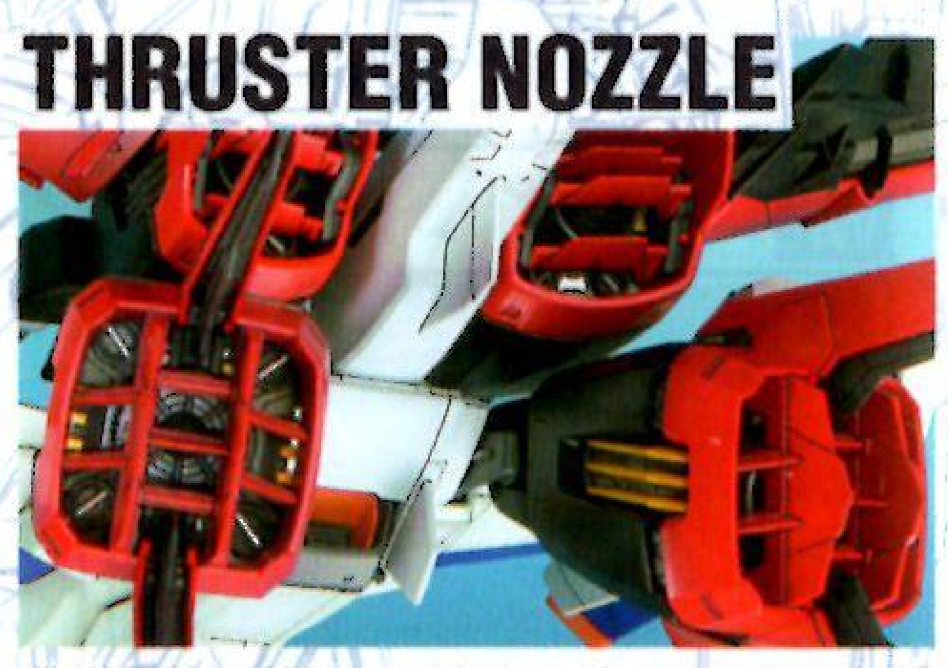
固定武装としては最大の威力を誇る大型ビーム砲。コクピットからも操作でき、銃座が回転式なので、側方の敵機を狙撃することもできる。

MOUNT LATCH



本機搭載時でもストライカーパックの運用が、限定的ではあるが可能。機体後部と両翼端のウェポンベイは、GAT-X105の背部と肩部の形状を模している。

THRUSTER NOZZLE



機体下部の前後にベクタードスラスターを装備しており、トリッキーな機動やリバーススラスト、さらにV-TOL（垂直離着陸）も可能である。

C.E.STORY

C.E.※1 70年2月11日。地球連合とプラントの間に戦争が勃発し、地球連合軍はZAFTが開発した新兵器MS※2の威力を目の当たりにした。開戦からおよそ5カ月後、膠着状態に陥った戦局を打開すべく、連合軍首脳はかねてより提案されていたMS開発計画を実施した。主力MSであるGAT-Xシリーズは中立国家オーブの資源衛星ヘリオポリスにおいて開発されたが、他の兵装や運用艦などは既存の傘下の企業にも発注された。基本的に当時MSは（ジンの解析から）コーディネイターの身体能力によって運用が可能な兵器であり、連合においても主力兵器となり得るかどうか軍上層部においても疑問視する声が多かった。実際、戦争勃発以前より連合勢力の主力兵器であったMA※3は、開戦以来各前線でそれなりの戦果を挙げてもいたため、善後策として対MS戦闘にも耐え得る兵器の開発が並行して進められることとなったのである。PMP※4社が開発したスカイグラスパーは、GAT-X105　ストライクガンダムの大気圏内用支援戦闘機として開発された。操縦には高度な自動化が施されており、錬度の低いナチュラルのパイロットでも扱えるほど操縦性は良好であった。逆に、練度の高いパイロットが操縦した場合には、対MS用に開発された兵装を存分に運用することができるように配慮されていた。一般に自動車や飛行機などは、走行や飛行中“安定”であることが求められる。しかし、これが競技や戦闘用途となると、逆に“不安定”であることが求められる。素早いコース変更や急峻なピッチ・ロールなど運動性能をあげようとすれば“本質的に安定でない機体”のほうが有利だからである。スカイグラスパーに搭載された制御システムは、機体各所に設けられたスラスターやオプション兵装の挙動さえ取り込むことが可能な非常に高度なものであった。スカイグラスパーは、その運用目的はもとより、大型ビーム砲の搭載や両翼端のウェポンベイなど、航空力学的に見れば理想的なフォルムを持っているとは言い難い。しかし、設計の初期段階からMA的な運用が想定されており、特に、ソードストライカーを装備した際の、斬撃やワイヤーアンカーを使った方向転換などといった運用が可能であった。仕様としては、ストライカーパック各種を装備・運搬できるほか、“戦闘機”としての機動性や運動性を維持したまま、対空、対地、対潜攻撃までもが可能な万能機であると言うことができる。その高い火力でZAFTのMSに引けをとらない性能を発揮した。

用語解説

※1　C.E.=コズミック・イラ
「ガンダムSEED」シリーズにおける年号。旧世紀末に勃発した世界規模の戦争を経て制定された。元年は「最後の核」が使用された年に設定されている。

※2　MS=モビルスーツ
ザフトが開発した2、または4脚の歩行肢を持つ兵器群のこと。旧来の兵器に依存していた連合軍に対して圧倒的な優位にある。

※3　MA=モビルアーマー
MSの出現以前に主力兵器としていて使用されていた汎用重戦闘機。人型ではない航空/航宙戦闘兵器の総称としても使われる。コストパフォーマンスとパイロットのサバイバビリティは高い。

※4　PMP
PMP(Propulsion&Machinery Progress）社。巨大軍需産業。スカイグラスパーは同社がATF(Advanced Tactical Fighter=次期戦術戦闘機）として提案していた。



エールストライカーを装備した本機は、加速性能や最高速度、航続距離などが飛躍的に向上し、より“航空機として安定した”スペックを獲得する。

AILE STRIKER + WEAPONS

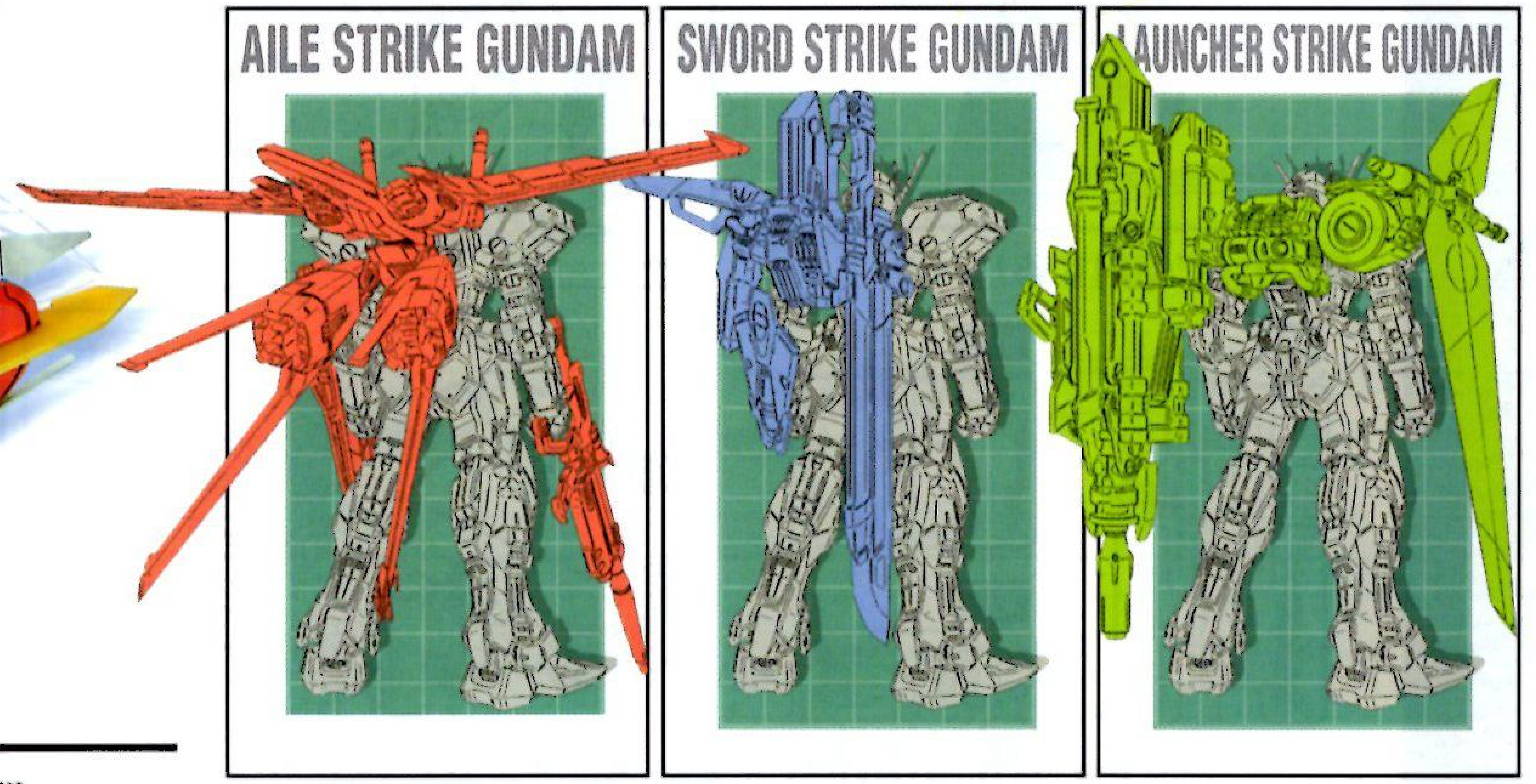
本機は各ストライカーパックを前線のGAT-X105まで搬送するのみならず、自らの追加兵装としても使用できた。単にX105の"支援"に留まらず、多角的な運用が可能であった。

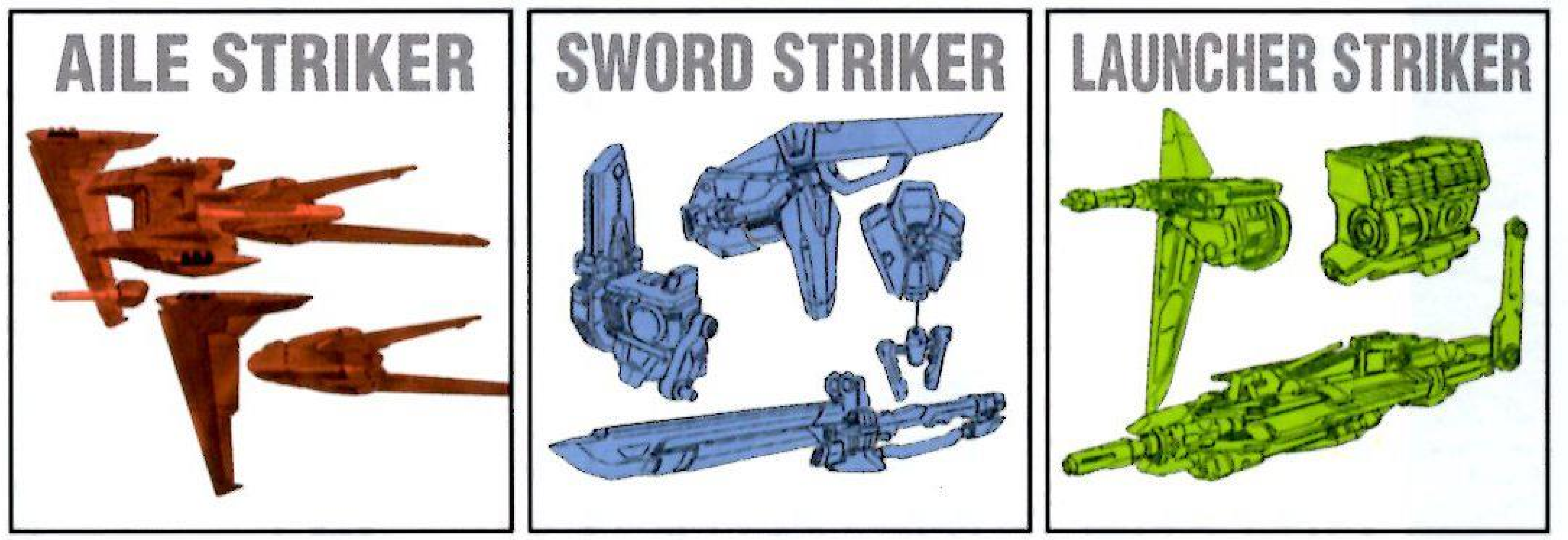


AILE STRIKE GUNDAM



エールストライカーは、GAT-X105の機動性を飛躍的に向上させる。強力なスラスターは、大気圏内での"飛翔"を可能とするほか、宇宙空間でも圧倒的な推力を発揮する。さらに強力なパワーパックも内蔵されているため、本体の稼働時間も大幅に延長される。





ストライカーパックは、他のGAT-Xシリーズのように各戦術に特化した機体を一機ずつ作るのではなく、それぞれに対応した装備を換装することで、ストライクを多様な戦闘局面に対応可能な万能機とするためのシステムである。ランチャーストライカーは遠距離砲撃、ソードストライカーは近接格闘に対応する。ほかにも、機動装備と武装が一体化した装備などが開発されていた。

EVALUATION

FX-550 スカイグラスパーは、地球降下の際に合流した第8艦隊※5よりアークエンジェルに2機が配備され、1号機にはムウ・ラ・フラガが、2号機にはカガリ・ユラ・アスハが、オーブ到着以降はトール・ケーニヒが搭乗していたが、2号機は北太平洋の戦闘でGAT-X303　イージスガンダムに撃墜されロストしている。ムウは元々、TS-MA2mod.00 メビウス・ゼロのパイロットであり、同機はかつてZAFTのMSに唯一対抗できた兵器であった。ただし、有線ガンバレルによるオールレンジ攻撃は、空間認識能力適正者以外には扱えず、エンデュミオンクレーターの戦い以降、生産は簡易型のTS-MA2　メビウスにシフトする。その後、メビウスに代わるMAとしてFXet-565 コスモグラスパーが開発された。この機体は、GAT-01 ストライクダガーの支援も目的とし、各種ストライカーパックも使用できた。また、有線ガンバレルをストライカーパックとして転用するガンバレルストライカーも開発された。さらに後には発展型としてTS-MA4F　エグザスが開発されている。ちなみに、ストライカーパックのうちソード、ランチャー、エールはモルゲンレーテ社製で、PMP社によるIWSP※6やライトニングストライカーパック※7もモルゲンレーテ社に引き継がれ完成を見ている。しかしその直後、オーブは連合軍の侵攻を受け、IWSPはクサナギと共に宇宙へと送られた。その後、MBF-02 ストライクルージュに実装して運用試験が行われたものの、第二次ヤキン・ドゥーエ攻防戦※8時には微調整が間に合わず、実戦には投入されていない。

用語解説

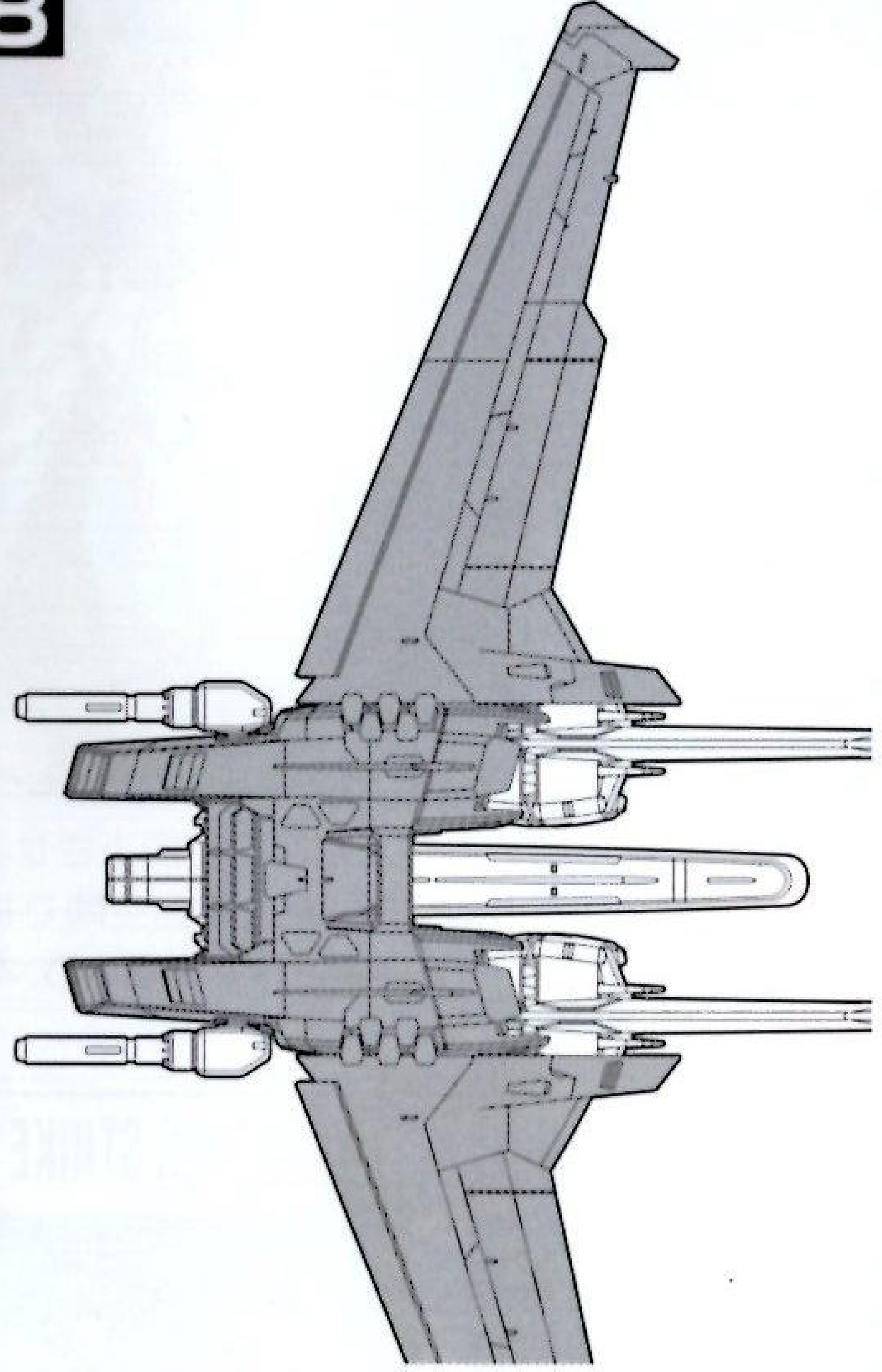
※5　第8艦隊
かねてよりMS開発の必要性を軍司令部に上申していたドゥエイン・ハルバートン准将を司令官とする艦隊。アークエンジェルの数少ない味方だったが、軌道上会戦において艦隊は壊滅する。

※6　IWSP
Integrated Weapon Striker Pack=総合兵装パック。コードナンバーはP202QX。レールガンや対艦刀などの重兵装と、複数のスラスターから構成されているストライカーパック。

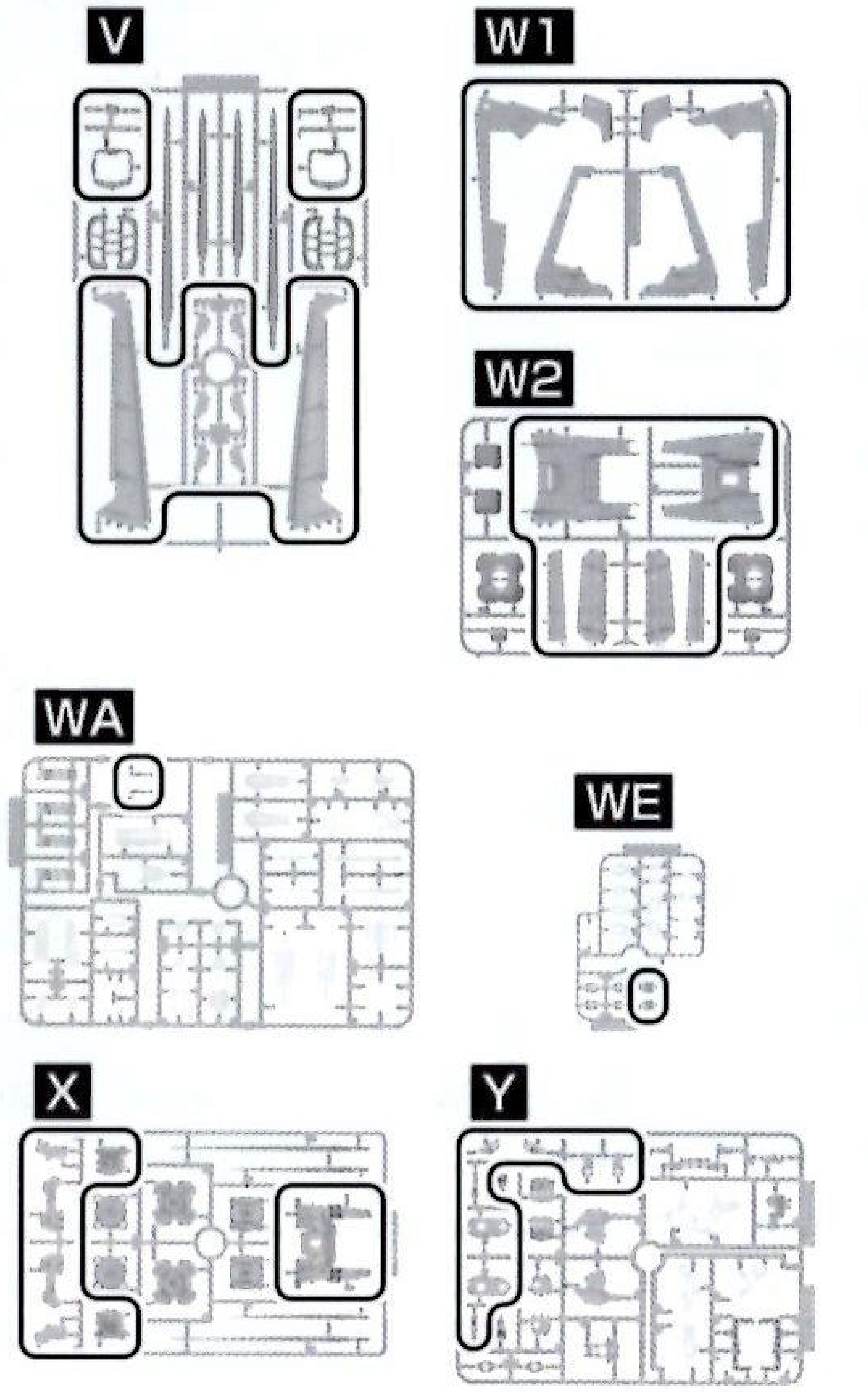
※7　ライトニングストライカーパック
バスターガンダムと同等のレールガンを主武装とし、大容量のバッテリーを搭載しているストライカーパック。コードナンバーはP204QX。試作機はアクシデントで破壊されている。

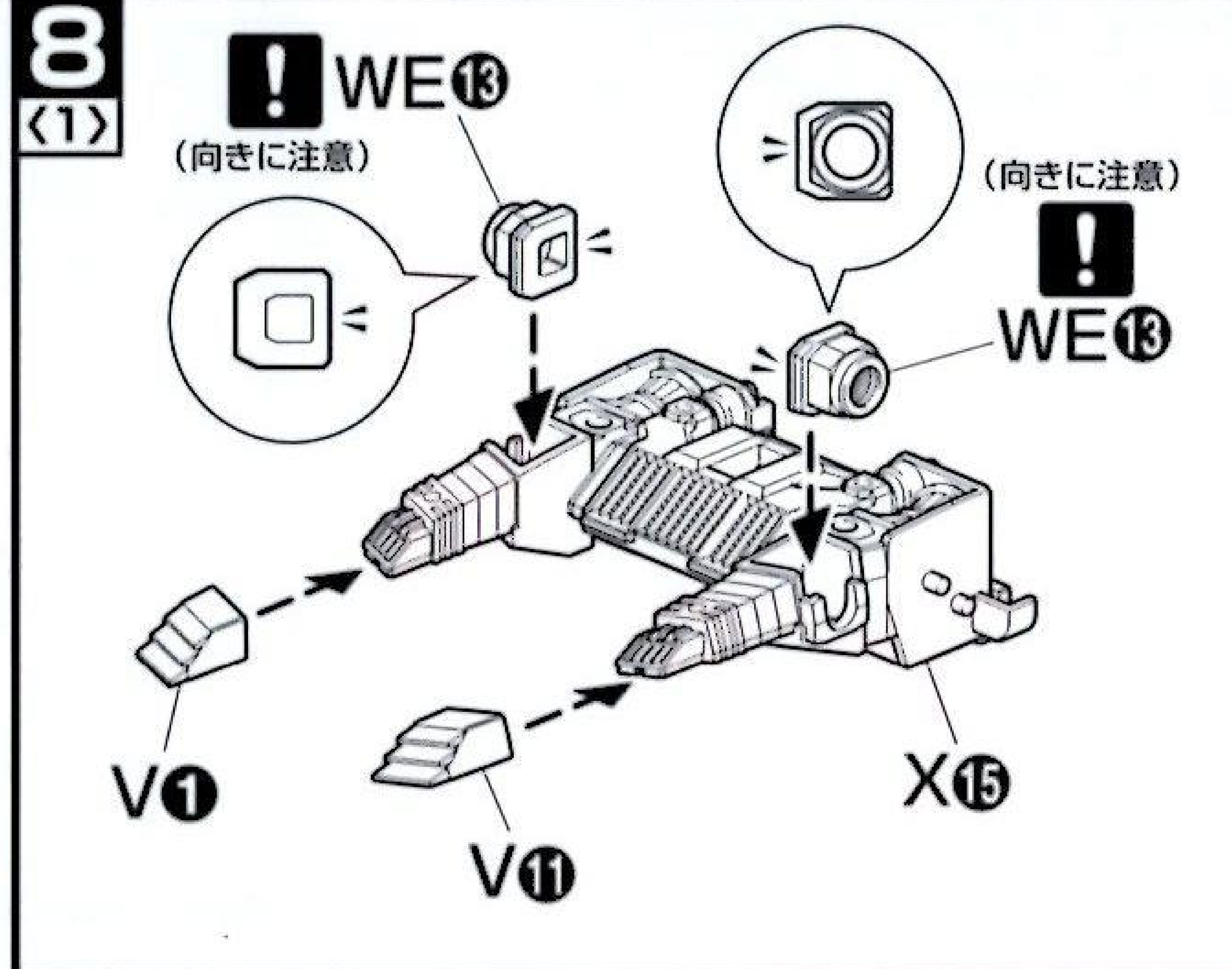
※8　第二次ヤキン・ドゥーエ攻防戦
C.E.70年初頭に勃発した戦争の最終局面。翌71年9月23日のボアズ攻防戦からZAFTの超巨大兵器ジェネシスを含む宇宙要塞ヤキン・ドゥーエの自爆を経て幕を閉じる。

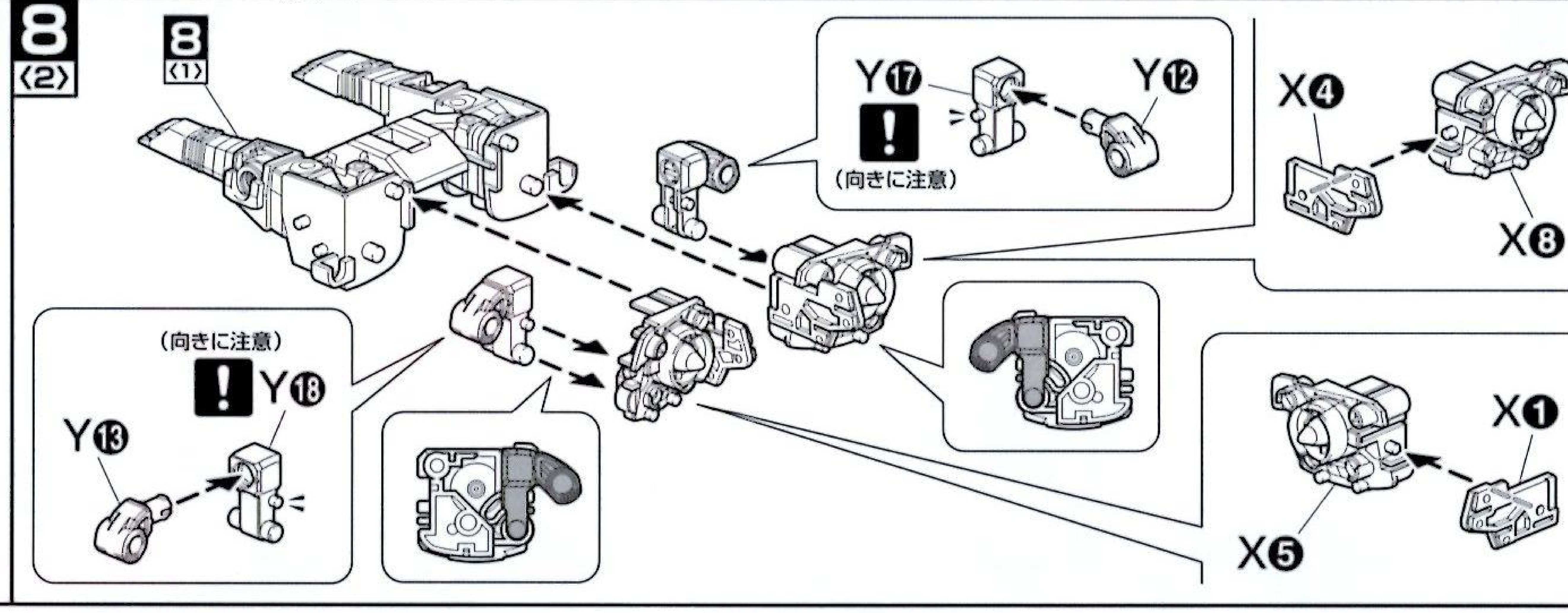
■8 エールストライカー組立

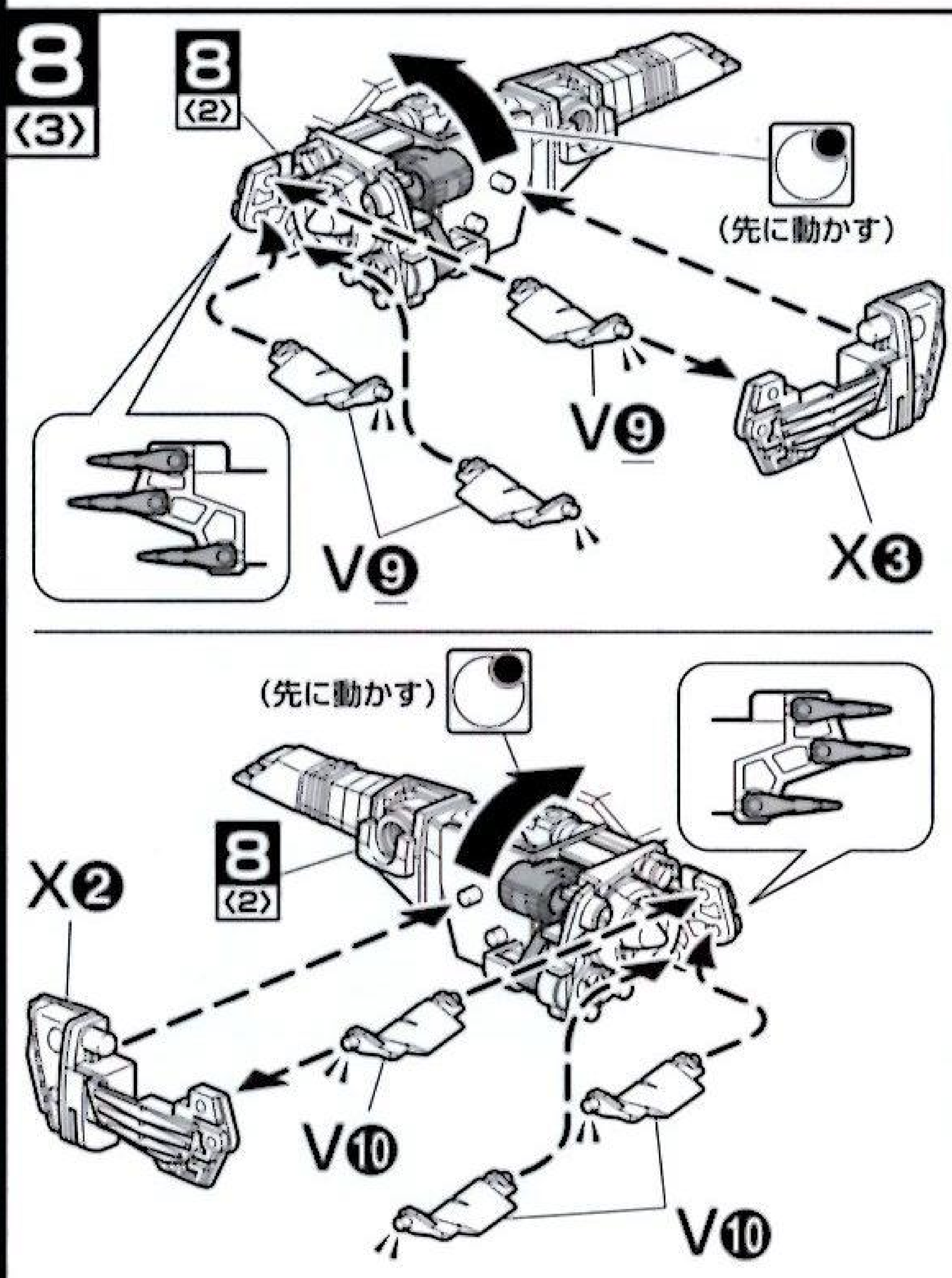


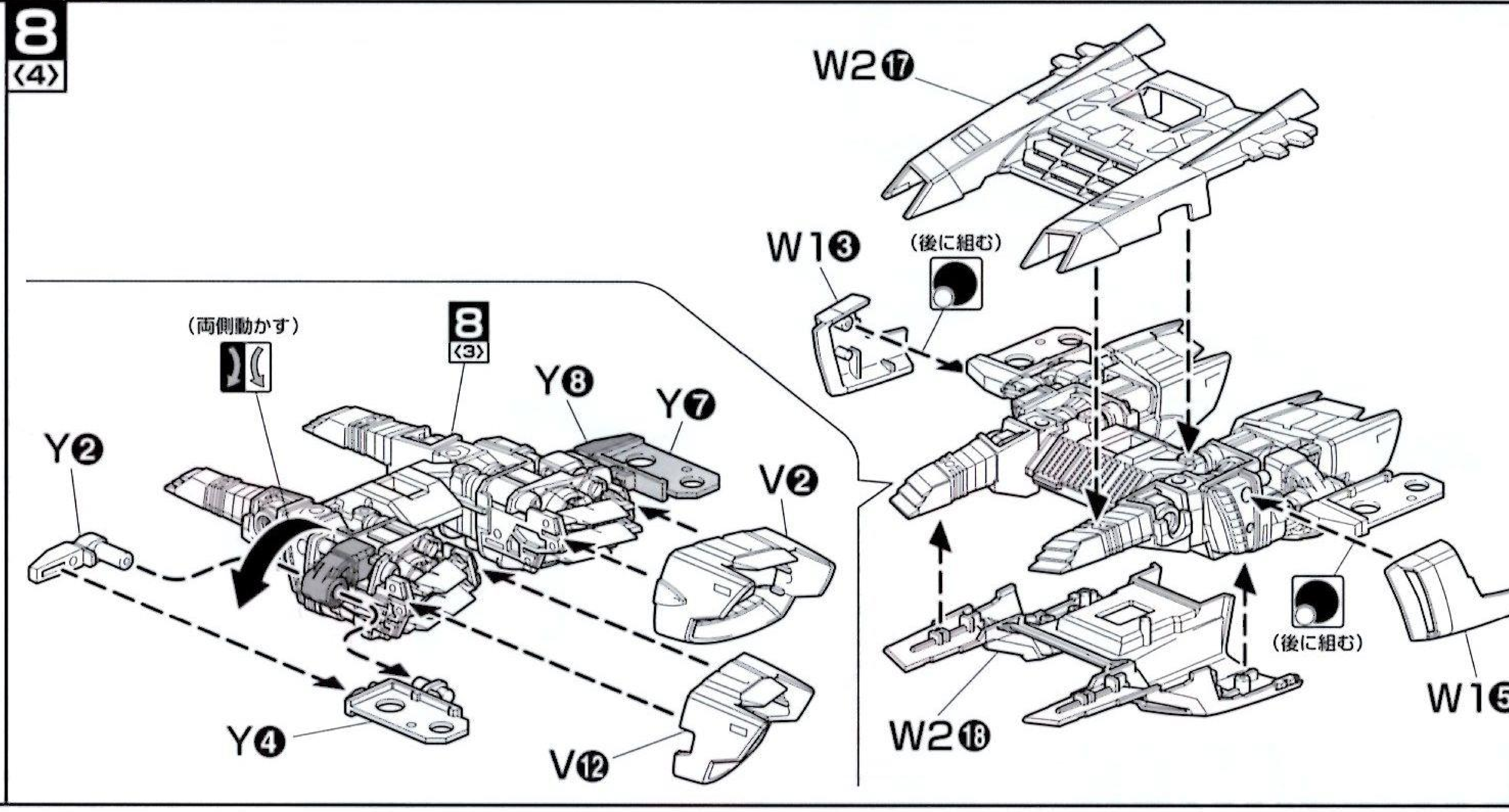
・組立8で使用するパーツ

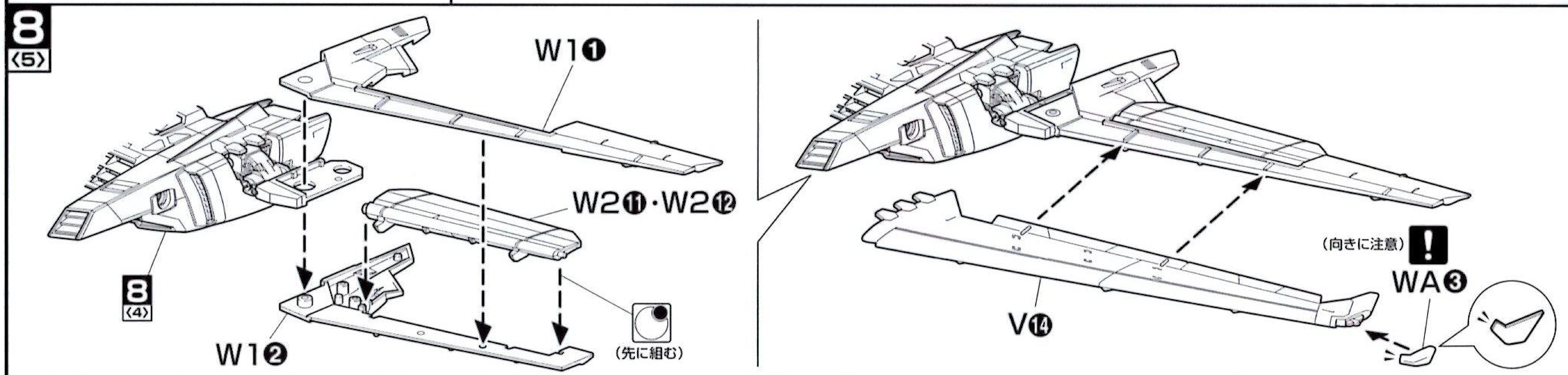





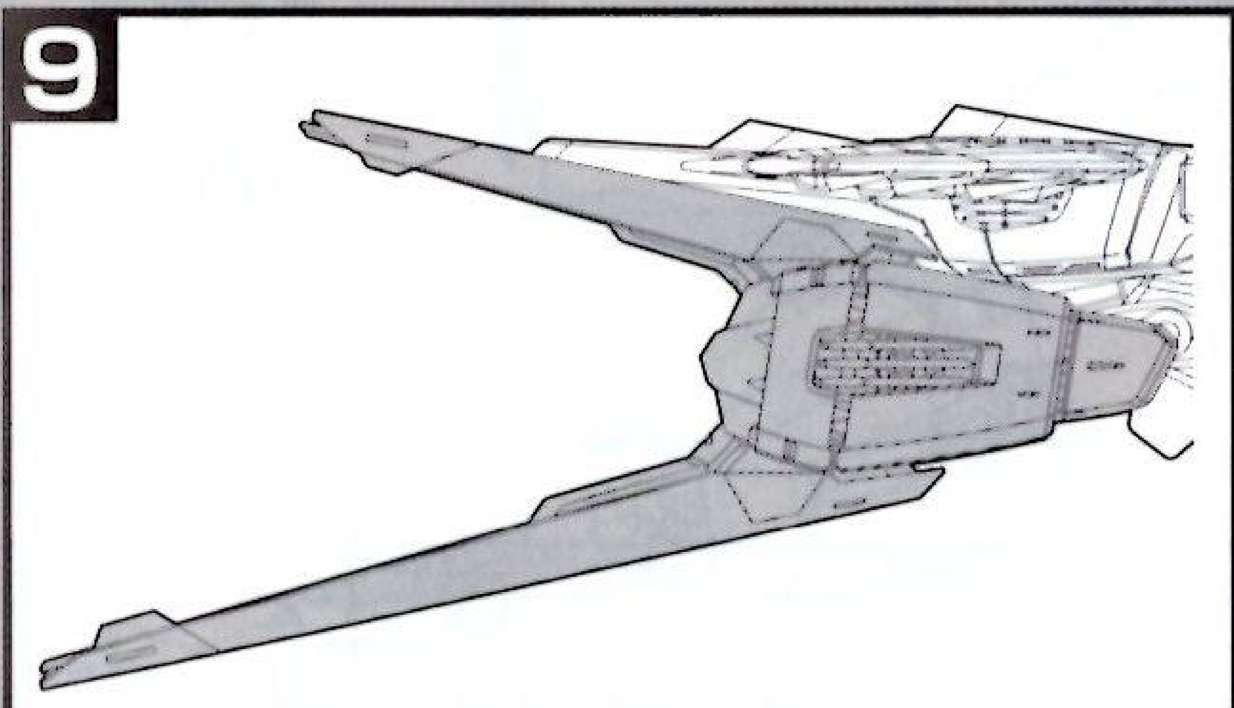




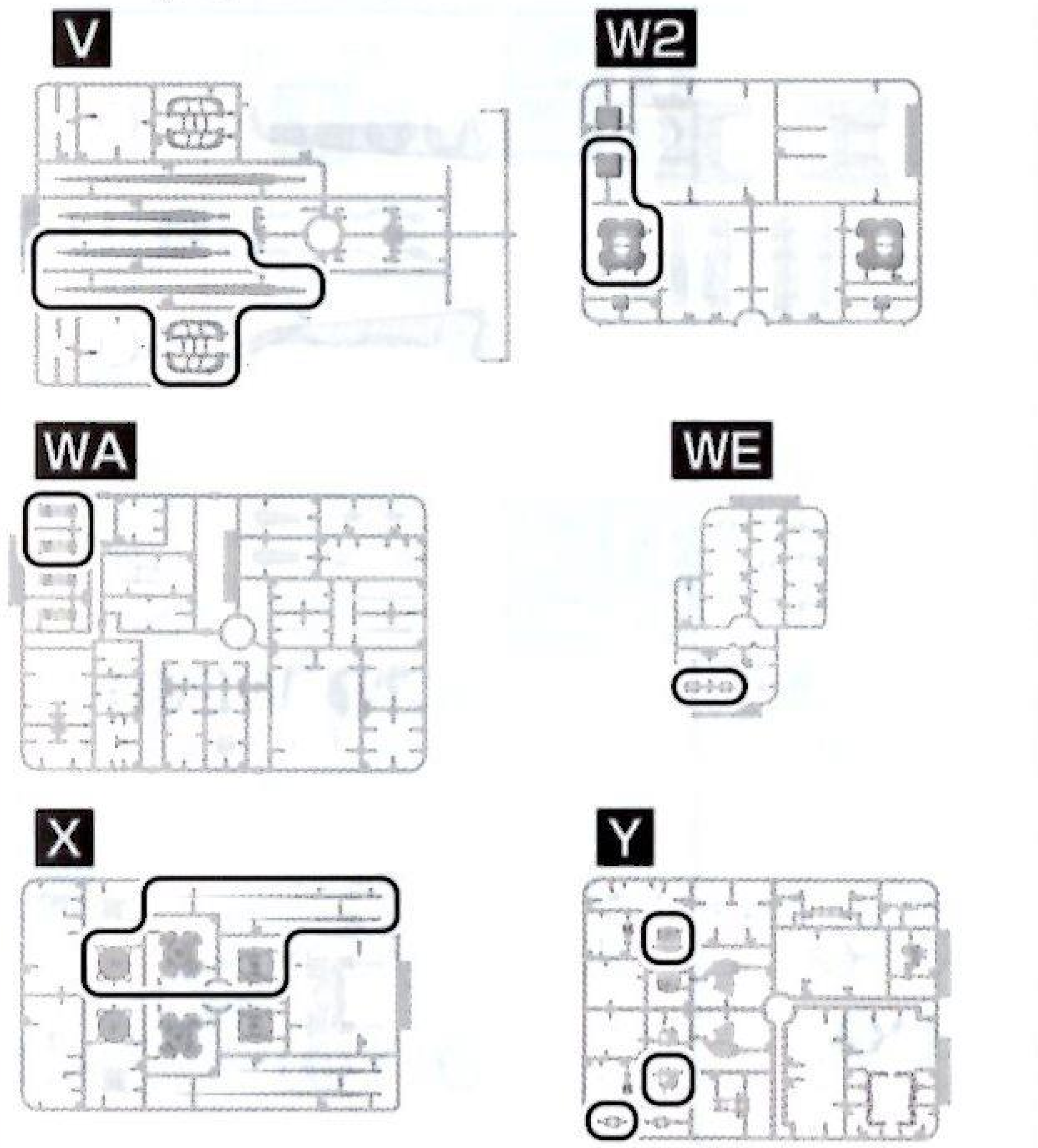


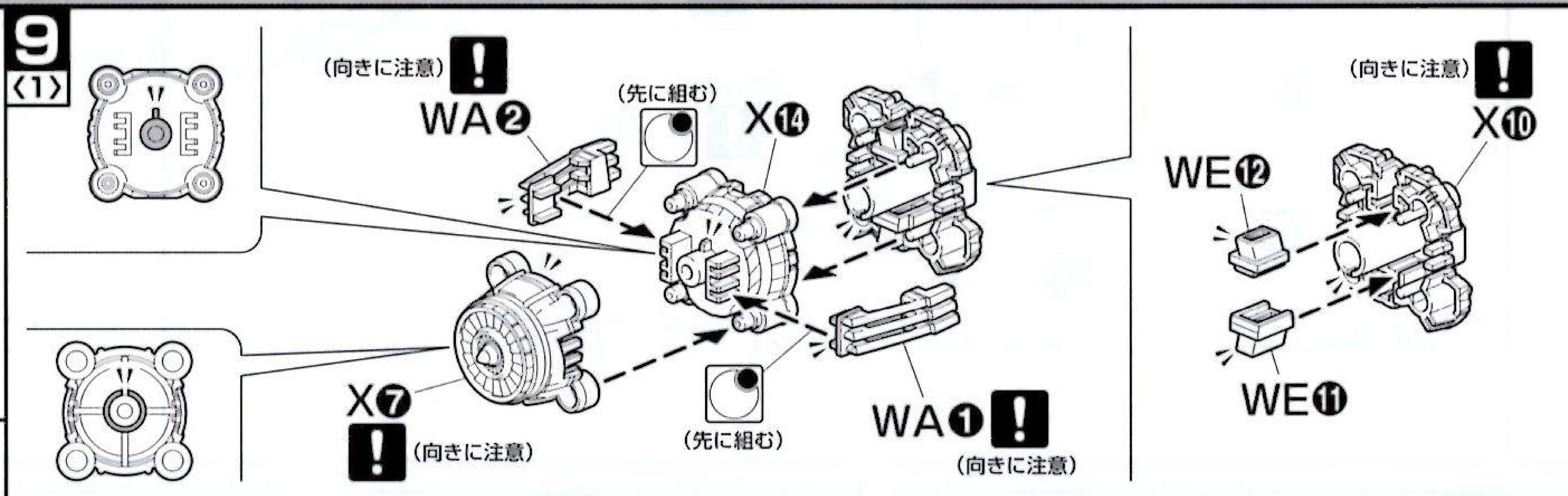
AILE STRIKER ASSEMBLE

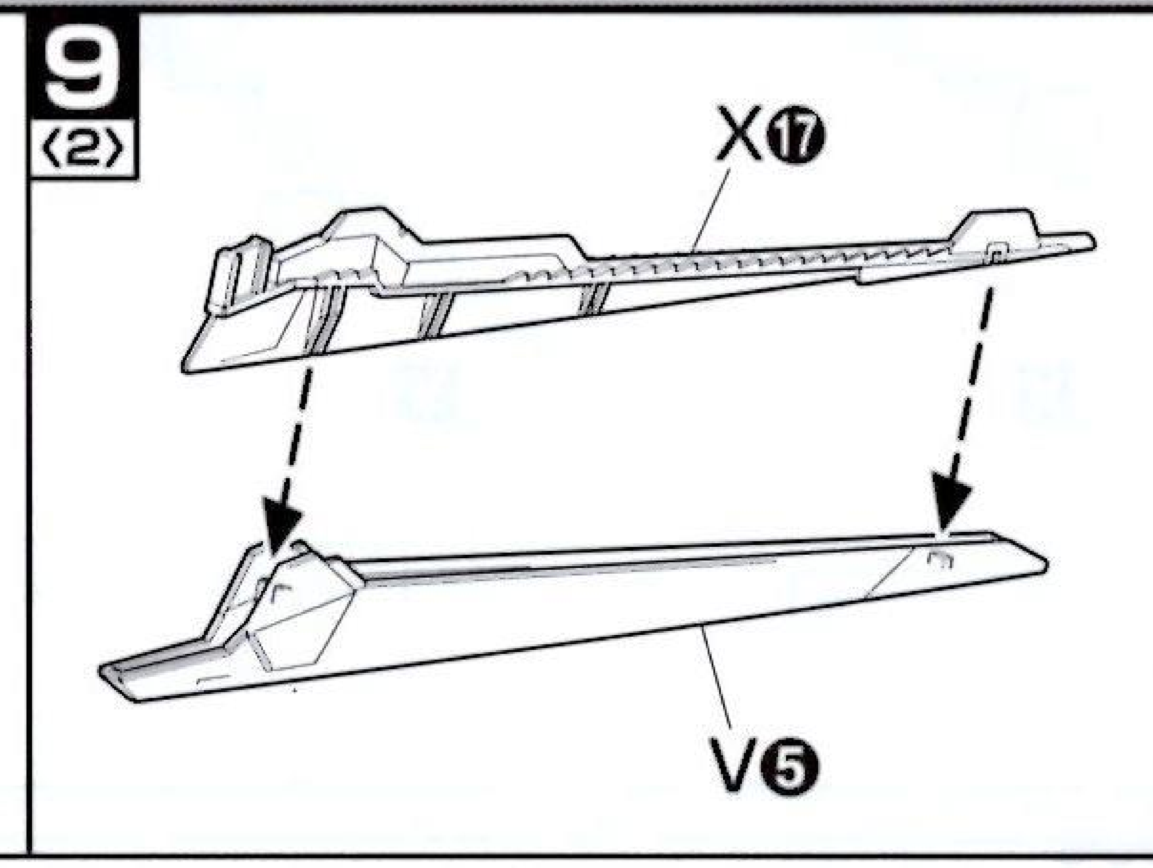


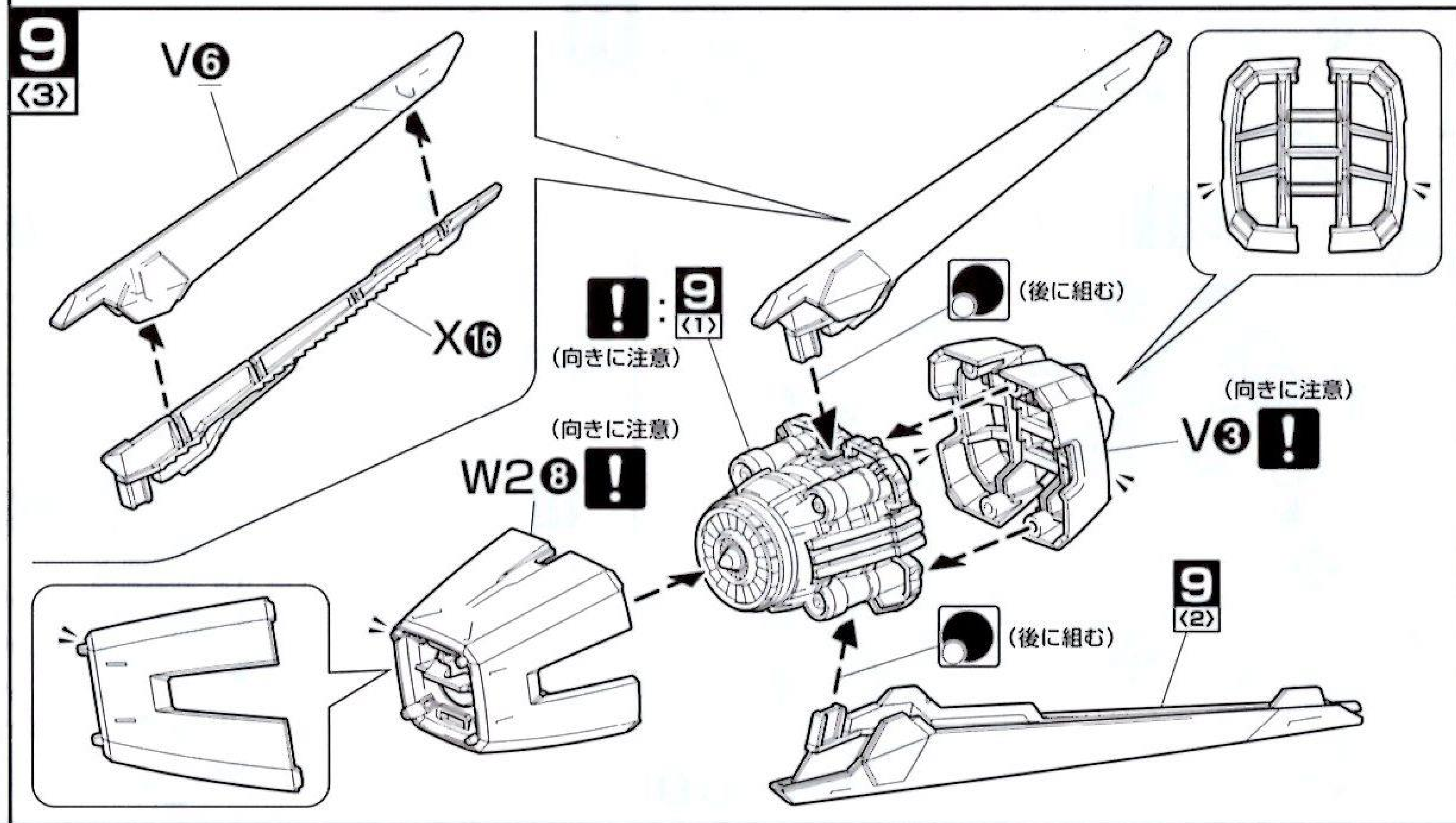


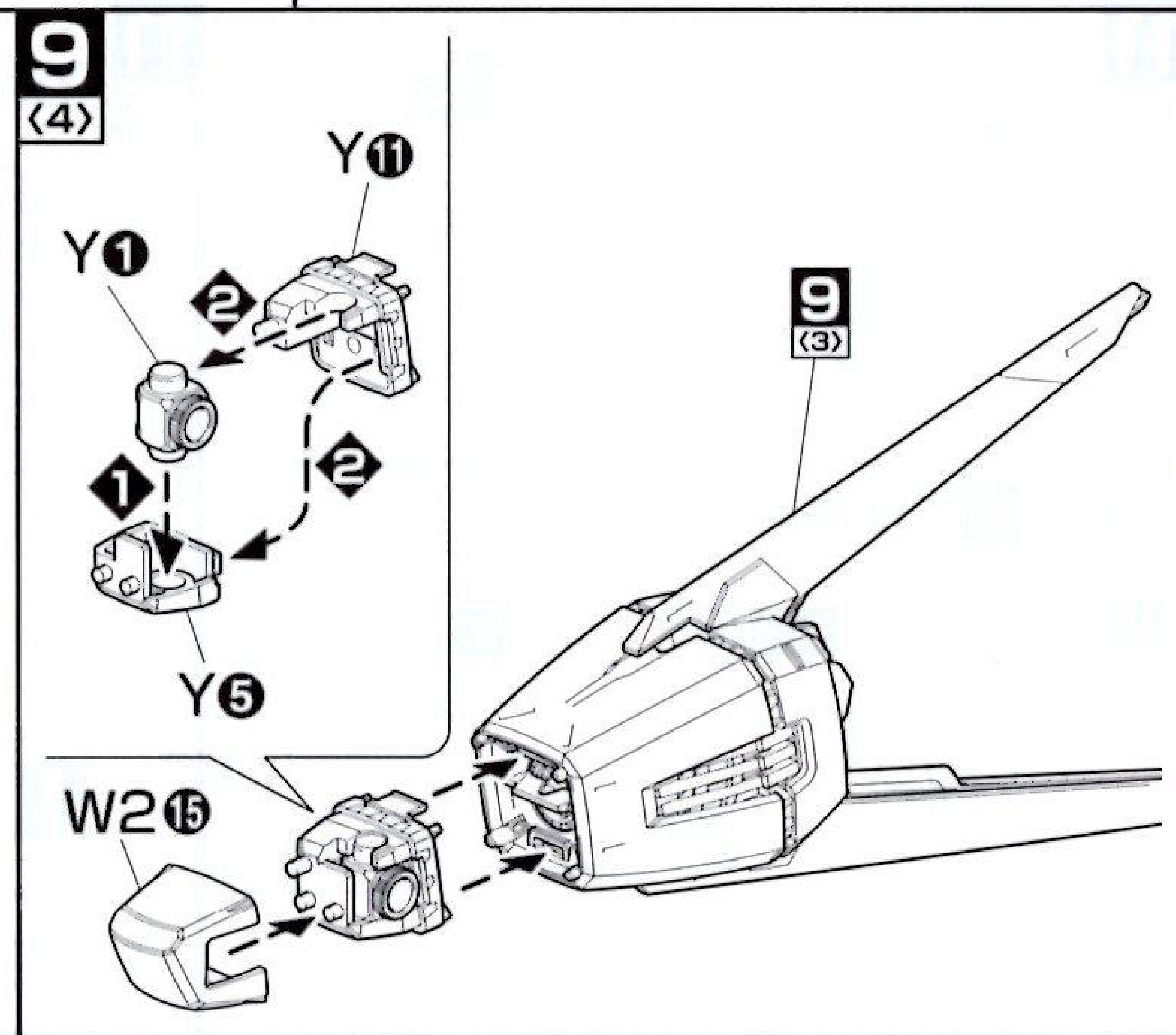
・組立9で使用するパーツ



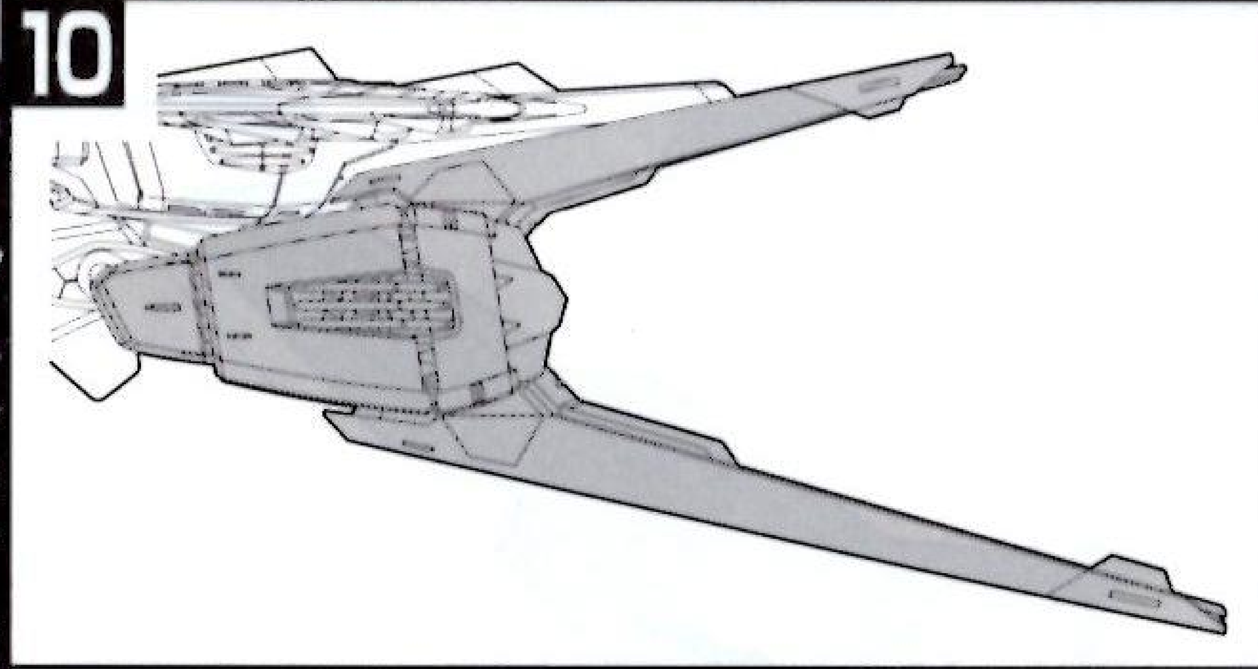




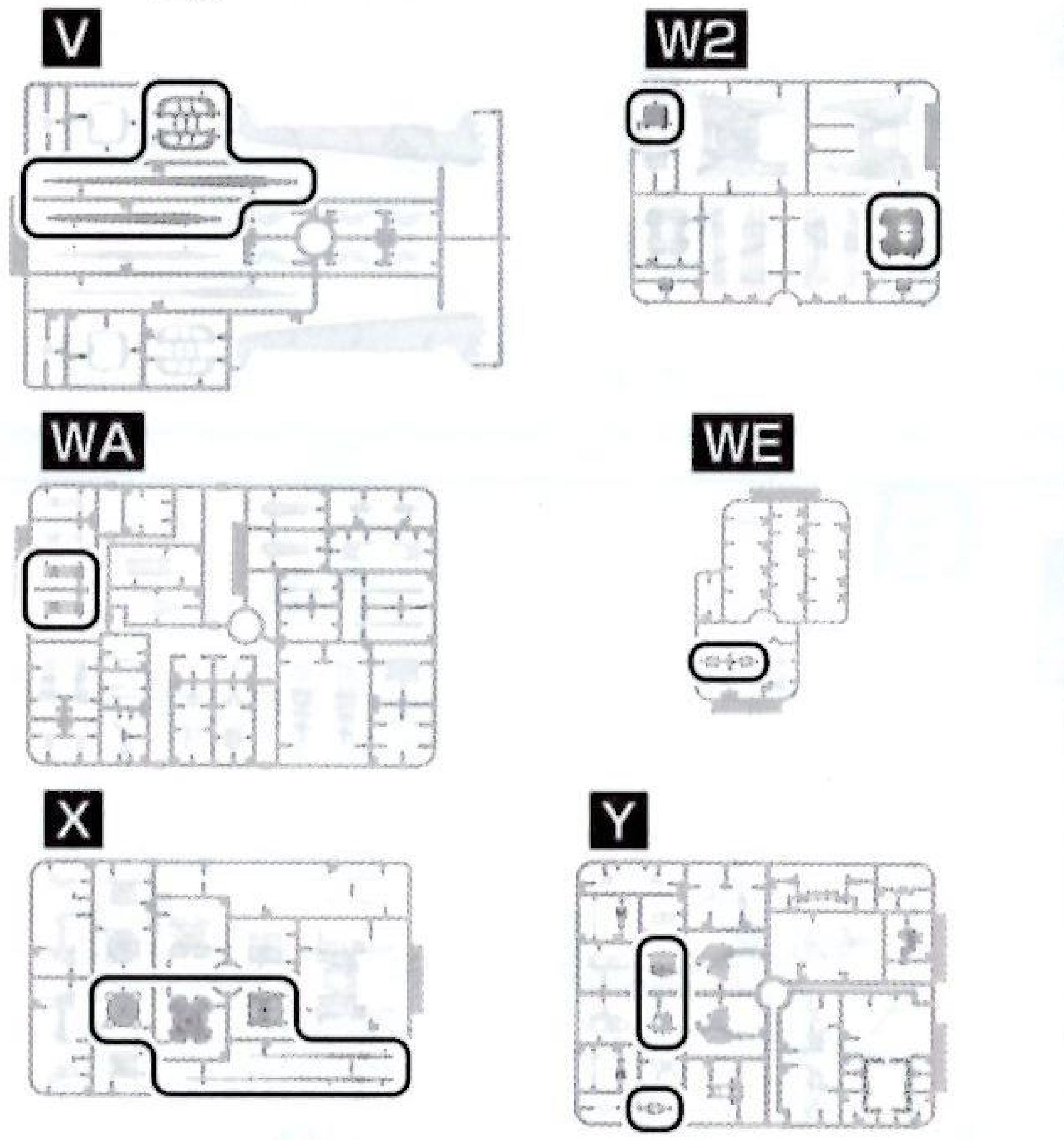


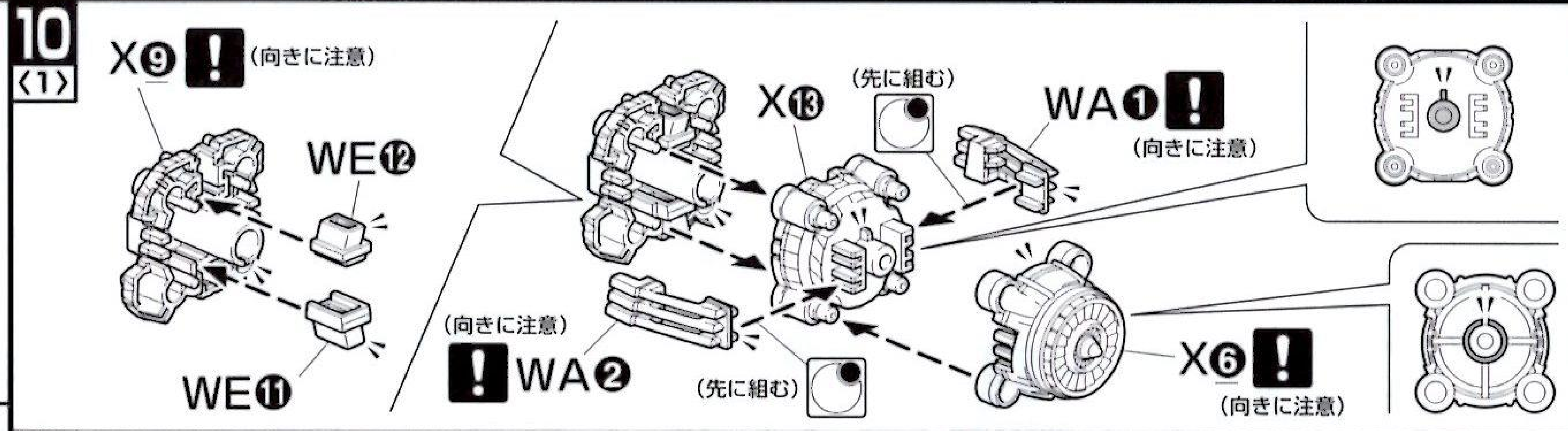


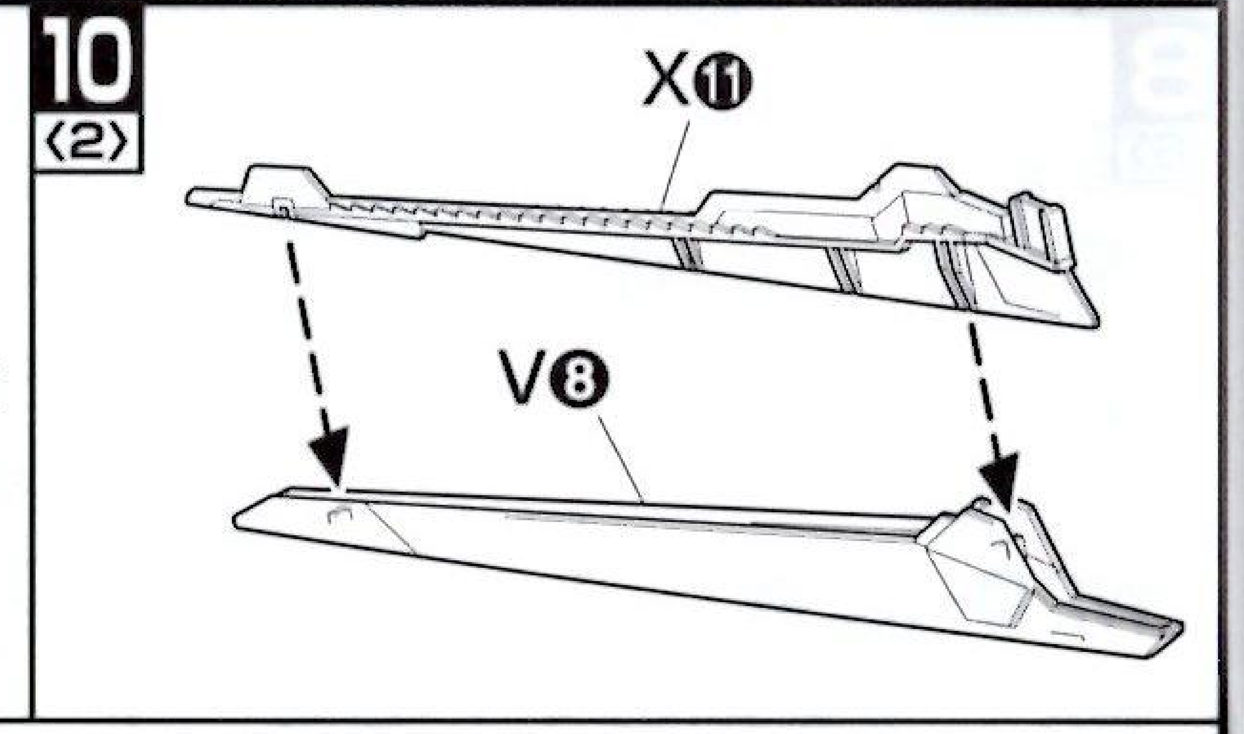
10

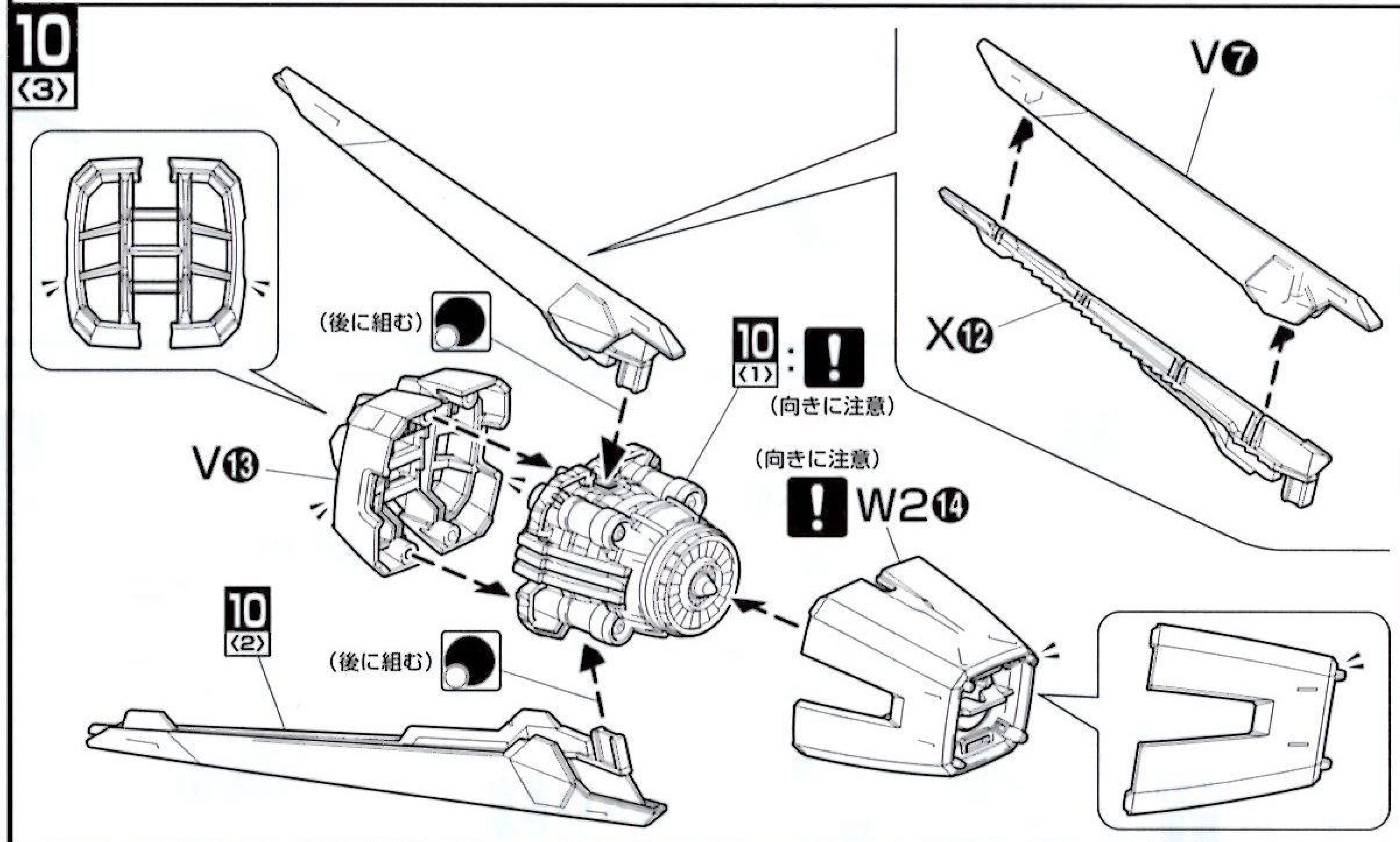


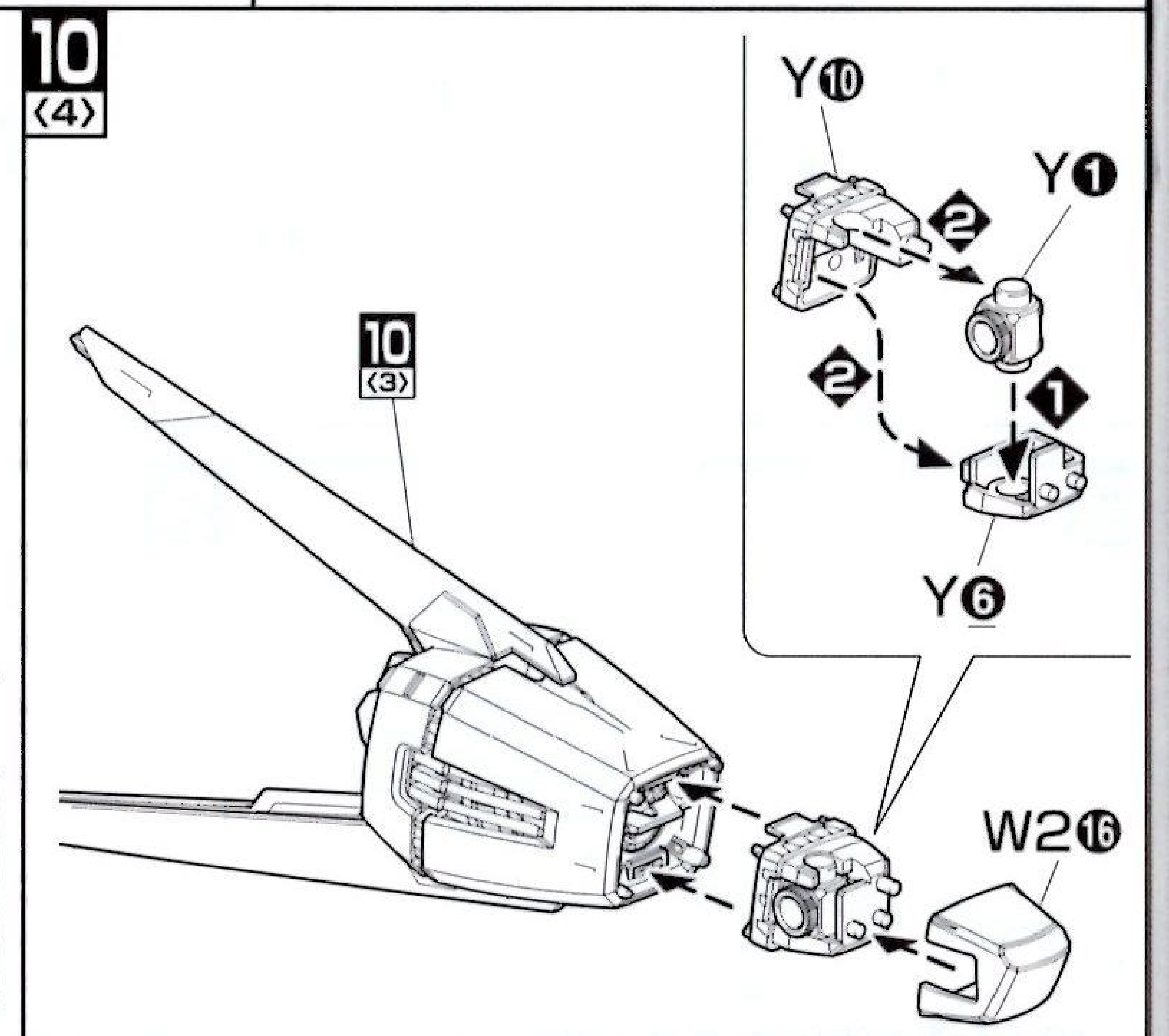
・組立10で使用するパーツ



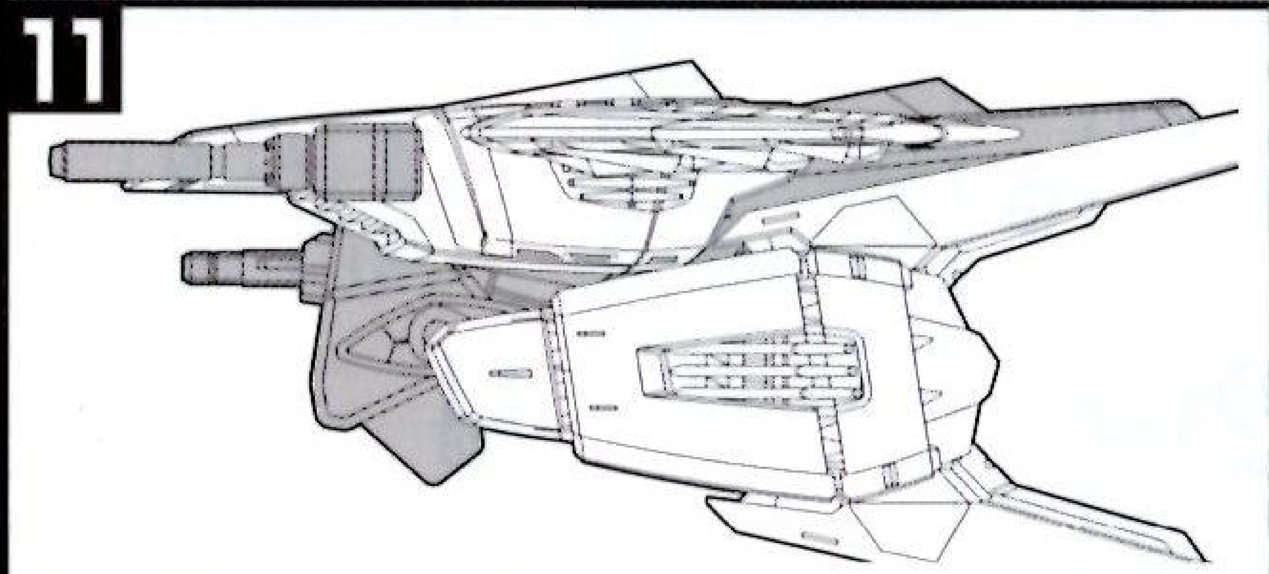




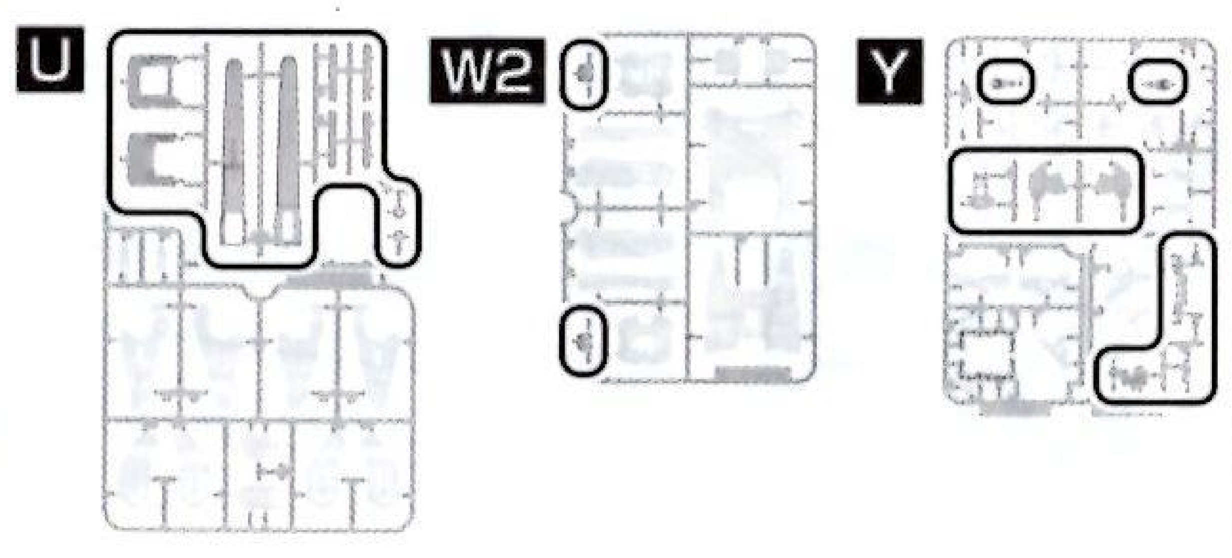


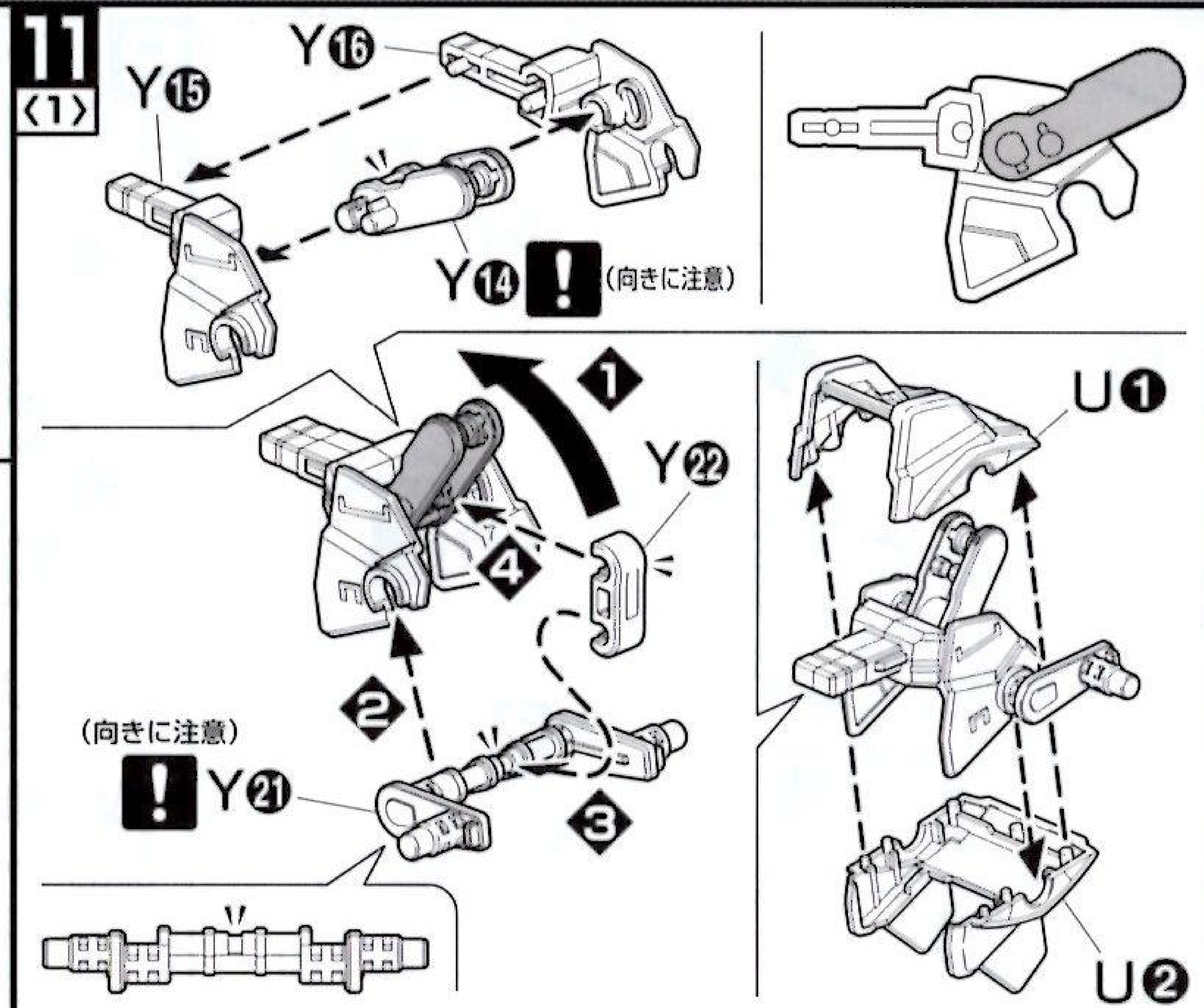


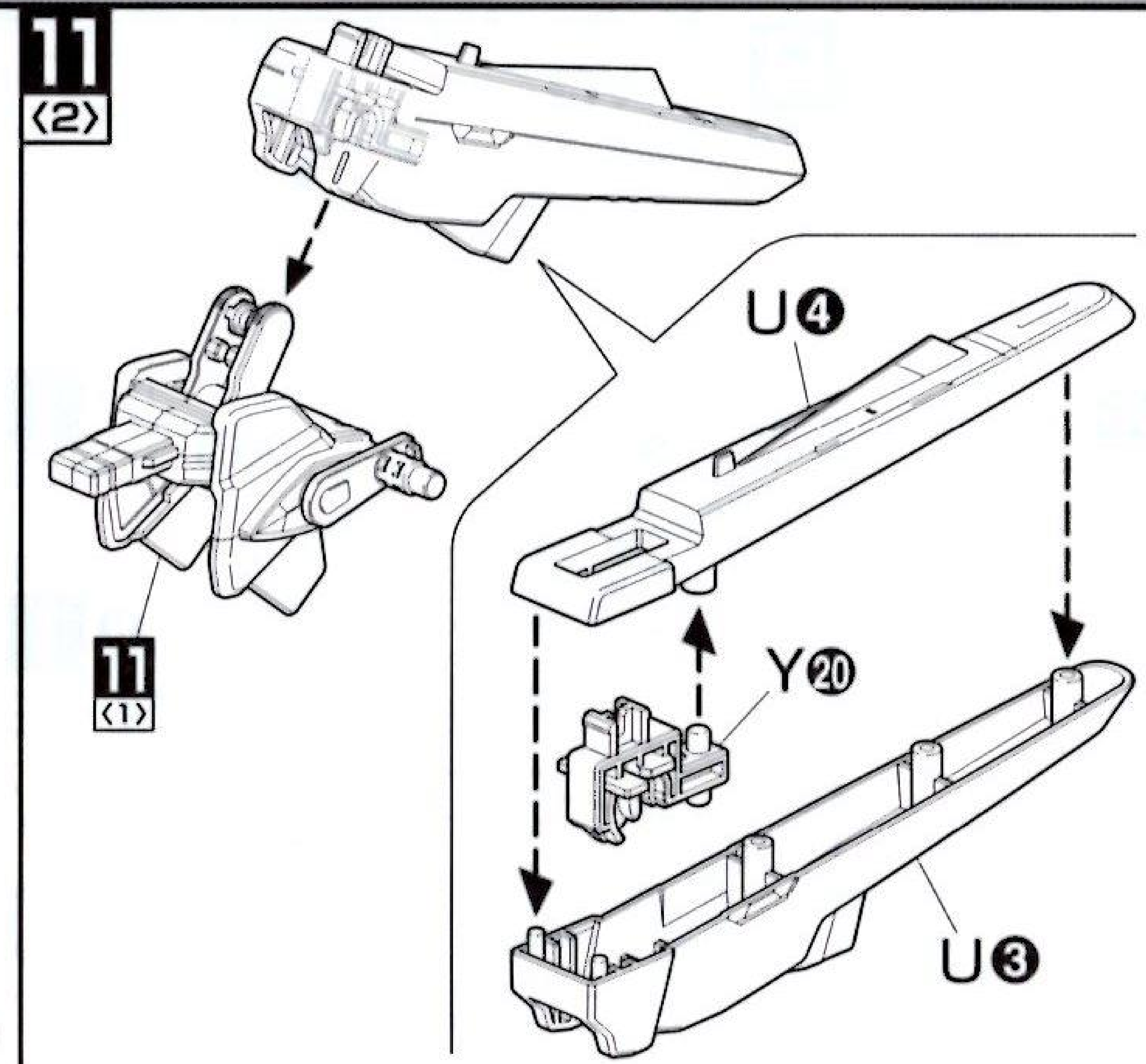
11

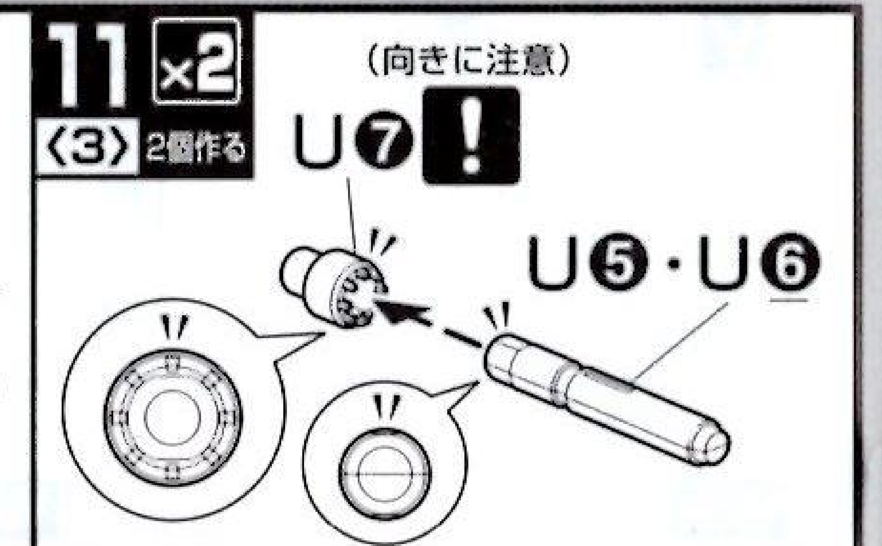


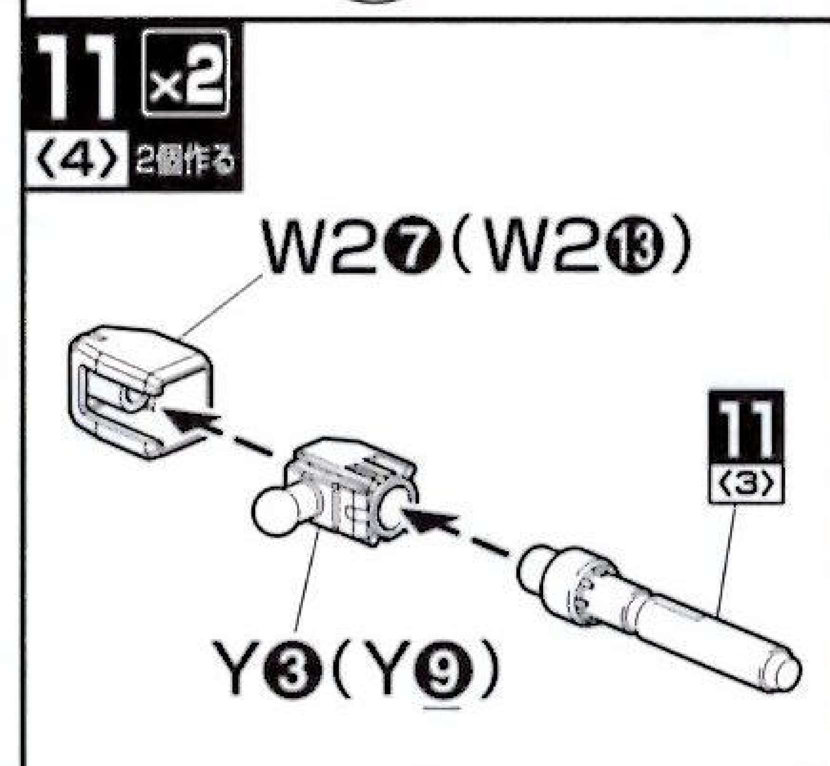
・組立11で使用するパーツ





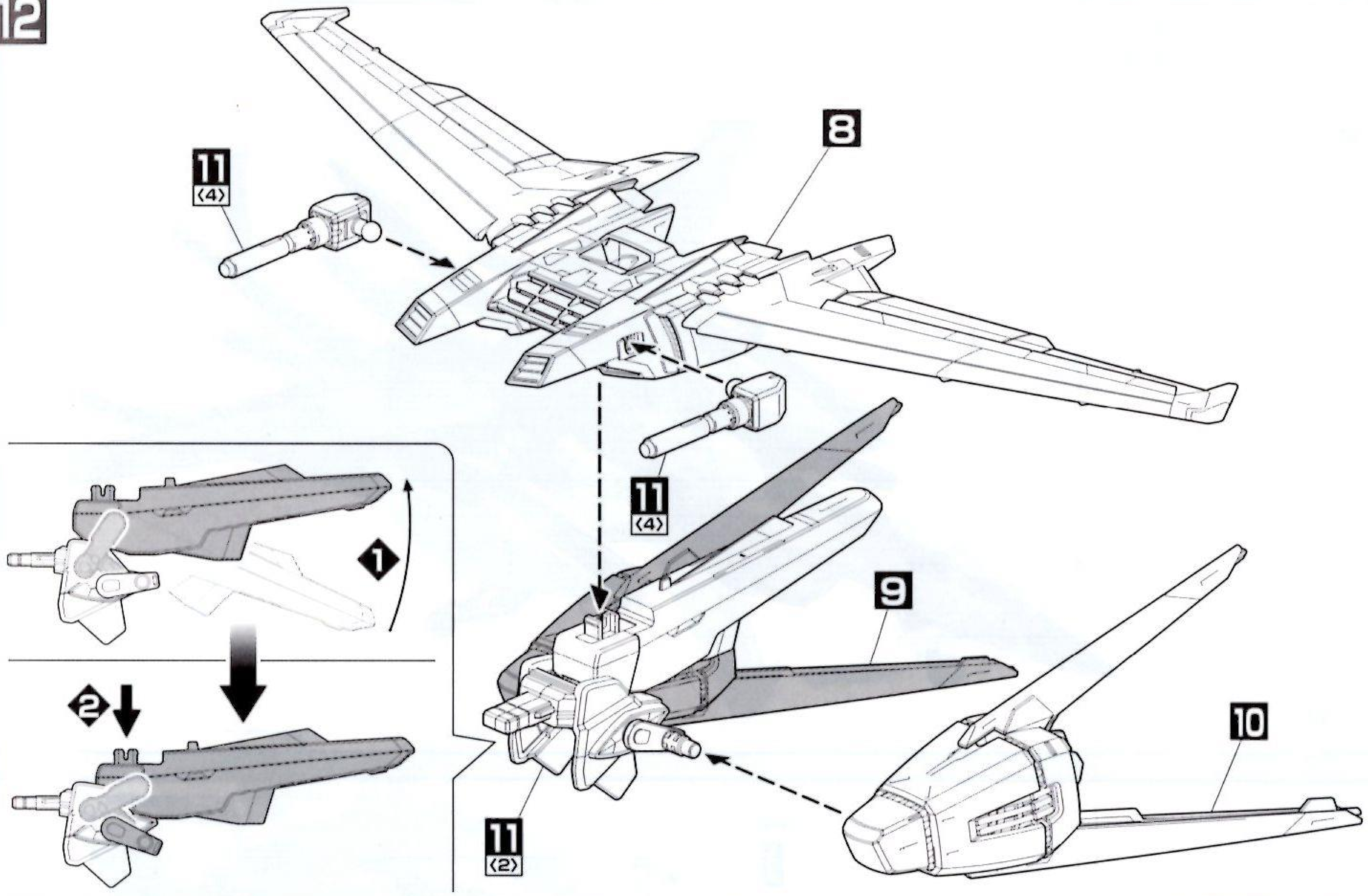


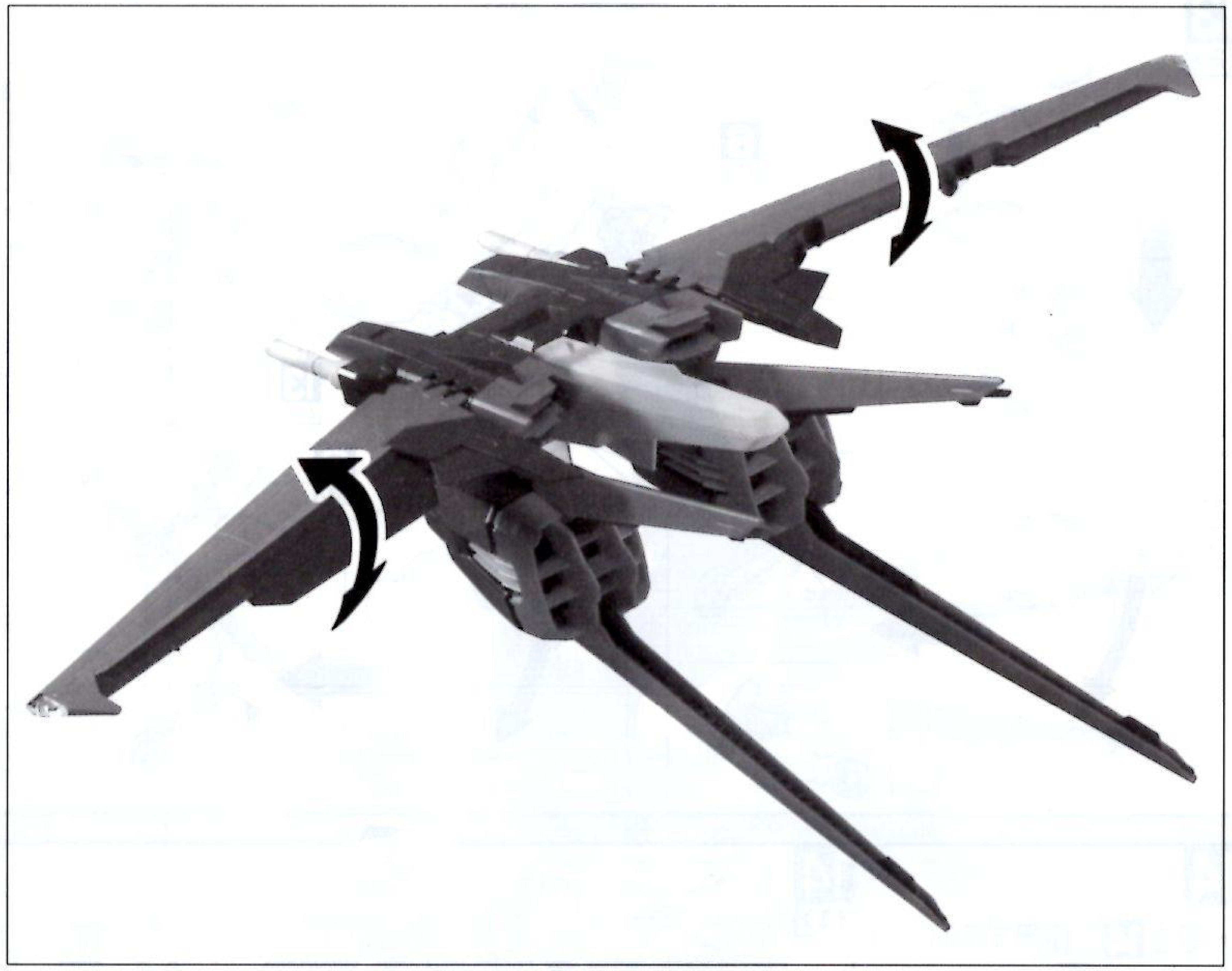





AILE STRIKER ASSEMBLE

12





13
⟨1⟩

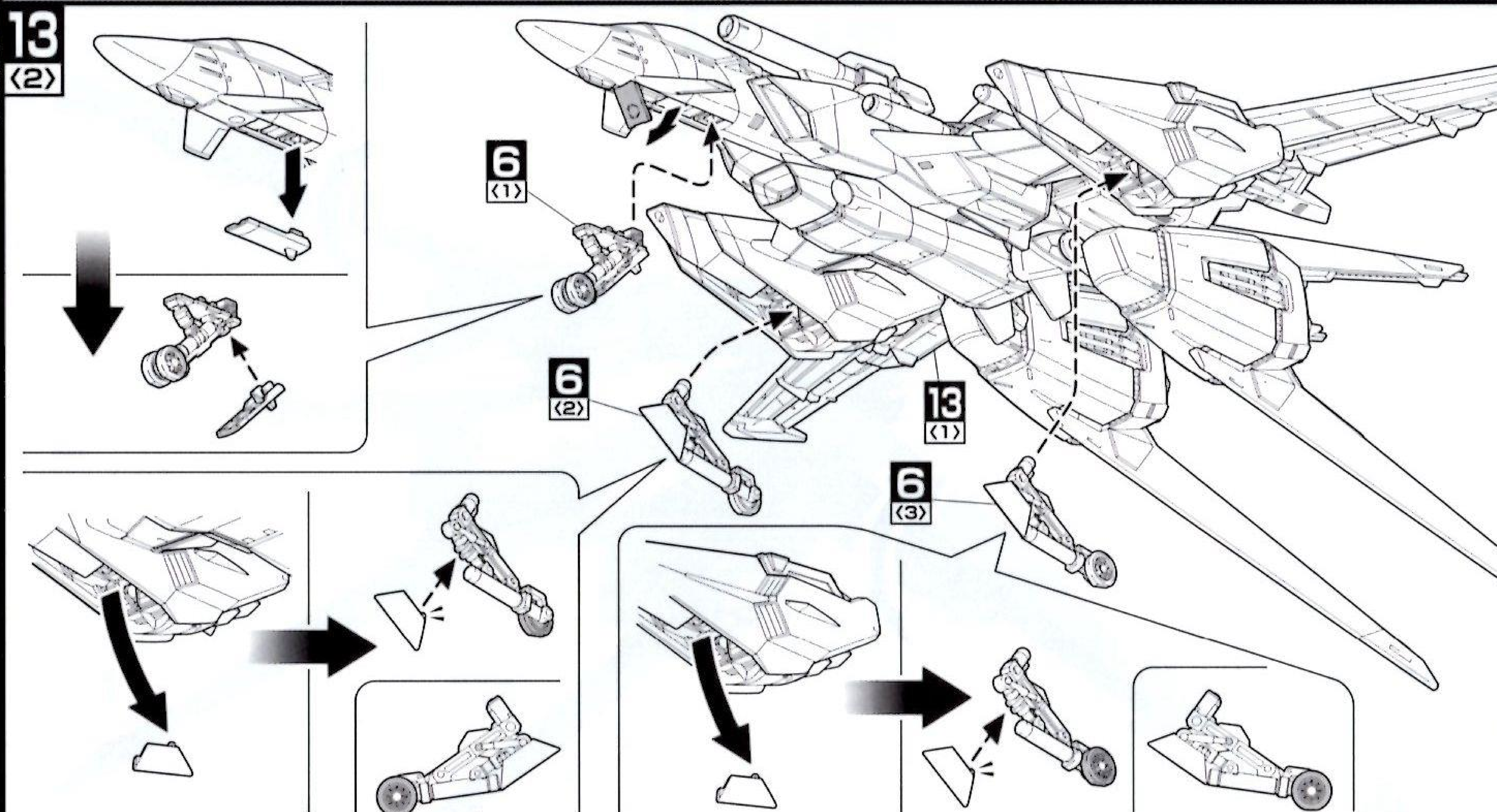


■エールストライカー組立
AILE STRIKER ASSEMBLE

■完成
FINAL CONSTRUCTION

■完成

13 〈2〉



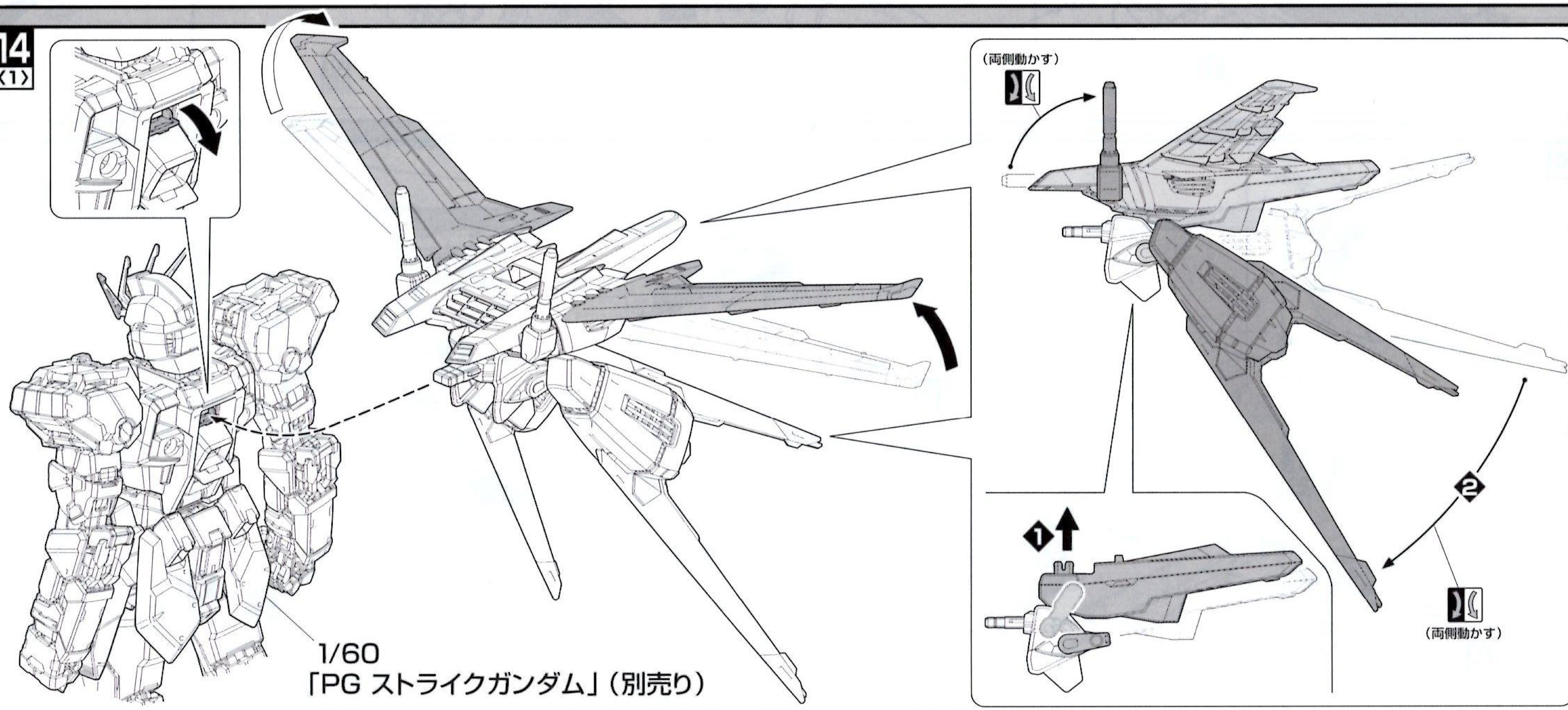


14

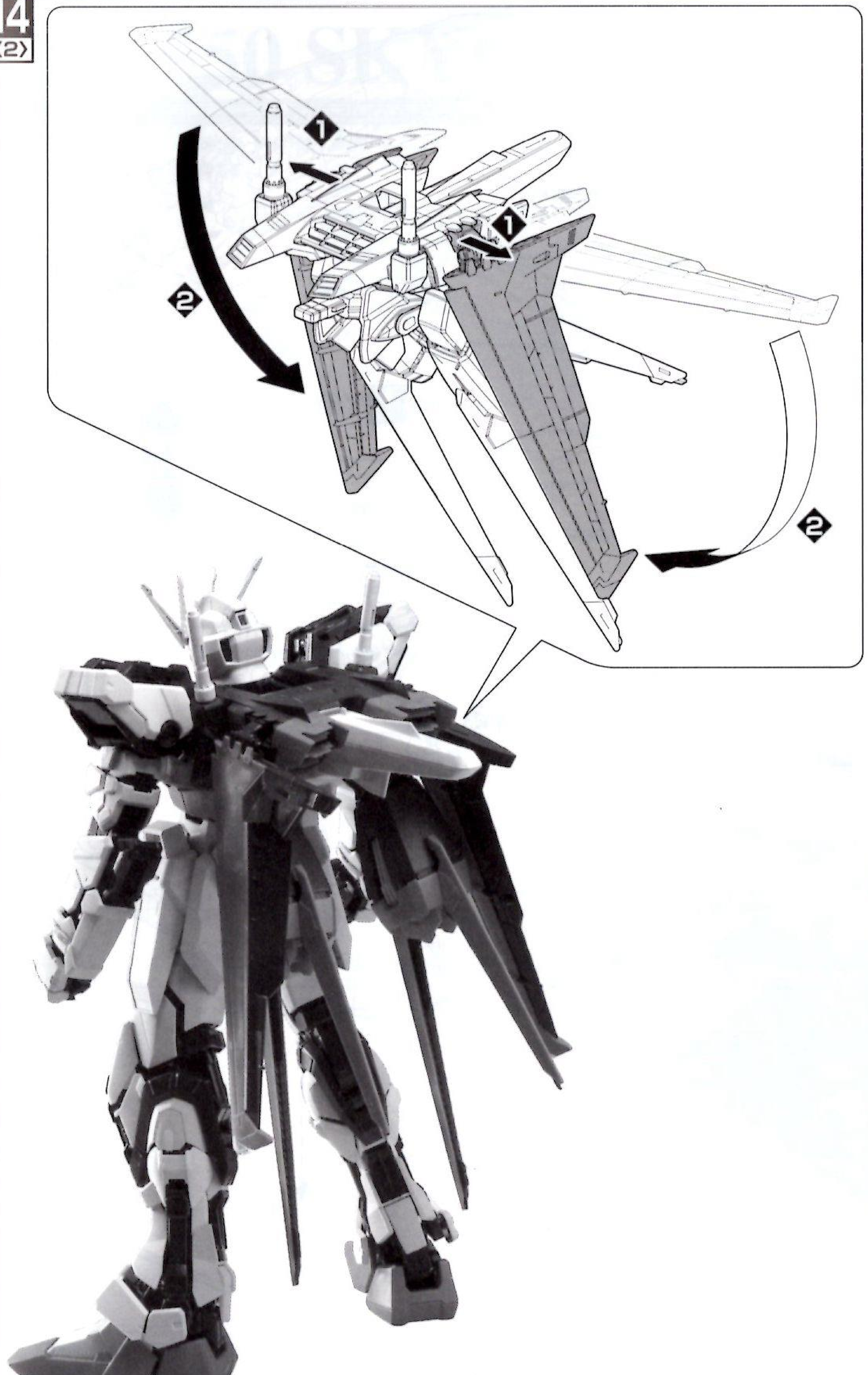
・組立14で使用するパーツ

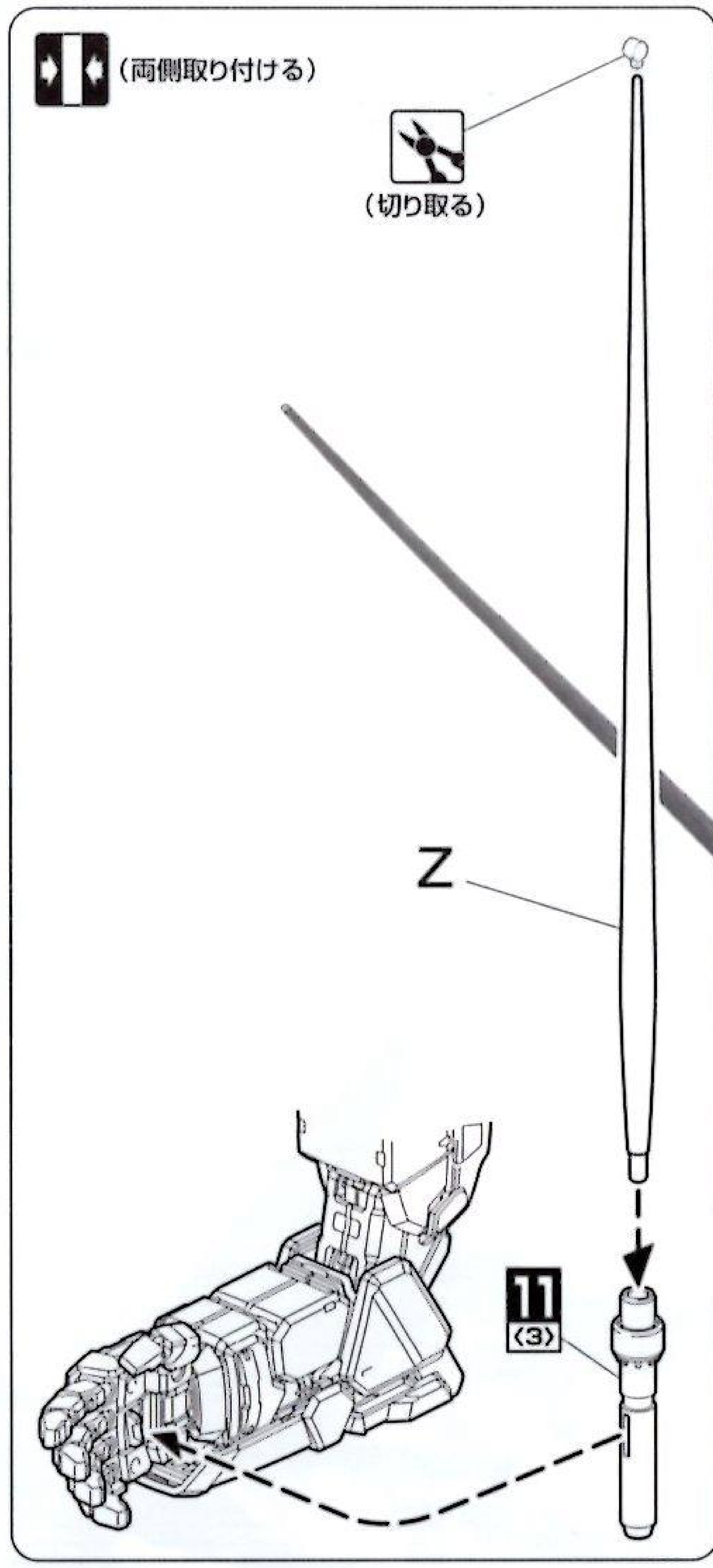


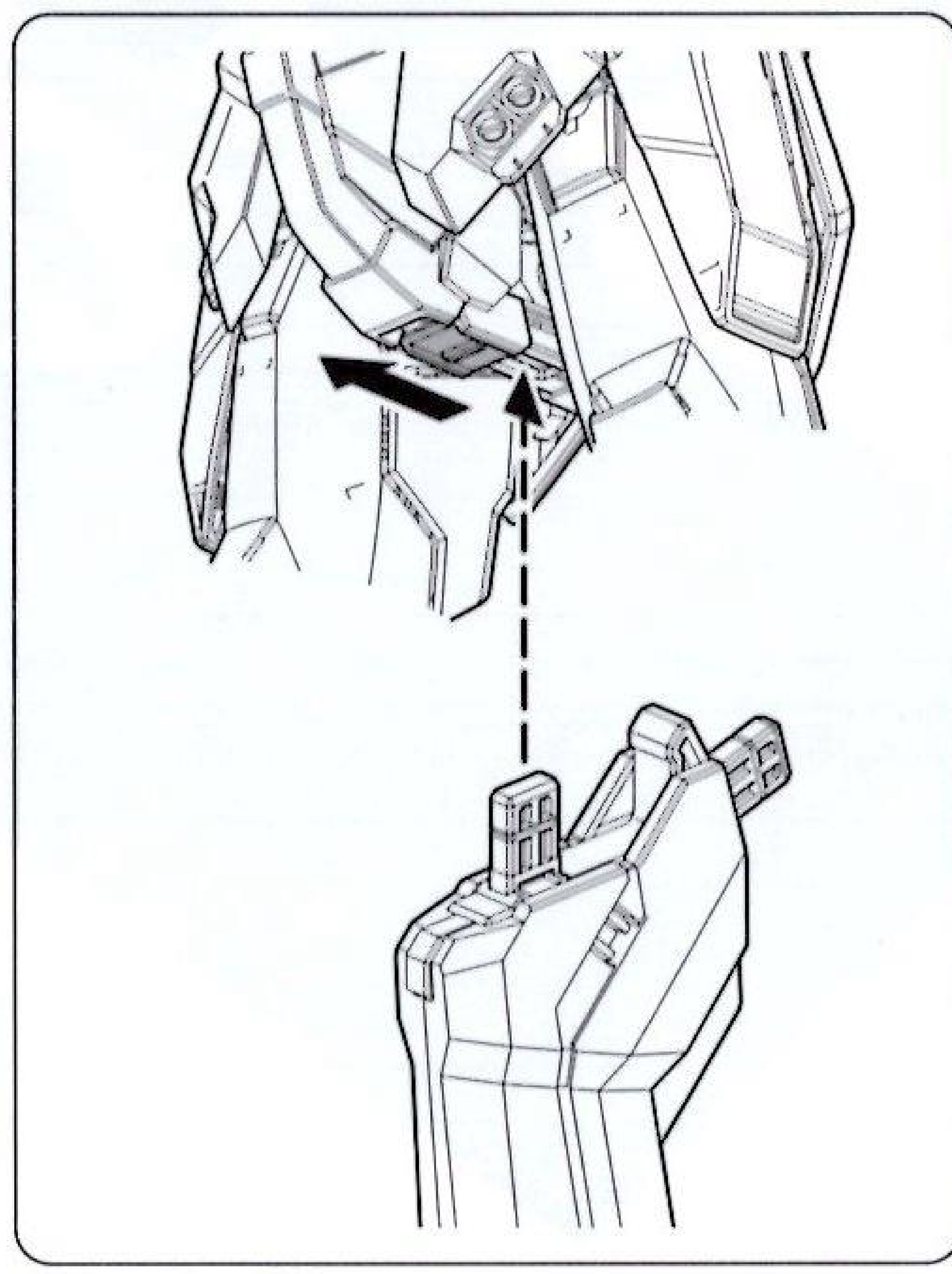
14 〈1〉



14 〈2〉









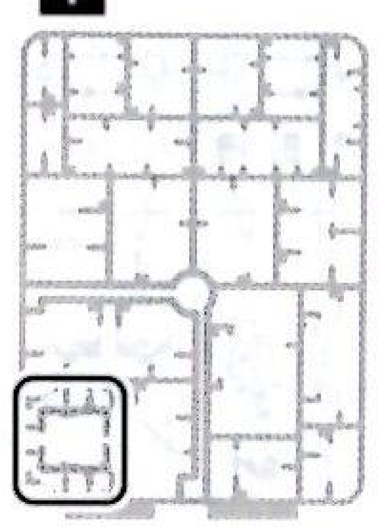
FINAL CONSTRUCTION

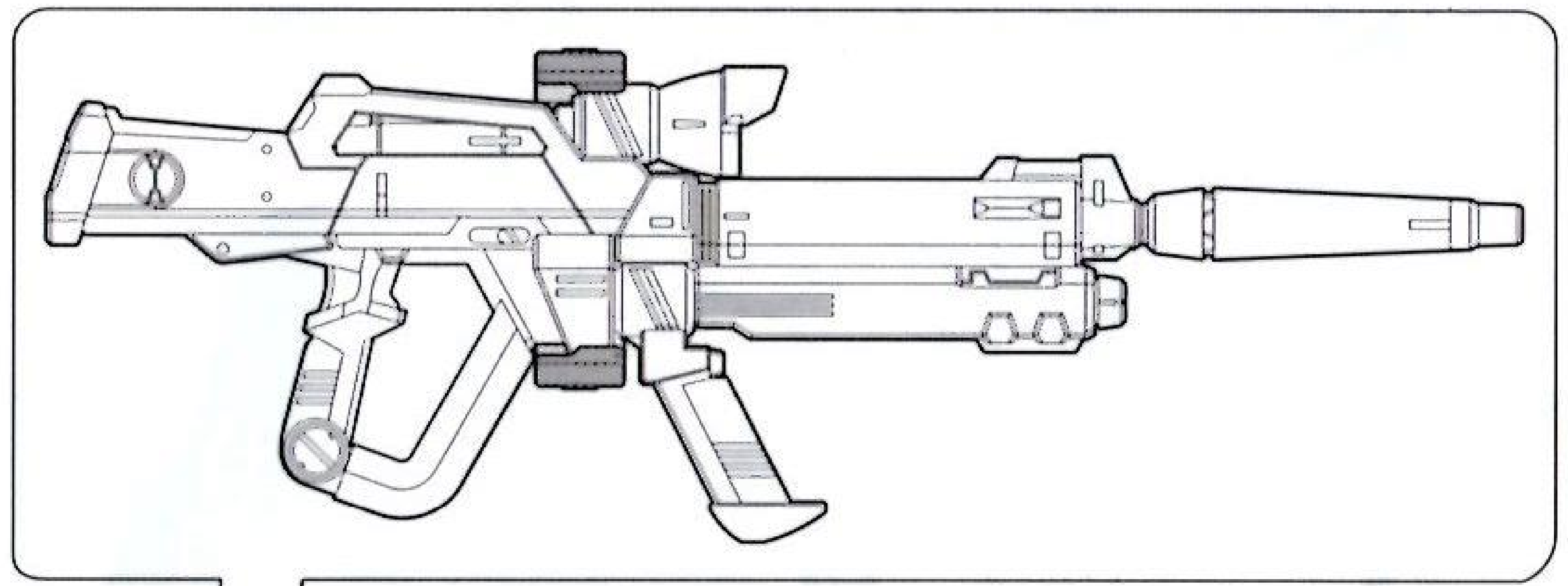
■完成

15

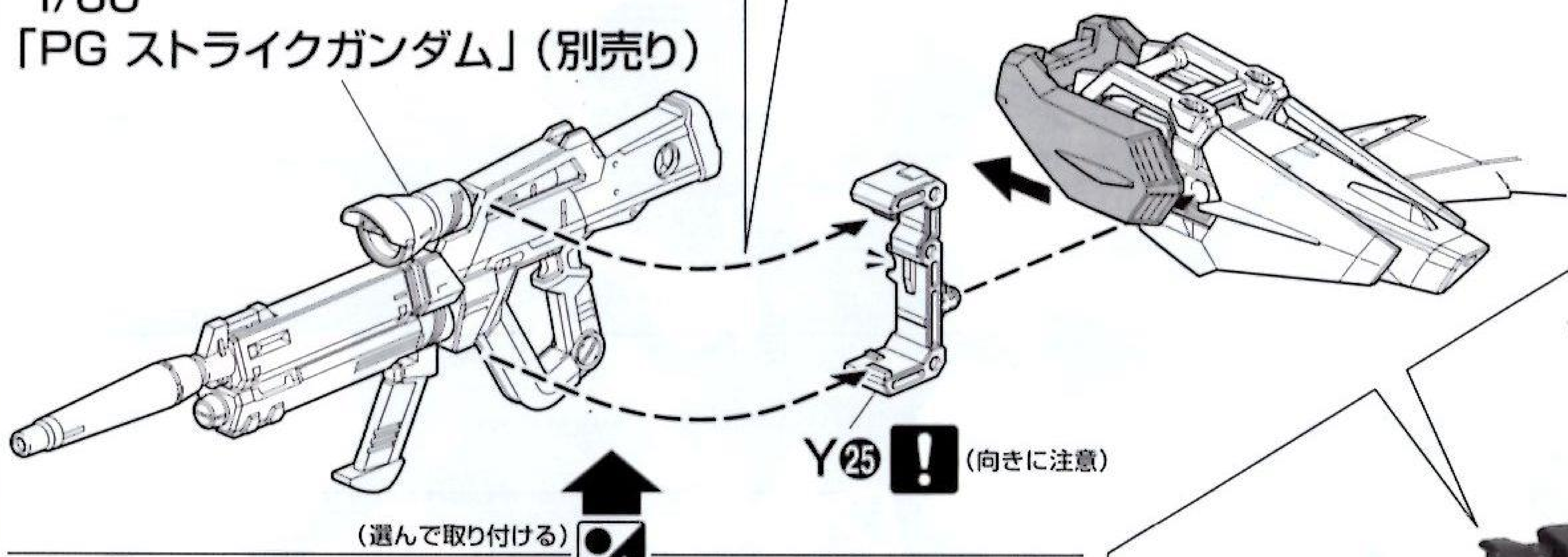
・組立15で使用するパーツ

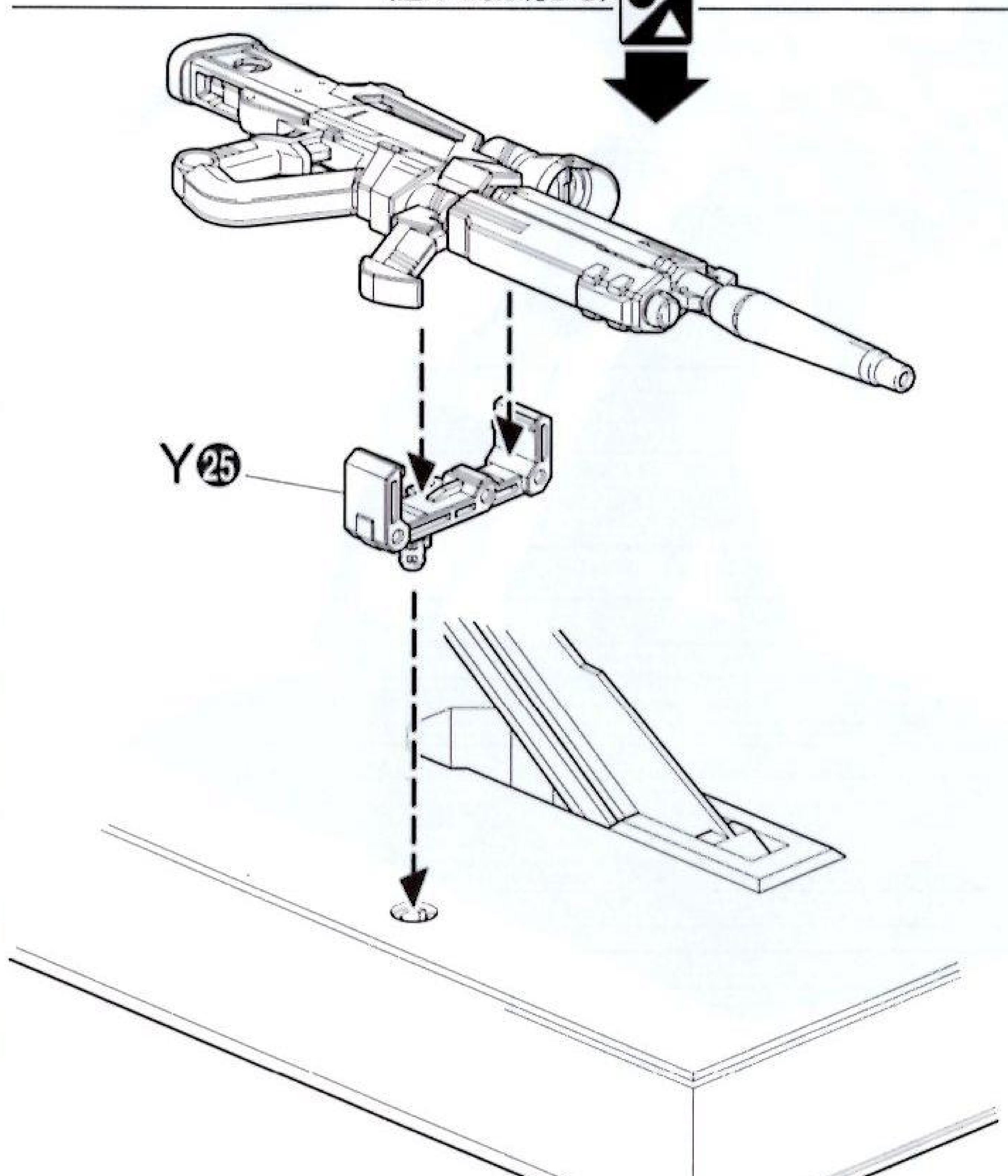
Y

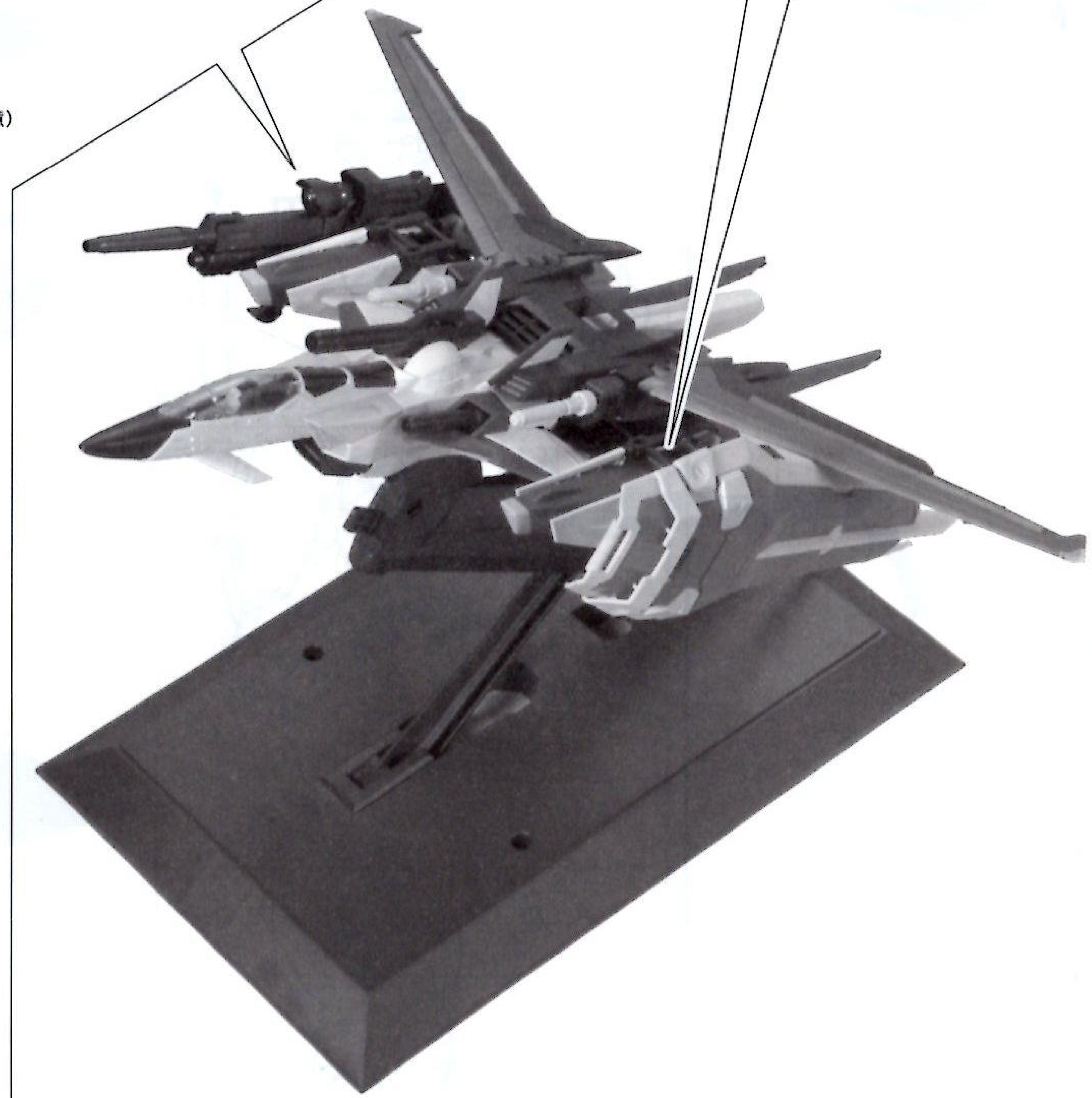




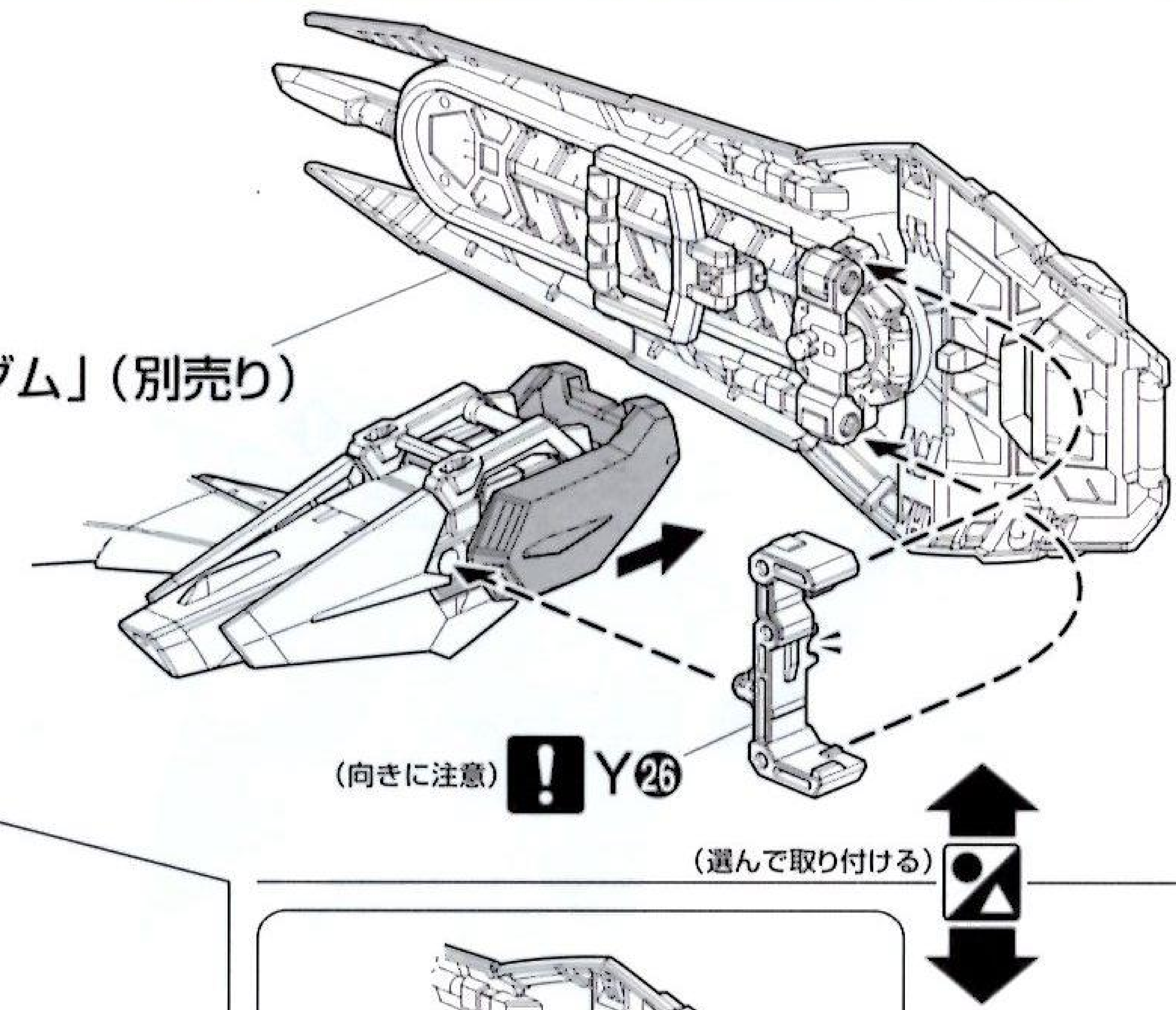
1/60
「PG ストライクガンダム」（別売り）

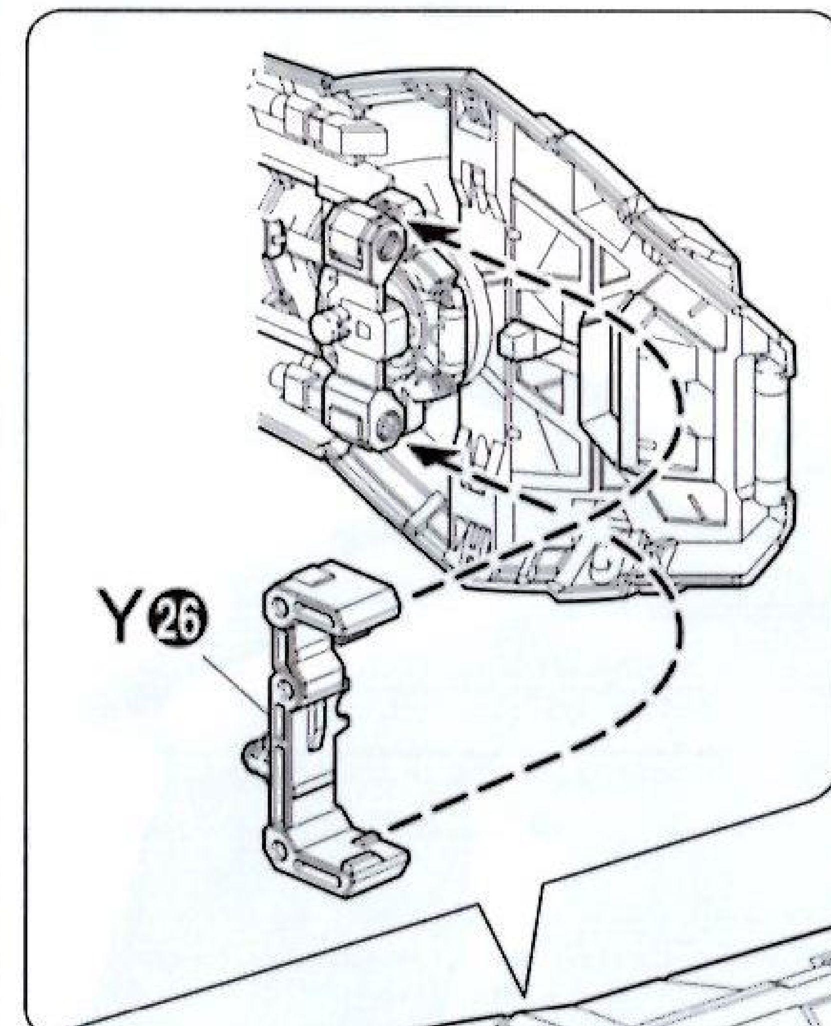


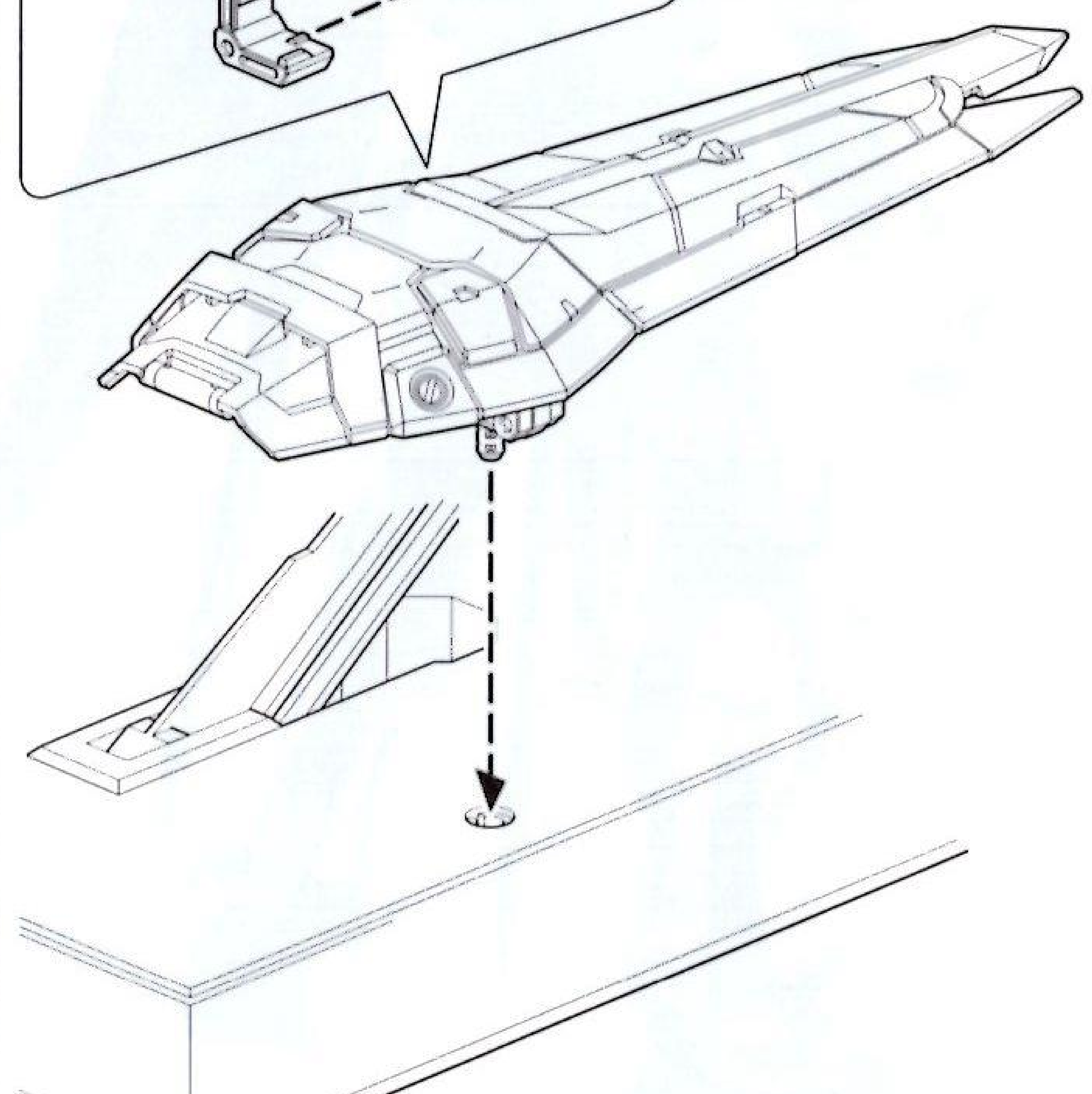




1/60
「PG ストライクガンダム」（別売り）





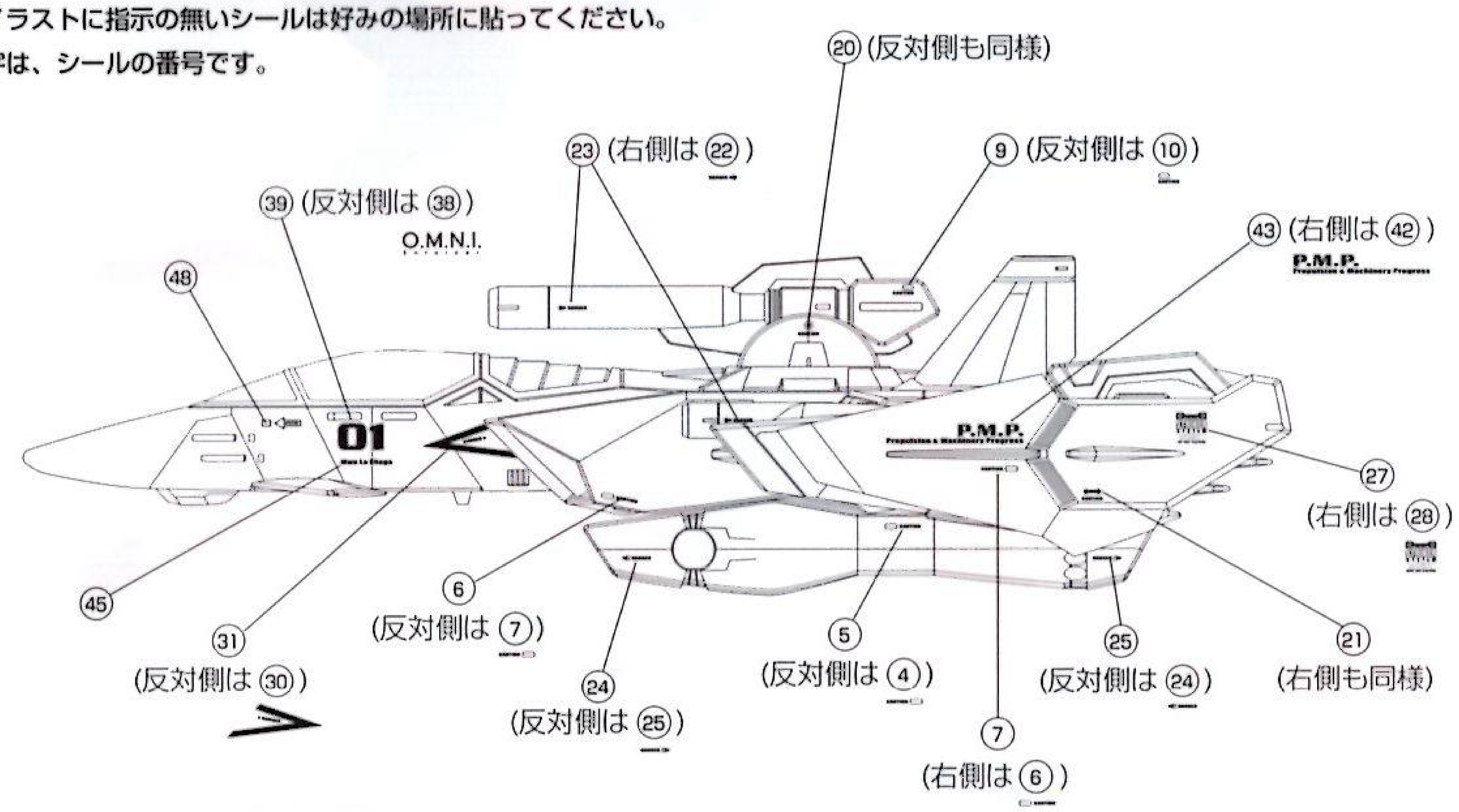


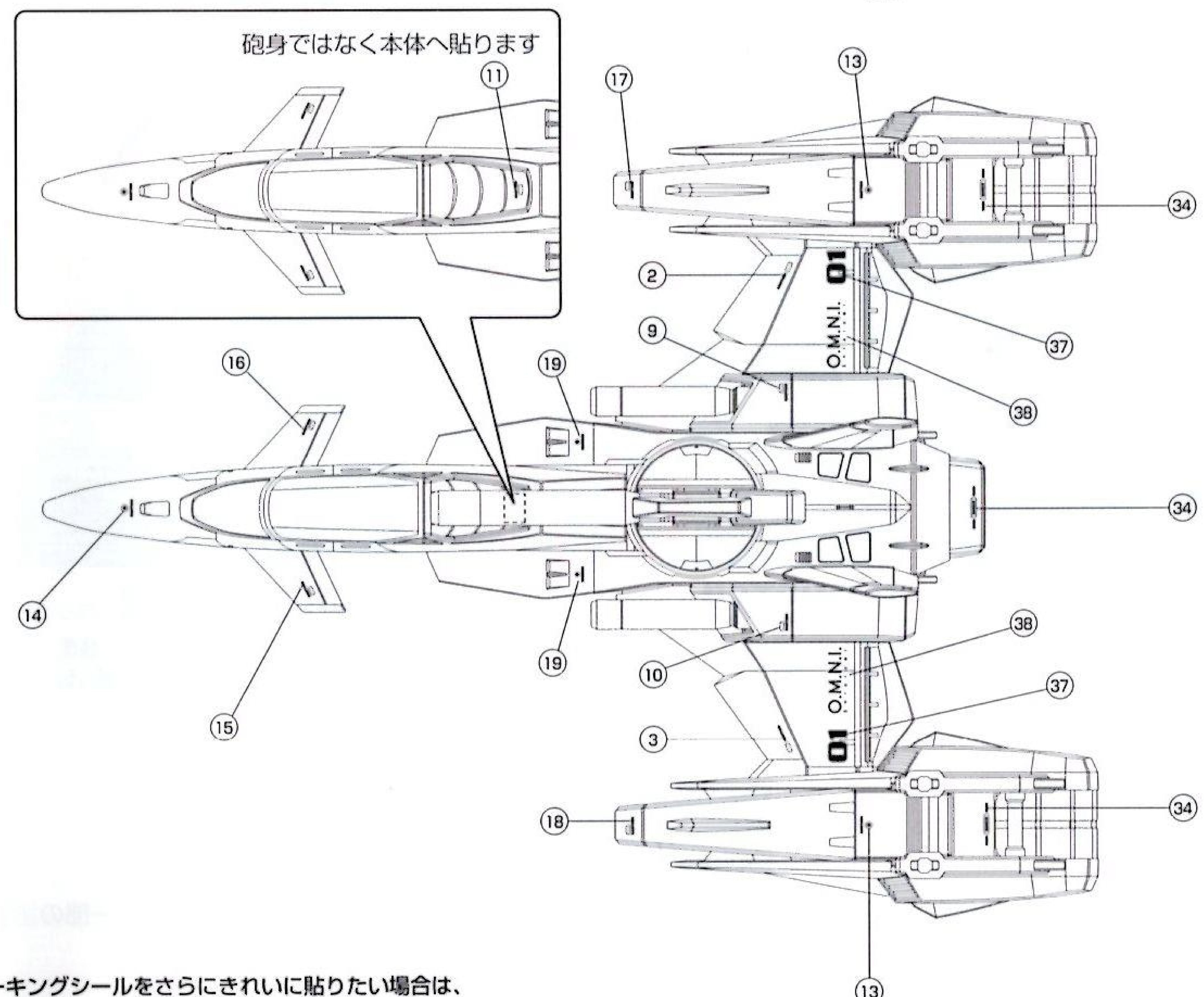
FINAL CONSTRUCTION

FX-550 SKYGRASPER+AQM/E-X01 AILE STRIKER

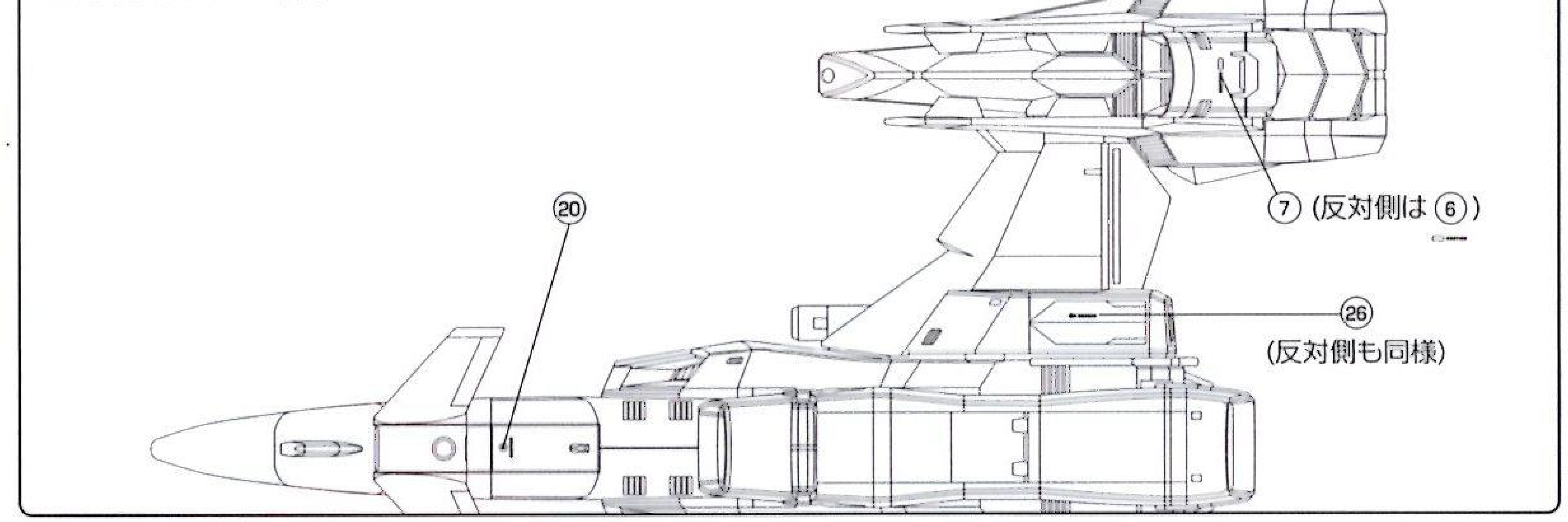
このマーキングシール指示は一例です。イメージに合わせてお貼りください。

※下のイラストに指示の無いシールは好みの場所に貼ってください。
※○数字は、シールの番号です。

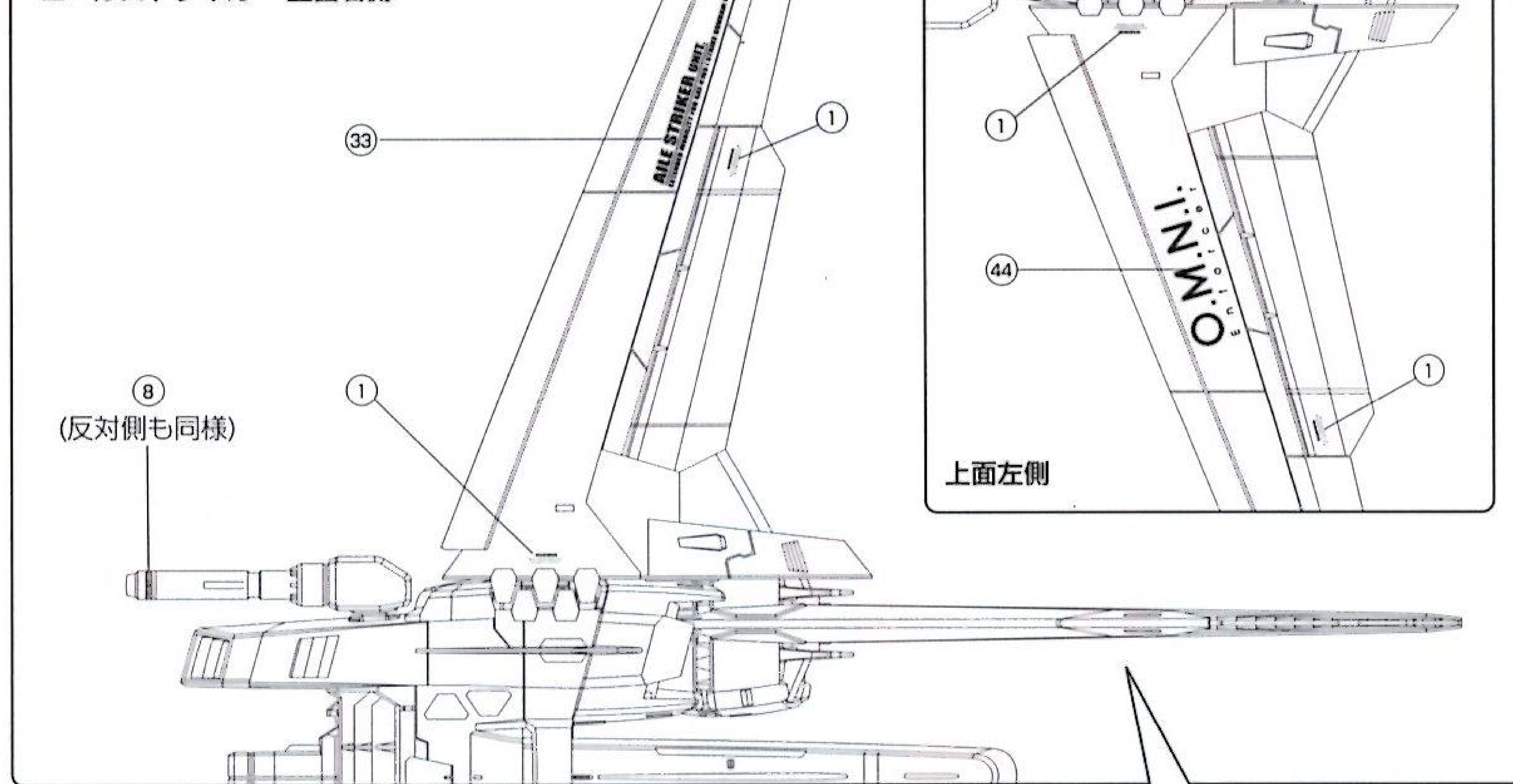




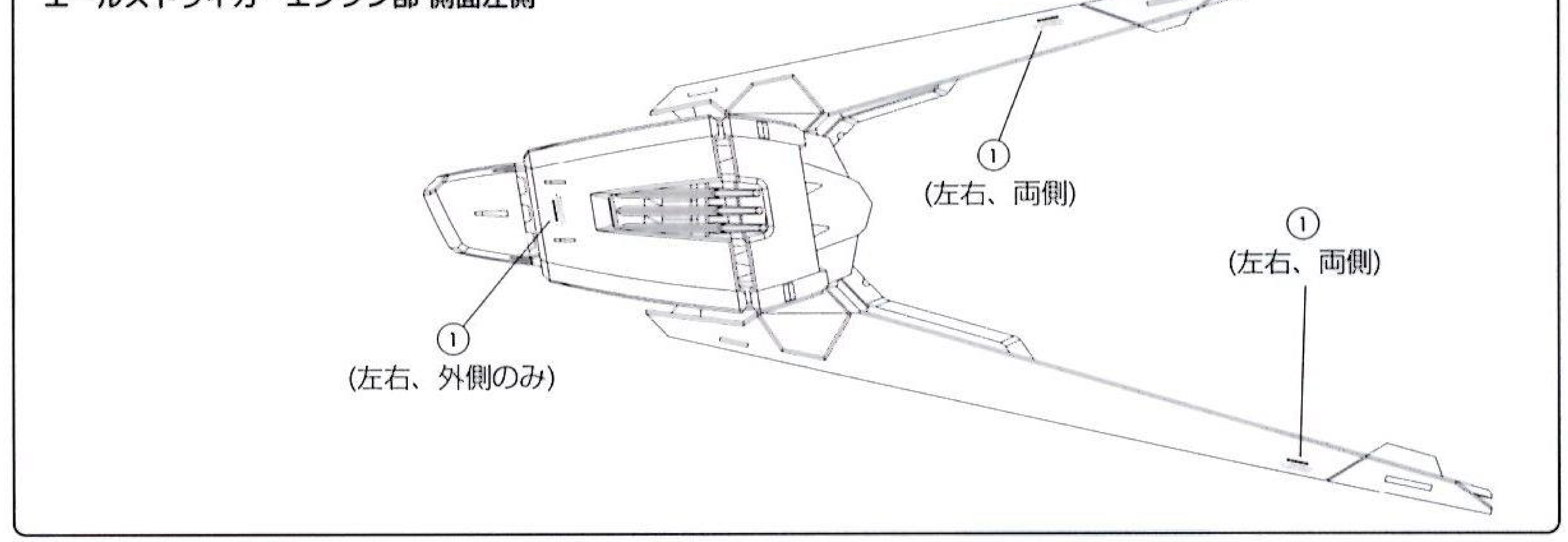
スカイグラスパー 下面



エールストライカー 上面右側



エールストライカーエンジン部 側面左側



※マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、
透明な余白をあらかじめ切り取ってお貼り下さい。
曲面等へ貼りこむ場合には、切り込みを入れる等をするとよいでしょう。

Machinery [機体解説]

SKYGRASPER [スカイグラスパー]

ストライクガンダムの支援機として活躍したスカイグラスパーをPGスタイルにリファイン。様々な部分に航空機のテイストを盛り込み、より精密感を追求。「PG ストライクガンダム」(別売り)と合わせれば、さらにプレイバリューが広がります。

FRONT VIEW



REAR VIEW



AILE STRIKER [エールストライカー]

「PG ストライクガンダム」(別売り)の背面マウントに装着して、エールストライクガンダムにすることが可能。可動部分には、ロック式の可動機構を採用し、高い保持力を実現。ディテールは内・外装ともに細部にいたるまで精密に再現。



DETAIL [ディテール]

機体各部にはパネルラインを追加し、航空機のテイストを再現。両翼フラップは可動式。



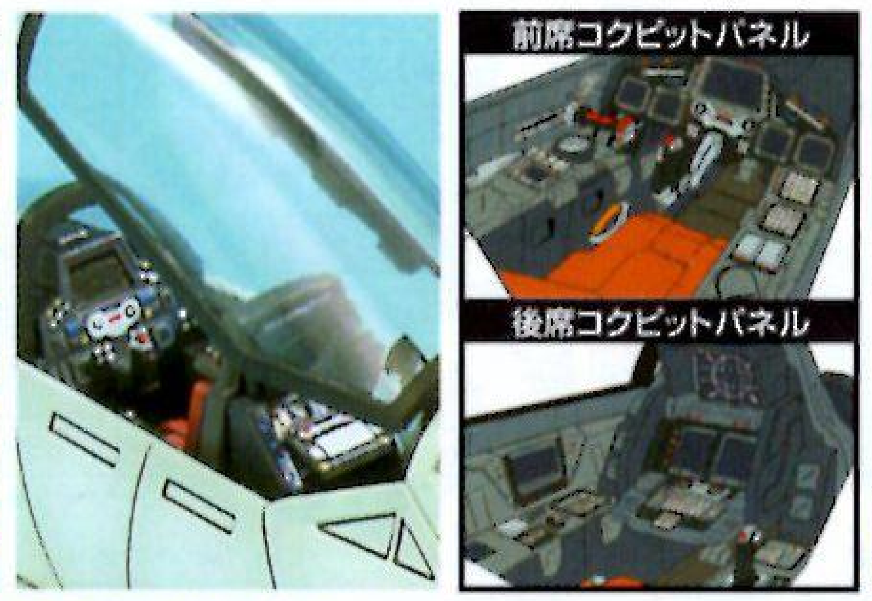
AIR INTAKE [エアインテーク]

機首側面のエアインテーク部分には、ディテールを追加し、より精密感を追求。



PILOT [パイロット]

コクピットには、パイロット（ムウ・ラ・フラガ／カガリ・ユラ・アスハ）を搭乗させることが可能。



COCKPIT [コクピット]

コクピット内部はモニター周辺のディテールを精密に再現。キャノピーはクリヤーパーツで再現。



THRUSTER [スラスター]

スラスター各部のディテールを、内部エンジンまでリアルに再現。エール本体のフィンは可動式。



LANDING GEAR [ランディングギア]

ランディングギアはストライカー装備、非装備の2形態でのランディングポジションが差し替えで再現可能。

COLOR GUIDE

■カラーガイド

※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(「エールストライクガンダム」用、その他カラーセット)をお使いください。

※写真の完成品は、塗装してあります。

機体等ホワイト部の塗装色。
ホワイト（95%）＋イエローグリーン（5%）
＋ニュートラルグレー少量＋ブルー少量

ビームサーベル等ホワイト部の塗装色。
ホワイト（95%）
＋ネービーブルー（5%）

機体等ブルー部の塗装色。
コバルトブルー（40%）
＋インディブルー（40%）＋ホワイト（20%）

インテーク等オレンジ部の塗装色。
オレンジ（70%）＋ホワイト（20%）
＋イエロー（10%）

エールストライカー ウイング等レッド部の塗装色。
モンザレッド（100%）
またはガンダムカラー レッド1

エールストライカー ブースターフィン等イエロー部の塗装色。
イエロー（90%）
＋オレンジイエロー（10%）

内部メカ等の塗装色。
ニュートラルグレー（90%）
＋ブラック（10%）

エールストライカー 本体等ダークグレー部の塗装色。
ミッドナイトブルー（100%）

機体ランディングギア等シルバー部の塗装色。
シルバー（100%）